# 板橋（いたばし）1遺跡

## 第２次発掘調査報告書

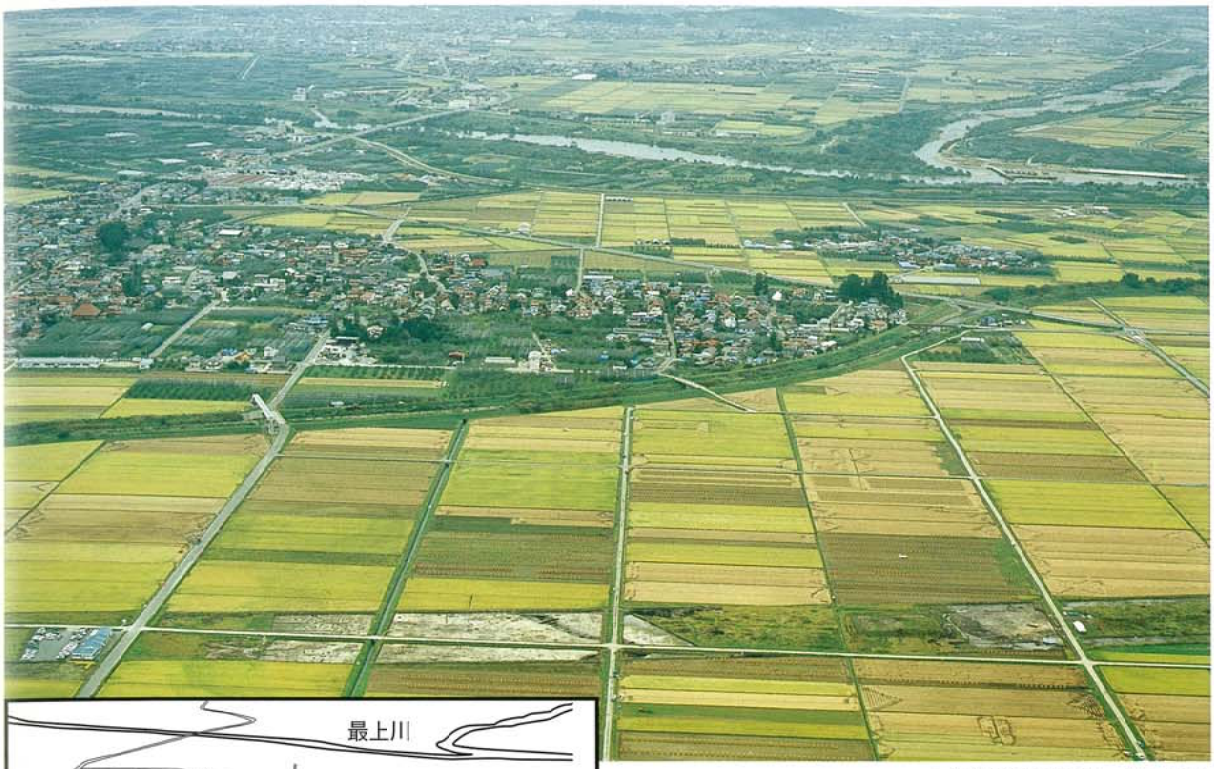
# 板橋（いたばし）2遺跡

## 第２～４次発掘調査報告書

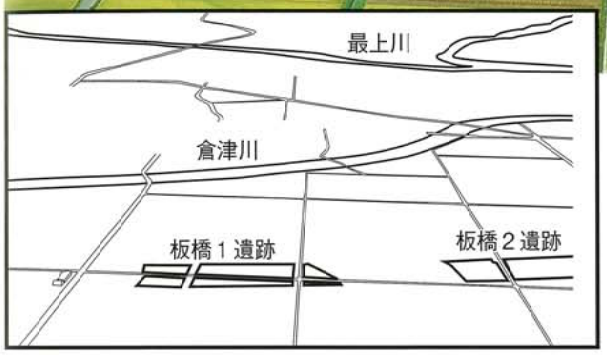
山形県埋蔵文化財センター調査報告書第125集

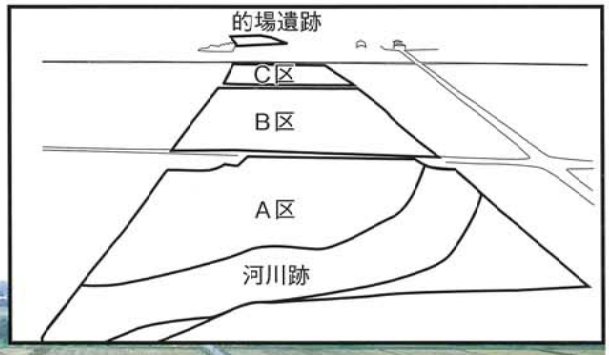
平成16年

財団法人　山形県埋蔵文化財センター



↓板橋２遺跡全景（南より）




↑板橋１遺跡全景（東より）

板橋２遺跡調査区全景

板橋２遺跡ＳＴ 20 竪穴住居跡内土器出土状況（北東より）

板橋２遺跡ＳＤ 106 溝跡内土器出土状況（北東より）

板橋２遺跡ＳＧ 325 河川跡全景（東より）

板橋２遺跡ＳＧ 325 河川跡遺物出土状況（南より）

# 序

本書は、財団法人山形県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施した、板橋１遺跡、板橋２遺跡の調査成果をまとめたものです。

板橋１遺跡、板橋２遺跡は、山形県の中央部東寄りに位置する天童市にあります。当地は、太平洋側から奥羽山脈を越えて山形盆地に入り、山形県の母なる川最上川に向かう最短ルート上にあります。早くから、人々の動きの盛んな地域であったことが窺われます。

この度、東北中央自動車道相馬・尾花沢線（上山～東根間）の建設工事に伴い、工事に先だって板橋１遺跡、板橋２遺跡の発掘調査を実施しました。

調査では、縄文時代から平安時代までの各時代に、人々が当地とどのように関わっていたのかを確認することができました。特に古墳時代には、幅6mを超える河川が東から西に蛇行しながら流れ、その北岸に30棟を超える住居が建てられ、集落が形成されていました。また、その河川からは、多量の土器や木製品が出土しました。それらからは、遠く山陰地方や機内、北陸、東海など他地域からの影響がうかがわれ、当時の人々が様々な地域と交流を保ちながら豊かな生活を送っていたことがしのばれます。

埋蔵文化財は、祖先が長い歴史の中で創造し、育んできた貴重な国民的財産といえます。この祖先から伝えられた文化財を大切に保護するとともに、祖先の足跡を学び、子孫へと伝えていくことが、私たちの重要な責務と考えます。その意味で、本書が文化財保護活動の啓発・普及、学術研究、教育活動などの一助となれば幸いです。

最後になりましたが、調査においてご協力いただいた関係各位に心から感謝申し上げます。

平成16年3月

財団法人　山形県埋蔵文化財センター

理事長　　木　村　宰

本書は日本道路公団東北中央自動車道相馬～尾花沢線（上山～東根間）建設工事に係る「板橋１遺跡」第２次調査「板橋２遺跡」第２～４次調査の発掘調査報告書である。
既刊の年報、調査説明資料などの内容に優先し、本書を持って本報告とする。
調査は日本道路公団東北支社の委託を受けて、財団法人山形県埋蔵文化財センターが実施した。
出土遺物、調査記録類については、報告書作成終了後すみやかに山形県教育委員会に移管する。

# 調査要項

| | |
|---|---|
| 遺跡名 | 板橋（いたばし）１遺跡 |
| 遺跡番号 | 平成９年度登録 |
| 所在地 | 山形県天童（てんどう）市大字蔵増（くらぞう）字板橋（いたばし） |
| 調査委託者 | 日本道路公団東北支社山形工事事務所 |
| 調査受託者 | 財団法人山形県埋蔵文化財センター |
| 受託期間 | 平成10年４月１日～平成16年３月31日 |
| 現地調査 | 平成10年４月14日～９月30日（第２次調査） |
| 調査担当者 | 調査第一課長　佐藤　庄一 |
| | 主任調査研究員　佐藤　正俊 |
| | 調査研究員　齋藤　健（調査主任） |
| | 調査研究員　犬飼　透 |
| | 嘱託調査員　大泉壽太郎 |
| 整理担当者 | 調査第一課長　佐藤　庄一（平成10年度） |
| | 調査第三課長　佐藤　正俊（平成11～13年度） |
| | 阿部　明彦（平成14～15年度） |
| | 主任調査研究員　佐藤　正俊（平成10年度） |
| | 主任調査研究員　氏家　信行（平成11～15年度） |
| | 調査研究員　齋藤　健（調査主任） |
| | 調査研究員　犬飼　透（平成10年度・平成15年度） |
| | 嘱託調査員　大泉壽太郎（平成10～11年度） |
| | 嘱託調査員　宮地　文七（平成11年度） |
| | 嘱託調査員　渋谷　純子（平成12年度） |
| | 嘱託調査員　齋藤　健洋（平成14年度） |
| | 嘱託調査員　黒坂　広美（平成15年度） |

| | |
|---|---|
| 遺跡名 | 板橋（いたばし）２遺跡 |
| 遺跡番号 | 平成９年度登録 |
| 所在地 | 山形県天童（てんどう）市大字蔵増（くらぞう）字板橋（いたばし） |
| 調査委託者 | 日本道路公団東北支社山形工事事務所 |
| 調査受託者 | 財団法人山形県埋蔵文化財センター |
| 受託期間 | 平成10年４月１日～平成16年３月31日 |
| 現地調査 | 平成10年４月12日～６月30日（第２次調査） |
| 調査担当者 | 調査第一課長　佐藤　庄一 |
| | 主任調査研究員　佐藤　正俊 |
| | 調査研究員　氏家　信行（調査主任） |
| | 調査研究員　渡部　利之 |
| | 嘱託調査員　衣袋　忠雄 |
| 現地調査 | 平成10年８月３日～11月26日（第３次調査） |
| 調査担当者 | 調査第一課長　佐藤　庄一 |
| | 主任調査研究員　佐藤　正俊 |
| | 調査研究員　齋藤　健（調査主任） |
| | 調査研究員　犬飼　透 |
| | 嘱託調査員　大泉壽太郎 |
| 現地調査 | 平成11年４月20日～７月16日（第４次調査） |
| 調査担当者 | 調査第三課長　佐藤　正俊 |
| | 主任調査研究員　氏家　信行 |
| | 調査研究員　齋藤　健（調査主任） |
| | 嘱託調査員　大泉壽太郎 |
| | 嘱託調査員　宮地　文七 |
| 整理担当者 | 調査第一課長　佐藤　庄一（平成10年度） |
| | 調査第三課長　佐藤　正俊（平成11～13年度） |
| | 阿部　明彦（平成14～15年度） |
| | 主任調査研究員　佐藤　正俊（平成10年度） |
| | 主任調査研究員　氏家　信行（平成11～15年度） |
| | 調査研究員　齋藤　健（調査主任） |
| | 調査研究員　犬飼　透（平成10年度・平成15年度） |
| | 嘱託調査員　大泉壽太郎（平成10～11年度） |
| | 嘱託調査員　宮地　文七（平成11年度） |
| | 嘱託調査員　渋谷　純子（平成12年度） |
| | 嘱託調査員　齋藤　健洋（平成14年度） |
| | 嘱託調査員　黒坂　広美（平成15年度） |

調査指導　山形県教育庁文化財保護課（現山形県教育庁社会教育課埋蔵文化財保護室）
調査協力　山形県土木部高速道路整備推進室
山形県山形建設事務所高速道路用地対策課
東南村山教育事務所
天童市建設部建設課
天童市教育委員会
天童土地改良区

# 凡　例

1　本書の作成は齋藤健・犬飼透・黒坂広美が、執筆は齋藤健が担当した。

2　遺跡位置の緯度･経度は世界測地系による。遺構図に付す座標値は、平面直角座標系第Ｘ系（日本測地系）により、高さは東京湾平均海面を基準とする海抜高で表す。

3　本書で使用した遺構・遺物の分類記号は下記のとおりである。

| | | |
|---|---|---|
| ＳＴ…竪穴住居 | ＳＢ…掘立柱建物 | ＳＫ…土坑 |
| ＳＤ…溝 | ＳＧ…河川 | ＳＰ…ピット |
| ＳＸ…性格不明遺構 | ＲＰ…登録土器 | ＲＱ…登録石器、石製品 |
| ＲＷ…登録木製品 | ＥＵ…埋設土器 | Ｐ…土器片 |
| Ｓ…礫 | Ｗ…木製品・木 | |

4　本文中の遺物番号は、実測図・観察表と共通するが、写真図版は別番号とした。対応は観察表に示した。

5　遺構・遺物実測図中のアミはそれぞれ、下記のとおりである。

…遺構断面図地山　…遺構内炭化物　…遺構内焼土
…柱痕　…土器内面・外面の赤色処理

6　断面のみ実測した出土土器で赤彩が施されているものについては、内面赤彩は内面の赤彩部分を塗りつぶし、外面赤彩は断面図の左側に赤丸を配置して表現した。

7　基本層序および遺構覆土の色調記載については、1997年版農林水産省農林水産技術会議事務局監修の「新版基準土色帖」に拠った。

8　発掘調査および本書を作成するにあたり、下記の関係機関および方々からご協力、ご助言をいただいた。（五十音順。敬称略。）

赤塚次郎（愛知県埋蔵文化財センター）、石井克己（子持村教育委員会）、岩崎卓也（松戸市立博物館）、黒田篤史（宮守村教育委員会）、田嶋明人（石川県教育委員会）、辻秀人（東北学院大学）、若狭徹（群馬町教育委員会）

9　委託業務は下記のとおりである。

| | |
|---|---|
| 基準点測量業務 | 株式会社太陽測量設計社（板橋１遺跡） |
| | 株式会社菅野測量設計事務所（板橋２遺跡） |
| 遺構写真実測業務 | 株式会社シン技術コンサル（板橋１遺跡、板橋２遺跡） |
| 自然化学分析業務 | パリノサーヴェイ株式会社（板橋１遺跡、板橋２遺跡） |
| 木製品保存処理業務 | 財団法人元興寺文化財研究所（板橋１遺跡） |
| | 財団法人元興寺文化財研究所、株式会社吉田生物研究所（板橋２遺跡） |
| 石器実測使用痕分析業務 | 株式会社アルカ（板橋２遺跡） |

# 目　次


Ⅰ　調査の経緯
　1　調査に至る経過……1
　2　調査の経過と概要……1
Ⅱ　遺跡の立地と環境
　1　地理的環境……3
　2　歴史的環境……3
Ⅲ　遺跡の概要
　1　遺跡の層序……7
　2　板橋１遺跡の遺構と遺物の分布……7
　3　板橋２遺跡の遺構と遺物の分布……7
Ⅳ　板橋１遺跡
　1　検出された遺構……8
　2　竪穴住居跡……8
　3　河川跡……8
　4　埋設土器……14
　5　その他の遺構と出土遺物……14
　6　まとめ……20
Ⅴ　板橋２遺跡
　1　検出された遺構……23
　2　竪穴住居跡……23
　3　掘立柱建物跡……67
　4　土坑……67
　5　その他の遺構……74
　6　河川跡……84
　7　その他の遺構、グリッドからの出土遺物……131
　8　まとめ……144
付編
報告書抄録……巻末


## 表


表１　遺跡位置図遺跡一覧表……5
表２　板橋１遺跡出土土器観察表……21
表３　板橋１遺跡出土木製品観察表……22
表４　板橋１遺跡出土石器観察表……22
表５　板橋２遺跡出土土器観察表（１）……146
表６　板橋２遺跡出土土器観察表（２）……147
表７　板橋２遺跡出土土器観察表（３）……148
表８　板橋２遺跡出土土器観察表（４）……149
表９　板橋２遺跡出土土器観察表（５）……150
表10　板橋２遺跡出土土器観察表（６）……151
表11　板橋２遺跡出土土器観察表（７）……152
表12　板橋２遺跡出土土器観察表（８）……153
表13　板橋２遺跡出土土器観察表（９）……154
表14　板橋２遺跡出土土器観察表(10)……155
表15　板橋２遺跡出土土器観察表(11)……156
表16　板橋２遺跡出土土器観察表(12)……157
表17　板橋２遺跡出土土器観察表(13)……158
表18　板橋２遺跡出土土器観察表(14)……159
表19　板橋２遺跡出土土器観察表(15)……160
表20　板橋２遺跡出土土器観察表(16)……161
表21　板橋２遺跡出土土器観察表(17)……162
表22　板橋２遺跡出土土器観察表(18)……163
表23　板橋２遺跡出土土器観察表(19)……164
表24　板橋２遺跡出土土器観察表(20)……165
表25　板橋２遺跡出土木製品観察表（１）……165
表26　板橋２遺跡出土木製品観察表（２）……166
表27　板橋２遺跡出土石器観察表……167


## 図　版


第１図　調査区概要図……2
第２図　遺跡位置図……4
第３図　地形分類図……6
第４図　ＳＴ304竪穴住居跡……9
第５図　ＳＧ１河川跡平面図……10
第６図　ＳＧ１河川跡断面図……11
第７図　遺物実測図ＳＧ１河川跡（１）……12
第８図　遺物実測図ＳＧ１河川跡（２）……13
第９図　遺物実測図（１）……15
第10図　遺物実測図（２）……16
第11図　遺物実測図（３）……17
第12図　遺物実測図（４）……18
第13図　遺物実測図（５）……19
第14図　遺物実測図（６）……20
第15図　ＳＴ５、216、679竪穴住居跡……24
第16図　ＳＴ７竪穴住居跡……25
第17図　ＳＴ11竪穴住居跡（１）……26
第18図　ＳＴ11竪穴住居跡（２）……27
第19図　ＳＴ14竪穴住居跡……28
第20図　ＳＴ20竪穴住居跡（１）……29
第21図　ＳＴ20竪穴住居跡（２）……30
第22図　ＳＴ20竪穴住居跡（３）……31
第23図　ＳＴ21竪穴住居跡（１）……32
第24図　ＳＴ21竪穴住居跡（２）……33
第25図　ＳＴ51竪穴住居跡……34
第26図　ＳＴ52竪穴住居跡……35
第27図　ＳＴ220、221竪穴住居跡……36
第28図　ＳＴ220竪穴住居跡出土遺物（１）……37
第29図　ＳＴ220竪穴住居跡出土遺物（２）……38
第30図　ＳＴ220竪穴住居跡出土遺物（３）……39
第31図　ＳＴ220竪穴住居跡出土遺物（４）……40
第32図　ＳＴ222、223竪穴住居跡（１）……42
第33図　ＳＴ222、223竪穴住居跡（２）……43
第34図　ＳＴ224、225、481竪穴住居跡……44
第35図　ＳＴ226竪穴住居跡……45
第36図　ＳＴ227竪穴住居跡（１）……46
第37図　ＳＴ227竪穴住居跡（２）……47
第38図　ＳＴ228、229、230、231竪穴住居跡（１）……48
第39図　ＳＴ228、229、230、231竪穴住居跡（２）……49
第40図　ＳＴ232竪穴住居跡……50
第41図　ＳＴ339竪穴住居跡（１）……52
第42図　ＳＴ339竪穴住居跡（２）……53
第43図　ＳＴ446竪穴住居跡……54
第44図　ＳＴ666竪穴住居跡……55
第45図　ＳＴ750竪穴住居跡（１）……56
第46図　ＳＴ750竪穴住居跡（２）……57
第47図　ＳＴ750竪穴住居跡（３）……58
第48図　ＳＴ751竪穴住居跡（１）……60
第49図　ＳＴ751竪穴住居跡（２）……61
第50図　ＳＴ752竪穴住居跡……62
第51図　ＳＴ753、754竪穴住居跡……63
第52図　ＳＴ755竪穴住居跡（１）……64
第53図　ＳＴ755竪穴住居跡（２）……65
第54図　ＳＢ632掘立柱建物跡……66

第55図　ＳＢ870、960掘立柱建物跡……68
第56図　ＳＢ890掘立柱建物跡 ……69
第57図　ＳＫ84土坑……70
第58図　ＳＫ660土坑 ……71
第59図　ＳＫ764土坑 ……72
第60図　ＳＫ872土坑 ……73
第61図　遺物実測図　ＳＫ96、218、211、212土坑 ……75
第62図　遺物実測図　ＳＫ737土坑、ＳＤ888溝跡……76
第63図　遺物実測図　ＳＤ28溝跡……77
第64図　遺物実測図　ＳＤ40溝跡……78
第65図　遺物実測図　ＳＤ106溝跡（１）……79
第66図　遺物実測図　ＳＤ106溝跡（２）……80
第67図　遺物実測図　ＳＤ106溝跡（３）……81
第68図　遺物実測図　ＳＤ765溝跡（１）……82
第69図　遺物実測図　ＳＤ765溝跡（２）……83
第70図　ＳＧ325河川跡平面図 ……85
第71図　ＳＧ325河川跡断面図 ……86
第72図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（１）……88
第73図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（２）……89
第74図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（３）……91
第75図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（４）……92
第76図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（５）……93
第77図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（６）……94
第78図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（７）……95
第79図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（８）……96
第80図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（９）……97
第81図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡(10)……98
第82図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡(11)……99
第83図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（12）……100
第84図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（13）……101
第85図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（14）……102
第86図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（15）……103
第87図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（16）……104
第88図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（17）……106
第89図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（18）……107
第90図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（19）……108
第91図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（20）……109
第92図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（21）……110
第93図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（22）……111
第94図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（23）……112
第95図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（24）……113
第96図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（25）……116
第97図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（26）……117
第98図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（27）……118
第99図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡（28）……119
第100図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡(29)……120
第101図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡(30)……121
第102図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡(31)……122
第103図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡(32)……123
第104図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡(33)……124
第105図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡(34)……125
第106図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡(35)……126
第107図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡(36)……127
第108図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡(37)……128
第109図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡(38)……129
第110図　遺物実測図　ＳＧ325河川跡(39)……130
第111図　遺物実測図（１）……132
第112図　遺物実測図（２）……133
第113図　遺物実測図（３）……134
第114図　遺物実測図（４）……135
第115図　遺物実測図（５）……136
第116図　遺物実測図（６）……137
第117図　遺物実測図（７）……138
第118図　遺物実測図（８）……139
第119図　遺物実測図（９）……140
第120図　遺物実測図（10）……141
第121図　遺物実測図（11）……142
第122図　遺物実測図（12）……143
第123図　遺物実測図（13）……144

# 写真図版

巻頭写真１　遺跡全景
巻頭写真２　遺跡全景
巻頭写真３　板橋２遺跡ＳＴ20竪穴住居跡内土器出土状況他
巻頭写真４　板橋２遺跡ＳＧ325河川跡全景他
写真図版１　板橋１遺跡河川跡
写真図版２　板橋１遺跡遺構
写真図版３　板橋２遺跡竪穴住居跡
写真図版４　板橋２遺跡竪穴住居跡
写真図版５　板橋２遺跡竪穴住居
写真図版６　板橋２遺跡竪穴住居
写真図版７　板橋２遺跡竪穴住居
写真図版８　板橋２遺跡竪穴住居
写真図版９　板橋２遺跡竪穴住居
写真図版10　板橋２遺跡掘建柱建物、水田
写真図版11　板橋２遺跡土坑、河川
写真図版12　板橋２遺跡河川
写真図版13　板橋１遺跡縄文土器
写真図版14　板橋１遺跡縄文石製品
写真図版15　板橋１遺跡古墳時代、中世遺物
写真図版16　板橋２遺跡なすび形鍬
写真図版17　板橋２遺跡三又鋤、鋤柄
写真図版18　板橋２遺跡農耕具
写真図版19　板橋２遺跡田下駄、大足
写真図版20　板橋２遺跡容器
写真図版21　板橋２遺跡木製品（１）
写真図版22　板橋２遺跡木製品（２）
写真図版23　板橋２遺跡縄文土器（１）
写真図版24　板橋２遺跡縄文土器（２）
写真図版25　板橋２遺跡縄文、弥生土器
写真図版26　板橋２遺跡縄文、弥生土器石器
写真図版27　板橋２遺跡竪穴住居跡土師器（１）
写真図版28　板橋２遺跡竪穴住居跡土師器（２）
写真図版29　板橋２遺跡竪穴住居跡土師器（３）
写真図版30　板橋２遺跡竪穴住居跡土師器（４）
写真図版31　板橋２遺跡竪穴住居跡土師器（５）
写真図版32　板橋２遺跡竪穴住居跡土師器（６）
写真図版33　板橋２遺跡竪穴住居跡土師器（７）
写真図版34　板橋２遺跡竪穴住居跡土師器（８）
写真図版35　板橋２遺跡竪穴住居跡土師器（９）
写真図版36　板橋２遺跡竪穴住居跡土師器（10）
写真図版37　板橋２遺跡土坑土師器（１）
写真図版38　板橋２遺跡土坑土師器（２）
写真図版39　板橋２遺跡溝土師器（１）
写真図版40　板橋２遺跡溝土師器（２）
写真図版41　板橋２遺跡河川土師器（１）
写真図版42　板橋２遺跡河川土師器（２）
写真図版43　板橋２遺跡河川土師器（３）
写真図版44　板橋２遺跡河川土師器（４）
写真図版45　板橋２遺跡河川土師器（５）
写真図版46　板橋２遺跡河川土師器（６）
写真図版47　板橋２遺跡河川土師器（７）
写真図版48　板橋２遺跡河川土師器（８）
写真図版49　板橋２遺跡河川土師器（９）
写真図版50　板橋２遺跡河川土師器（10）
写真図版51　板橋２遺跡河川土師器（11）
写真図版52　板橋２遺跡古墳、平安
写真図版53　板橋２遺跡平安、中世

# Ⅰ　調査の経緯

## 1 調査に至る経過

板橋１遺跡、板橋２遺跡は、天童市蔵増地区西側の倉津川右岸に所在し、乱川扇状地前縁部の微高地および自然堤防上に立地し標高約 90 mを測り、地目が水田となっている。倉津川をはさんで本遺跡の南西約２km の地点に古墳時代の低湿地遺跡で、多数の打込柱建物跡とともに大量の建築部材や木製品が険出された国指定史遺跡西沼田遺跡がある。南約 1.5km には古墳時代、奈良平安時代の集落跡が検出された蔵増押切遺跡が、北約 500m には古墳時代、平安時代の的場遺跡などが分布する。

東北中央自動車道相馬・尾花沢線（上山～東根間）

今回の発掘調査は、日本道路公団の東北中央自動車道相馬・尾花沢線（上山～東根間）の建築事業にともなって行なわれた。東北中央自動車道の上山～東根間の事業計画は平成２年度に都市計画整備事業として計画、平成５年度に高速道路整備路線として施工命令が発令され、平成８年度から建設工事が開始された。建設工事にともなう埋蔵文化財の取扱いについては、山形県教育委員会と山形県土木部や日本道路公団との協議の結果、山形県教育委員会が分布調査を行い、その後緊急発掘調査を計画的に進めることになり、財団法人山形県埋蔵文化財センターが日本道路公団の委託を受けて実施する運びになったものである。

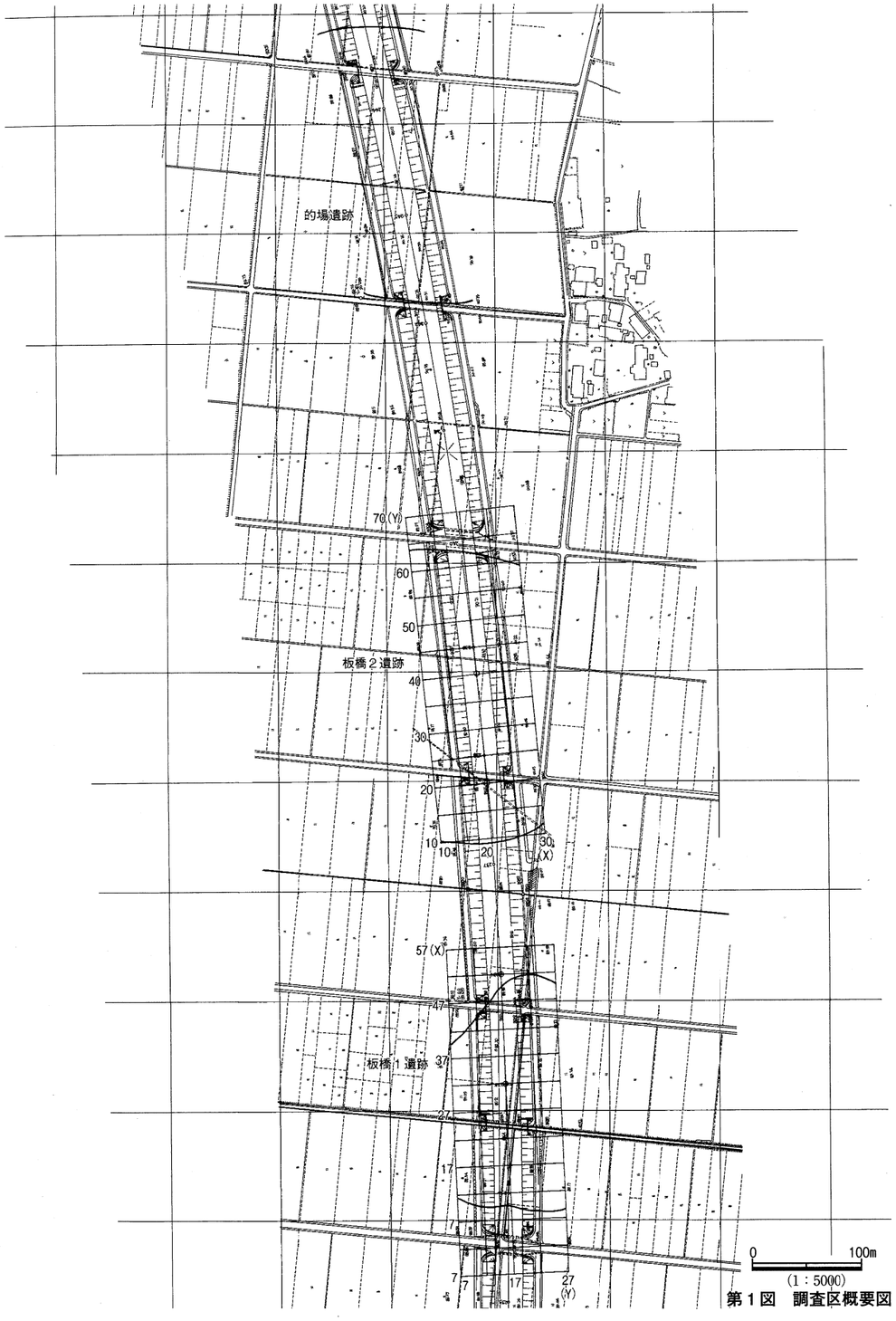
## 2　調査の経過と概要

現地調査は、事業実施区域内面積板橋１遺跡 12,300 ㎡、板橋２遺跡 17,540 ㎡を調査対象範囲として実施した。

平成９年度に事業区域内の遺跡範囲や内容・性格などを知る予備調査（第１次調査）を９月 16 日から 12 月１日まで実施した。調査結果については本所刊行『第 60 集東北中央自動車道相馬･尾花沢線関係予備調査報告書（１)』として刊行されている。

板橋１遺跡では平成 10 年は事業実施区域内遺跡範囲全体を４月 14 日から９月 30 日までの期間に２次調査として実施した。板橋２遺跡では平成 10 年４月 12 日から６月 30 日までの期間にＡ・Ｂ・Ｃ区側道部分 7,000 ㎡を対称に２次調査、同年８月３日から 11 月 27 日までの期間にＡ区 3,700 ㎡を対称に３次調査、翌平成 11 年は４月 20 日から７月 16 日までに将来施工部分を除くＢ・Ｃ区 6,000 ㎡を４次調査として実施した。

グリッドは 10 m四方を１単位に設定した。グリットの南北軸は、板橋１遺跡では磁北から東に９°　10′ 傾き、東西軸（Ｘ軸）は西から東に、南北軸（Ｙ軸）は南から北に番号を割り当てた。板橋２遺跡のグリッド南北軸は磁北から５°　45′ 東に傾き、東西軸は（Ｘ軸）は西から東に、南北軸（Ｙ軸）は南から北に番号を割り当てた。




第１図　調査区概要図





# Ⅱ　遺跡の立地と環境

## 1　地理的環境

山形盆地は山形県内のほぼ中心部を占め、県内を縦貫する最上川は、盆地の西寄りを北流している。天童市はこの盆地の中央に位置し、西で最上川と接し、南で山形と接する立谷川扇状地と、北で東根市まで続く乱川扇状地によって囲まれている。

乱川扇状地

立谷川扇状地は、南を流れる高瀬川が形成した扇状地との合成扇状地である。扇頂部は山形市山寺の地蔵堂付近で、扇端部は山形市漆山から天童市清池、八幡山にかけての地域である。

乱川扇状地は、白水川、村山野川、乱川、押切川などの河川による複合扇状地である。扇頂部は関山付近、扇端部は長瀞から成生にかけての地域で、半径約 11km に及ぶ大規模な扇状地であり、天童市域の北半部を占める。扇端部の高木、成生、大清水などには著名な湧泉があり、その豊富な水源を利用して、古くから人々の生活と密接にかかわっていたと考えられる。

また、最上川に接し立谷川・乱川の両扇状地に囲まれた平野の三角形状の地域は、天童低地と呼ばれる後背湿地である。最上川の氾濫原は、幅 0.5 ～ 1 km ほどで、その右岸に立地する寺津から藤内新田、蔵増に至る帯状の地域は、付近より若干高い自然堤防となっている。

扇状地先端部

蛇行した小河川

板橋１遺跡、板橋２遺跡は乱川扇状地扇端部に位置している。かつて周囲は乱川、押切川や倉津川の本流や支流が蛇行していたと思われ、両遺跡の調査区からも蛇行した小河川が検出された。

この地域の土壌は、細粒～中粗粒グライ土壌が主体で、水田耕作の土地利用が図られている。遺跡の表層は、シルトあるいは粘土の土質によって形成され、住居跡などの遺構が検出される確認面となっているが、大半がグライ化し、その基盤は礫および砂層から成り立っている。

## 2　歴史的環境

天童市内の縄文時代の遺跡は、山麓部と扇状地要部には縄文時代早期より見られるが、扇央部、扇端部には数箇所点在する程度である。

弥生時代の遺跡は地蔵池Ｂ遺跡、塚野目Ａ遺跡など扇状地扇端部の湧水地に散見される。

古墳時代になると遺跡数は増大し、扇端部の微高地に集中して見られるようになり、低湿地を耕地として開拓したと推測される。板橋２遺跡の他、的場遺跡や蔵増押切遺跡、願正壇遺跡、国指定史跡西沼田遺跡などが見られる。また、火矢塚古墳や遠矢塚古墳といった古墳が立谷川扇状地には分布しているが、乱川扇状地には見られないのは興味深い。

国指定史跡
西沼田遺跡

平安時代に入ると集落は広く分布し、的場遺跡から寺院を髣髴させる遺構・遺物が出土するなど、成生地区の発展も目立つ。後期に入ると市域はほぼ全域が成生荘として立荘される。

（国土地理院発行2万5千分の1地形図「山形北部」「寒河江」を使用

第２図　遺跡位置図（Ｓ＝１：50,000）

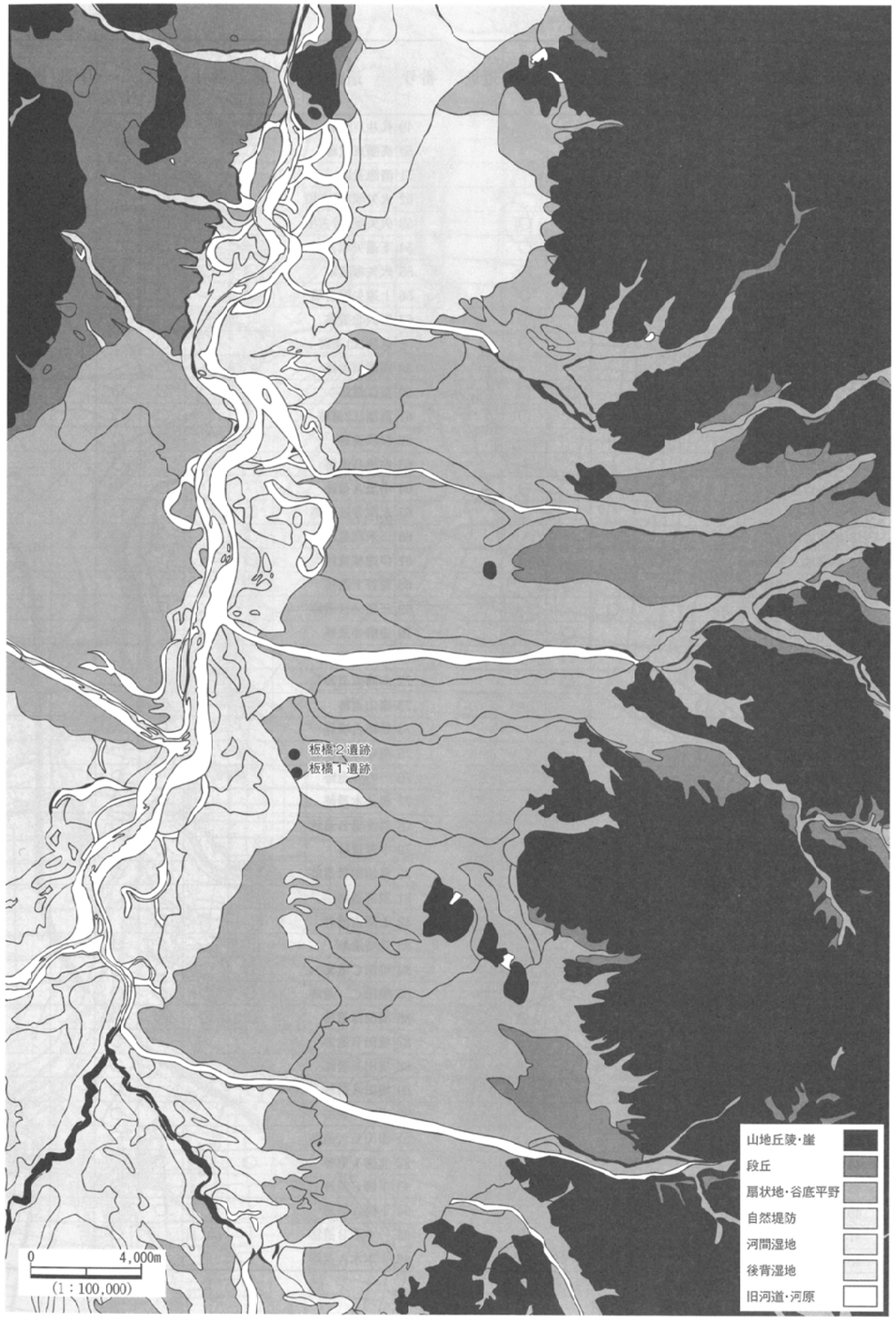




**表１　遺跡位置図遺跡一覧表**

| 番号 | 遺跡名 | 縄文 | 弥生 | 古墳 | 奈良・平安 | 中世 | 近世 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 板橋1遺跡 | ○ | | ○ | ○ | | |
| 2 | 板橋2遺跡 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 3 | 的場遺跡 | | | ○ | ○ | | |
| 4 | 不動木遺跡 | | | | ○ | | |
| 5 | 溝延館跡 | | | | | ○ | |
| 6 | 新田館跡 | | | | | ○ | |
| 7 | 本楯城跡 | | | | | ○ | |
| 8 | 蔵増北Ｂ遺跡 | | | | ○ | ○ | |
| 9 | 蔵増北Ａ遺跡 | | | | | ○ | |
| 10 | 蔵増城跡 | | | | | ○ | |
| 11 | 後藤原遺跡 | ○ | | | | | |
| 12 | 二階堂氏屋敷跡 | | | | ○ | ○ | |
| 13 | 一楽壇 | | | | | ○ | |
| 14 | 瓜小屋遺跡 | | ○ | | | | |
| 15 | 熊野堂前遺跡 | | ○ | | | | |
| 16 | 金谷遺跡 | | ○ | | | ○ | |
| 17 | 成生楯跡 | | | | | ○ | |
| 18 | 成生古墳 | | | ○ | | | |
| 19 | 地蔵池Ａ遺跡 | | ○ | | | | |
| 20 | 地蔵池Ｂ遺跡 | | | | ○ | | |
| 21 | 高木原口遺跡 | | | ○ | | | |
| 22 | 高木石田遺跡 | ○ | | | ○ | | |
| 23 | 北畑遺跡 | | | | ○ | | |
| 24 | 押切遺跡 | | | | ○ | | |
| 25 | 柏木遺跡 | ○ | | | | | |
| 26 | 糠塚遺跡 | ○ | | | | | |
| 27 | 綿掛Ｂ遺跡 | ○ | ○ | | | | |
| 28 | 蔵増押切遺跡 | | | ○ | ○ | | |
| 29 | 西沼田遺跡 | | | ○ | | | |
| 30 | 願正壇遺跡 | ○ | | ○ | | | |
| 31 | 糠野目遺跡 | | | | ○ | | |
| 32 | 鍬ノ町遺跡 | ○ | | | | | |
| 33 | 矢口遺跡 | ○ | | | | | |
| 34 | 沼田遺跡 | ○ | | | | | |
| 35 | 塚野目Ａ遺跡 | | ○ | ○ | ○ | | |
| 36 | 塚野目Ｂ遺跡 | | | | ○ | | |
| 37 | 中原遺跡 | | | | ○ | | |
| 38 | 寺津城跡 | | | | | ○ | |
| 39 | 三軒屋物見台遺跡 | | | ○ | | | |
| 40 | 中袋遺跡 | | | | ○ | | |
| 41 | 砂子田遺跡 | ○ | | | | | |
| 42 | 高擂西浦遺跡 | ○ | | | | | |
| 43 | 高擂城跡 | | | | | ○ | ○ |
| 44 | 西館遺跡 | ○ | | | | | |
| 45 | 高擂南浦遺跡 | ○ | | | ○ | | |
| 46 | 高擂東浦遺跡 | | | | ○ | | |
| 47 | 礼井戸条里遺跡 | | | | ○ | ○ | |
| 48 | 平段遺跡 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 49 | 礼井戸遺跡 | ○ | | | | | |
| 50 | 高擂東遺跡 | | | | ○ | | |
| 51 | 清池遺跡 | | | | ○ | | |
| 52 | 火矢塚2号古墳 | | | ○ | | | |
| 53 | 火矢塚1号古墳 | | | ○ | | | |
| 54 | 下遠矢塚古墳 | | | ○ | | | |
| 55 | 火矢塚遺跡 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 56 | 上遠矢塚古墳 | | | ○ | | | |
| 57 | 影沢北遺跡 | | | | ○ | | |
| 58 | 菖蒲江1遺跡 | | | ○ | | | |
| 59 | 高擂南遺跡 | | | ○ | | | |
| 60 | 桜江遺跡 | | | ○ | ○ | | |
| 61 | 菖蒲江2遺跡 | | | ○ | ○ | | |
| 62 | 桜段遺跡 | | | ○ | ○ | | |
| 63 | 中里Ｂ遺跡 | | | | ○ | | |
| 64 | 中里Ａ遺跡 | | | ○ | | | |
| 65 | 永源寺跡遺跡 | ○ | | | ○ | ○ | |
| 66 | 三千段遺跡 | ○ | | | ○ | | |
| 67 | 伊達城遺跡 | ○ | | | | | |
| 68 | 荒谷下遺跡 | ○ | | | | | |
| 69 | 三条ノ目遺跡 | | | ○ | | | |
| 70 | 達磨寺遺跡 | | | | ○ | | |
| 71 | 渋江遺跡 | | | | ○ | | |
| 72 | 向河原遺跡 | | | | ○ | | |
| 73 | 漆山遺跡 | | | ○ | ○ | | |
| 74 | 柴崎古墳群 | | | ○ | | | |
| 75 | 衛守塚古墳群 | | | ○ | | | |
| 76 | 一の坪遺跡 | | | | ○ | | |
| 77 | 梅ノ木遺跡 | | | ○ | ○ | | |
| 78 | 馬洗場Ｂ遺跡 | | | | ○ | | |
| 79 | 中野遺跡 | | | ○ | | | |
| 80 | 藤治屋敷遺跡 | | | | ○ | | |
| 81 | 服部遺跡 | | | | ○ | | |
| 82 | 七浦古墳群 | | | ○ | | | |
| 83 | 見崎遺跡 | | | | ○ | | |
| 84 | 境田Ｃ遺跡 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 85 | 境田Ｃ’遺跡 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 86 | 境田Ｄ遺跡 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 87 | 境田Ｂ遺跡 | | | | ○ | | |
| 88 | 境田Ｅ遺跡 | | | | ○ | | |
| 89 | 境田Ａ遺跡 | | | | ○ | | |
| 90 | 大明神遺跡 | | | | ○ | | |
| 91 | 漆山長者遺跡 | | | | ○ | | |
| 92 | 北柳１遺跡 | ○ | ○ | ○ | | | |
| 93 | 下柳Ｃ遺跡 | | | | ○ | | |
| 94 | 下柳Ａ遺跡 | | | ○ | | | |
| 95 | 一本木Ｂ遺跡 | | | | ○ | | |
| 96 | 一本木Ａ遺跡 | | | | ○ | | |

※　29　西沼田遺跡は国指定史跡。








# Ⅲ　遺跡の概要

## 1　遺跡の層序

板橋１遺跡、板橋２遺跡は扇状地の扇端部に立地し、両遺跡調査区内にも東西方向に河川跡が走っていたことが調査で判明した。遺跡の調査区の土層の堆積は安定していた。

両遺跡とも、昭和40年代にこの地域で実施された圃場整備により、大きく層位の改変を受けている。板橋２遺跡では農業用導水路が調査区を横切り、遺構を大きく破壊していた。

板橋１遺跡、板橋２遺跡の基本層序（第44図）は共通しており、Ⅰ層が耕作土で、Ⅱ層は圃場整備で動かされた層、Ⅲ、Ⅳ層はⅡ層と地山層が混じった層である。

## 2　板橋１遺跡の遺構と遺物の分布

今回の板橋１遺跡の発掘調査は12,300㎡を対象とした。遺構・遺物とも分布には非常に偏りが見られた。調査区は農道により６つに分割されていることから、北東から南西に順次、A、B、C、D、E、F区と呼称した。

遺跡全体は圃場整備により激しく削平を受け、遺構検出作業は難航を極めた。E区南半、F区は扇状地扇端部から河間低地への落ち込みとなっていた。

また、C、A、B、D区を小河川が蛇行した跡が検出された。河川跡の堆積土中からは古墳時代の遺物が比較的良好な状況で出土した。また、堆積土の下層からは縄文時代中期の摩耗した土器がクルミやトチの実と共に出土し、河川上流に縄文時代の遺跡があると推測される。

D区では縄文時代後期の遺構・遺物が検出された。E区から縄文時代中期の遺物が出土したが、土層が激しくグライ化していたために遺構は検出することができなかった。

## 3　板橋２遺跡の遺構と遺物の分布

今回の板橋２遺跡の発掘調査は事業範囲内17,540㎡のうち将来施工部分を除外した部分を対象とした。全体的に、圃場整備による削平を受け、A区を斜めに横断するように農業用導水路工事により撹乱を受けていた。

調査区は農道と農業用水路で３つに分割されていたことから南からA、B、C区と呼称した。

A区からは河川跡が検出され、堆積土下層からは古墳時代の遺物が大量に出土した。また、上層からは平安時代の遺物も出土したことから、河川跡は平安時代まで湿地として存続したと思われる。河川の北側には河川に沿うように古墳時代の集落跡が広がっていた。また、B区北からC区は遺構・遺物とも分布は希薄だった。特に、第２次調査時にC区北側からの遺構・遺物の検出・出土が皆無に近かったため、第４次調査ではC区北側を調査除外地区とした。

# Ⅳ　板橋１遺跡

## １　検出された遺構

今回の調査では縄文時代の竪穴住居址、古墳時代に形成された河川跡などが検出された。詳しい遺構配置は別添図１に掲載した。

## ２　竪穴住居跡

今回の調査では竪穴住居址は１棟のみ検出された。以下にその概略を述べる。

**ＳＴ 304 竪穴住居跡（第４図）**

調査区Ｄ区北側、39 － 17 Ｇに位置する。平面形はやや歪んだ円形である。覆土はグライ化し、

石囲い炉　中央には石をほぼ円形かつトグロ状に一部重複した配石の石囲い炉が検出された。住居跡内外からは柱穴や他に施設は検出できなかった。出土遺物を見ると、土器は小型の壷１点、石器は石鏃と石篦の２点のみであった。いずれも壁際の床面から出土している。また、炉内からは大

年代測定　量の炭化物が出土し、その年代測定を業務委託した。結果については付編に掲載した。遺物の

後期後葉　特徴から、この竪穴住居跡は、縄文時代後期後葉の時期と想定される。

## ３　河川跡

今回の調査では河川跡が１本検出された。以下にその河川跡と出土した遺物の概略を述べる。

**ＳＧ１河川跡（第５、６、７、８図）**

調査区Ｃ、Ａ、Ｂ、Ｄ区に位置する。河川跡は東から西に、大きく蛇行している。Ｄ区に入ると河川は幅が大きく広がる。土層断面の堆積状況を観察すると数時期の堆積が想定できる。

大木９と大洞Ａ　下層の礫層からは磨耗した縄文土器が多数出土した。土器形式の殆どは大木９と大洞Ａである。接合する固体はほぼ皆無で、磨耗している土器がほとんどであり、これらは上流からの流れ込みと思われる。出土した晩期の土器は天童市にある砂子田遺跡から出土している晩期の土

クルミやトチ　器群とほぼ同時期とみられる。また、これら縄文土器とともにクルミやトチの実も多量に出土した。クルミのほとんどにはげっ歯類が噛んで中身を食べたとみられる痕跡を観察できた。

古墳時代中期　中層は腐植土層で、古墳時代中期の土器と木製品が出土した。依存状態が良好であることや傍に古墳時代前～中期を中心とした板橋２遺跡が存在することから、遺物は直接当所で投棄された可能性が高いと考えられる。土師器は、大型の壷１点と、小型の壷２点、鉢形の坏部を持つ高杯１点である。第７図 10 壷は外面と内面口縁部が赤彩してある。また底部は箆状の用具

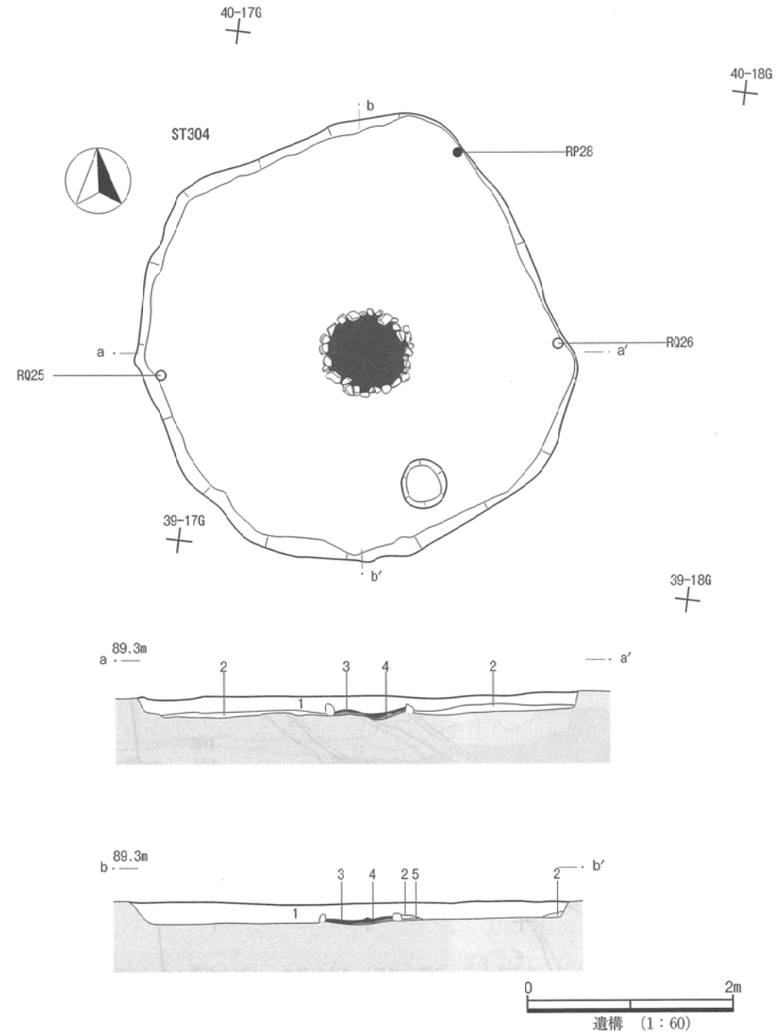
槽と田下駄　で削り、丸みを出している。木製品では槽が特筆すべき存在である。また、田下駄は鼻緒を通す穴が３箇所開いているほか、踵部分に５cm × 3 cm ほどの方形の穴が開いている。

上層も腐植土層であった。平安時代９世紀ごろの須恵器坏が２点出土した。

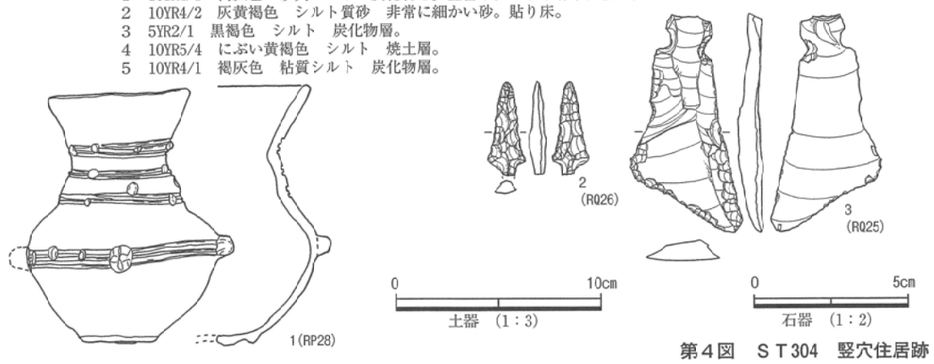
以上のことから、この河川は古墳時代中期頃から堆積が進み、平安時代には小河川または湿地に変わったと思われる。



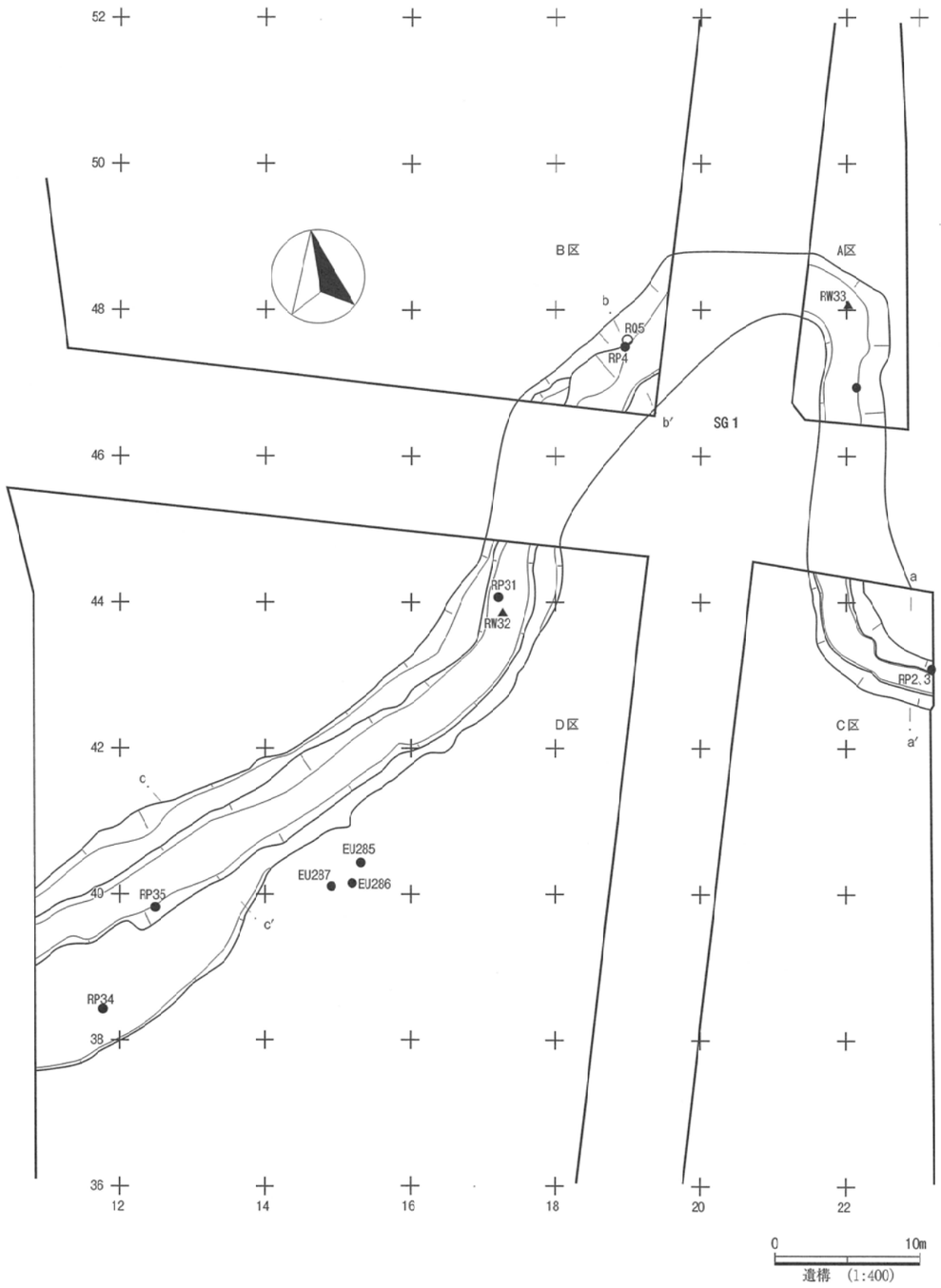





ST304土層注記
1　10YR4/1　褐灰色　砂質シルト　炭化物を少量含む。しまり有り。覆土。
2　10YR4/2　灰黄褐色　シルト質砂　非常に細かい砂。貼り床。
3　5YR2/1　黒褐色　シルト　炭化物層。
4　10YR5/4　にぶい黄褐色　シルト　焼土層。
5　10YR4/1　褐灰色　粘質シルト　炭化物層。



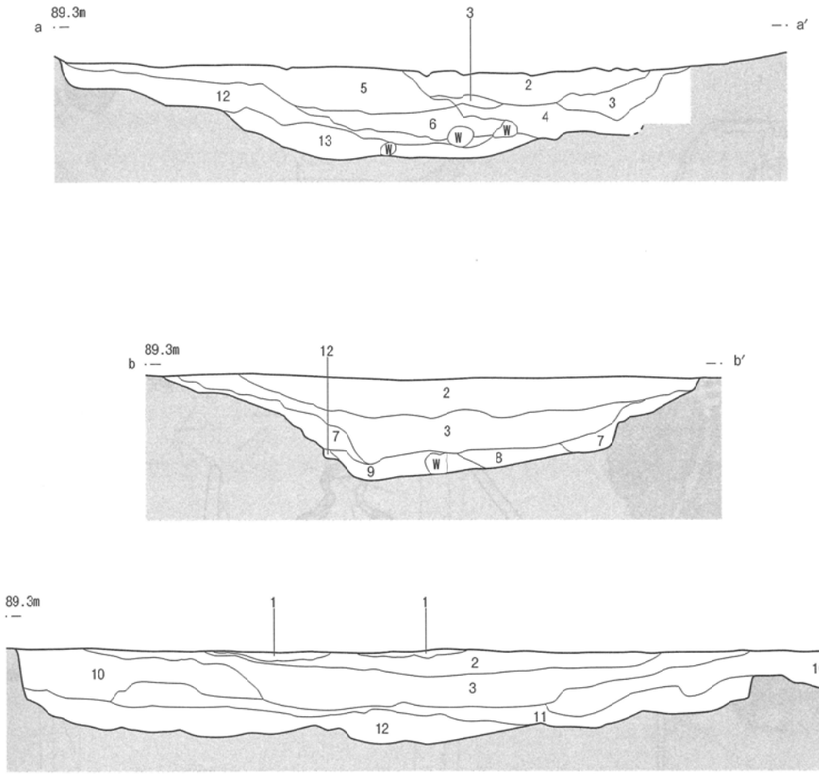

第４図　ＳＴ304　竪穴住居跡




第５図　ＳＧ１　河川跡平面図



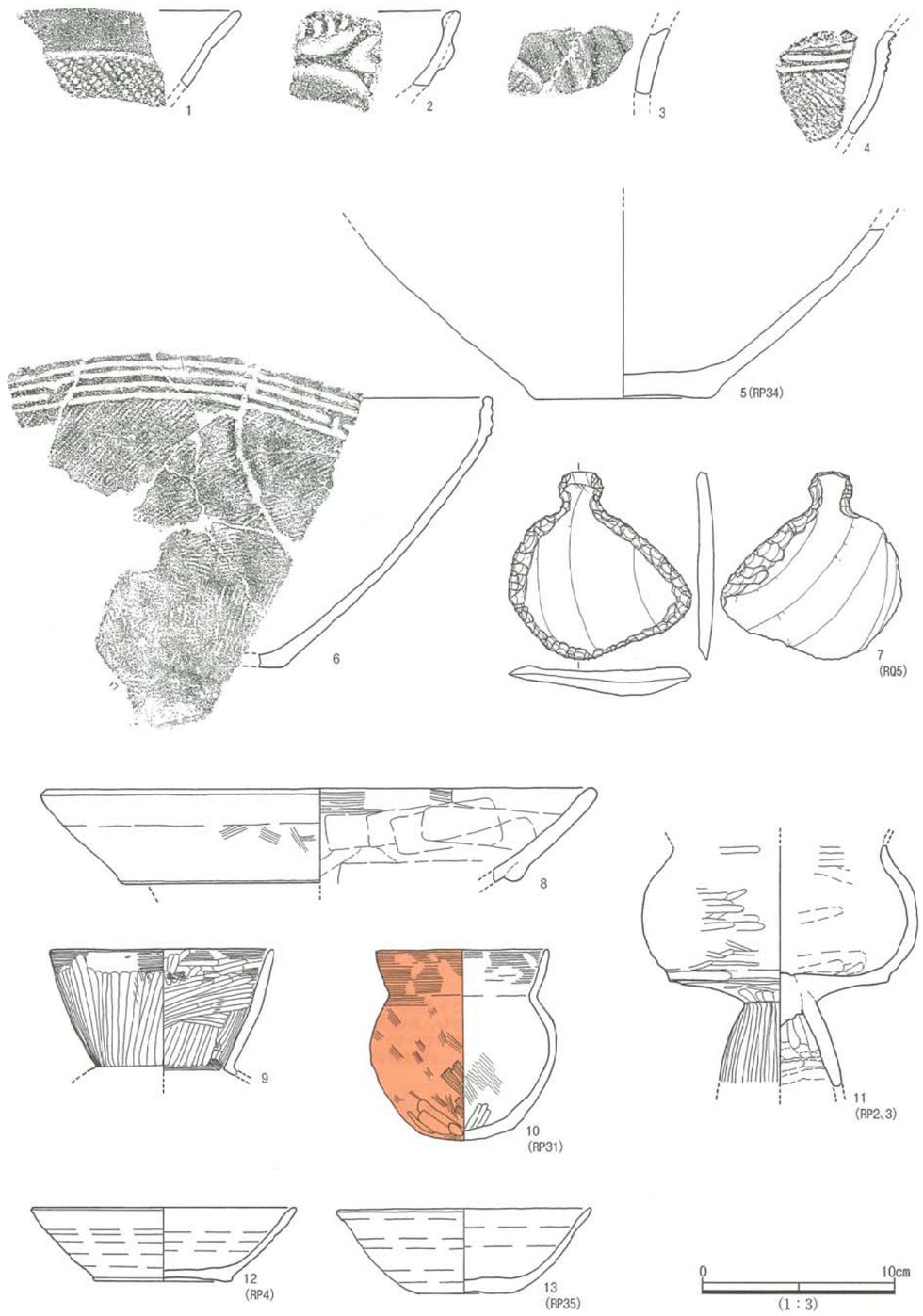





SG1土層断面
1　10YR2/1　黒色粘質シルト　10YR4/2灰黄褐色シルト質砂をブロック状に含む。後世の攪乱。しまり有り。
2　10YR2/1　黒色腐植土　植物を含む。泥炭。須恵器坏(RP4)出土。しまり無し。ややシルト化。
3　7.5YR3/1　黒褐色腐植土　しまり無し。泥炭。２層より腐食が進んでいない。しまり無し。水分多い。
4　7.5YR3/2　オリーブ黒色粗砂　ややしまり有り。植物を含む。
5　2.5Y4/1　黄灰シルト質砂　やや粘性有り。植物と炭化物を含む。
6　10YR3/3　暗褐色腐植土　植物の腐食が進み、ほぼシルト化。植物とトチ、クルミを含む。粘性強。
7　10YR5/1　褐灰色粘土　上位層の土が斑状に混入。炭化物と植物を含む。石匙(RQ5)出土。
8　10YR3/2　黒褐色腐植土　泥炭。植物を含む。１、２層より腐食が進んでいない。しまり無し。
9　7.5YR3/1　黒褐色砂質腐植土　炭化物と大量の植物を含む。１、２、４層より腐食が進んでいない。粒が非常に粗い。しまり無し。
10　7.5YR3/2　黒褐色粘土　上層の植物を含む。ややしまり有り。
11　2.5Y4/1　黄灰色砂礫　植物多く、径１～３cm程の小礫含む。
12　10YR4/1　褐灰色粘質砂　植物と炭化物多くを含む。グライ化。よくしまっている。地山より粒が粗い。
13　10YR3/2　黒褐色腐植土　粘性有り。植物を含む。ほぼシルト化。

0　2m
(1：80)

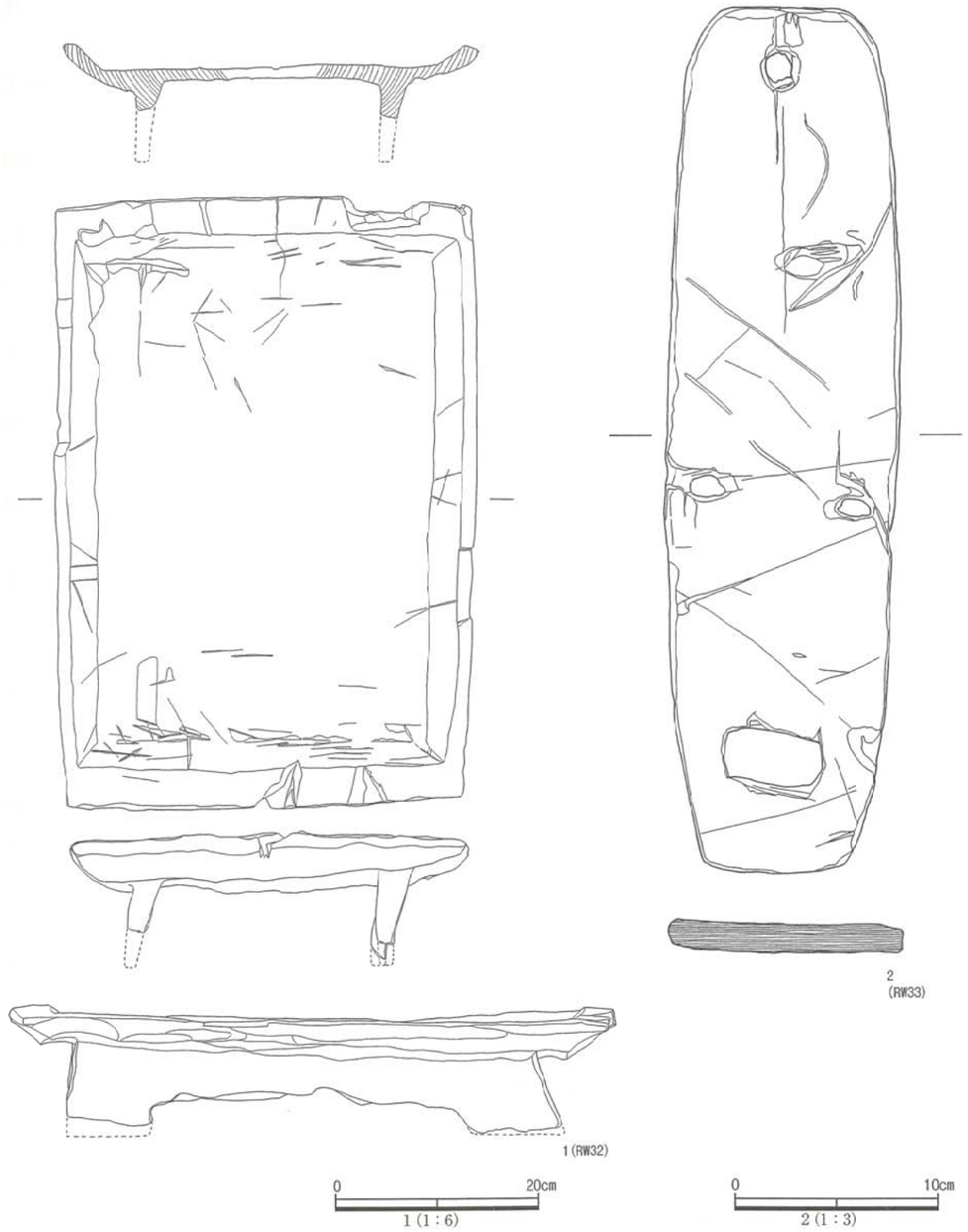
第６図　ＳＧ１　河川跡断面図




第７図　遺物実測図　ＳＧ１河川跡（１）








第８図　遺物実測図　ＳＧ１河川跡（２）

## 4　埋設土器（第９図）

調査区Ｄ区に位置する。ＳＴ304竪穴住居跡の近くで、ＥＵ285、286、287の３箇所確認できた。

ＥＵ285（第９図１）は器高448mmになる大型の深鉢である。体部は無紋で、口縁部に沈線紋と瘤状突起を持つ。また、割れを補修するために２箇所の穿孔が認められる。

ＥＵ286（第９図２）は部分的な破片しか出土しなかったが、深鉢である。外面に櫛歯状工具による条線紋が施されている。また、外面に煤状の付着物が見られる。

ＥＵ287（第９図３、４）も部分的破片しか出土しなかったが、深鉢が２点である。第９図３は無紋であるが、第９図４には条線紋がわずかに確認でき、別固体である。

後期後葉　いずれも縄文時代後期後葉の時期と見られ、ＳＴ304竪穴住居跡とほぼ同時期と想定できる。

## 5　その他の遺構と出土遺物（第10～14図）

後期後葉　Ｄ区からは遺構外からも、ＳＴ304竪穴住居跡と同時期である縄文時代後期後葉と見られる土器が出土している。

第11図１は後期後葉の小型壷で、沈線の上に押圧がある瘤状突起が見られる。ＳＴ304竪穴住居跡出土の小型壺よりわずかに法量が小さいが、きわめて類似した特徴を備えている。

第11図２は晩期と見られる広口の小型壷で横方向の平行沈線が施され、口縁部は縄文が消され、刻目が施されている。

第11図３は後期後葉の深鉢で、入り組み文様と区画内に条線文が施されており、特徴的な瘤状突起も確認できる。

大木７式　Ｅ区からは中期前葉、大木７式に併行すると見られる土器が比較的まとまって出土している。しかし、遺物の出土層はグライ化した砂層からすべて出土しており、遺構を検出することはできなかった。ただし、各土器がまとまって出土していることから、遺構が存在したことは推定される。

第10図１は大木７式に併行すると思われる深鉢で、口縁部に二重沈線を３段に施し、その間に棒状器具で連続して縦方向の刺突を施している。また、４単位で縦方向の隆帯を貼り付けている。隆帯状と頸部にはＬＲ原体による押圧文が連続して施されている。

第10図２、３、５は同一個体ではないが、胎土、文様が非常に似通っている。大木７式と併行する関係に収まると考えられる。いずれも体部上部に斜め方向の隆帯と刻目を多用し、縦方向にＬＲ結節縄文が施されている。

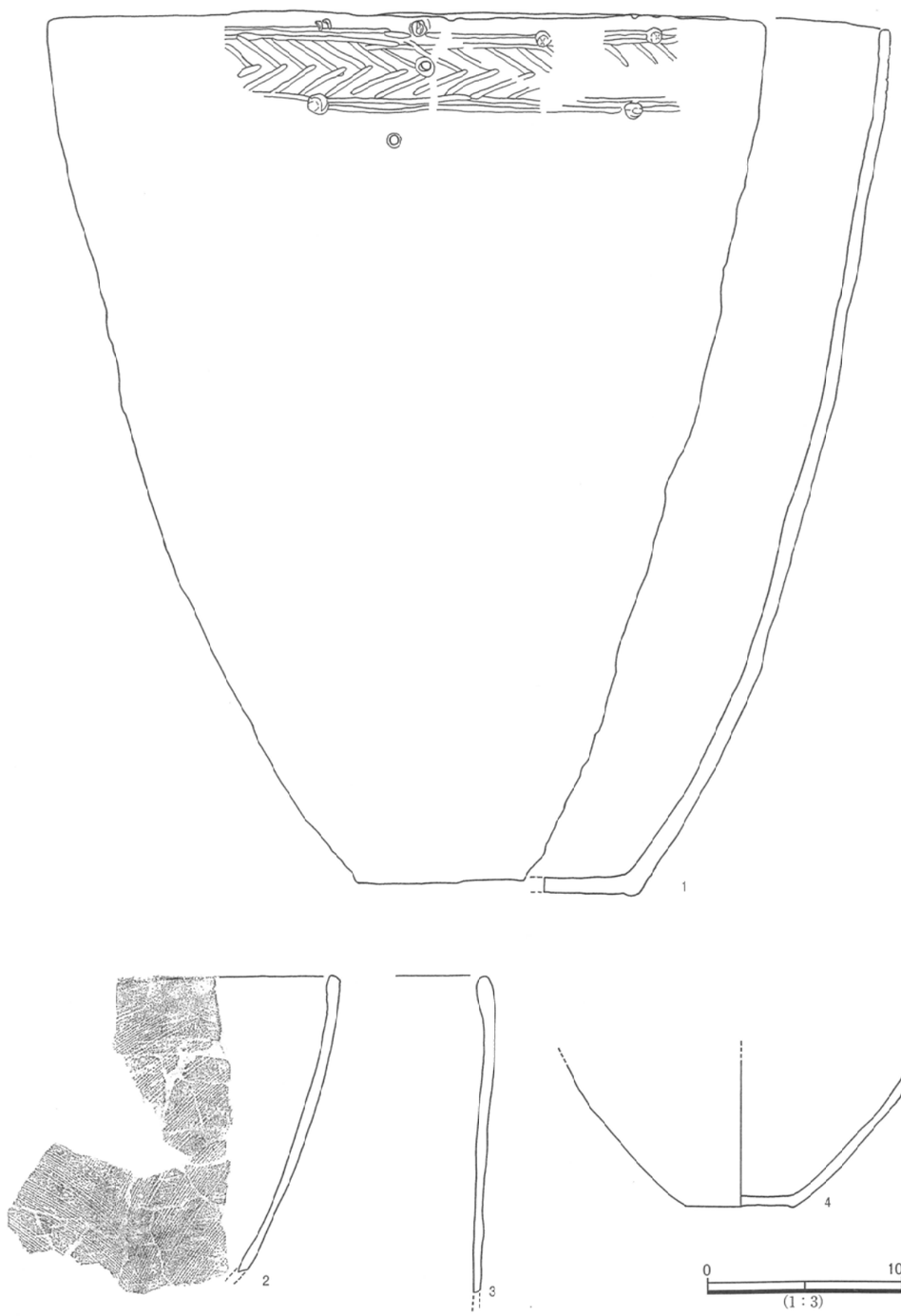
第10図４、６、７も同一個体ではないが、やはり、胎土、文様が似通っている。これらも

中期前葉　同時期の中期前葉のものと思われるが、前記のグループと比べ、文様と胎土に差異が見られる。口縁部に隆帯が横方向に２本見られ、その間に縦方向の刻目状の条線を施している。

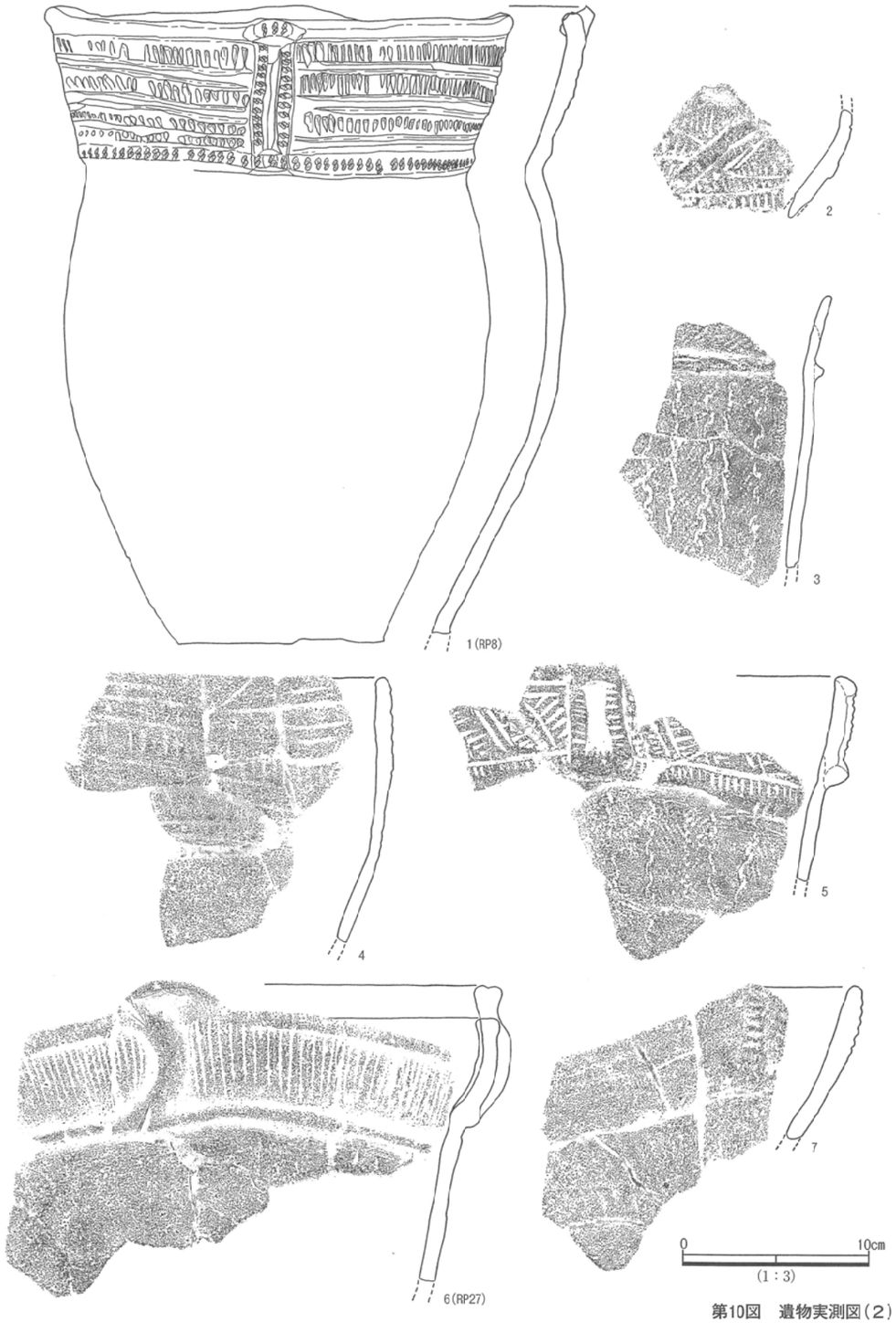
第11図４～16、第12図、第13図は殆どＤ、Ｅ区出土の石器・石製品である。第11図８、10、第12図７、第13図５がＤ区、第11図11がＦ区で、残りがＥ区出土である。土器の時期はＤ区は後期後葉、Ｅ区は中期前葉とまとまっているので、石器も同様にＤ区出土は後期後葉、Ｅ区出土は中期前葉の時期と想定される。第13図７は長さ80センチを超える石棒である。２







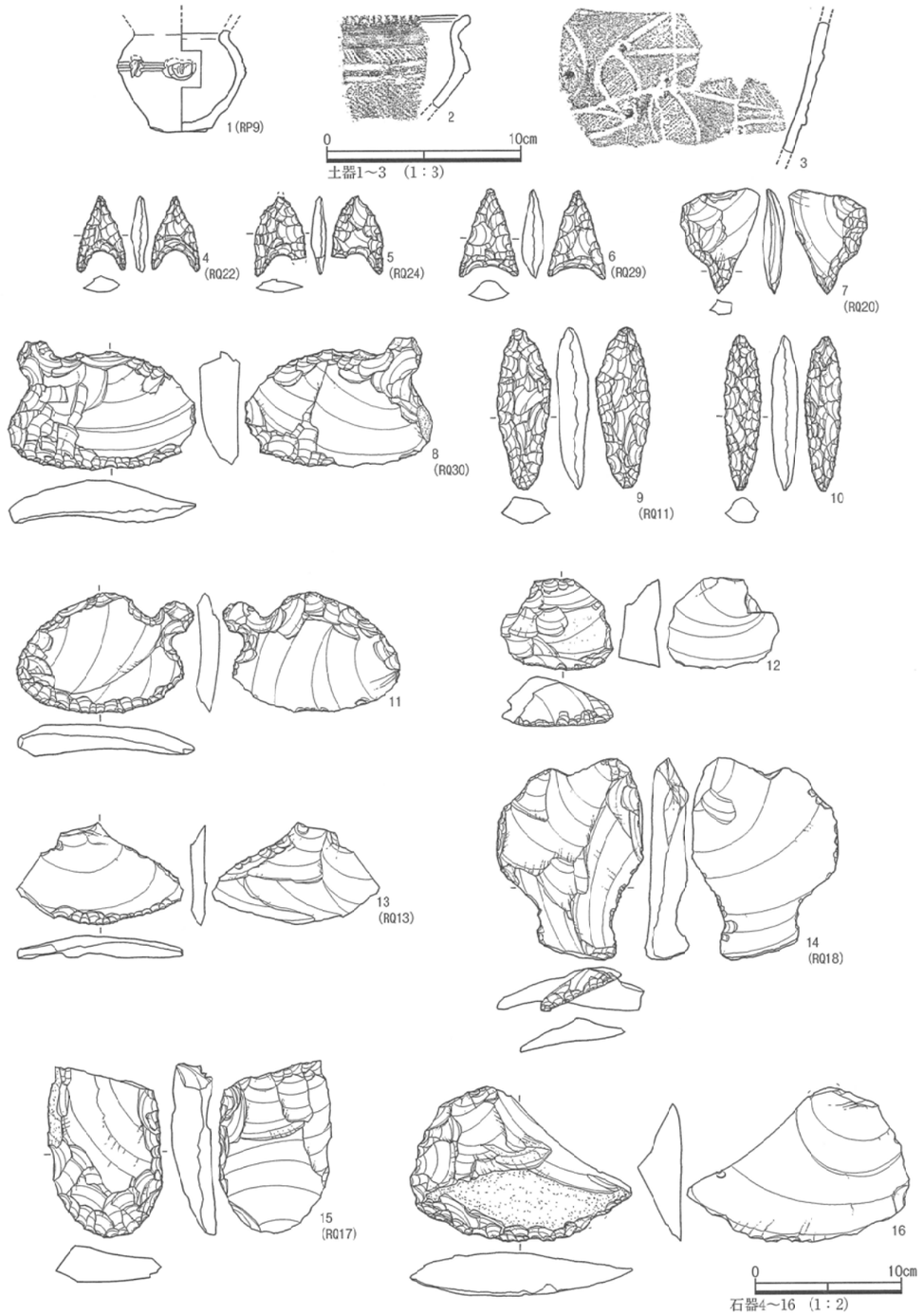

第９図　遺物実測図（１）



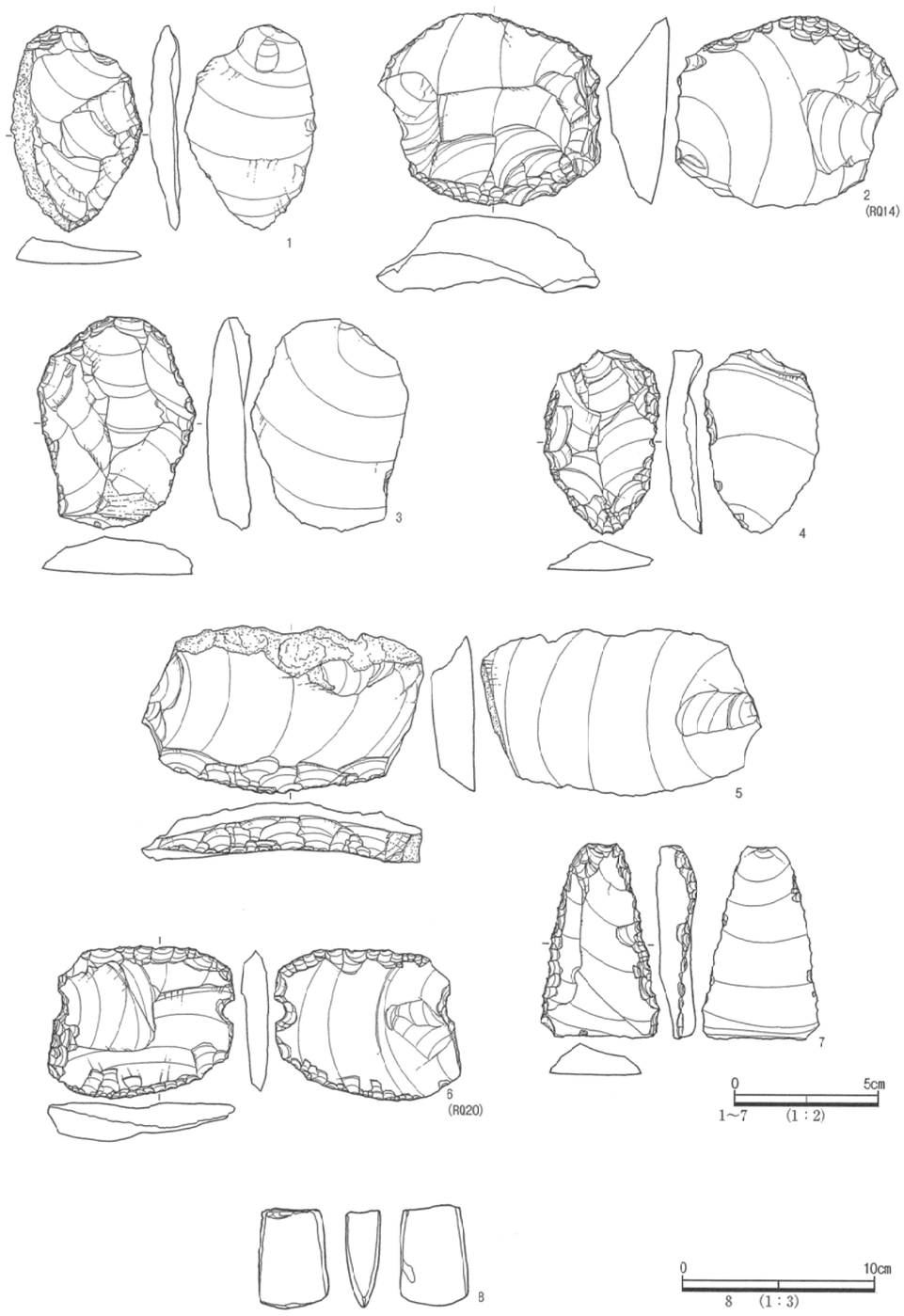

第10図　遺物実測図（２）







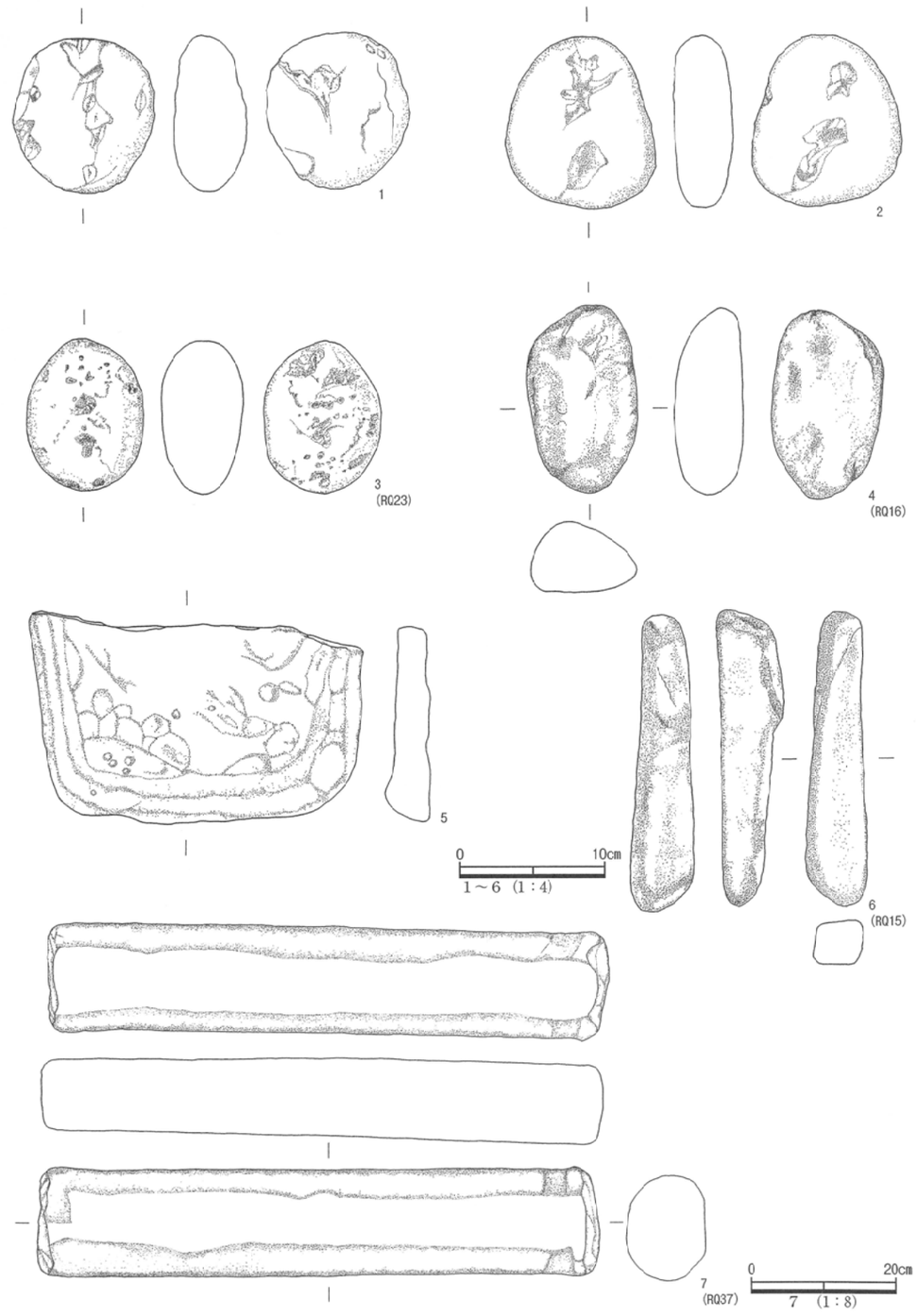

第11図　遺物実測図（３）




第12図　遺物実測図（４）








第13図　遺物実測図（５）

面が磨かれて平坦化し、断面は楕円形を呈している。第13図４、６はすり石で、５は石皿である。

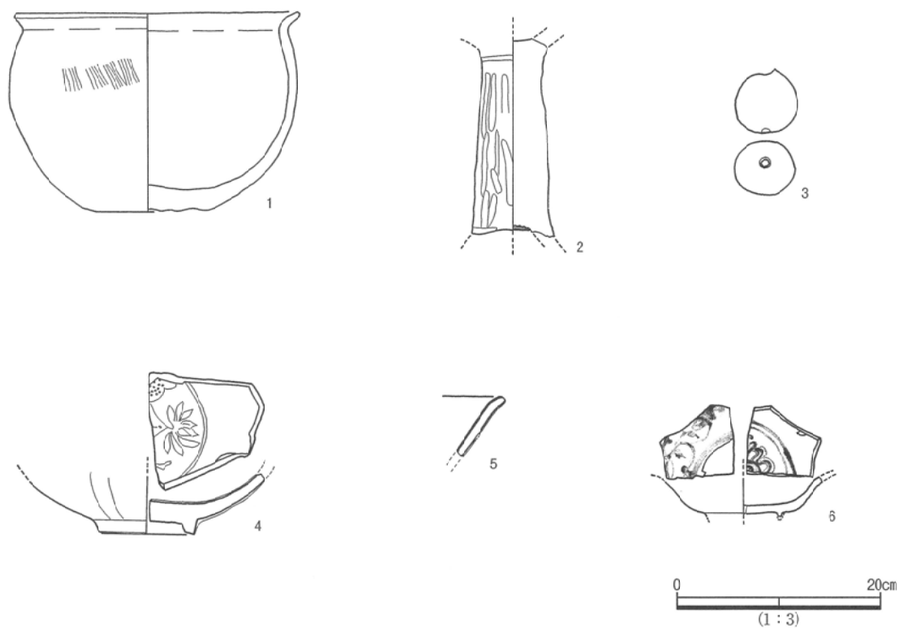
第14図は縄文時代以降の遺構外から出土した遺物である。１は古墳時代中期の鉢、２は古墳時代前期の高杯脚部、３は時代不明の土錘である。中世の遺物は４、５の龍泉窯産青磁碗、６は景徳鎮産の青花皿が出土した。

## 6　まとめ

板橋１遺跡は、乱川扇状地の扇端部に位置し、調査区Ｅ、Ｆ区南側は河間低地である。また、遺跡は昭和40年代に実施された圃場整備により大きく削平され、遺物の出土量も少なかった。

検出された主な遺構は縄文時代後期後葉の竪穴住居跡と埋設土器のほか、縄文時代中期、晩期、古墳時代中期、平安時代前期の遺物を包含する河川跡である。河川跡の縄文土器は上流からの流れ込みとみられ、河川は古墳時代～平安時代に存在したと思われる。ただし、古墳時代、平安時代に人々がここで生活していた痕跡は発見できなかった。また、極度にグライ化した地山層から縄文時代中期前葉の遺物がまとまって出土している。遺構は確認できながったが、遺物は当地に直接投棄または廃棄されたものであると見られる。

後期後葉




第14図　遺物実測図（６）





### 表２　板橋１遺跡出土土器観察表

※遺物観察表中の実測値の単位は全てmmであり、括弧内の数値は図上復元による推定値及び欠損による残存値を示す。

| 挿図 | 図版 | グリッド | 遺構番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 胴径 | 底径 | 器高 | 調整特徴 | 底部技法 | 備考 | 遺物番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 1 | 13 6 | 39 17 | ST 304 | 縄文 | 壷 | 68 | 100 | 37 | 120 | 沈線瘤状突起 | | 後期後葉 | ＲＰ28 |
| 7 1 | | 40 13 | SG 1 | 縄文 | 浅鉢 | | | | | RL | | 大木9 | |
| 7 2 | | 40 13 | SG 1 | 縄文 | 深鉢 | | | | | 隆帯竹管紋 | | | |
| 7 3 | | 40 13 | SG 1 | 縄文 | 深鉢 | | | | | LR | | 大木9 | |
| 7 4 | | 40 13 | SG 1 | 縄文 | 深鉢 | | | | | 半隆帯RL | | 使用痕　外面付着物 | |
| 7 5 | | 38 11 | SG 1 | 縄文 | 深鉢 | | | 96 | | | | | ＲＰ34 |
| 7 6 | | 37 11 | SG 1 | 縄文 | 鉢 | 15 | | | 14 | 工字状紋RL | | | |
| 7 8 | | 43 21 | SG 20 | 土師器 | 壷 | 28 | | | | 内外ハケ目ヘラナデ | | | |
| 7 9 | 15 3 | 43 22 | SG 20 | 土師器 | 壷 | 117 | | | (65) | 内ハケメ外ハケ目ミガキ | | | |
| 7 10 | | 44 17 | SG 1 | 土師器 | 壷 | 90 | | | 99 | 外面ハケ目ナデケズリ赤彩　内面ミガキナデ口縁部赤彩 | 平底ケズリ丸底 | 使用痕付着物 | ＲＰ31 |
| 7 11 | 15 2 | 44 25 | SG 1 | 土師器 | 高坏 | (111) | | | (126) | 内外ミガキ | | 緻密焼斑　内外焼斑 | ＲＰ2、3 |
| 7 12 | | 47 18 | SG 1 | 須恵器 | 坏 | (136) | | 72 | 38 | 内外ナデ | | 外面指痕　内面付着物 | ＲＰ4 |
| 7 13 | | 39 12 | SG 1 | 須恵器 | 坏 | (134) | | 48 | (44) | 底部回転糸切り | 回転糸切 | 内外焼斑　使用痕　外面墨だれ | ＲＰ35 |
| 9 1 | 13 2 | | EU 285 | 縄文 | 深鉢 | 371 | | 85 | 448 | 沈線紋瘤状突起 | | 体部上部補修孔４つ | |
| 9 2 | | | EU 286 | 縄文 | 鉢 | | | | | 櫛歯状工具条線紋（12本単位） | | 海綿骨針　使用痕　外面付着物　後期後葉 | |
| 9 3 | | | EU 287-1 | 縄文 | 深鉢 | | | | | 内外無紋 | | 使用痕　外面付着物 | |
| 9 4 | 13 3 | | EU 287-2 | 縄文 | 深鉢 | | | 56 | | 条線紋 | | 使用痕　外面付着物 | |
| 10 1 | 13 1 | 18 21 | SX 1003 | 縄文 | 深鉢 | 252 | | (111) | 335 | 二重沈線棒状押圧刺突紋RL | | 海綿骨針　内外摩耗　大木7b | ＲＰ8 |
| 10 2 | | 19 21 | E区 | 縄文 | 浅鉢 | | | | | 沈線間刻目 | | 大木7b | |
| 10 3 | 13 5 | 18 21 | E区 | 縄文 | 深鉢 | | | | | 縦LR結節 | | 内外摩耗　大木7b　第10図5と同一個体 | |
| 10 4 | | 16 21 | E区 | 縄文 | 深鉢 | | | | | 平行沈線間縦刻目 | | 内外摩耗　大木7b | |
| 10 5 | 13 5 | 17 22 | E区 | 縄文 | 深鉢 | | | | | 隆帯刻目 | | 被熱摩耗　大木7b　第10図3と同一個体 | |
| 10 6 | | 17 22 | E区 | 縄文 | 深鉢 | | | | | 隆帯間条線紋 | | 摩耗　大木7ｂ | |
| 10 7 | 13 4 | 16 21 | E区 | 縄文 | 深鉢 | | | | | 大波状口縁隆帯刻目 | | 被熱摩耗　大木7b | |
| 11 1 | | 40 18 | SX 291 | 縄文 | 壺 | (48) | | (30) | (43) | 沈線瘤状突起 | | 後期 | ＲＰ9 |
| 11 2 | | 45 13 | D区 | 縄文 | 壺 | (11) | | | (57) | RL沈線刻目 | | 使用痕　内面付着物　晩期 | |
| 11 3 | | 40 15 | D区 | 縄文 | 深鉢 | | | | | 入り組み状紋様区画内条線紋 | | 後期後葉 | |
| 12 8 | | | E区 | 石製品 | 磨斧 | | | | | | | 後部折損 | |
| 13 1 | 14 2 | 17 22 | E区 | 石製品 | 凹石 | 長さ 107 | 巾 98 | | 高さ 50 | | | | |
| 13 2 | 14 1 | 17 22 | E区 | 石製品 | 凹石 | 長さ 117 | 巾 102 | | 高さ 40 | | | すり石転用　擦痕、敲打痕 | |
| 13 3 | 14 5 | 17 19 | E区 | 石製品 | 凹石 | 長さ 104 | 巾 81 | | 高さ 57 | | | 敲打痕 | ＲＱ23 |
| 13 4 | 14 6 | 17 19 | E区 | 石製品 | スリ石 | 長さ 128 | 巾 73 | | 高さ 47 | | | 擦痕 | ＲＱ16 |
| 13 5 | 14 7 | 40 13 | D区 | 石製品 | 石皿 | 長さ 23.1 | 巾 14.5 | | 高さ 4.2 | | | 割れた後に摩耗 | |
| 13 6 | 14 8 | 17 19 | E区 | 石製品 | スリ石 | 長さ 200.3 | 巾 40.1 | | 高さ 40.2 | | | 擦痕 | ＲＱ15 |
| 13 7 | 14 20 | 19 20 | E区 | 石製品 | 石棒 | 長さ 578 | 巾 112 | | 高さ 81 | | | | ＲＱ37 |
| 14 1 | 15 1 | 47 17 | D区 | 土師器 | 鉢 | 138 | | 55 | 98 | 内ナデ外ハケメ | 輪台ケズリ | 使用痕 外面付着物 | |
| 14 2 | 15 4 | | A区 | 土師器 | 高坏 | | 39 | | (97) | 内ハケメ外ミガキ | | 器内黒色化 | |
| 14 3 | 15 8 | 39 11 | D区 | 土製品 | 土錘 | 長さ 31 | 巾 30 | | 高さ 25 | 貫通孔あり | | 時代不明 | |
| 14 4 | 15 9 | | F区 | 陶磁器 | 碗 | | | 45 | | 内面蓮の印刻 | | 青磁，龍泉窯 | |
| 14 5 | | | E区 | 陶磁器 | 碗 | | | | | | | 青磁，龍泉窯 | |
| 14 6 | 15 7 | 16 20 | E区 | 陶磁器 | 皿 | 80 | | (37) | (18) | | | 青花 | |

### 表３　板橋１遺跡出土木製品観察表

※遺物観察表中の実測値の単位は全てmmであり、括弧内の数値は図上復元による推定値及び欠損による残存値を示す。

| 挿図 | 図版 | 遺構 | グリッド | 遺物番号 | 大項目 | 中項目 | 小項目 | 長さ | 幅 | 高さ | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8　1 | 15　5 | SG1 | | RW　32 | 容器 | 剝物 | 槽 | 600.0 | 400.0 | 30.0 | |
| 8　2 | 15　6 | SG1 | | RW　33 | 農具 | | 田下駄 | 425.0 | 115.0 | 15.0 | 鼻緒3穴、大穴1 |

### 表４　板橋１遺跡出土石器観察表

| 挿図 | 図版 | RQ | グリッド | 遺構 | 器種 | 石材 | 刃部属性 | 成形加工 | 素材形態 | 素材技術 | 素材打面形態 | 長さ | 幅 | 厚さ | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4　2 | 14 16 | 26 | 39-17 | ST304F2 | 有茎鏃 | 瑪瑙 | SP | SP | 剥片 | 不明 | 加工欠 | 30.5 | 12.2 | 5.3 | |
| 4　3 | 14 10 | 25 | 39-17 | ST304F3 | 縦形石匙 | 珪質頁岩 | 素刃 | SP | 縦長剥片 | (SI) | 平坦 | 71.3 | 36.5 | 8.3 | 刃部にマイクロ・フレイキング |
| 7　7 | 14 9 | 5 | 47-18 | SG1 砂層 | 横形石匙 | 珪質頁岩 | SP | SP | 剥片 | 不明 | 加工欠 | 65.3 | 63.6 | 10.3 | |
| 11 4 | 14 17 | 22 | 17-20 | E区 | 凹基鏃 | 珪質頁岩 | SP | SP | 剥片 | 不明 | 加工欠 | 26.3 | 17.2 | 6.1 | |
| 11 5 | 14 18 | 24 | 17-22 | E区 | 凹基鏃 | 珪質頁岩 | SP | SP | 剥片 | 不明 | 加工欠 | 27.1 | 17.8 | 5.4 | |
| 11 6 | 14 19 | 29 | 20-21 | E区 | 凹基鏃 | 珪質頁岩 | SP | SP | 剥片 | 不明 | 加工欠 | 30.6 | 20.5 | 8.0 | |
| 11 7 | | 20 | 16-22 | E区 | 石錐 | 珪質頁岩 | SP | 折取・SP | 剥片 | 不明 | 加工欠 | 36.1 | 27.5 | 7.8 | 側辺を折取り、刃部を形成する面を作っている石錐。 |
| 11 8 | 14 11 | 30 | 34-12 | D区 | 横形石匙 | 珪質頁岩 | SP | 叩折・SI | 横長剥片 | 直接打撃 | 加工欠 | 44.5 | 64.6 | 14.9 | 素材の打面を叩折り、そのあとにソフトハンマーで加工。 |
| 11 9 | | 11 | 17-22 | SK987 E区 | 石箆 | 珪質頁岩 | SP | SI・SP | 剥片 | 不明 | 加工欠 | 55.8 | 18.7 | 11.7 | 先端部に押圧剥離で尖刃を形成する石箆。 |
| 11 10 | 14 15 | | | D区 | 石錐 | 頁岩 | SP | SI | 剥片 | 不明 | 加工欠 | 53.5 | 12.7 | 9.4 | 低倍率顕微鏡で観察の結果、刃部先端に摩耗がみられる。 |
| 11 11 | 14 14 | | 16-13 | F区 | 横形石匙 | 珪質頁岩 | SP | SI | 縦長剥片 | HI | 自然面 | 41.5 | 61.3 | 11.2 | 打面厚3ミリ |
| 11 12 | | | 17-20 | E区 | 素刃掻器 | 珪質頁岩 | 素刃 | nSP | 剥片 | (HI) | 平坦 | 31.5 | 38.6 | 17.2 | 打面厚2.41ミリ |
| 11 13 | 14 12 | 13 | 17-20 | E区 | 横形石匙 | 珪質頁岩 | nSP | 不明 | 横長剥片 | SD | 平坦 | 35.0 | 57.7 | 8.3 | |
| 11 14 | | 18 | 17-19 | E区 | 素刃掻器 | 珪質頁岩 | 素刃 | nSP | 横長剥片 | HD | 切子打面 | 69.8 | 50.6 | 15.3 | 縁辺の剥離面はMF |
| 11 15 | | 17 | 17-19 | E区 | 掻器 | 珪質頁岩 | SP | SI・SP | 縦長剥片 | 不明 | 加工欠 | 59.3 | 39.3 | 14.8 | |
| 11 16 | | | 18-21 | E区 | 掻器 | 珪質頁岩 | (HI) | HI | 横長剥片 | HD | 平坦 | 53.7 | 76.6 | 15.3 | 打面厚6.63ミリ |
| 12 1 | | | 17-22 | E区 | 削器 | 珪質頁岩 | SP | なし | 縦長剥片 | (HI) | 平坦 | 71.2 | 45.7 | 10.7 | 打面厚2ミリ |
| 12 2 | | 14 | 17-20 | E区 | 削器 | 珪質頁岩 | SP | HD | 縦長剥片 | (HI) | 切子打面 | 66.6 | 77.8 | 26.7 | |
| 12 3 | | | 16-22 | E区 | 削器 | 珪質頁岩 | SP | なし | 縦長剥片 | (HI) | 平坦 | 74.0 | 55.3 | 16.0 | 打面厚1.39ミリ |
| 12 4 | 14 13 | | 20-21 | E区 | 尖頭削器 | 珪質頁岩 | SP | 叩折・SI | 縦長剥片 | 不明 | 加工欠 | 63.9 | 40.2 | 12.9 | 円盤状石核から剥離された縦長剥片素材。刃部にマイクロ・フレイキングが顕著。 |
| 12 5 | | | 20-21 | E区 | 削器 | 珪質頁岩 | SP | なし | 縦長剥片 | (HI) | 切子打面 | 58.3 | 98.4 | 20.6 | 打面厚4.22ミリ |
| 12 6 | | 20 | 16-22 | E区 | 抉付削器 | 珪質頁岩 | SP | SI・SP | 縦長剥片 | (HD) | 自然面 | 52.8 | 65.2 | 13.5 | |
| 12 7 | | | 39-11 | D区 | 削器 | 珪質頁岩 | SP | なし | 縦長剥片 | HD | 平坦 | 67.1 | 41.0 | 14.2 | 縁辺に新しい傷が多い |

※剥離技術凡例
　剥離技術は「ハンマー（工具）」の種類と「身振り」の組み合わせで示される。以下に観察表の記号の意味を表記した。なお、観察表の（　）は、推定した剥離技術である。

| | 直接打撃 | 間接打撃 | 押圧剥離 |
|---|---|---|---|
| ハードハンマー | HD | HI | HP |
| 極細ハードハンマー | nHD | nHI | nHP |
| ソフトハンマー | SD | SI | SP |
| 極細ソフトハンマー | nSD | nSI | nSP |

その他の加工
　叩折：ハンマーをあてて、叩き折る加工。コーンが発達する。
　折取：素材を曲げて折り取る加工。コーンが生じない。
加工の組み合わせの表記
　２種類以上の加工があるときには、「叩折・SI」のように表記した。

※遺物観察表中の実測値の単位は全てmmであり、括弧内の数値は図上復元による推定値及び欠損による残存値を示す。





# Ⅴ　板橋２遺跡

## １　検出された遺構

板橋２遺跡からは多数の古墳時代を中心とする時期の遺構が検出された。その中で本書では竪穴住居跡33棟、掘立柱建物跡が４棟、土坑４基、河川跡１本を報告する。詳細な遺構配置は別添図２の遺構配置図に掲載した。

## ２　竪穴住居跡

今回の調査では竪穴住居址は33棟検出された。内１棟は縄文時代、32棟は古墳時代のものである。殆どの竪穴住居跡は、昭和40年代に実施された圃場整備によって、削平を受けたと見られ、床面しか検出できなかったものが多かった。

以下にその竪穴住居跡と出土した遺物の概略を述べる。

**ＳＴ５、216、679竪穴住居跡（第15図）**

調査区Ａ区の23、24－18Ｇに位置する。河川跡ＳＧ325の川岸に３棟が重複した状態で検出された。３棟とも残存状況は劣悪で、ＳＴ５、216では貼床面、ＳＴ679は床痕跡しか検出できなかった。ＳＴ５とＳＴ216には炉跡と想定される焼土が検出された。

ＳＴ５は南北軸が長い３ｍ×3.5ｍの長方形で、ＳＴ216は推定で東西軸が長い3.5ｍ×３ｍの長方形である。また、ＳＴ５からは炭化材が出土し、焼失住居と思われる。床面からはピットが検出されているが、これらの竪穴住居跡の柱穴であると推測できるものは無かった。　焼失住居

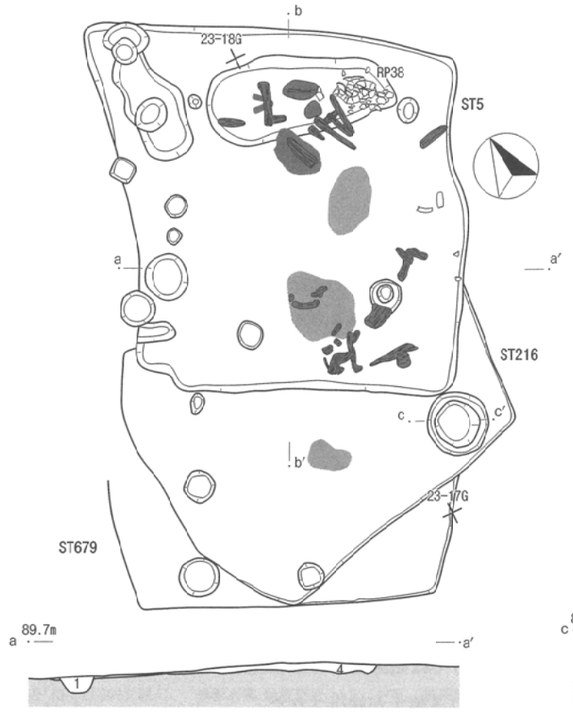
第15図１、３はＳＴ５から出土した甕で、１は一般的に「能登甕」と呼ばれるものの特徴を持つ。第15図２はＳＴ216出土の甕である。

**ＳＴ７竪穴住居跡（第16図）**

調査区Ｂ区の24－21、22Ｇに位置する。南北軸が長い、3.8ｍ×4.4ｍの長方形である。

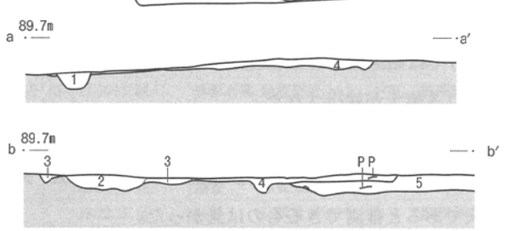
残存状況は良好といえる状態ではなかったが、床面直上に屋根材や木材と思われる炭化物を大量に検出したことから、焼失住居であると推測される。また、住居跡の北東壁寄り床面には、炉跡と見られる焼土が検出された。　焼失住居

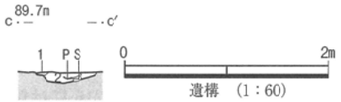
さらに、北東壁床面からは高杯の脚部（第16図１）が出土した。床面からは小ピットが検出されているが、ＳＴ７の柱穴であると推測できるものはなかった。



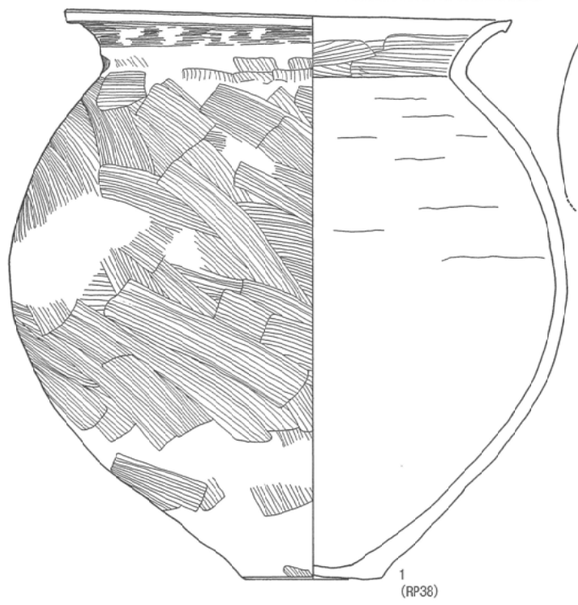

ST5、216土層断面(a-a′、b-b′)
1　10YR4/2　灰黄褐色粘質シルト　酸化した稲の根を含み、2.5Y5/2暗灰黄色粘土の地山土をブロック状に混入する。堅くしまる。
2　2.5Y3/1　黒褐色粘質シルト　地山土をブロック状に多く含み、炭顆粒を点状に微量含む。土器も含む。堅くしまる。
3　2.5Y4/1　黄灰色粘質シルト　地山土を点状に多く含み、炭顆粒を点状に微量含む。堅くしまる。貼床部。
4　10YR4/1　褐灰色粘質シルト　酸化した稲の根を多く含み、炭顆粒を点状に含む。堅くしまる。
5　5Y4/1　灰色粘質シルト　炭化物を帯状に多く含み、酸化した稲の根も含む。土器を含む。堅くしまる。

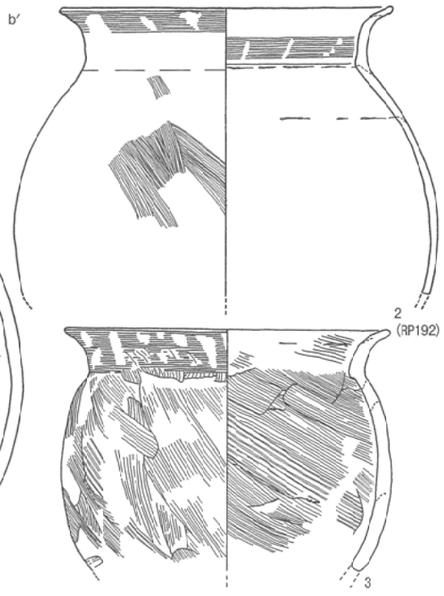
c-c′土層断面
1　10YR5/2　灰黄褐色シルト　炭化物含む。しまり有り。
2　10YR4/1　褐灰シルト　炭化物と土器(RP192)を含む。しまり有り。





0　2m
遺構　(1：60)



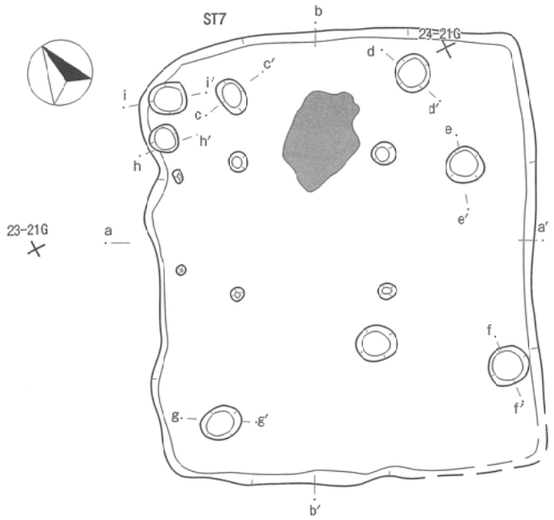



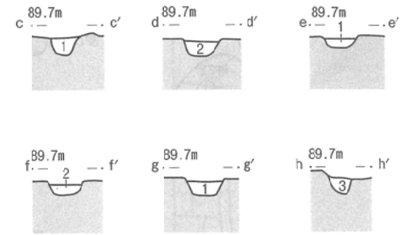

0　10cm
遺物　(1：3)

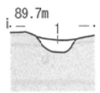
第15図　ＳＴ5、216、679　竪穴住居跡



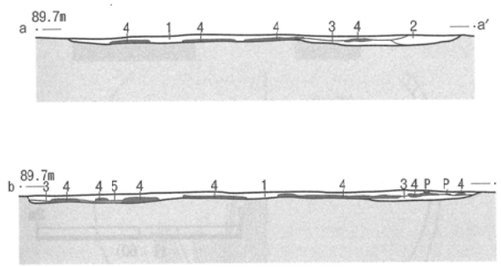




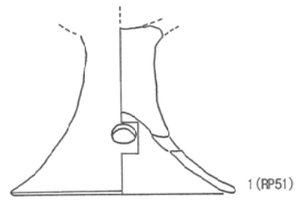


ST7内EP
1　N3/0　暗灰色シルト質粘土
7.5YR4/6褐色の縦縞模様のシルト質粘土を含む。
2　5Y4/1　灰色シルト質粘土　7.5YR4/6褐色のシルト質粘土がところどころに混じっている。やわらかみがある。
3　5Y3/1　オリーブ黒色シルト質粘土
7.5YR4/6褐色のシルト質粘土が少量混じっている。堅くしまっている。



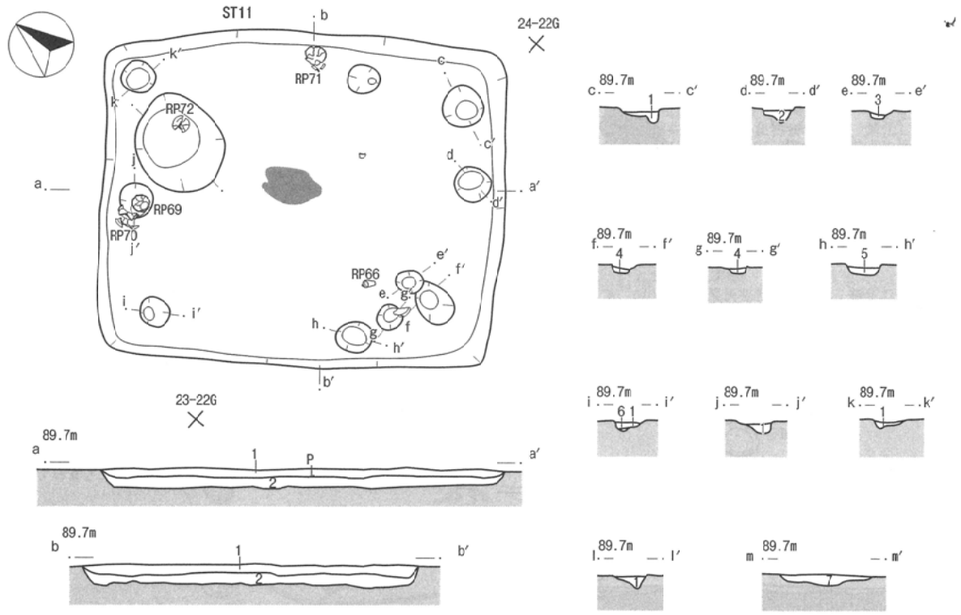
ST7土層断面
1　10YR3/1黒褐色　粘質シルト　10YR4/1褐灰色粘土を点状に微量含む。酸化した稲の根を多く含み堅くしまる。
2　2.5Y3/1黒褐色粘質シルト　10YR4/1褐灰色粘土をブロックで少量含み、酸化した稲の根を多く含む。堅くしまる。
3　2.5Y4/1黄灰色　シルト質粘土　酸化した稲の根を多量に含み、2.5Y5/4黄褐色粘土の地山土を混入する。堅くしまる。貼床部。
4　N1.5/0黒色　炭化層　スサかムシロの焼けたもの。
5　5YR4/6赤褐色焼土

ST7炭化物、遺物出土状況




0　2m
遺構　(1:60)
0　10cm
遺物　(1：3)

第16図　ＳＴ７　竪穴住居跡




ST11土層断面
1　10YR3/1　黒褐色粘質シルト
2　10YR3/1　黒褐色粘質シルト　極小塊状の炭顆粒および土器片を含む。

ST11内EP土層断面
1　10YR3/1黒褐色粘土　7.5YR4/6褐色粘土が塊状に入る。
2　10YR3/1黒褐色粘土　極小の炭顆粒が混入。
3　10YR3/1黒褐色粘土
4　2.5Y3/1黒褐色粘土
5　2.5Y3/1黒褐色粘土　7.5YR4/6褐色粘土が塊状に混入。
6　2.5Y4/1黄灰色粘土
7　10YR3/1黒褐色粘土　7.5YR4/6褐色粘土と10YR2/1黒色粘質シルトが、斑状に混入。

0　2m
(1：60)

第17図　ＳＴ11　竪穴住居跡（１）

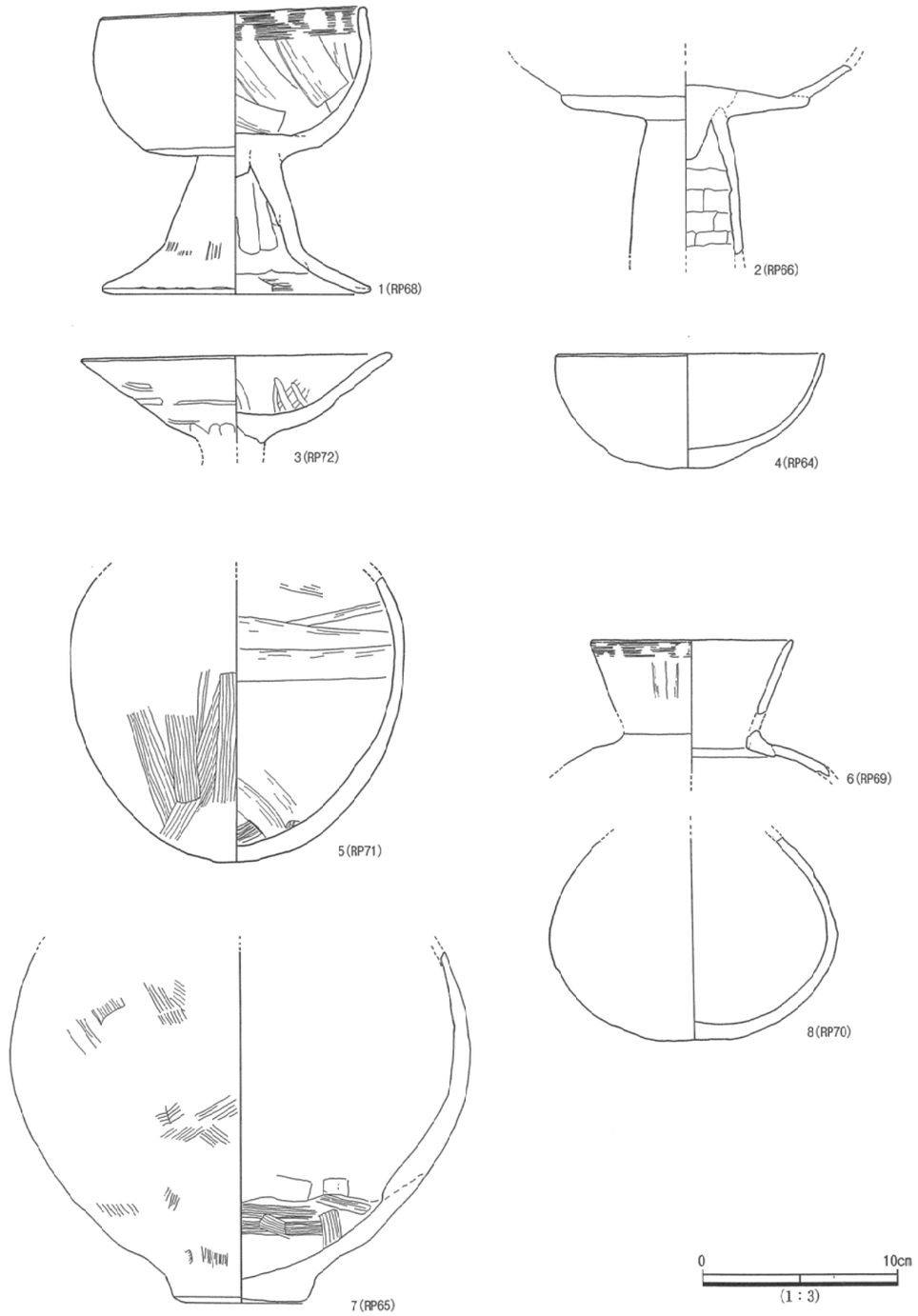
## ＳＴ 11 竪穴住居跡（第 17、18 図）

調査区Ｂ区の 23 － 22、23 Ｇに位置する。南北軸が長い 3.2 ｍ× 4 ｍの長方形である。残存状況はあまり良好とはいえないが、覆土は２層あり、壁面に近い床面直上から土師器（第 18 図）が比較的まとまって出土している。内訳は高杯が３点、坏１点、甕１点、壷が３点である。依存状況はあまり良好ではない。

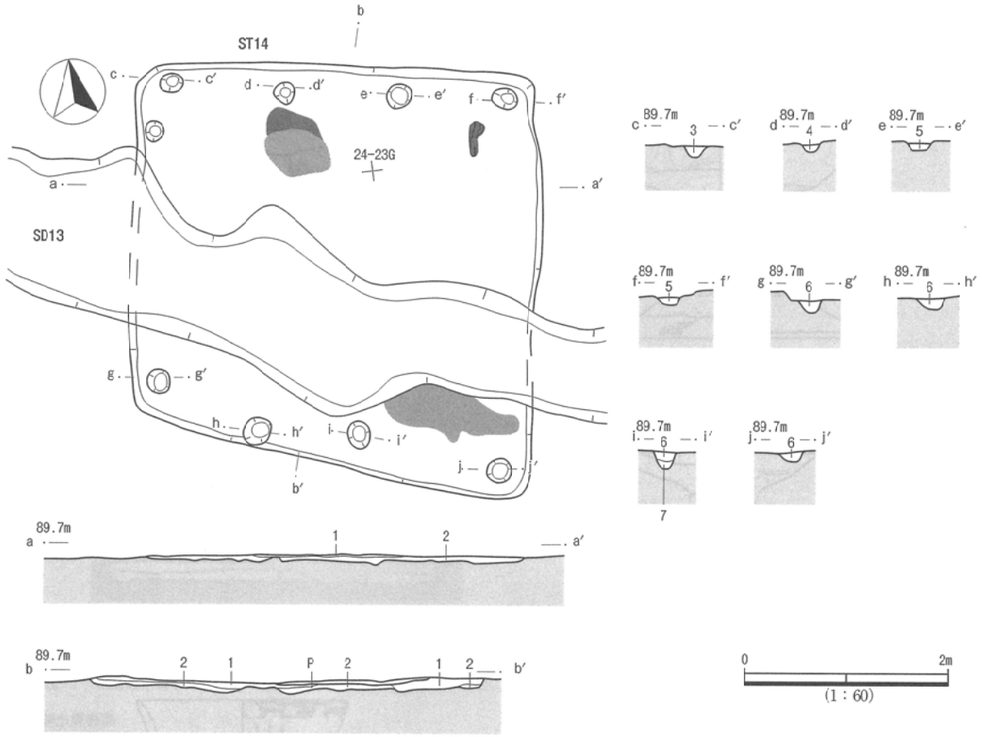
また、住居跡のほぼ中央に炉跡と見られる焦土が検出された。床面からは、ピットや遺物を伴う落ち込みが検出されたが、住居内施設と積極的に肯定できるものはない。








第18図　ＳＴ11　竪穴住居跡（２）




ST14土層断面
1　N3/0　暗灰色シルト質粘土　ところどころ7.5YR4/6褐色、7.5YR5/8明褐色シルト質粘土が帯状に混入。堅くしまる。
2　N3/0　暗灰色シルト質粘土　N5/0灰色のシルト質粘土が大まかに混じる。ところどころ7.5YR4/6褐色、7.5YR5/8明褐色シルト質粘土が帯状に混入。堅くしまる。
3　10YR2/1　黒色粘質シルト　5Y5/2灰オリーブ粘土を小塊状に、7.5Y3/4暗褐色シルトを柱状に含む。
4　10YR2/1　黒色粘質シルト　10YR3/1黒褐色粘質シルトを斑状に、7.5YR3/4暗褐色シルトを柱状に含む。
5　10YR2/1　黒色粘質シルト　7.5YR3/3暗褐色粘質シルトが斑状に混入。
6　2.5Y4/1　黄灰色シルト質粘土　10YR4/4褐色シルト質粘土がかなりの範囲にわたって混入。しまるが、やわらかみがある。
7　N3/0　暗灰色シルト質粘土　7.5YR5/8明褐色シルト質粘土。

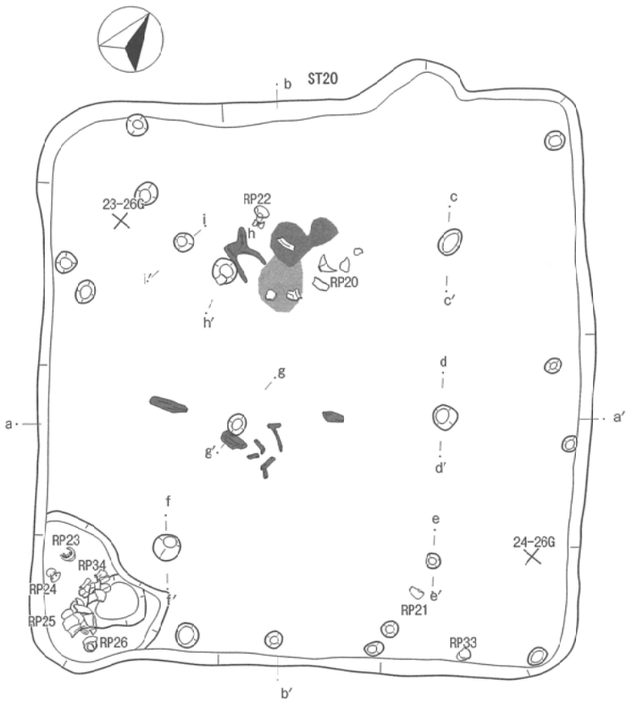
第19図　ＳＴ14　竪穴住居跡

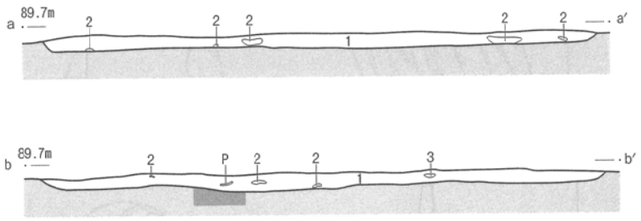
## ＳＴ 14 竪穴住居跡（第 19 図）

調査区Ｂ区の 24、25 － 23、24 Ｇに位置する。東西軸、南北軸がほぼ等しい４ｍ×４ｍの歪んだ正方形である。覆土は２層で、壁面には壁柱穴と思われるピットが検出された。床面には、北壁寄りと南東隅に炉跡と推測できる焼土が検出された。この住居跡はほぼ中央を東西方向に後世の溝跡ＳＤ 13 が横切っている。また、遺物はまったく出土しなかった。

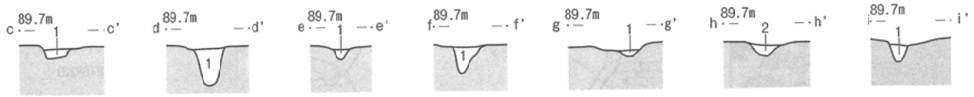




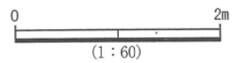


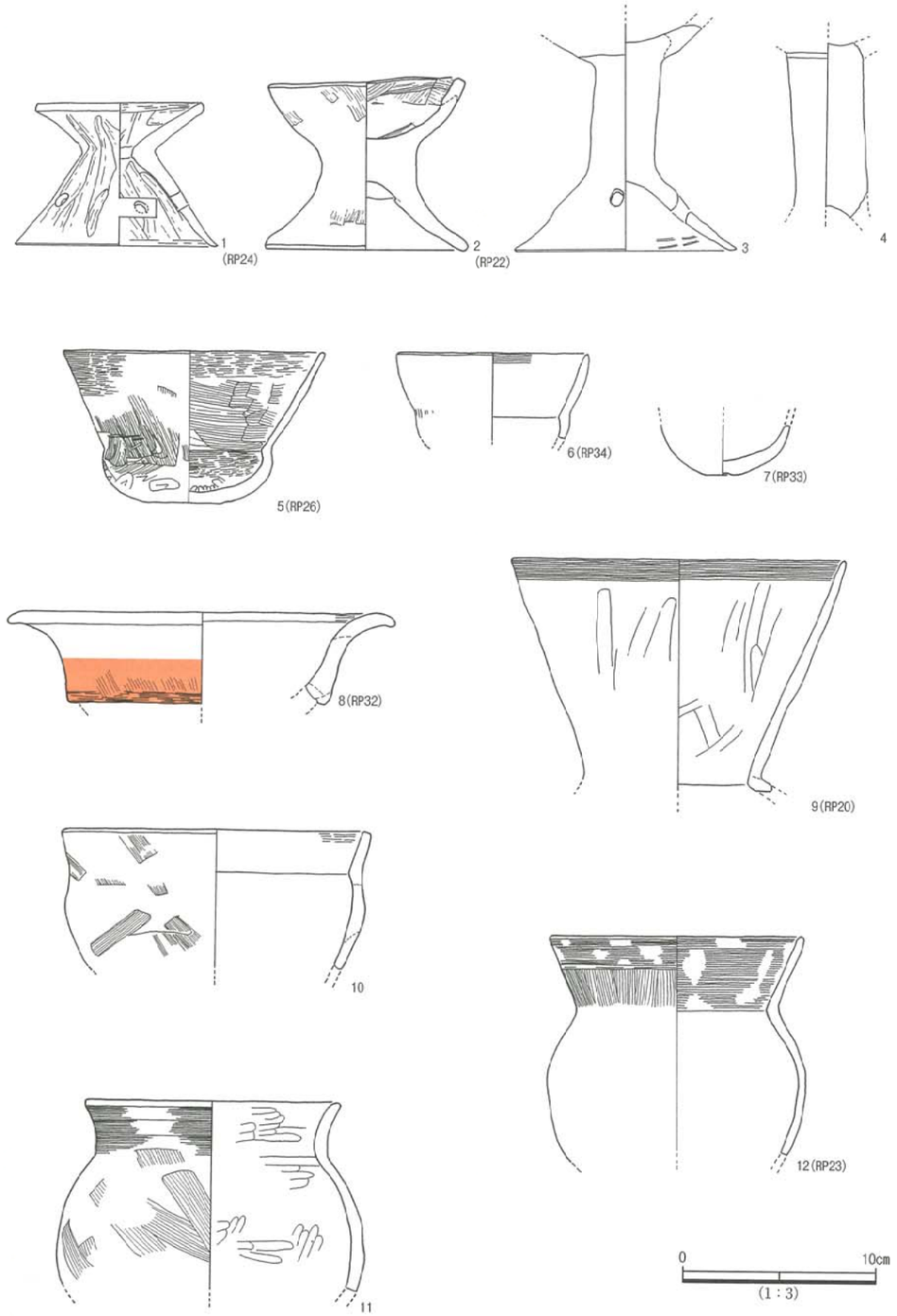

ST20土層断面
1　2.5Y3/1　黒褐色粘土　10YR5/8黄褐色シルトを斑状に含み炭化物をブロックで少量混入する。堅くしまる。
2　2.5Y4/1　黄灰色粘土　1層土を斑状に含む。堅くしまる。
3　10YR2/1　黒色シルト質粘土　植物根を含み、10YR5/8黄褐色シルトを点状に含む。堅くしまる。




ST20内EP土層断面
1　5Y4/1灰色シルト質粘土　7.5YR5/8褐色の粘土が少量混入している。ややしまっている。
2　5Y4/1灰色シルト質粘土　7.5YR4/6褐色の粘土が多く混入している。



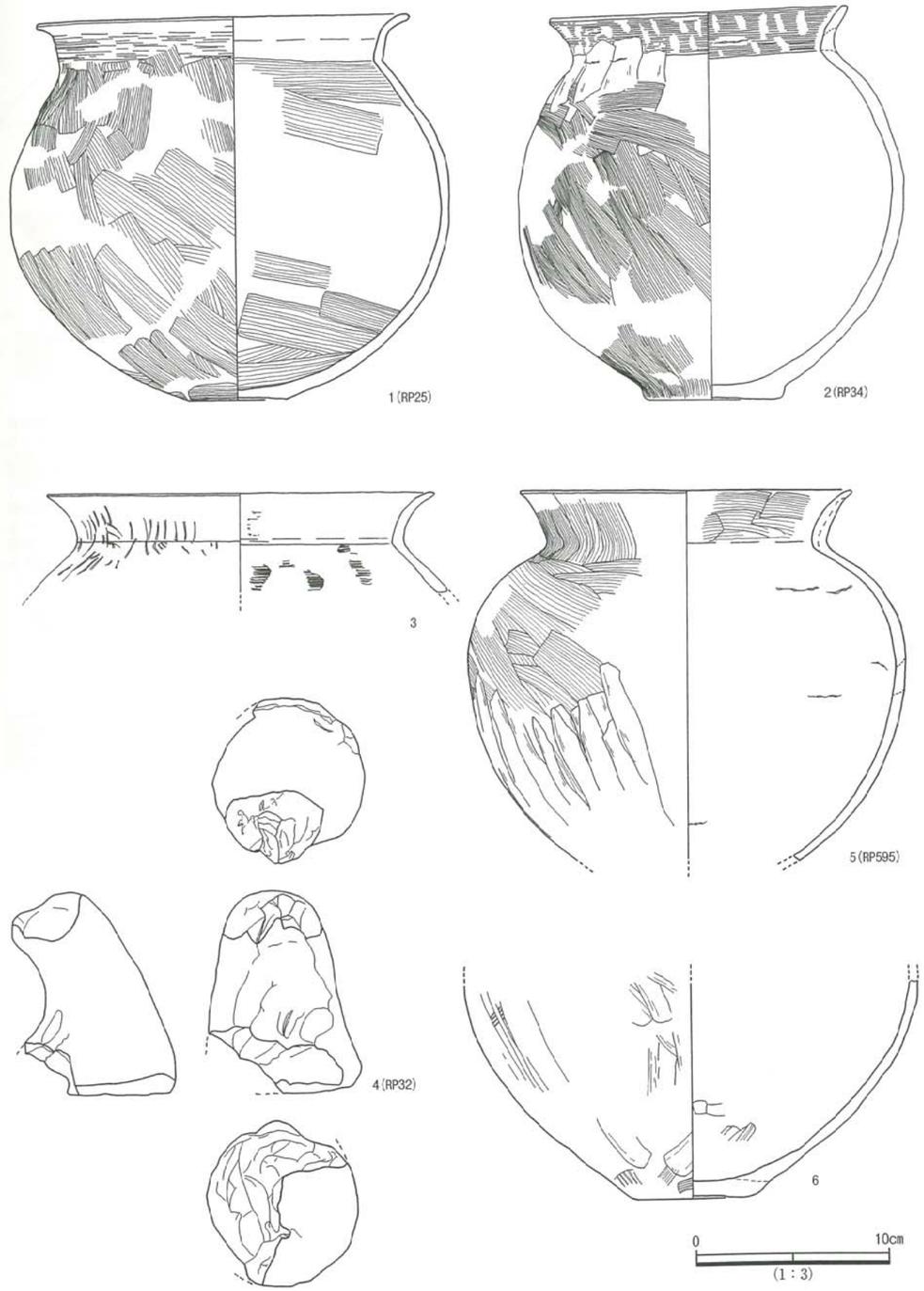

第20図　ＳＴ20　竪穴住居跡（１）



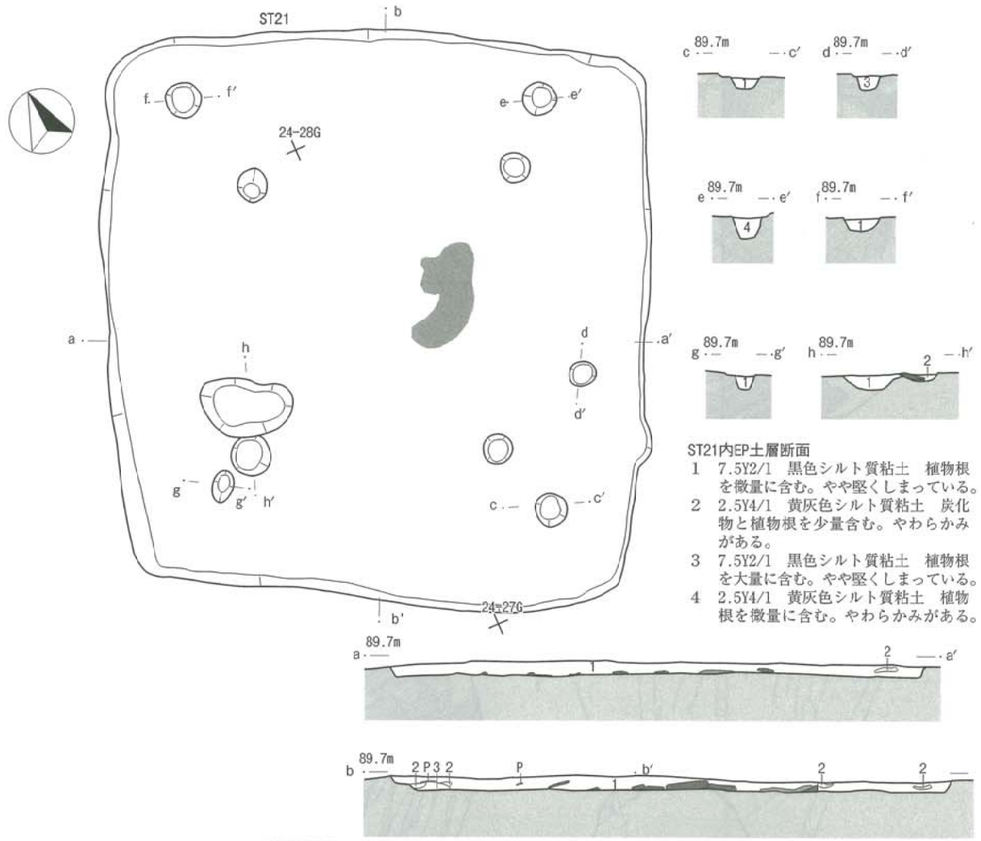

第21図　ＳＴ20　竪穴住居跡（２）



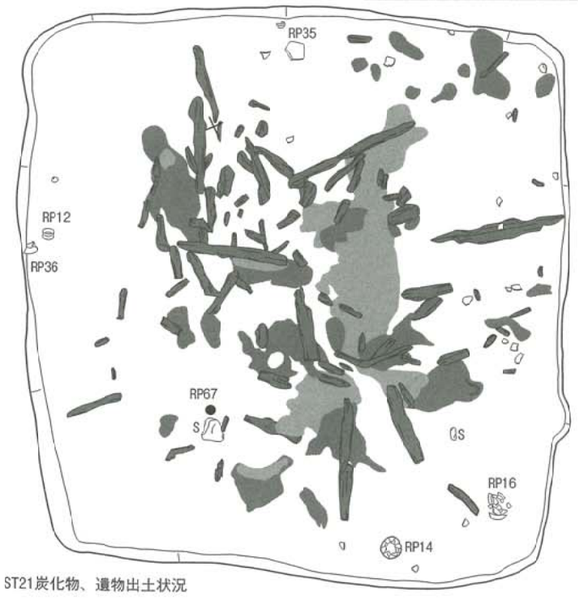





第22図　ＳＴ20　竪穴住居跡（３）




ST21内EP土層断面
1　7.5Y2/1　黒色シルト質粘土　植物根を微量に含む。やや堅くしまっている。
2　2.5Y4/1　黄灰色シルト質粘土　炭化物と植物根を少量含む。やわらかみがある。
3　7.5Y2/1　黒色シルト質粘土　植物根を大量に含む。やや堅くしまっている。
4　2.5Y4/1　黄灰色シルト質粘土　植物根を微量に含む。やわらかみがある。




ST21土層断面
1　10YR4/1　褐灰色粘土　10YR4/6褐色シルトを帯状に含み、炭化物をブロックで5%含む。堅くしまる。2層土を点状に混入する。焼土をブロックで点状に含む。
2　10YR5/1　褐灰色粘土　1層土を40%含む。しまる。
3　2.5Y4/1　黄色粘土　焼土をブロックで含み、炭化物を含む。堅くしまる。

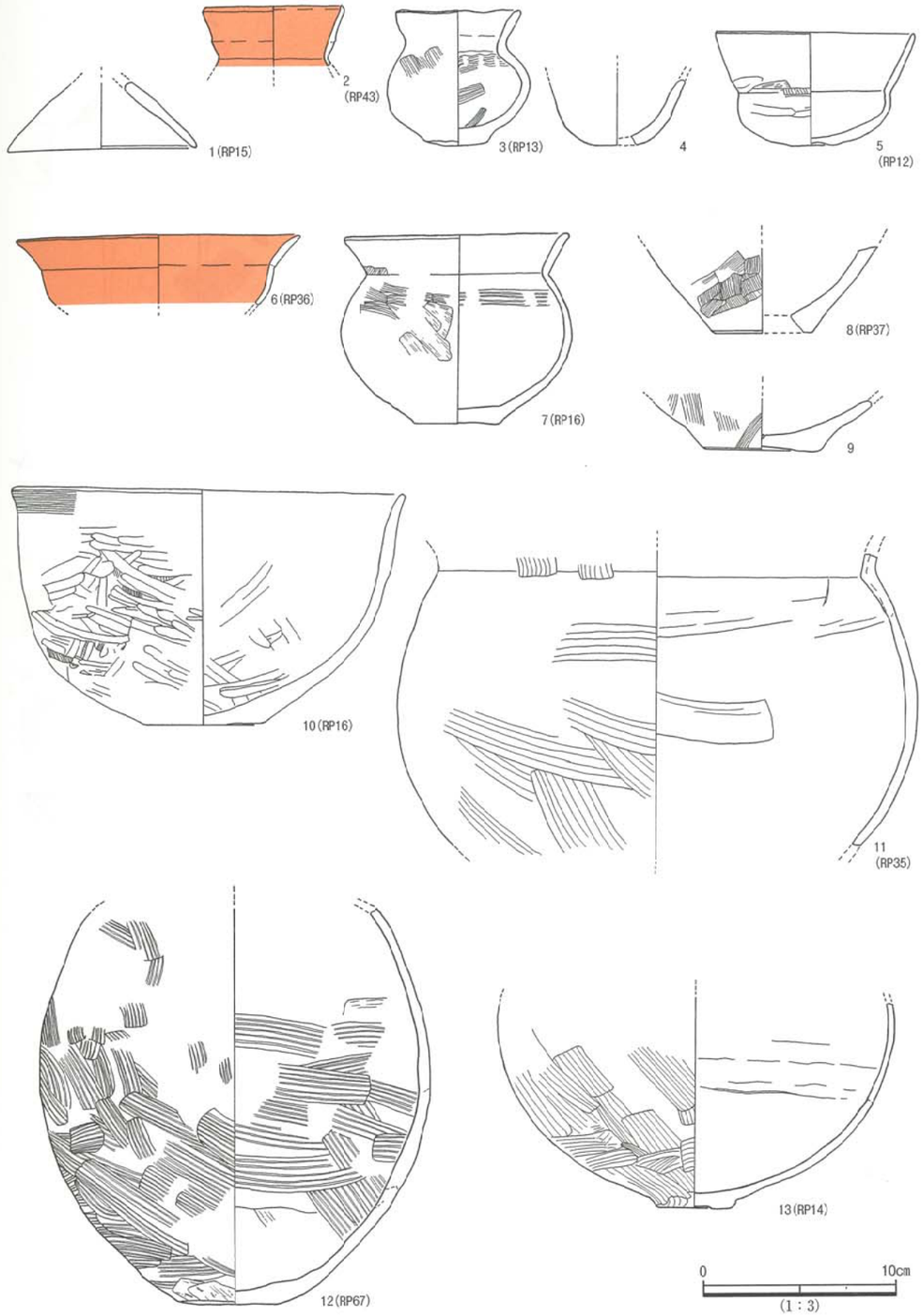
ST21炭化物、遺物出土状況

0　2m
(1：60)

第23図　ＳＴ21　竪穴住居跡（１）

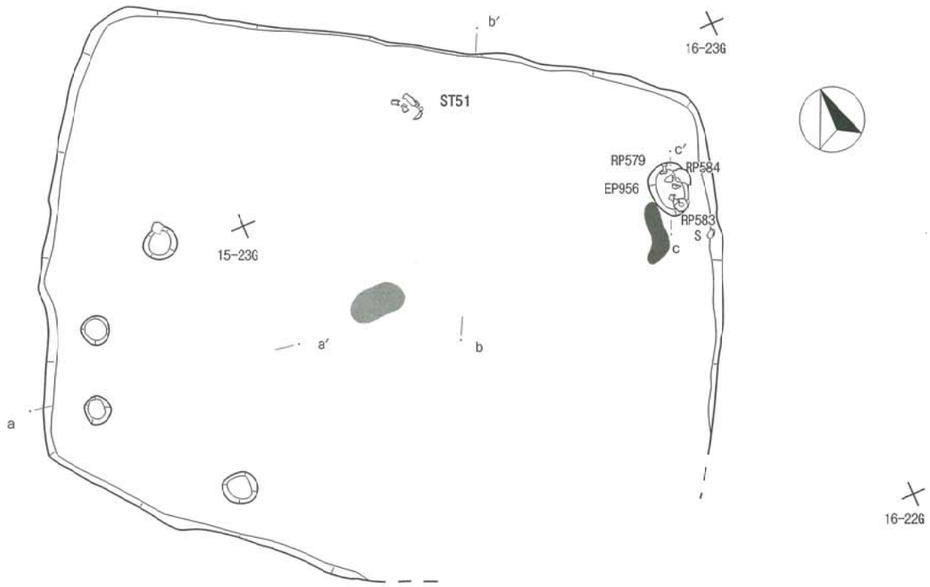


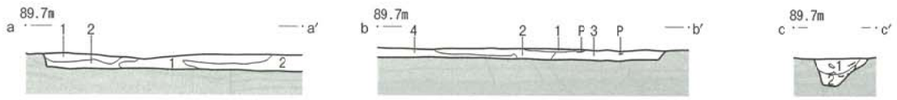





0　10cm
(1：3)

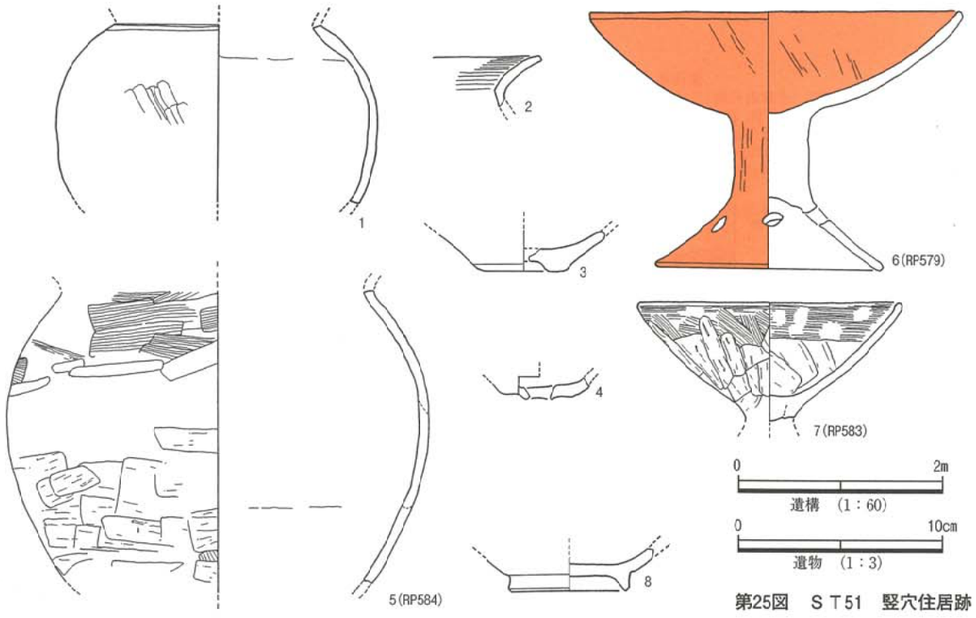
第24図　ＳＴ21　竪穴住居跡（２）




ST51土層断面
1　5Y3/2　オリーブ黒シルト　しまり有り。表土。
2　10YR3/1　黒褐色シルト　しまり有り。炭化を少量含む。
3　5Y3/1　オリーブ黒シルト　しまり有り。土器片有り。
4　10YR2/1黒色粘質シルト　しまり有り。

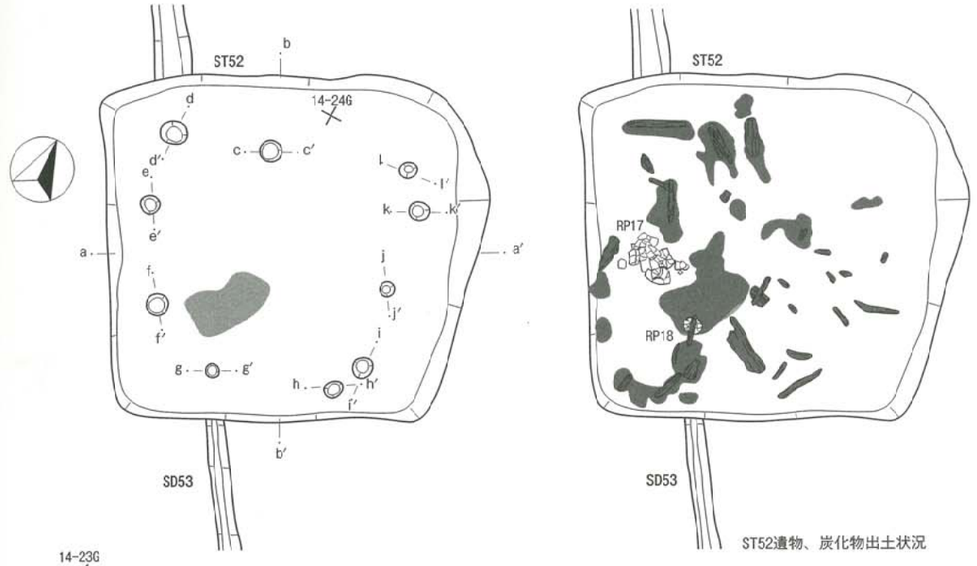
ST51内EP956土層断面
1　10YR3/1　黒褐色シルト　やや粘性有り。炭顆粒を微量含む。土器片（RP579、583）を含む。
2　2.5Y2/1　黒色粘質シルト　土器片（RP584）を含む。



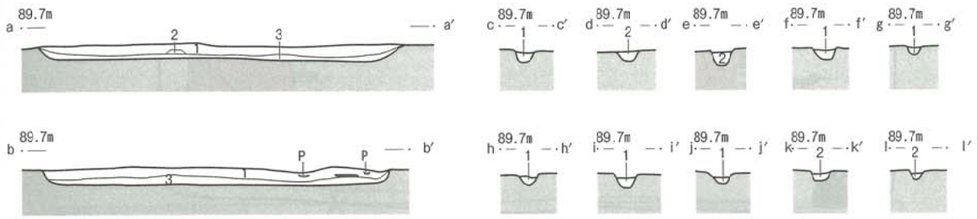

第25図　ＳＴ51　竪穴住居跡





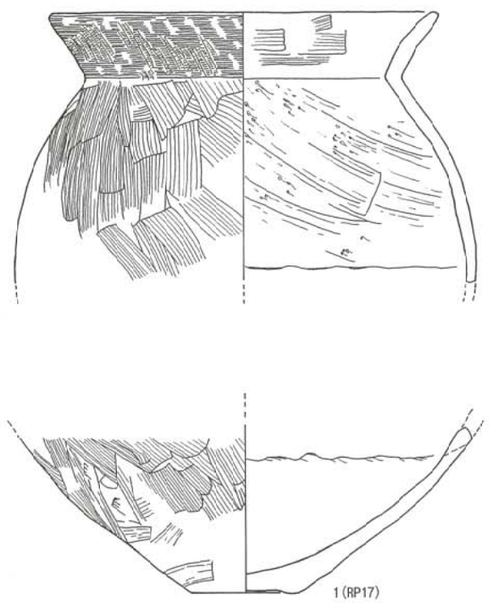


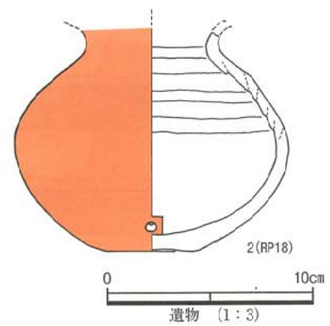

ST52遺物、炭化物出土状況



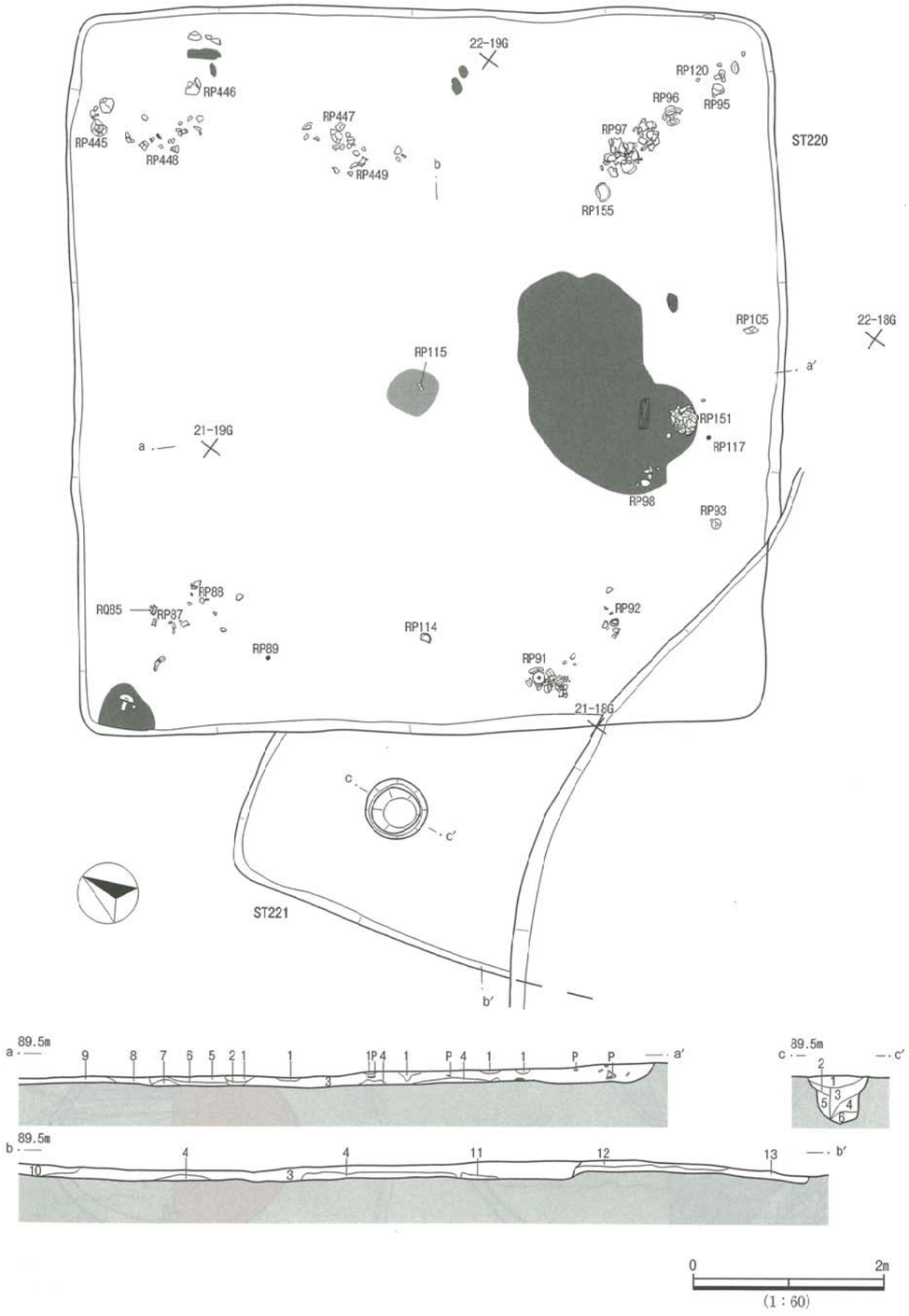

ST52土層断面
1　10YR3/1　黒褐色シルト質粘土　酸化した稲の根を含み、炭顆粒を点状に含み、堅くしまる。
2　10YR5/6　黄褐色粘土　1層土を含む。堅くしまる。
3　10YR2/1　黒色シルト質粘土　炭顆粒を点状に微量含み、やわらかいがしまる。貼床部。

ST52内EP断面
1　10YR3/1　黒褐色粘質シルト　酸化した稲の根を含み、炭化物をブロックで混入する。堅くしまる。
2　7.5YR3/1　黒褐色粘質シルト　酸化した稲の根を微量含み、堅くしまる。




第26図　ＳＴ52　竪穴住居跡




第27図　ＳＴ220、221　竪穴住居跡



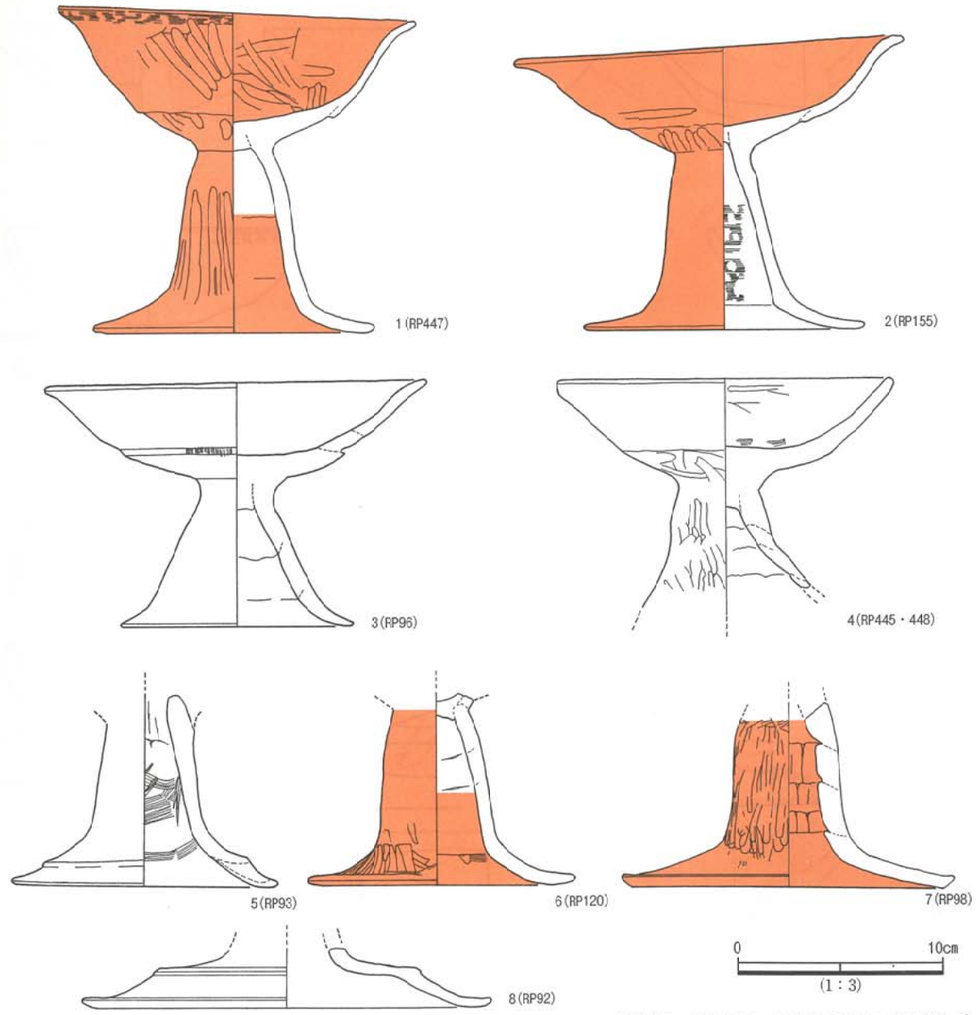


ST220、221土層断面（a-a′、b-b′）

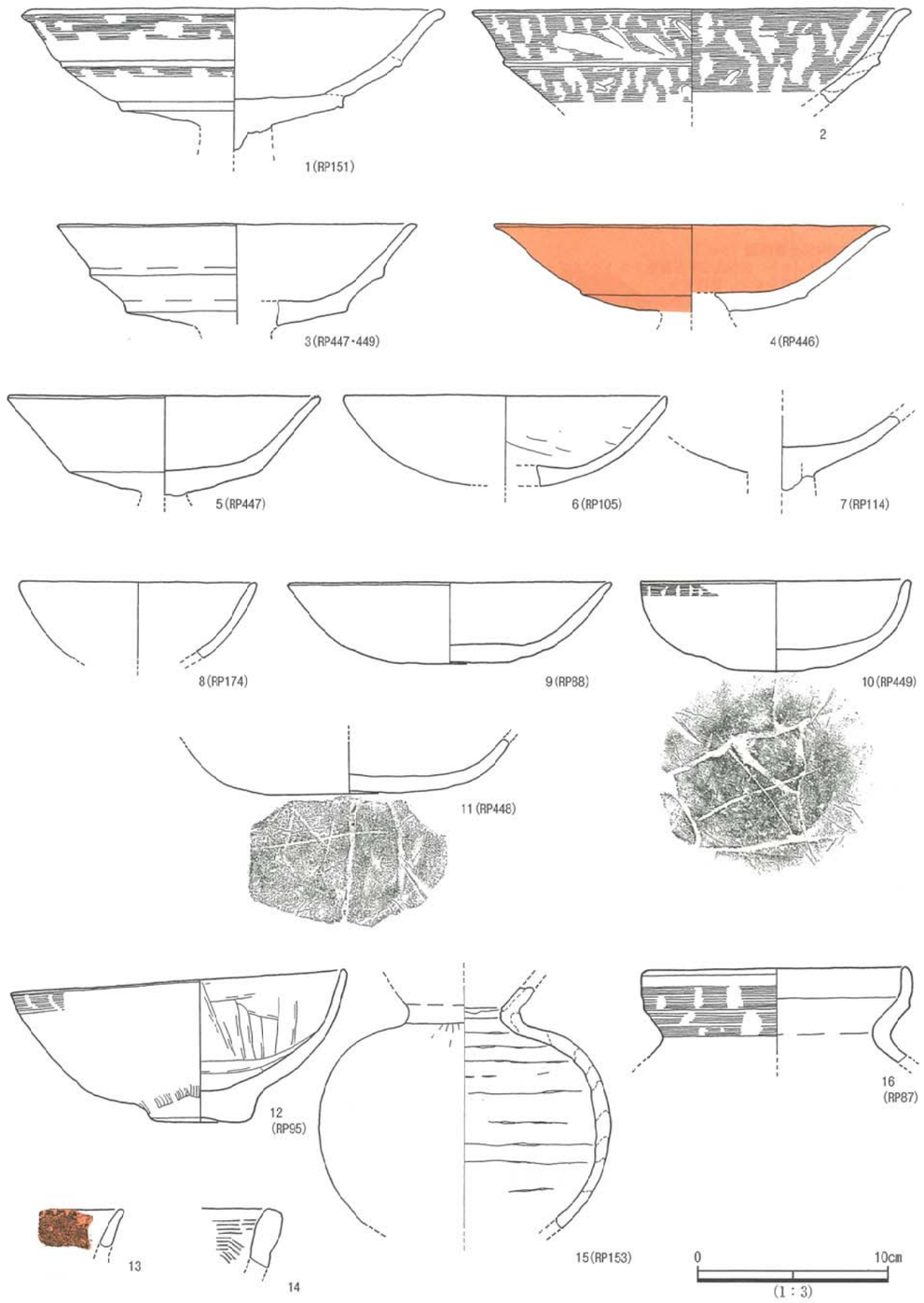
1　7.5YR1.7/1　黒色シルト　しまり有り。炭化物と土器片を多く含む。粘性やや有り。
2　10YR2/2　黒褐色シルト　粘性やや有り。
3　10YR3/1　黒褐色シルト　しまり有り。炭顆粒、土器組片含む。10YR5/1褐灰色。シルトを斑状に含む。
4　10YR4/1　褐灰色シルト　しまり有り。10YR4/3にぶい黄褐色シルトを斑状に含む。
5　2.5Y3/1　黒褐色シルト　しまり有り。炭顆粒含む。
6　10YR3/1　黒褐色シルト　しまりやや有り。粘性やや有り。
7　10YR3/2　黒褐色シルト　しまりやや有り。粘性やや有り。10YR4/2灰黄褐色シルトを斑状に含む。
8　7.5YR3/2　黒褐色シルト　しまり、粘性有り。炭化物微量含む。
9　2.5Y5/1　黄灰色シルト　しまり有り。
10　10YR3/1　黒褐色シルト　しまり有り　炭顆粒含む。
11　10YR3/1　黒褐色粘質シルト　炭化拉含む。
12　2.5Y3/2　黒褐色シルト　しまり有り。炭顆粒含む。
13　2.5Y3/2　黒褐色シルト　しまり有り。粘性やや有り。炭顆粒含む。20層土を斑状に含む。貼床。

ST221内EP450土層断面（c-c′）

1　2.5Y3/1シルト　2.5Y5/2暗灰黄色シルト小ブロックと少量の炭顆粒含む。
2　10YR3/2砂質シルト　粘性有り。
3　10YR3/1粘質シルト　2.5Y5/2暗灰黄色シルトを斑状に含む。
4　2.5Y3/1粘質シルト　2.5Y5/2暗灰黄色シルトを斑状に少量含む。
5　2.5Y4/1粘質シルト　5Y3/1オリーブ黒色粘質シルトを斑状に少量含む。
6　5Y3/1粘質シルト　7.5Y6/1灰色粘質シルトを斑状に少量含む。



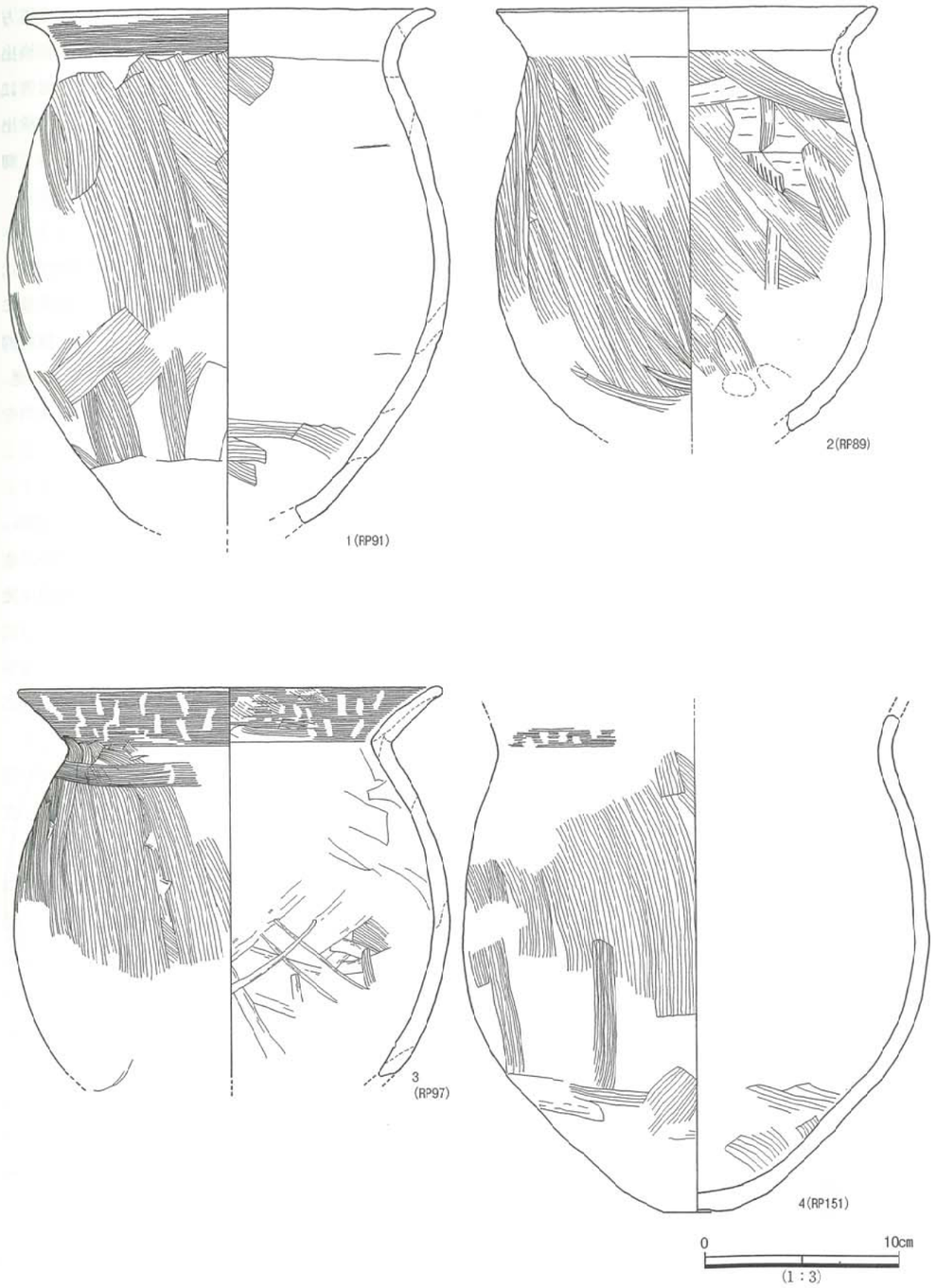

第28図　ＳＴ220　竪穴住居跡出土遺物（１）




第29図　ＳＴ220　竪穴住居跡出土遺物（２）








第30図　ＳＴ220　竪穴住居跡出土遺物（３）

**ＳＴ 20 竪穴住居跡（第 20、21、22 図）**

調査区Ｂ区の 24、25 － 26、27 Ｇに位置する。南北軸がやや長い 5.5 ｍ× 5.6 ｍのほぼ正方形である。覆土は１層である。床面からは中央やや北壁寄りから炉跡と推測できる焼土が検出されたほか、炭化材も出土した。炉跡の周辺には器台や小型壷が出土している。住居跡南隅には、器台や小型壷、甕などの土師器を多数包含する落ち込みが検出されている。ピットも検出されているが、積極的にＳＴ 20 に伴う柱穴だと肯定することはできない。また、土製の支脚も出土している。

土師器を多数包含する落ち込み

**ＳＴ 21 竪穴住居跡（第 23、24 図）**

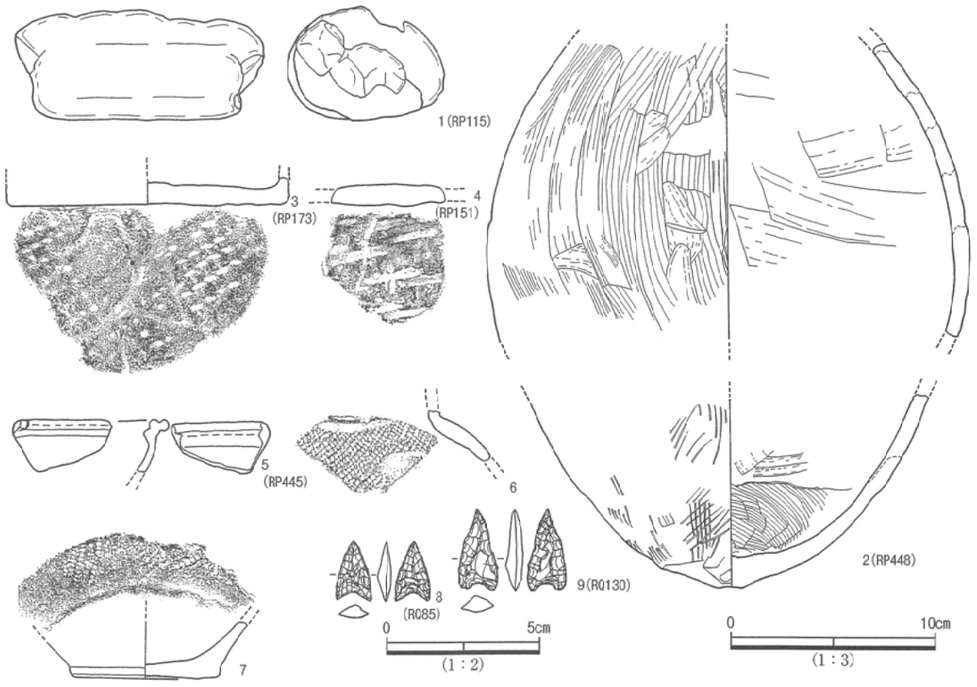
調査区Ｂ区の 24､25 － 28､29 Ｇに位置する。南北軸がやや長い 5.3 ｍ× 5.6 ｍの長方形である。依存状態は悪く、覆土は１層である。覆土を取り除くと床面に直上には炭化物と焼土が大量に出土し、焼失住居であると推測できる。床面からはピットや落ち込みが検出されたが、積極的に住居内施設であると肯定することができない。また、炭化物、焼土に混じり、小型壷、甕、鉢といった土師器がまとまって出土している。床面には炉跡と推測できる焼土が、中央部やや東寄りから検出された。

焼失住居

**ＳＴ 51 竪穴住居跡（第 25 図）**

調査区Ｂ区の 15、16 － 23、24 Ｇに位置する。東西軸が長い 6.7 ｍ× 5.3 ｍの長方形である。覆土は浅かった。床面では、住居跡のほぼ中央に炉跡と推測可能な焼土が検出されたほか、北東隅には甕や高杯といった土師器が埋納されたピットが検出されている。他の住居内施設は発見できなかった。また、床面からの遺物の出土は見られなかった。

土師器が埋納されたピット




第31図　ＳＴ220　竪穴住居跡出土遺物（４）





**ＳＴ 52 竪穴住居跡（第 26 図）**

調査区Ｂ区の 14､15 － 23 Ｇに位置し、ＳＤ 53 を切っている。東西軸がやや長い 3.7 ｍ× 3.4 ｍの歪んだ正方形である。覆土は１層のみで、床面直上からは炭化物と土師器の甕と小型壷が出土し、焼失住居であると見られる。また、床面からはピットが検出されたが、配列や大きさからこの住居跡の柱穴であると断言するには躊躇せざるをえない。

焼失住居

**ＳＴ 220、221 竪穴住居跡（第 27、28、29、30、31 図）**

調査区Ａ区の 21、22 － 19、20 Ｇに位置する。ＳＴ 220 は東西軸がやや長い 7.7 ｍ× 7.4 ｍの正方形である。床面からはほぼ中央に炉跡と推測される焼土､直上から炭化物が検出された。住居内施設と思われるものは検出されなかった。また、床面からは高杯、坏、甕といった遺物が多数出土している。それに対し、壷は断片のみの出土である。縄文時代中期、晩期の遺物も散見できる。また、ＳＴ 221 を切っている。

ＳＴ 221 は東西軸を 4.5 ｍは超えないと推測されるが、南北軸は最近受けたと想像される削平により不明である。床面の標高がＳＴ 220 より高く､圃場整備により殆ど削平を受けている。また、柱穴と思われるピットも検出された。ＳＴ 220 によって切られている。

**ＳＴ 222、223 竪穴住居跡（第 32、33 図）**

調査区Ａ区の 22、23 － 17 Ｇに位置する。ＳＴ 222 は南北軸がやや長い 5.2 ｍ× 5.3 ｍの正方形である。中央やや北東壁寄りに炉跡と見られる焼土が検出された。床面からは柱穴と壁柱穴か周溝と推測されるピットや溝が検出された。また、北壁には４ｍ程の斜めに突出した張り出しがある。もう１棟ＳＴ 222 により削平された４ｍ四方ほどの竪穴住居跡があったとも推測可能だが、もともとＳＴ 222 が小型で、軸線を微妙に変えて拡張された可能性も否定できない。この住居跡に伴う遺物は第 33 図５の小型の鉢だけである。

突出した張出

ＳＴ 223 はＳＴ 222 に切られている。直径 4.5 ｍ程の円形と推測される。出土遺物から、時期は縄文時代晩期と思われる。

**ＳＴ 224、225、481 竪穴住居跡（第 34 図）**

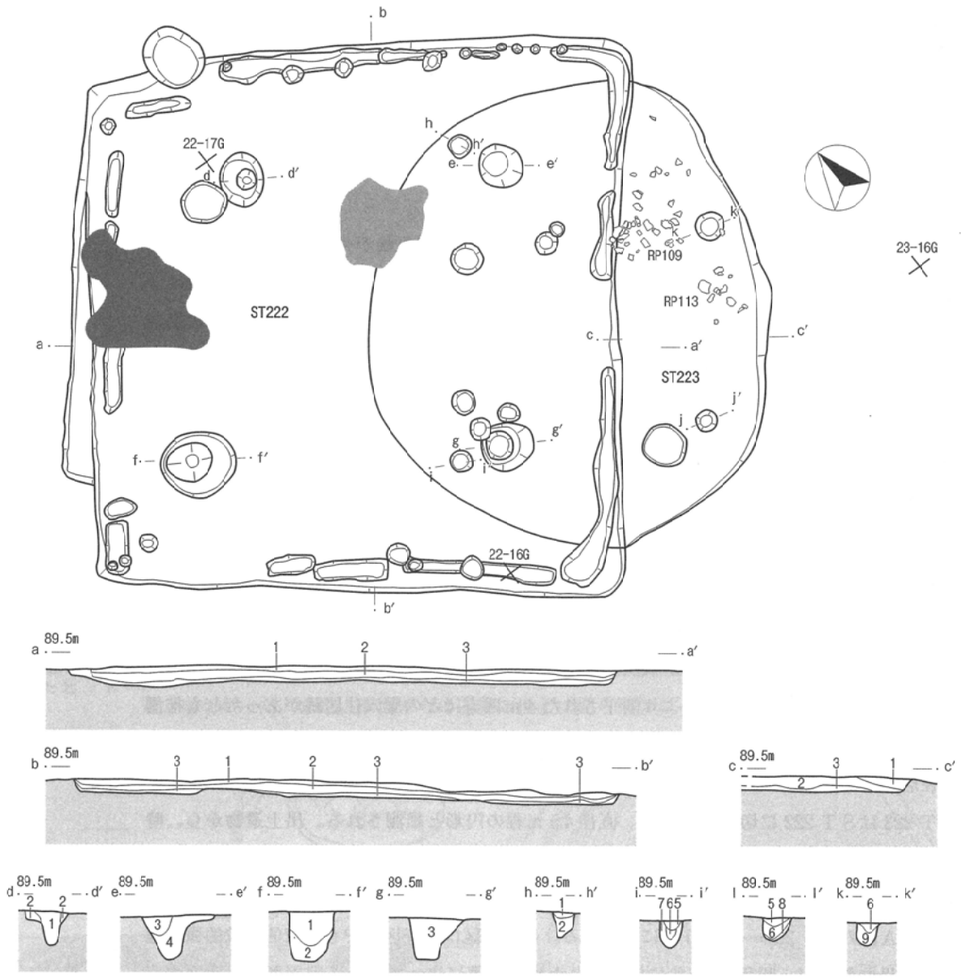
調査区Ａ区の 19、20 － 19、20 Ｇに位置する。この地区は調査区内でも比較的比較的微高地であると思われるが、昭和 40 年代に実施された圃場整備によって激しく削平され、床面の一部しか残存していない。断面もほとんど残存していないため、重複関係も不明である。径１ｍほどの比較的大きな土坑が検出されたが、どの住居跡のものなのか、住居跡とは全く関係ないのかなどは不明である。遺物も全く出土しなかった。

**ＳＴ 226 竪穴住居跡（第 35 図）**

調査区Ａ区の 20 － 14 Ｇに位置する。東西軸がやや長い 3.5 ｍ× 3.2 ｍの方形であるが、河川跡ＳＧ 325 に面する南壁の線はかなり崩れている。床面からピットが検出されたが、この住居跡の柱穴とは言い難い。炉跡と見られるような焼土などは検出されなかった。また、住居跡廃絶後のＳＫ 256、347 などの堀込が見られる。ＳＫ 256 からは器台や甕といった土師器が出土している。

**ＳＴ 227 竪穴住居跡（第 36、37 図）**

調査区Ａ区の 17､18 － 15､16 Ｇに位置する。東西軸がやや長い 6.2 ｍ× 5.5 ｍの長方形である。覆土は１層であった。床面からは炉跡と推測できる焼土がやや西角寄りの位置から検出された




ST222土層断面（a-a′、b-b′）
1　10YR2/1　黒色シルト　2.5Y5/2暗黄灰色シルトが10%、2.5Y2/1黒色シルトが2%ブロック状あるいは斑状に混じる。堅くしまる。
2　10YR2/1　黒色シルト　2.5Y5/2暗灰黄色シルトが3%、2.5Y2/1黒色シルトが30～40%斑状に混じる。堅くしまる。
3　2.5Y5/2　暗灰黄色粘質シルト　10YR2/1黒色シルトが5～30%程度ブロック状あるいは斑状に混じる。しまり有り。貼り床。

ST223土層断面（c-c′）
1　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト　ほぼ均質で堅くしまる。
2　10YR3/1　黒褐色シルト　10YR4/2灰黄褐色シルトが2%程度斑に混じり、堅くしまる。
3　2.5Y4/1　黄灰色粘質シルト　ほぼ均質で堅くしまる。ねばりあり。

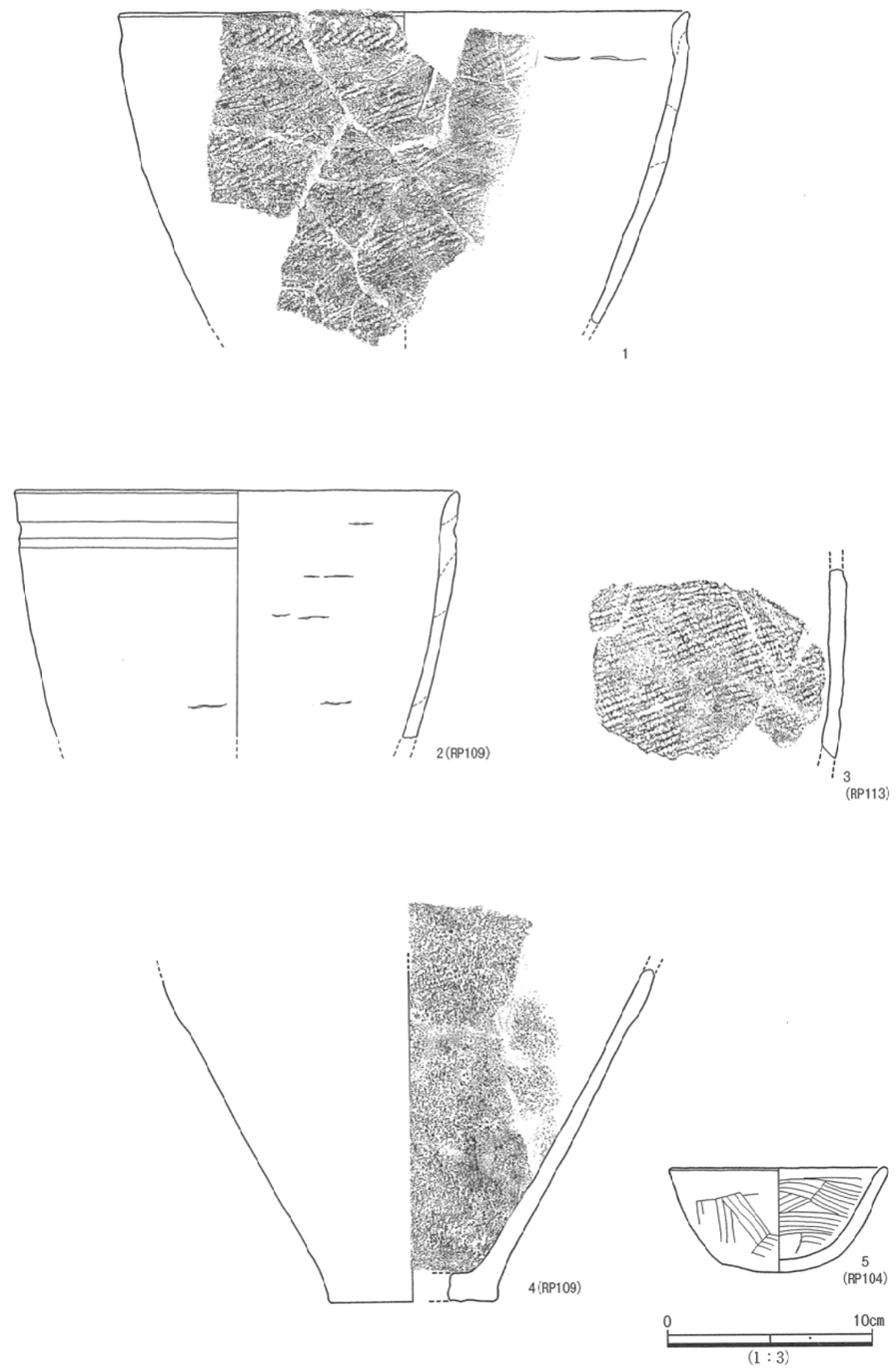
ST222、223内EP土層断面
1　2.5Y3/1　黒褐色シルト　2.5Y5/1黄灰色シルトが10%斑に混じる。
2　2.5Y4/1　黄灰シルト　2.5Y5/1黄灰色シルトが7%混じる。
3　5Y3/2　オリーブ黒色シルト　5Y5/1灰色砂質シルトが2%斑に混じる。
4　5Y5/1　灰色シルト　5Y3/1オリーブ黒色シルトが15%ブロック状に混じる。
5　2.5Y3/1　黒褐色シルト　2.5Y4/1黄灰色シルトが30%ブロック状に混じる。しまり有り。
6　2.5Y2/2　オリーブ黒色シルト　5Y4/1灰色シルトが5%粒状に混じる。しまり有り。
7　2.5Y3/　1黒褐色シルト　2.5Y4/1黄灰色シルトが10%斑状に混じる。しまり有り。
8　5Y3/1　オリーブ黒色シルト　5Y灰色4/1シルトが3%粒状に混じる。
9　N3/　暗灰色粘質シルト　10Y4/1灰色粘質シルトが7%ブロック状や粒状に混じる。しまり有り。

0　2m
（1：60）

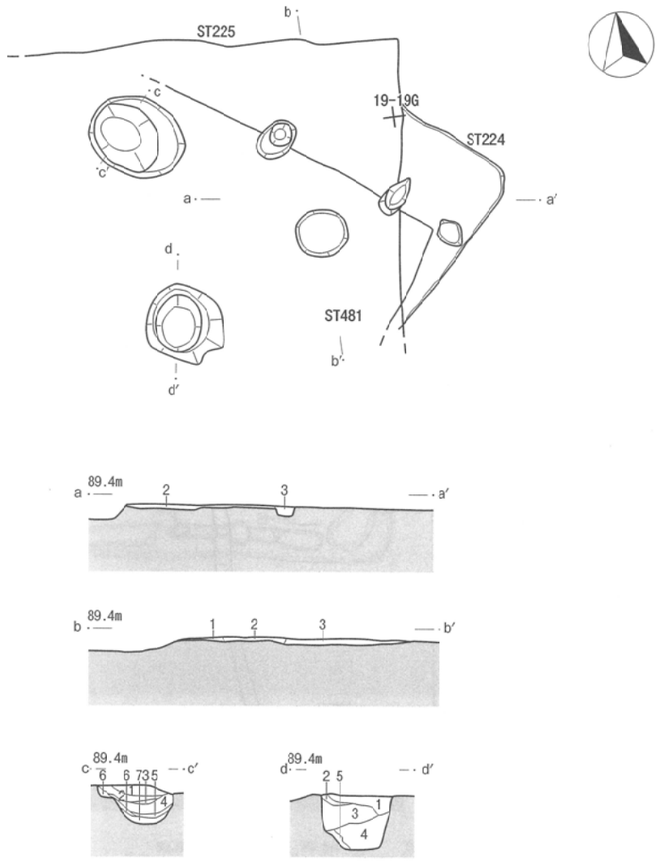
第32図　ＳＴ222、223　竪穴住居跡（１）








第33図　ＳＴ222、223　竪穴住居跡（２）




ST224、ST225土層断面（a-a′、b-b′）
1　10YR3/1　黒褐色シルト　しまり有り。焼土ブロックを2%程度含む。
2　7.5YR2/1　黒色シルト　しまり有り。やや粘性有り。
3　10YR3/2　黒褐色シルト　ややしまり有り。地山を斑状に含む。

ST内EP土層断面（c-c′）
1　2.5Y2/1　黒色粘質シルト　炭化物、酸化物含む。
2　2.5Y3/1　黒褐色シルト　2.5Y5/2暗灰黄色シルトブロックを多く含む。7.5Y2/1黒色シルトブロックも少量含む。
3　10YR3/1　黒褐色シルト　粘性やや有り。2.5Y5/2暗灰黄色シルトを斑状に含む。
4　5Y3/2　オリーブ黒色シルト　砂分微量に含む。2.5Y5/2暗灰黄色シルトブロックを少量と炭化物含む。
5　5Y2/1　黒色粘質シルト　2.5GY5/1オリーブ灰色砂質シルトを斑状に含む。
6　2.5Y5/3　黄褐色シルト　崩落土。
7　7.5Y2/1　黒色シルト　2.5GY5/1オリーブ灰色砂質シルトをブロック状に含む。砂分少量含む。

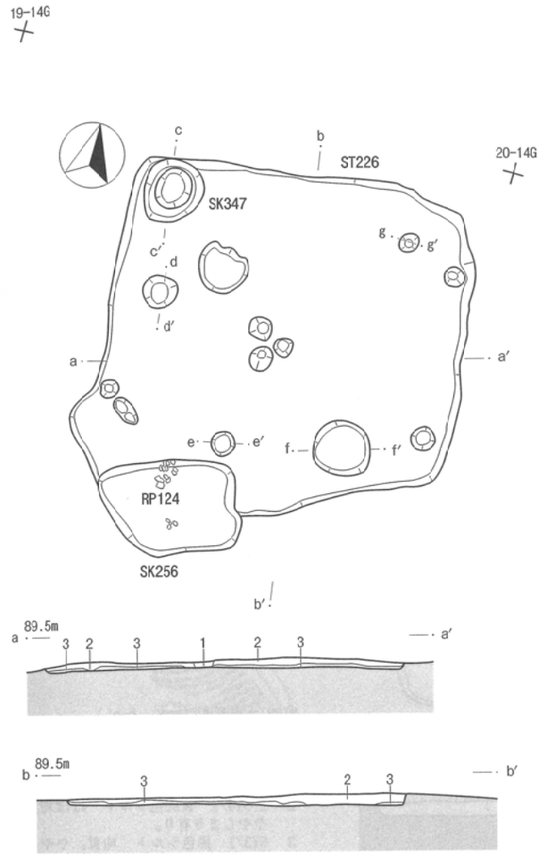
ST内EP土層断面（d-d′）
1　10YR2/2　黒褐色シルト　10YR4/1褐灰色シルトが15%程度斑に混じる。かたくしまる。
2　10YR2/2　黒褐色シルト　均質でかたくしまる。
3　10YR2/2　黒褐色シルト　10YR4/1褐灰色シルトが2.5%程度ブロック状に混じる。しまりなし。やや軟弱。
4　N2/0　黒色粘土　5Y3/2オリーブ黒色粘土が15%程度ブロック状に混じる。軟弱でしまりなし。
5　7.5GY3/1　暗緑灰色粘土　5GY4/1暗オリーブ灰色微砂質シルトが3%程度ブロック状に混じる。軟弱でしまりなし。

0　2m
（1：60）

第34図　ＳＴ224、225、481　竪穴住居跡

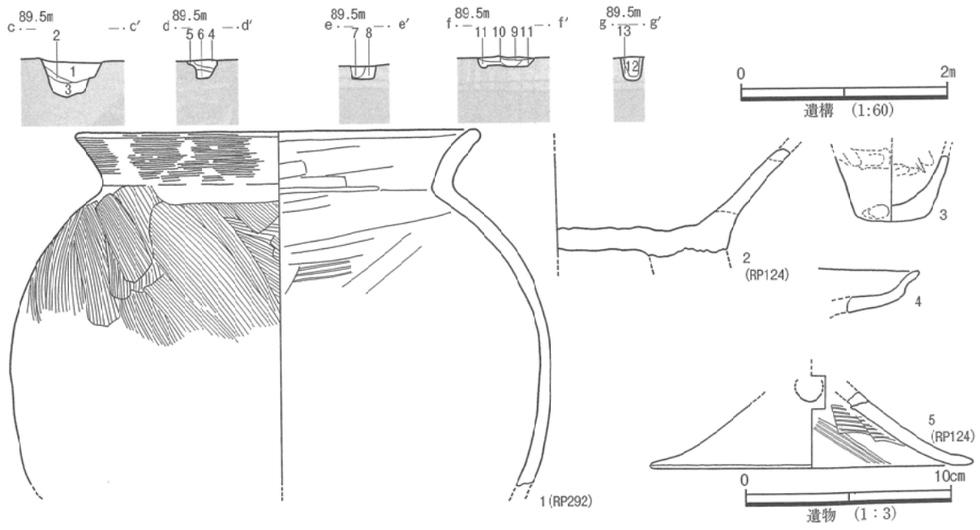




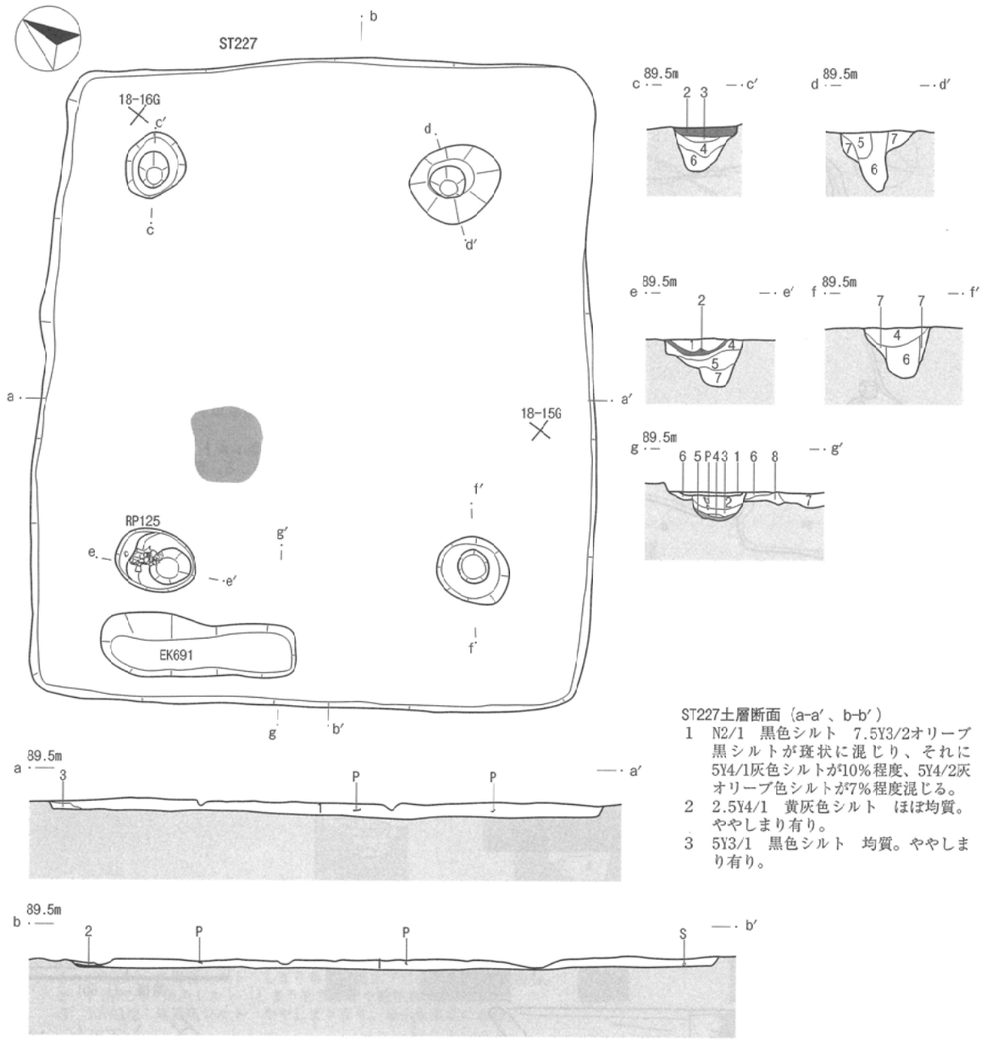



ST226土層断面
1　5Y3/2　オリーブ黒色シルト　2.5Y2/1黒色シルトが40%程度ブロック状に混じる。しまり有り。
2　2.5Y3/2　黒褐色シルト　2.5Y5/1黄灰色シルトが40%、径0.5～2mm程度の粒状や斑状に混じる。炭顆粒を含む。しまり有り。
3　2.5Y4/1　黄灰色粘質シルト　ほぼ均質。しまり有り。

ST226内EP土層断面
1　10YR3/1　黒褐色シルト　粘性やや有り。2.5Y4/1黄灰色シルトを斑状に含む。炭顆粒有り。
2　7.5Y3/1　オリーブ黒色粘質シルト　1層土をブロック状に含む。地山の崩落土。
3　5Y2/1　黒色粘質シルト　粘性強く、地山ブロックを含む。
4　2.5Y3/2　黒褐色シルト　2.5Y5/1黄灰色シルトが10%程度粒状に混じる。炭顆粒を少し含む。しまり有り。
5　2.5Y3/2　黒褐色シルト　2.5Y4/1黄灰色シルトが30%程度ブロック状に混じる。しまり有り。
6　2.5Y4/1　黄灰色シルト　炭顆粒を含む。しまり有り。
7　N3/0　暗灰色粘質シルト　10Y4/1灰色シルトが7%程度、粒状やブロック状に混じる。しまりやや弱い。
8　10Y4/1　灰色粘質シルト　N3/暗灰色粘質シルトが5%程度ブロック状に混じる。しまりやや弱い。
9　7.5Y3/2　オリーブ黒色粘質シルト　10Y5/1灰色シルト20%程度粒状に混じる。しまり有り。
10　7.5Y4/1　灰色シルト　5Y3/2オリーブ黒色シルトが15%程度ブロック状に混じる。しまり有り。
11　2.5Y5/2　暗灰黄色微砂質シルト　2.5Y4/1シルトが5%程度ブロック状に混じる。しまり有り。
12　2.5Y3/2　黒褐色シルト　2.5Y5/2暗灰黄色シルトが5%程度斑状に混じる。しまり有り。
13　2.5Y5/2　暗灰黄色シルト　2.5Y3/2黒褐色シルトが2%程度斑状に混じる。しまり有り。




第35図　ＳＴ226　竪穴住居跡




ST227土層断面（a-a′、b-b′）
1　N2/1　黒色シルト　7.5Y3/2オリーブ黒シルトが斑状に混じり、それに5Y4/1灰色シルトが10%程度、5Y4/2灰オリーブ色シルトが7%程度混じる。
2　2.5Y4/1　黄灰色シルト　ほぼ均質。ややしまり有り。
3　5Y3/1　黒色シルト　均質。ややしまり有り。

ST227内EP土層断面（c-c′、d-d′、e-e′、f-f′）
1　7.5Y2/2　オリーブ黒色粘質シルト　7.5Y4/1灰色粘土を2%程度含む。しまりはあるが軟弱。
2　炭化物層
3　7.5Y2/2　オリーブ黒色粘質シルト　7.5Y4/1灰色粘質シルトを7%程度ブロック状に含む。しまりはあるが軟弱。
4　7.5Y3/1　オリーブ黒色粘質シルト　7.5Y3/2オリーブ黒色粘質シルトが30%程度斑状に混じる。炭顆粒を含む。
5　7.5Y3/1　オリーブ黒色粘質シルト　7.5Y4/1灰色粘質シルトが15%程度ブロック状に混じる。ところどころに砂がブロック状に入る。しまりはあるが軟弱。
6　7.5Y2/1　黒色粘質シルト　7.5Y4/1灰色粘質シルトを3%程度含む。炭顆粒を含む。しまりはあるが軟弱。
7　7.5Y3/1　オリーブ黒色粘質シルト　7.5Y4/1灰色粘質シルトを7%程度ブロック状に含む。しまりはあるが軟弱。

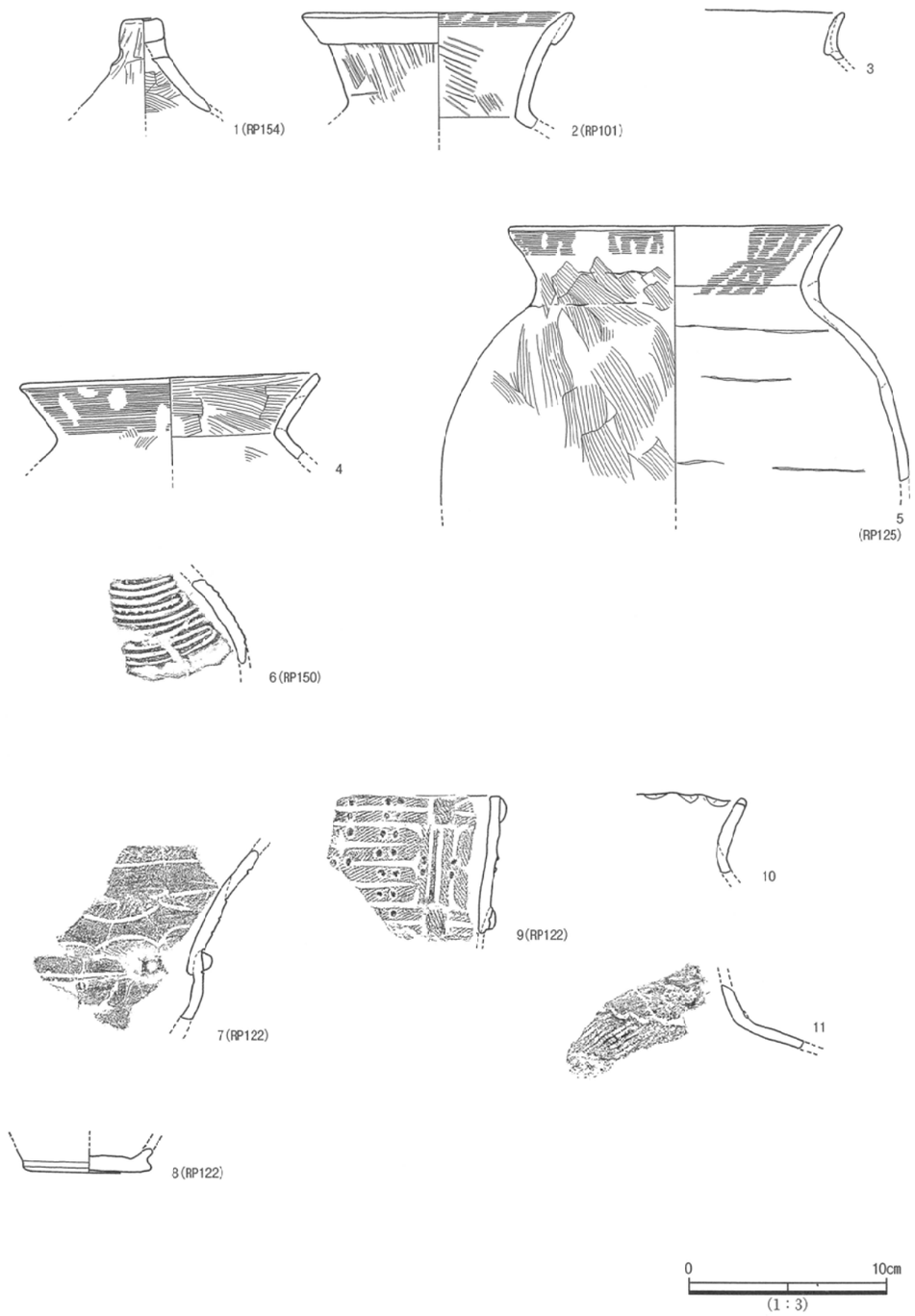
ST227内EK691土層断面（g-g′）
1　2.5Y3/1　黒褐色シルト　2.5Y4/2暗灰黄色シルトが7%程度粒状に混じる　焼土、炭顆粒を含む。しまり有り。
2　10GY2/1　緑黒色粘質シルト　7.5Y4/1灰色粘質シルトが30%程度斑状に混じる。軟弱。炭顆粒を含む。
3　2.5Y3/1　黒褐色シルト質粘土　7.5Y4/1灰色粘質シルトが5%程度粒状に混じる。軟弱。
4　2.5Y2/1　黒色粘質シルト　均質で軟弱。
5　10YR3/4　暗褐色シルト　軟弱。焼土。
6　7.5Y2/2　オリーブ黒色粘質シルト　7.5Y4/1灰色粘質シルトが20%程度斑状に混じる。やや軟弱。
7　2.5Y3/1　黒褐色シルト　2.5Y4/1黄灰色シルトが30%程度大きなブロック状に混じる。
8　7.5Y3/1　オリーブ黒色粘質シルト　7.5Y4/1灰色シルトが15%程度ブロック状や斑状に混じる。

0　2m
（1：60）

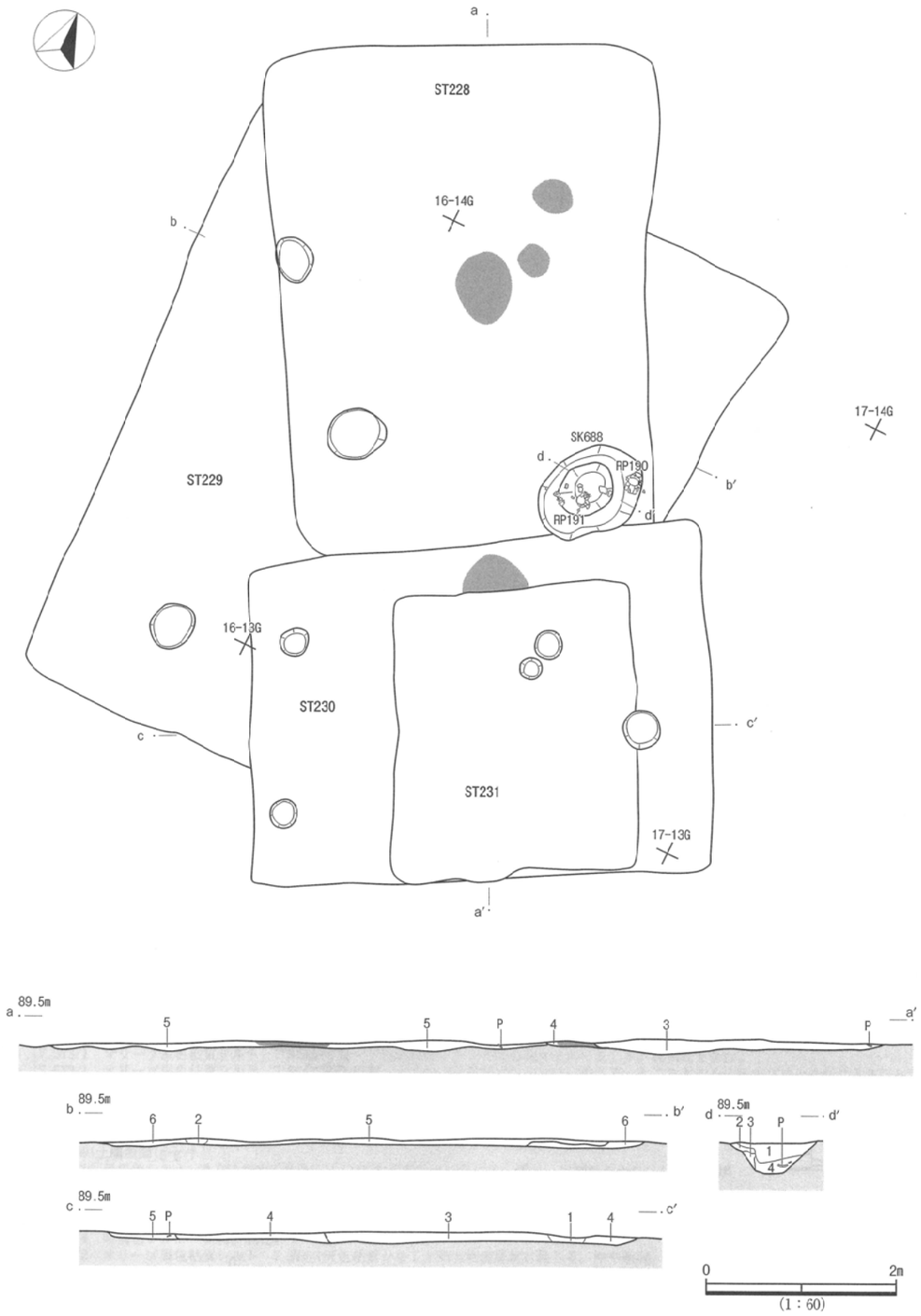
第36図　ＳＴ227　竪穴住居跡（１）








第37図　ＳＴ227　竪穴住居跡（２）



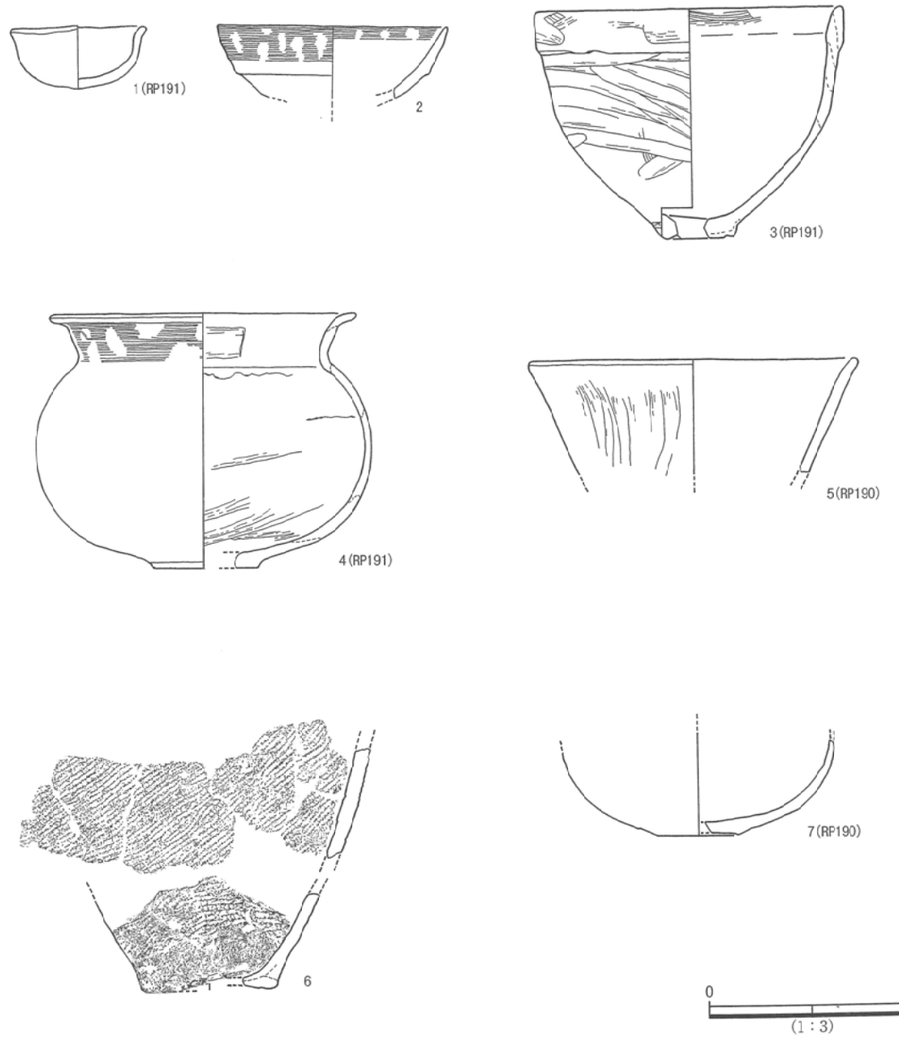

第38図　ＳＴ228、229、230、231　竪穴住居跡（１）



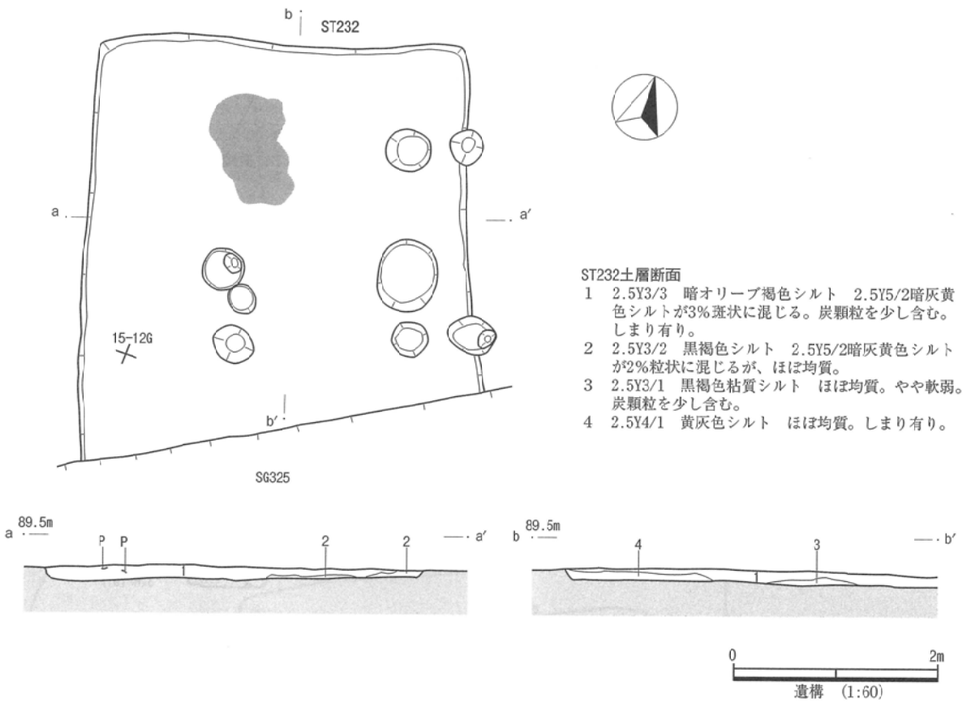


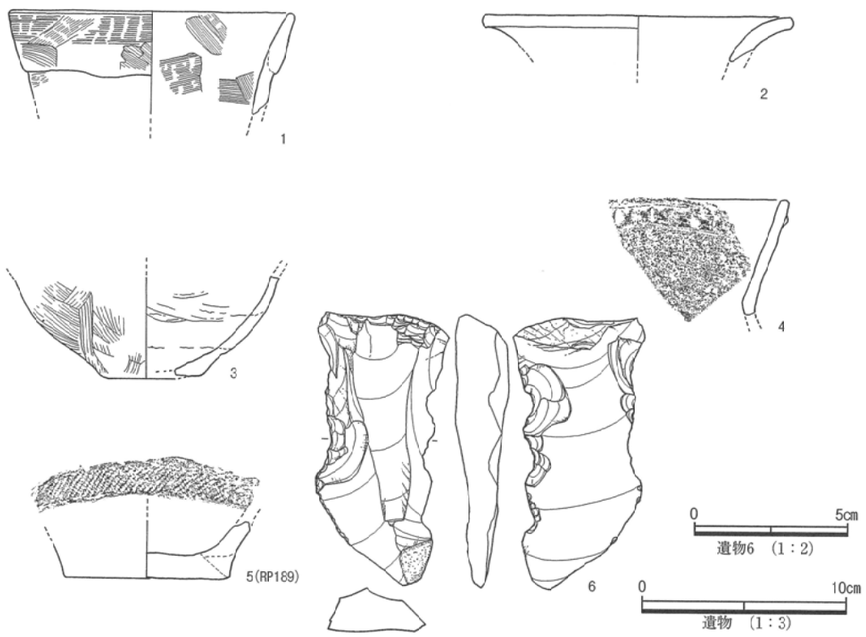
SK688土層断面
1　10YR2/1　黒色シルト　炭化物と土器組片含む。
2　10YR3/1　黒褐色粘質シルト　砂分多い。自然堆積。
3　5Y3/1　オリーブ黒色粘質シルト　地山土がブロック状に混じる。土器含む。
4　7.5Y3/2　オリーブ黒色シルト　粘性有り。炭化物と土器含む。

ST228、229、330、231土層断面
1　2.5Y3/1　黒褐色シルト　2.5Y5/2暗灰黄色シルトが20％ブロック状に混じる。しまる。
2　2.5Y3/2　黒褐色シルト　2.5Y4/1黄灰色シルトが5％、2.5Y4/2暗灰黄色シルトが5％粒状に混じる。炭顆粒を含む。しまる。
3　2.5Y3/1　黒褐色シルト　2.5Y4/1黄灰色シルトが3％混じる。部分的に炭顆粒を含む。しまる。
4　2.5Y3/1　黒褐色シルト　ほぼ均質。しまる。
5　2.5Y3/2　黒褐色シルト　2.5Y4/1黄灰色シルトが1％斑に混じるがほぼ均質。しまる。
6　2.5Y3/2　黒褐色シルト　2.5Y5/2暗灰黄色シルトが10％粒状や斑状に混じる。しまる。




第39図　ＳＴ228、229、230、231　竪穴住居跡（２）




第40図　ＳＴ232　竪穴住居跡





ほか、柱穴が４箇所、底に焼土が堆積した長さ２ｍ、幅0.5ｍ、深さ0.3ｍの溝状の堀込ＥＫ691が検出された。抜き取りが行なわれたと推定できる柱穴には炭化物が堆積していた。また、その一つからは抜き取り時に廃棄されたと思われる甕が出土している。　抜き取り

遺物は土師器の蓋、壷、甕のほかに縄文時代後期の土器も出土している。

**ＳＴ228、229、230、231竪穴住居跡、ＳＫ688土坑（第38、39図）**

圃場整備により、殆ど削平され、断面でこれらの住居跡の重複完形を検証するのは不可能であったが、平面で関係がわかるものが殆どである。遺物の出土状況も皆無に等しい。

ＳＴ228は調査区Ａ区の16、17－14、15Ｇに位置し、南北軸が長い3.8ｍ×5.3ｍの長方形である。床面しか検出できなかった。炉跡と思われる焼土がほぼ中央に位置している。遺物の出土はなかった。また、ＳＴ229を切っているが、ＳＴ230との重複関係は不明である。ＳＫ688に切られている。

ＳＴ229は南北軸が長い5.8ｍ×6.8ｍの長方形である。床面しか検出できなかった。炉跡や柱穴、住居内施設は検出されなかった。ＳＴ228、230、231より時期が古い。遺物は第39図２の高杯の坏部が１点出土しているが、この住居跡に伴うものかは微妙である。

ＳＴ230は東西軸が長い4.8ｍ×3.5ｍの長方形である。床面しか検出できなかった。北壁に炉跡と推測できる焼土が検出されたが、柱穴や住居内施設は検出できなかった。遺物も出土しなかった。ＳＴ229より新しいがＳＴ231、ＳＫ688より古い。ＳＴ228との新旧関係は明白ではない。

ＳＴ231は南北軸が長い2.5ｍ×３ｍの長方形である。床面しか検出できず、柱穴や炉跡、住居内施設や遺物は見つからなかった。北壁面がＳＴ230の炉跡を切っている。

ＳＫ688は短軸0.8ｍ、長軸１ｍ、深さ0.3ｍの楕円形の土坑である。重複関係から、ＳＴ228、229、230より新しいと推定される。鉢類や壷類といった遺物が数点出土している。

**ＳＴ232竪穴住居跡（第40図）**

調査区Ａ区の16、15－12、13Ｇに位置する。南北軸が長い3.6ｍ×４ｍの長方形である。床面しか検出できなかった。炉跡と推測される焼土が北壁寄りに検出された。柱穴やその他の住居内施設は検出できなかった。南壁はＳＧ325河川跡により削平され、消滅している。遺物は土師器の鉢や壷の断片が出土しているほか、縄文時代の土器や石器も出土している。　河川跡により削平

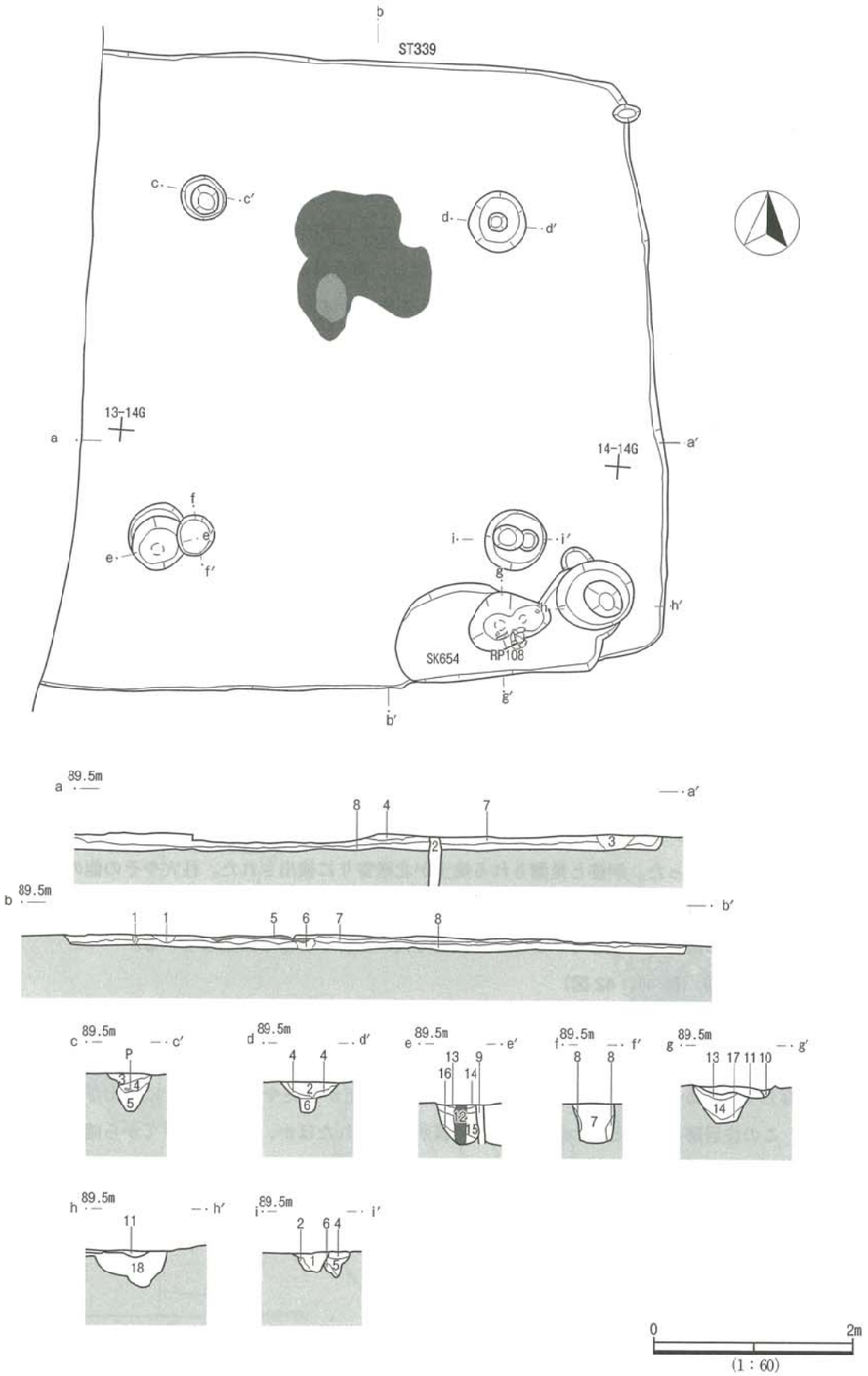
**ＳＴ339竪穴住居跡（第41、42図）**

調査区Ａ区の14－14、15Ｇに位置する。南北軸がやや長い６ｍ×6.3ｍの長方形であるが、西壁が調査区外にはみ出すため確認できなかったが、ほぼ正方形をしていると予想される。床面しか残存していなかったが、炉跡と思われる炭化物と焼土が中央やや北壁寄りに検出された。また、この住居跡のものと思われる柱穴が４箇所検出されたほか、床面を下げてから確認できたため、この住居跡よりやや古いと思われる堀込ＳＫ654も検出された。出土遺物は、ＳＫ654などから高杯や壷、甕、砥石が見られる。

さらに、この住居跡を噴砂が切っていることを確認することができたが、いつの時代に生じた現象なのか判断することはできなかった。

**ＳＴ446竪穴住居跡（第43図）**

調査区Ａ区の13、14－12、13Ｇに位置する。住居跡の西側が調査区外にあるため、全体を調査することができなかったが、確認できただけでも短軸６ｍ、長軸6.7ｍの大きさであった。



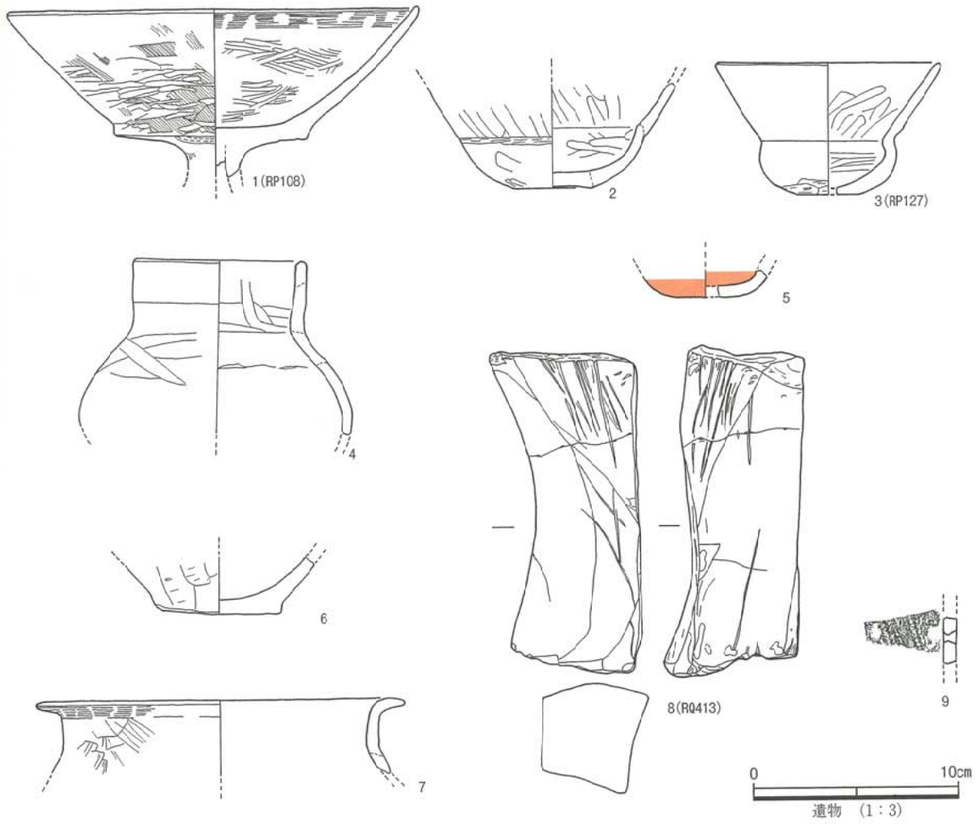

第41図　ＳＴ339　竪穴住居跡（１）





ST339土層断面
1　攪乱
2　2.5Y5/1　黄灰色砂　噴砂。くずれやすい。
3　2.5Y3/2　黒褐色シルト　2.5Y4/1黄灰色シルトが2.5％程度、ブロック状や粒状に混じる。しまり有り。
4　2.5Y3/2　黒褐色シルト　2.5Y4/1黄灰色シルトが7％程度粒状に混じる。炭顆粒を含む。しまり有り。
5　焼土　炉跡。炭顆粒を含む。ややしまる。
6　2.5Y3/1　黒褐色シルト　10Y3/1オリーブ黒色微砂質シルトを7％程度含む。しまり有り。
7　2.5Y3/1　黒褐色シルト　2.5Y4/2暗灰黄色砂質シルトが3％程度粒状やブロック状に混じる。しまり有り。貼り床。
8　7.5Y3/1　オリーブ黒色粘質シルト　7.5Y4/1灰色微砂質シルトを部分的に3％程度斑状に含む。貼り床。

ST339内EP土層断面
1　10YR3/1　黒褐色粘質シルト　炭化物含む。しまり有り。
2　2.5Y3/1　黒褐色粘質シルト　地山。植物根を含む。
3　7.5YR2/1　黒色粘質シルト　地山小ブロックを微量含む。
4　5Y2/1　黒色粘質シルト　炭化物、地山小ブロックを少量含む。
5　10YR2/1黒色粘質シルト　地山ブロックを少量含む。
6　2.5Y3/1　黒褐色粘質シルト　粘性強い。植物根多く含む。
7　5Y3/1　オリーブ黒色粘質シルト　7.5Y4/1灰色粘質シルトがブロック状に混じる。軟弱。
8　7.5Y4/1　灰色砂質シルト　均質。しまり有る。砂質のため脆い。
9　2.5Y5/4　黄褐色砂　噴砂。
10　10YR2/1　黒色粘質シルト　ST339床面周溝。
11　2.5Y3/1　黒褐色シルト　粘性あり。非常にしまっている。ST339貼り床。2.5Y4/1黄灰色砂質シルトと炭化物含む。
12　10YR2/1　黒色粘質シルト　植物根、土器細片含む。柱痕。
13　5Y3/2　オリーブ黒色粘質シルト　地山砂ブロックを多く含む。ややしまりあり。
14　10YR4/1　褐灰色粘質シルト　炭化物を微量含む。地山ブロックを含む。土師器片含む。ややしまり有り。
15　2.5Y3/1　黒褐色シルト　地山砂ブロックを多量に含む。ややしまりあり。
16　2.5Y4/1　黄灰色シルト　ややしまりあり。
17　10YR2/1　黒色粘質シルト　粘性強い。
18　2.5Y3/2　黒褐色シルト　2.5Y4/1黄灰色微砂質シルトが7％程度斑状に混じる。しまり有るが軟弱。炭顆粒を少し含む。

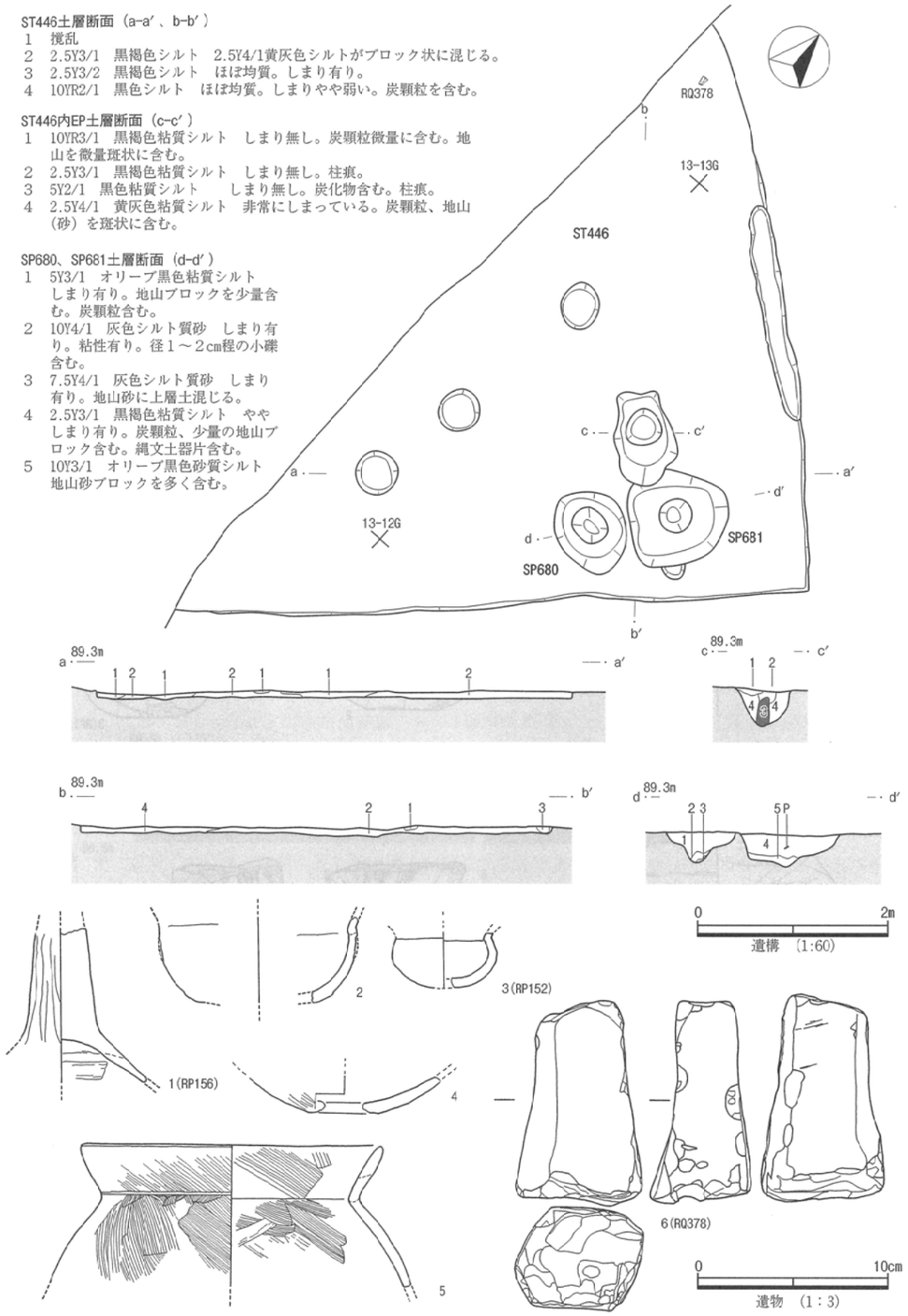



第42図　ＳＴ339　竪穴住居跡（2）

ST446土層断面（a-a′、b-b′）
1　攪乱
2　2.5Y3/1　黒褐色シルト　2.5Y4/1黄灰色シルトがブロック状に混じる。
3　2.5Y3/2　黒褐色シルト　ほぼ均質。しまり有り。
4　10YR2/1　黒色シルト　ほぼ均質。しまりやや弱い。炭顆粒を含む。

ST446内EP土層断面（c-c′）
1　10YR3/1　黒褐色粘質シルト　しまり無し。炭顆粒微量に含む。地山を微量斑状に含む。
2　2.5Y3/1　黒褐色粘質シルト　しまり無し。柱痕。
3　5Y2/1　黒色粘質シルト　　しまり無し。炭化物含む。柱痕。
4　2.5Y4/1　黄灰色粘質シルト　非常にしまっている。炭顆粒、地山（砂）を斑状に含む。

SP680、SP681土層断面（d-d′）
1　5Y3/1　オリーブ黒色粘質シルト　しまり有り。地山ブロックを少量含む。炭顆粒含む。
2　10Y4/1　灰色シルト質砂　しまり有り。粘性有り。径１～２cm程の小礫含む。
3　7.5Y4/1　灰色シルト質砂　しまり有り。地山砂に上層土混じる。
4　2.5Y3/1　黒褐色粘質シルト　ややしまり有り。炭顆粒、少量の地山ブロック含む。縄文土器片含む。
5　10Y3/1　オリーブ黒色砂質シルト　地山砂ブロックを多く含む。



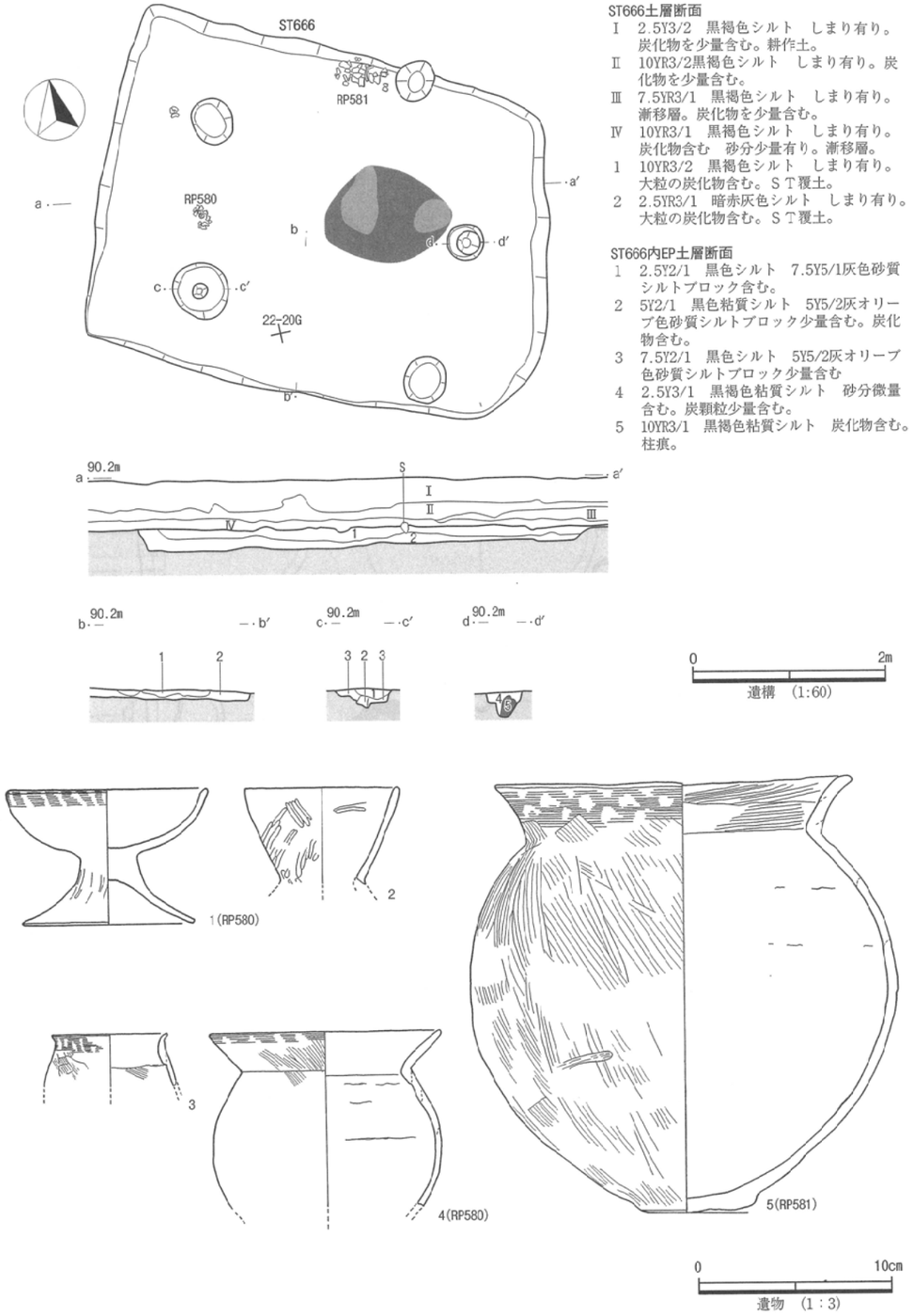

第43図　ＳＴ446　竪穴住居跡



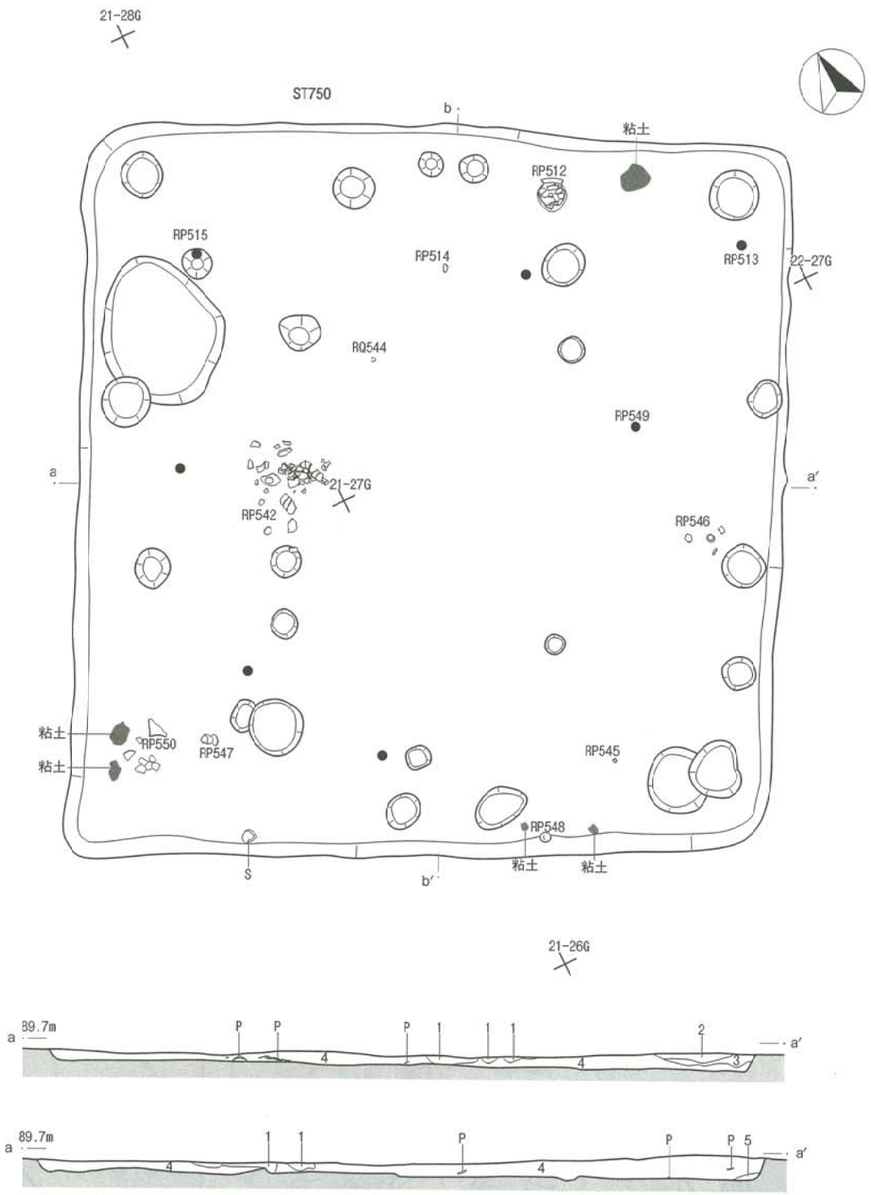


ST666土層断面
Ⅰ　2.5Y3/2　黒褐色シルト　しまり有り。炭化物を少量含む。耕作土。
Ⅱ　10YR3/2黒褐色シルト　しまり有り。炭化物を少量含む。
Ⅲ　7.5YR3/1　黒褐色シルト　しまり有り。漸移層。炭化物を少量含む。
Ⅳ　10YR3/1　黒褐色シルト　しまり有り。炭化物含む　砂分少量有り。漸移層。
1　10YR3/2　黒褐色シルト　しまり有り。大粒の炭化物含む。ＳＴ覆土。
2　2.5YR3/1　暗赤灰色シルト　しまり有り。大粒の炭化物含む。ＳＴ覆土。

ST666内EP土層断面
1　2.5Y2/1　黒色シルト　7.5Y5/1灰色砂質シルトブロック含む。
2　5Y2/1　黒色粘質シルト　5Y5/2灰オリーブ色砂質シルトブロック少量含む。炭化物含む。
3　7.5Y2/1　黒色シルト　5Y5/2灰オリーブ色砂質シルトブロック少量含む
4　2.5Y3/1　黒褐色粘質シルト　砂分微量含む。炭顆粒少量含む。
5　10YR3/1　黒褐色粘質シルト　炭化物含む。柱痕。




第44図　ＳＴ666　竪穴住居跡



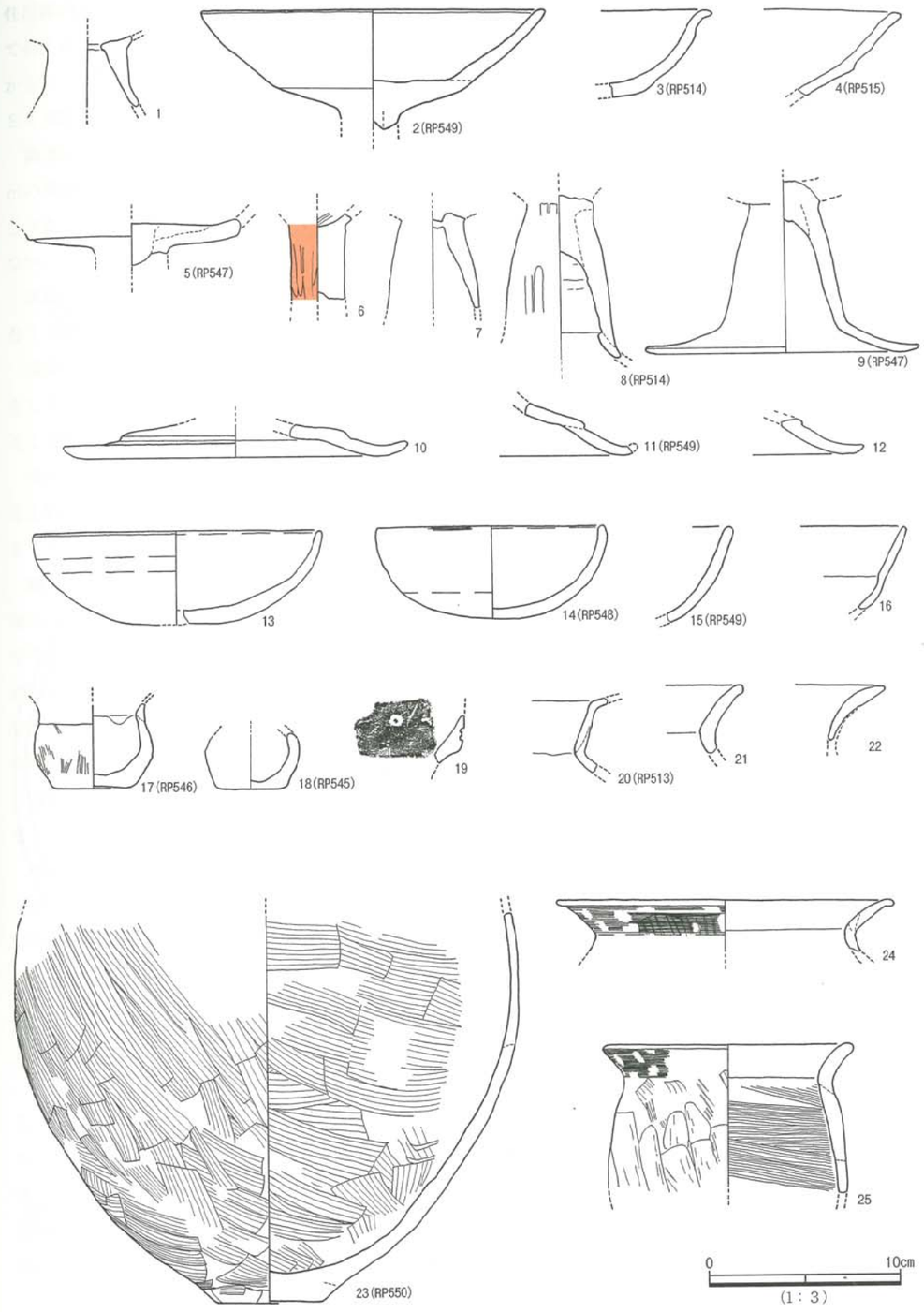

ST750土層断面
1　5YR3/1　オリーブ黒シルト　植物根多し、後世の耕作による攪乱。
2　10YR3/1　黒褐色シルト　しまり有り、炭顆粒を微量含む。
3　7.5YR2/2　黒褐色シルト　しまり有り、炭顆粒を微量含む。7.5YR5/1褐灰色シルトを斑状に含む。
4　10YR3/2　黒褐色シルト　しまり有り、粘性やや有り炭化物・土器片を含む。10YR6/2灰黄褐色シルトを斑状に少量含む。
5　10YR3/1　黒褐色シルト　粘性やや有り。

0　2m
(1：60)

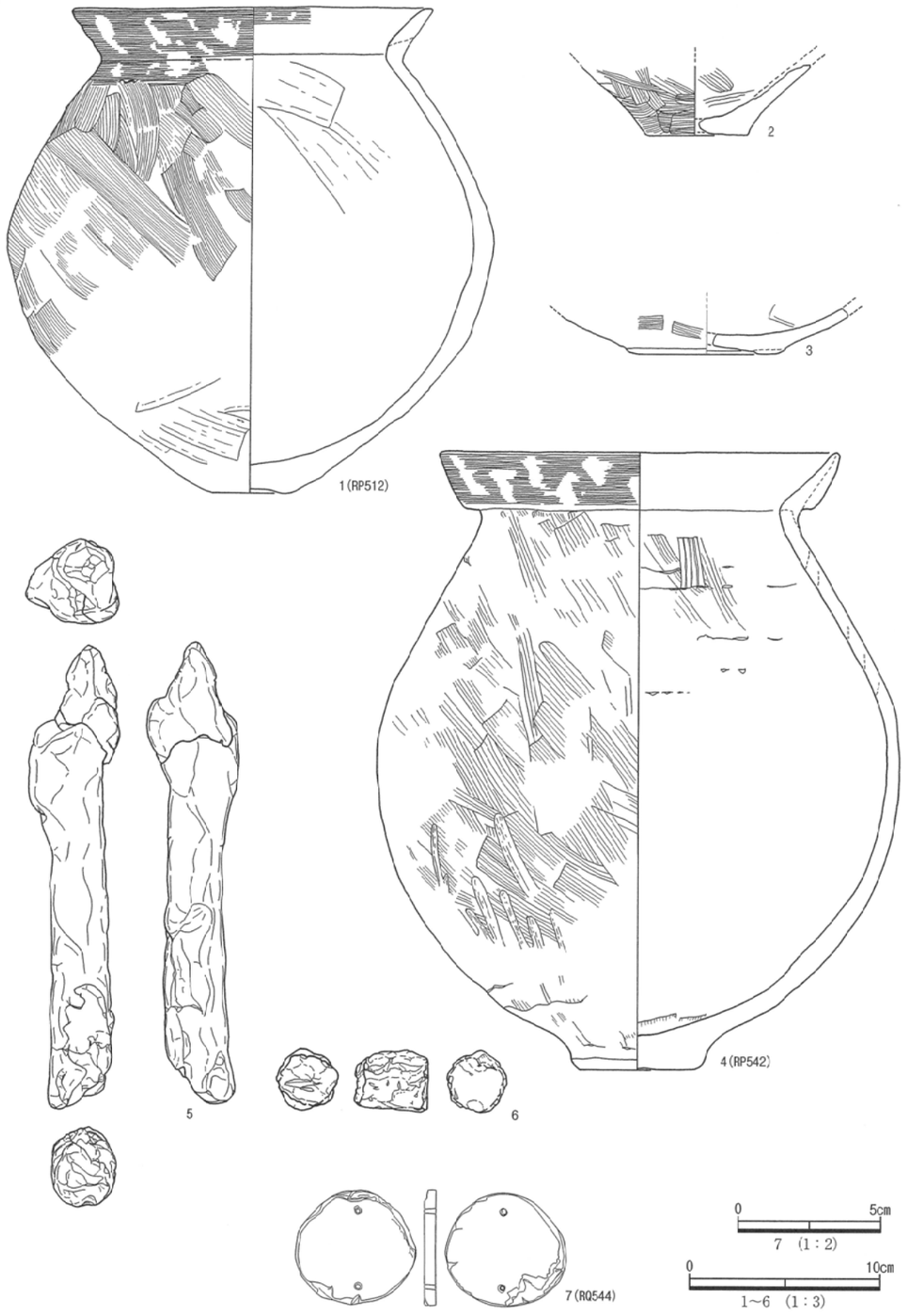
第45図　ＳＴ750　竪穴住居跡（1）








第46図　ＳＴ750　竪穴住居跡（2）




第47図　ＳＴ750　竪穴住居跡（３）





住居跡内からは比較的まとまって柱穴が検出された。他の住居跡の柱穴の可能性もあるが、立て替えた可能性も否定できない。圃場整備による削平を受けているため、床面しか検出できなかった。出土遺物は高杯、鉢、甕などの断片と砥石である。　砥石

**ＳＴ 666 竪穴住居跡（第 44 図）**

調査区Ａ区とＢ区の境界線上の 22、23 － 20、21 Ｇに位置する。東西軸が長い 4.7 ｍ× 3.5 ｍの東壁が歪な長方形をしている。炉跡と推定可能な炭化物と焼土が中央やや東寄りから検出された。ピットが数基確認できたが、この住居跡の柱穴であると積極的に肯定することはできない。

床面から、小型高杯や壷、甕などの遺物が出土している。

**ＳＴ 750 竪穴住居跡（第 45、46、47 図）**

調査区Ｂ区の 21、22 － 27、28 Ｇに位置する。南北軸がやや長い 6.8 ｍ× 7 ｍのほぼ正方形をしている。炉跡や柱穴、その他の住居内施設を検出することはできなかった。また、壁面の近くで粘土塊が出土した。

出土遺物は坏、壷、甕のほか高杯の断片といった土師器類のほか、壁材の一部の可能性もある土製品や有孔石盤も出土している。　有孔石盤

**ＳＴ 751 竪穴住居跡（第 48、49 図）**

調査区Ｂ区の 20、21 － 25、26 Ｇに位置する。６ｍ× 6.3 ｍのほぼ正方形をしている。一部、極めて最近に受けたと想像される巾２ｍ程の撹乱が存在した。焼土が住居跡内から中央やや北寄りと南角隅、南東壁の東寄りの３箇所検出された。特に南東壁東寄りの焼土からは、破片ながらも土師器の甕も伴出していることから、カマド状の燃焼施設が存在していた可能性を否定できない。また、南東壁には長さ２ｍ程の張り出しが観察できた。この住居跡の階段状の出入り口か棚状の施設の可能性が考えられる。さらに、４箇所柱穴を検出することができた。　カマド状の燃焼施設

遺物の出土状況は悪く、焼土部分から壷、甕の断片ほか管玉が見られる。　管玉

**ＳＴ 752 竪穴住居跡（第 50 図）**

調査区Ｂ区の 23 － 25、26 Ｇに位置する。3.3 ｍ× 3.3 ｍのほぼ正方形をしている。床面直上からは炭化物が大量に広がっているのが検出された。焼失住居の可能性が高い。炉跡と想定できる焼土は検出できなかった。住居内から落ち込みやピットを検出することはできたが、この住居の柱穴と断言できるものはない。　焼失住居

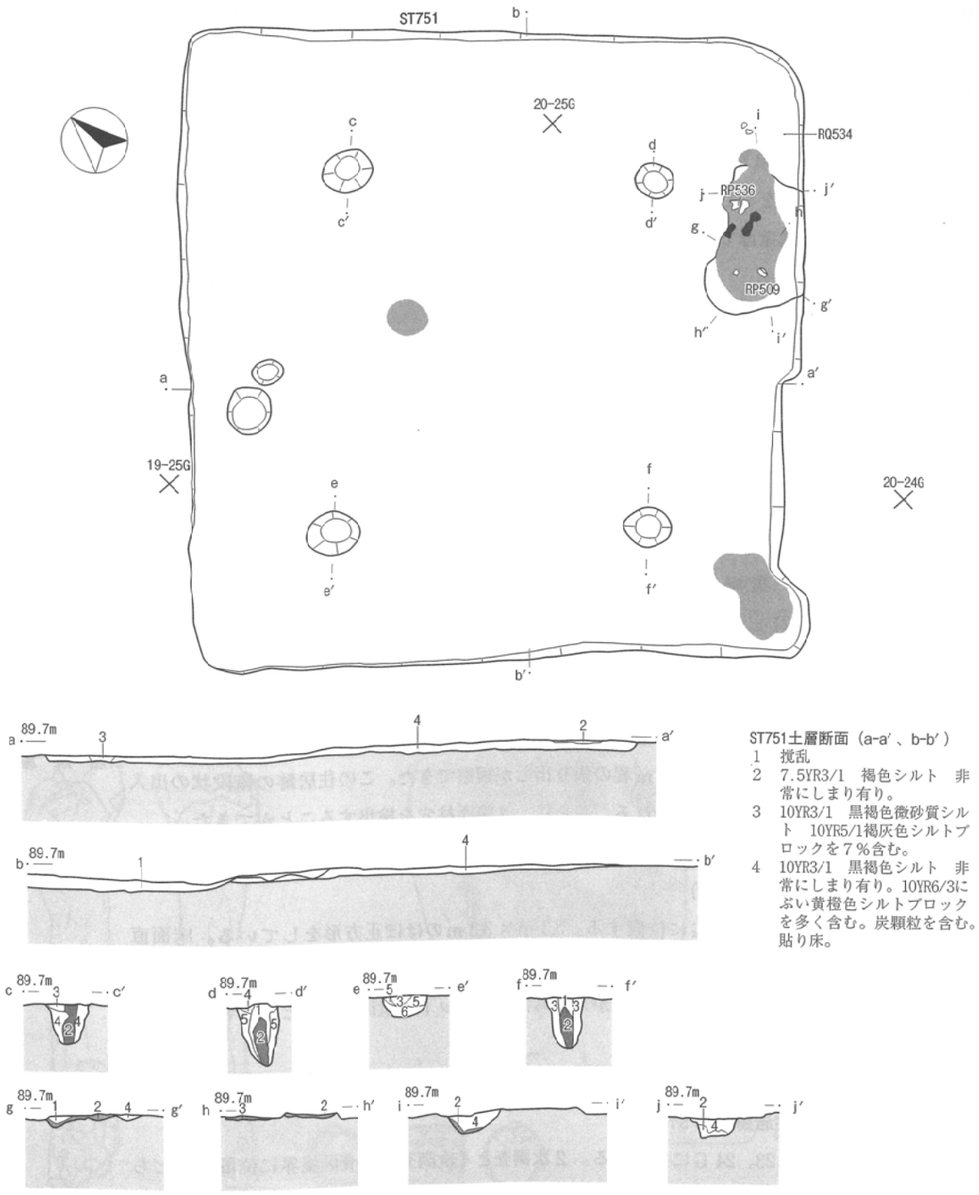
遺物の出土はあったが、細片のみで図化できるものはなかった。

**ＳＴ 753、754 竪穴住居跡（第 51 図）**

調査区Ｂ区の 23 － 23、24 Ｇに位置する。２次調査と４次調査の調査区境界に位置し、どちらも検出面が床面で、残存状況が非常に悪かった。２次調査調査区側である東半分は検出できなかった。重複関係からＳＴ 753 がＳＴ 754 より古いと推測できる。また、ＳＴ 754 からは炉跡と推測できる焼土が見られる。さらに、ＳＴ 754 床面からは、住居跡より古いと推定できる遺物を伴わない掘込が検出された。両住居跡とも図化できるほどの遺物の出土はなかった。

**ＳＴ 755 竪穴住居跡（第 52、53 図）**

調査区Ｂ区の 18、19 － 22 Ｇに位置する。一辺が 4.4 ｍほどの方形である。住居跡のほぼ半分は調査区外のために未調査である。北東壁よりの床面から炭化物、焼土が検出され、炉跡が




ST751土層断面（a-a′、b-b′）
1　撹乱
2　7.5YR3/1　褐色シルト　非常にしまり有り。
3　10YR3/1　黒褐色微砂質シルト　10YR5/1褐灰色シルトブロックを７％含む。
4　10YR3/1　黒褐色シルト　非常にしまり有り。10YR6/3にぶい黄橙色シルトブロックを多く含む。炭顆粒を含む。貼り床。

ST751内EP土層断面（c-c′、d-d′、e-e′、f-f′）
1　10YR3/1　黒褐色シルト　柱痕。炭化物を多量に含む。
2　10YR3/1　黒褐色粘質シルト　柱痕。粘性非常に高い木質の腐植土。
3　2.5Y3/1　黒褐色粘質シルト　しまり有り。2.5Y6/2灰黄色シルトブロックを少量と炭化物を含む。
4　10YR3/1　黒褐色シルト　しまり有り。2.5Y6/2灰黄色シルトブロック少量と炭化物を含む。
5　10YR4/1　褐灰色粘質シルト　炭化物有り。
6　5Y3/2　オリーブ黒粘質シルト　炭顆粒を微量含む。

ST751内EL851（g-g′、h-h′、i-i′、j-j′）
1　2.5Y2/1　黒色シルト　ややしまり有り、炭顆粒を含む。
2　2.5Y3/1　黒褐色粘質シルト　7.5YR4/6焼土ブロックを20％含む。炭顆粒を含む。上にRP509有り。
3　7.5YR4/6　褐色焼土。
4　10YR3/1　黒褐色シルト　しまり有り、炭顆粒を含む。カマドの袖か。

0　2m
（1：60）

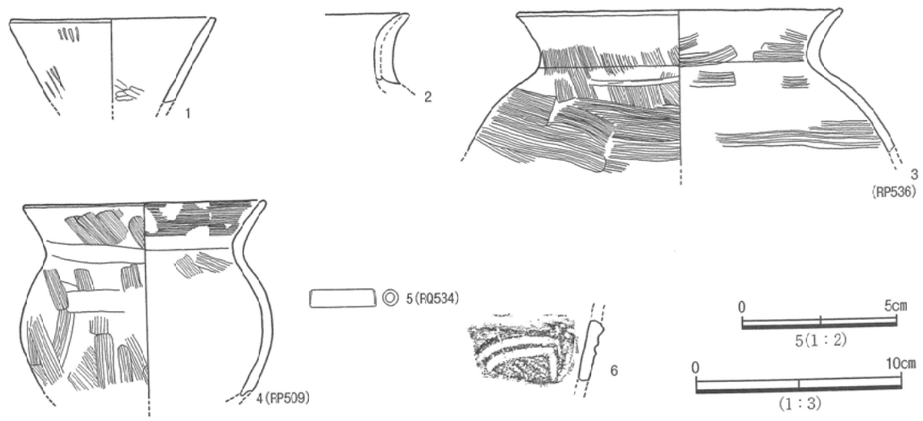
第48図　ＳＴ751　竪穴住居跡（１）



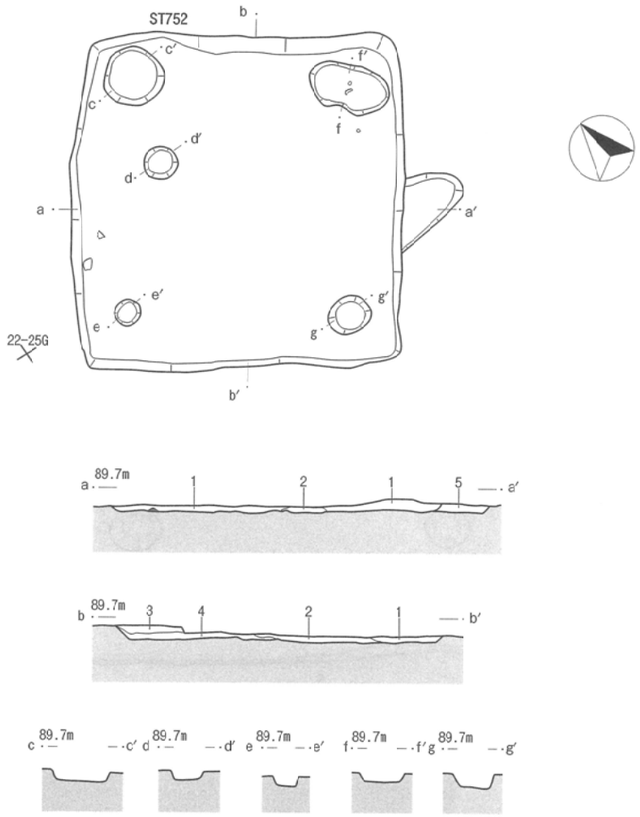


存在したと推測できる。住居内からピットが数基検出できたが、積極的にこの住居跡の柱穴であると断言することはできない。

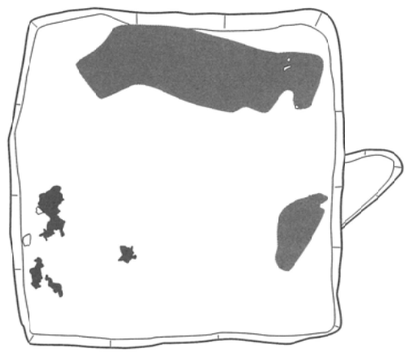
遺物は甕や高杯、鉢のほか壷の断片、支脚が出土している。




第49図　ＳＴ751　竪穴住居跡（２）




ST752土層断面
1　10YR3/1　黒褐色シルト　しまり有り。やや粘性有り。炭顆粒・酸化物を含む。
2　2.5Y2/1　黒色シルト　しまり有り炭顆粒を含む。5Y4/1灰色シルトブロックを斑状に含む。
3　2.5Y3/1　黒褐色シルト　しまり有り炭顆粒を微量含む。2.5Y5/2シルトブロックを15%含む。
4　10YR3/2　黒褐色シルト　しまり有り炭顆粒・炭化材を含む。
5　2.5Y2/1　黒色シルト　炭顆粒を微量含む。10YR5/2灰黄褐色シルトブロックを５%含む。



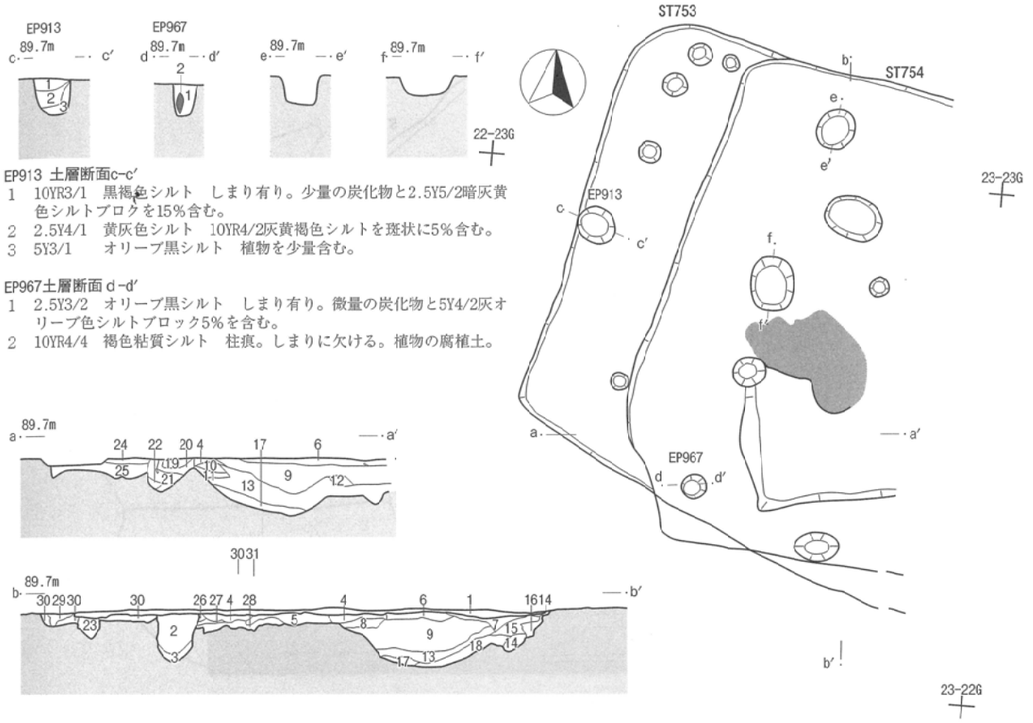
ST752遺物、炭化物分布図

0　2m
(1：60)

第50図　ＳＴ752　竪穴住居跡







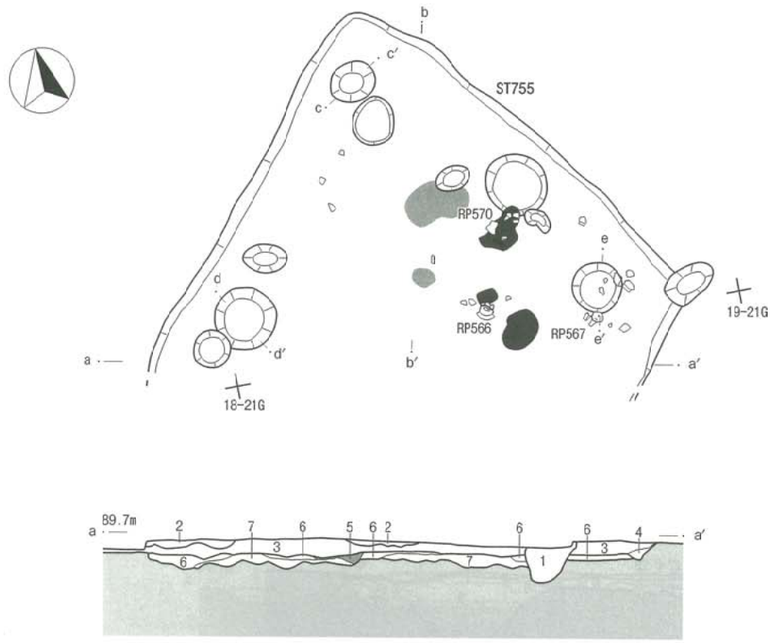

EP913 土層断面c-c′
1　10YR3/1　黒褐色シルト　しまり有り。少量の炭化物と2.5Y5/2暗灰黄色シルトブロックを15%含む。
2　2.5Y4/1　黄灰色シルト　10YR4/2灰黄褐色シルトを斑状に5%含む。
3　5Y3/1　　オリーブ黒シルト　植物を少量含む。

EP967土層断面 d-d′
1　2.5Y3/2　オリーブ黒シルト　しまり有り。微量の炭化物と5Y4/2灰オリーブ色シルトブロック5%を含む。
2　10YR4/4　褐色粘質シルト　柱痕。しまりに欠ける。植物の腐植土。

ST753、754
1　2.5Y3/1　黒褐色シルト　耕作土。しまり有り。
2　2.5Y3/1　黒褐色シルト　炭顆粒少量と地山小ブロックを３%と土師器片を含む。STより新しい柱穴。
3　2.5Y3/1　黒褐色シルト　7.5GY5/1緑灰色シルトブロックを20%含む。STより新しい柱穴。
4　10YR4/1　褐色シルト　しまり有り　炭顆粒と2.5Y7/2灰黄色シルトブロックを30%含む。
5　5Y2/1　黒色シルト　しまり有り。炭顆粒と2.5Y7/2灰黄色シルトブロックを30%含む。床面。
6　2.5Y3/2　黒褐色シルト　炭粒と土器細片を含む。2.5Y7/2灰黄色シルトブロックを40%含む。
7　5Y4/1　灰色シルト　しまり有り。10YR5/1褐灰色シルトブロックを20%含む。
8　10YR3/1　黒褐色シルト　2.5Y6/2灰黄色シルトブロックを斑状に7%含む。
9　10YR3/1　黒褐色シルト　しまり有り。10YR4/2灰黄褐色シルトを斑状に10%含む。
10　2.5Y3/1　黒褐色シルト　しまり、粘性有り。2.5Y4/1黄灰色シルトブロックを3%含む。ややグライ化。
11　10YR3/1　黒褐色シルト　粘性やや有り。10YR5/3にぶい黄褐色シルトブロックを3%含む。
12　10YR4/1　褐灰色シルト　しまり、粘性有り。10YR3/1黒褐色シルトブロックを5%含む。
13　5Y3/2　オリーブ黒粘質シルト　10G5/1緑灰色グライ化した粘質シルトブロックを20%含む。
14　2.5Y6/2　灰黄色シルト　しまり有り。
15　5Y3/1　オリーブ黒シルト　しまり有り。炭顆粒を含む。
16　5Y3/1　オリーブ黒シルト　しまり有り。炭顆粒と10YR5/1褐灰色シルトブロック25%を含む。
17　5Y4/1　灰色粘質粘質シルト。炭顆粒を含む。
18　2.5GY5/1　オリーブ灰粘質シルト　グライ化。炭顆粒を少量含む。
19　7.5YR3/1　黒褐色シルト　しまり有り。10YR6/2灰黄褐色シルトブロックを5%含む。
20　10YR4/1　褐灰色シルト　しまり有り。炭顆粒を少量含む。
21　2.5Y3/1　黒褐色シルト　粘性強。
22　2.5Y4/1　黄灰色粘質シルト　10YR6/2灰黄褐色砂ブロックを１%含む。
23　2.5Y3/1　黒褐色シルト　柱穴。しまり有り。炭顆粒を含む。
24　2.5Y5/2　暗灰黄色シルト　しまり有り。炭化物を含む。
25　10YR2/1　黒色シルト　しまり有り。炭化物を含む。
26　2/5Y2/1　黒褐色シルト　しまり有り　均質。
27　10YR2/1　黒色シルト　砂を少量含む。
28　2.5Y3/2　黒褐色シルト　しまり有り。粘性ややあり。炭顆粒と2.5Y6/2灰黄色シルトブロック3を多く含む。
29　2.5Y6/1　黄灰色シルト　しまり有り。炭顆粒と10YR4/1褐灰色シルトブロックを10%含む。
30　2.5Y3/1　黒褐色シルト　しまり有り。炭顆粒微量と10YR4/1褐灰色シルトブロックを7%含む。

0　2m
(1：60)

第51図　ＳＴ753、754　竪穴住居跡



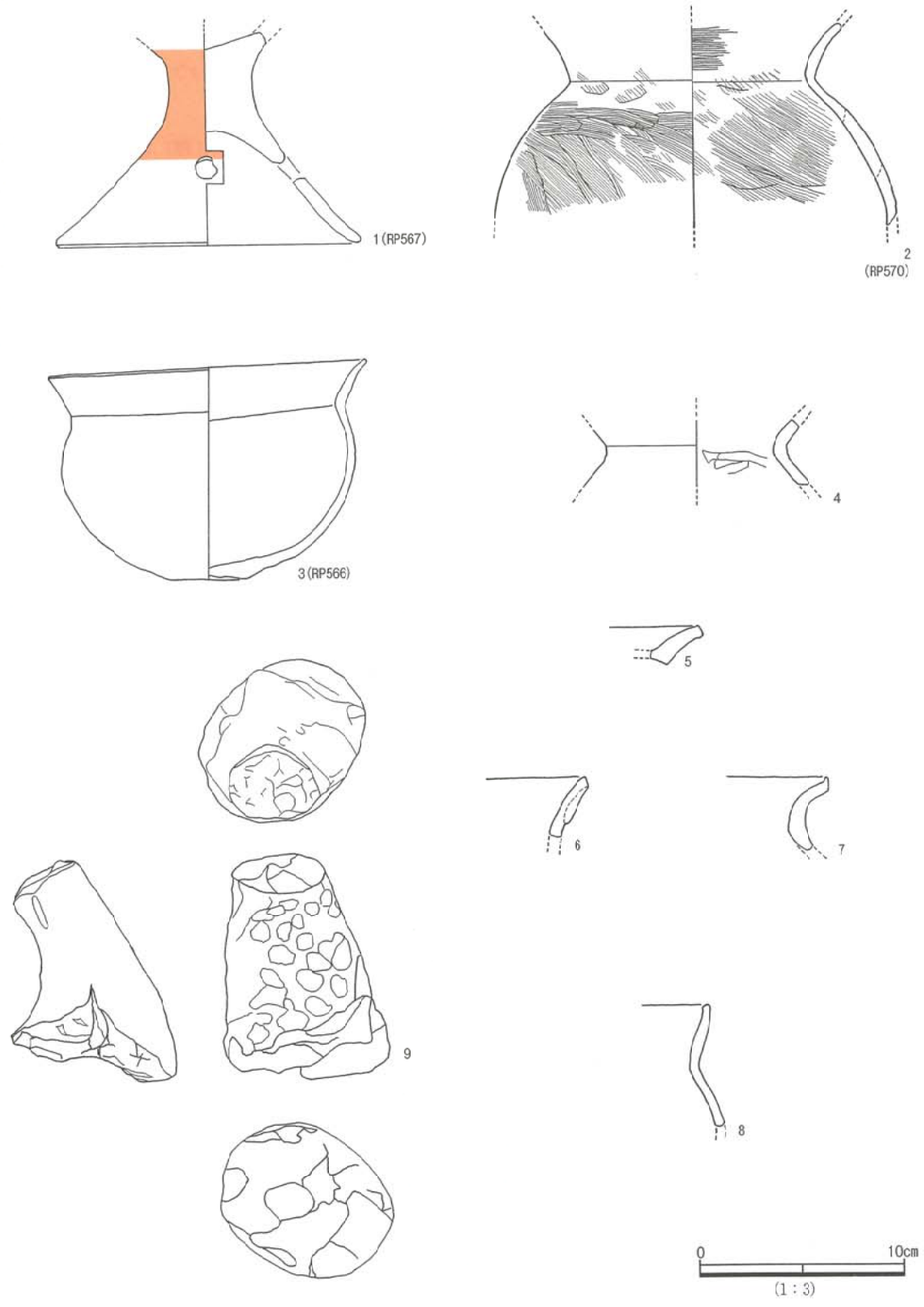

ST755土層断面
1　攪乱
2　10YR2/1　黒色シルト　しまり有り。耕作土。
3　10YR3/1　黒褐色シルト　しまり有り。炭顆粒、土器細片を含む。覆土。
4　5Y3/2　オリーブ黒シルト　しまり有り。炭顆粒を含む。周溝。
5　2.5Y3/1　黒褐色シルト　しまり有り。焼土、炭化物を含む。炉跡。
6　10YR2/1　黒色シルト　しまり有り。やや粘性有り。炭顆粒、土器片や焼土を含む。貼り床。
7　5Y3/1　オリーブ黒シルト　しまり有り。炭顆粒、2.5Y5/1黄灰色シルトブロックを10%含む。貼り床。

0　2m
(1：60)

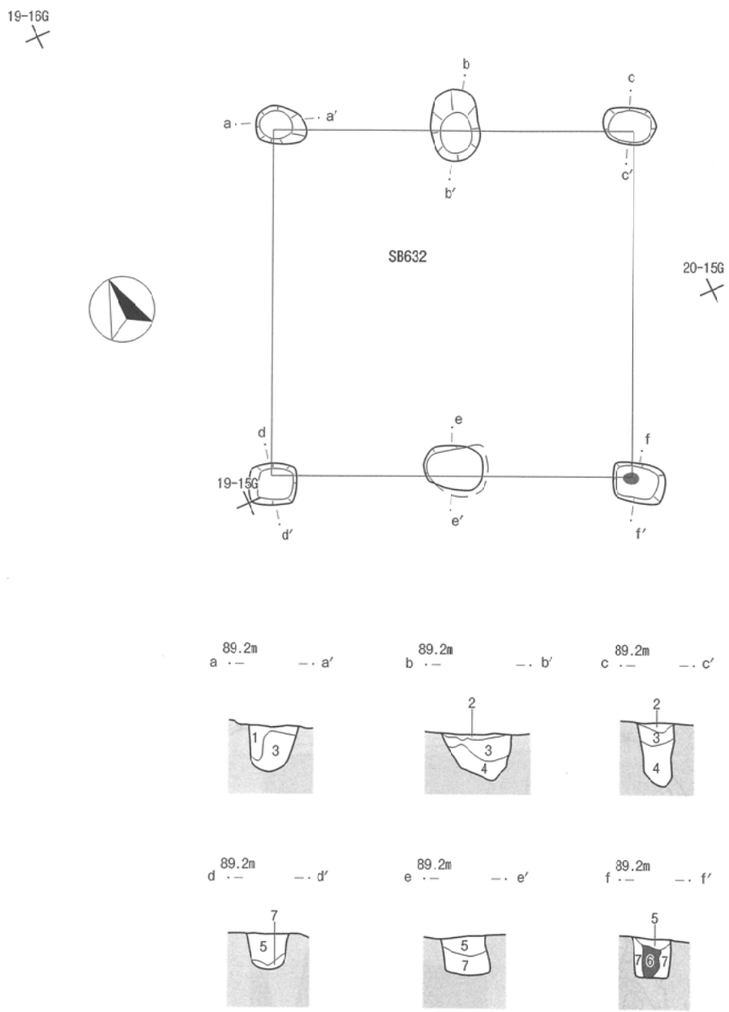
第52図　ＳＴ755　竪穴住居跡（１）








第53図　ＳＴ755　竪穴住居跡（２）




SB632土層断面
1　2.5Y3/1　黒褐色シルト　やや粘性有り。グライ化した7.5Y5/1灰色シルトブロックと炭顆粒を含む。
2　5Y4/1　灰色砂質シルト　粘性強。グライ化した7.5Y5/1灰色シルトブロック状に含む。
3　7.5Y3/1　オリーブ黒色粘質シルト　グライ化した7.5Y5/1灰色シルトブロック状に含む。炭顆粒を少量含む。
4　5Y4/1　灰色粘質シルト　粘性強い。グライ化した7.5Y5/1灰色シルトブロック状に含む。
5　10YR3/3　暗褐色砂質シルト　粘性無く、脆い。
6　2.5YR4/1　黄灰色シルト　粒細かく、粘性有り。柱痕。
7　10YR3/1　黒褐色粘質シルト　粒細かく、粘性有り。炭化物少量混入。

0　2m
(1：60)

第54図　ＳＢ632　掘立柱建物跡





## 3　掘立柱建物跡

今回の調査で掘立柱建物跡が４棟検出された。いずれも遺物の伴出は見られなかったが、遺構の分布状況から、古墳時代のものと考えられる。また、すべての掘立柱建物跡は極めて小規模で、住居として使用していたのではなく、倉庫として活用していた可能性のほうが高いと思われる。

**ＳＢ 632 掘立柱建物跡（第 54 図）**

調査区Ａ区 20 － 16 Ｇに位置する。一辺が 3.5 ｍ程の正方形である。東西軸に３基ずつ柱穴ある。

**ＳＢ 870、960 掘立柱建物跡（第 55 図）**

調査区Ｂ区 19、20 － 22、23 Ｇに位置する。ＳＢ 870 は 1.8 ｍ× 1.7 ｍのほぼ正方形である。規模は小さい。ＳＢ 960 は４ｍ× 3.5 ｍのほぼ正方形で、柱穴は４基あった。柱痕が確認できたのは２基である。　柱　痕

**ＳＢ 890 掘立柱建物跡（第 56 図）**

調査区Ｂ区 20、21 － 22、23 Ｇに位置する。東西軸が長い５ｍ× ４ｍの長方形で、東西軸に３基ずつ柱穴がある。柱の掘り方は非常に大きく、柱痕が残っているものが４基あった。　柱　痕

## 4　土坑

今回の調査で土坑は多数検出された。本報告書ではその中でも遺物がまとまって出土した土坑４基を掲載する。いずれも形状、土層から、廃棄土坑である可能性が高い。

**ＳＫ 84 土坑（第 57 図）**

調査区Ｂ区 15 － 33 Ｇに位置する。東西軸が長い 2.9 ｍ× 1.4 ｍの不定形で、検出面からの深さは 0.3 ｍである。

出土遺物は、土師器の高杯が２点、坏が６点、赤彩された小型壷の破片が１点、甕の破片が４個体分で、坏の出土量が多いのが目立つ。

**ＳＫ 660 土坑（第 58 図）**

調査区Ｂ区 20 － 21、22 Ｇに位置する。南北軸が長い 1.3 ｍ× 2.6 ｍの不定形で、検出面からの深さは 0.25 ｍである。

出土遺物は土師器の甕、壷、鉢のなどである。

**ＳＫ 764 土坑（第 59 図）**

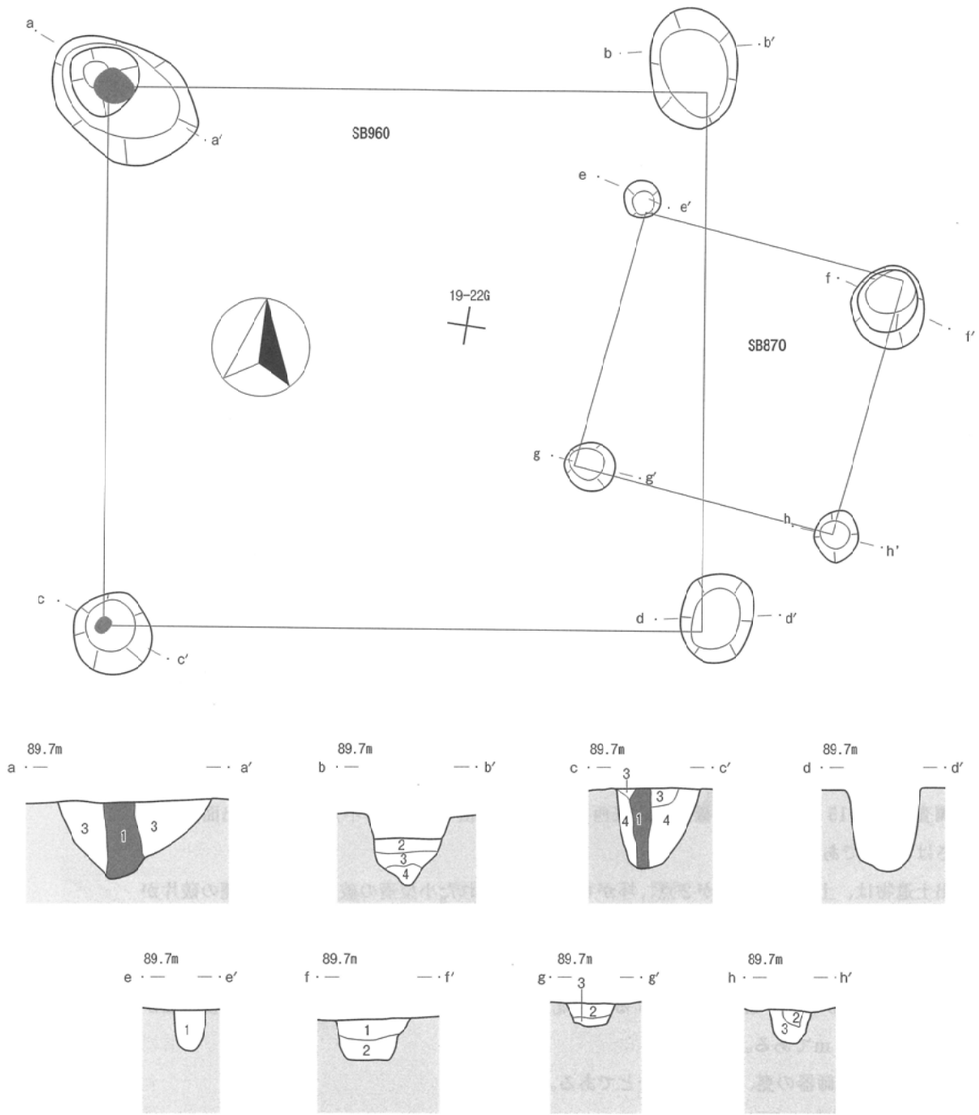
調査区Ｂ区 21 － 26 Ｇに位置する。東西軸が長い 2.1 ｍ× 1.1 ｍのいびつな楕円形で、検出面からの深さは 0.2 ｍである。

出土遺物は土師器の高杯が目立ち、坏も出土している。縄文時代晩期の浅鉢片のほか、混入品と思われる、平安時代の須恵器甕片も出土した。遺構の時期はＳＴ 750 と同時期に捉えたい。

**ＳＫ 872 土坑（第 60 図）**

調査区Ｂ区 18 － 22、23 Ｇに位置する。南北軸が長い２ｍ× 2.9 ｍの歪んだ楕円形で、検出面からの深さは 0.3 ｍである。

出土遺物は壷、甕類が目立つが、特筆すべきは石釧が出土したことである。淡緑色の緑色凝　石　釧




SB960土層断面
1　10YR3/1　黒褐色シルト　炭顆粒を少量含む。柱痕。ややしまりに欠ける。
2　10YR4/1　褐灰色粘質シルト　ややしまりに欠ける。多くの植物根と10YR3/1黒褐色粘質シルトブロックを10%含む。
3　10YR3/1　黒褐色シルト　炭顆粒を少量と7.5YR6/2灰褐色灰褐色シルトブロックを25%含む。ややしまりに欠ける。
4　10YR3/1　黒褐色粘質シルト　しまりに欠ける。植物根を多く含む。

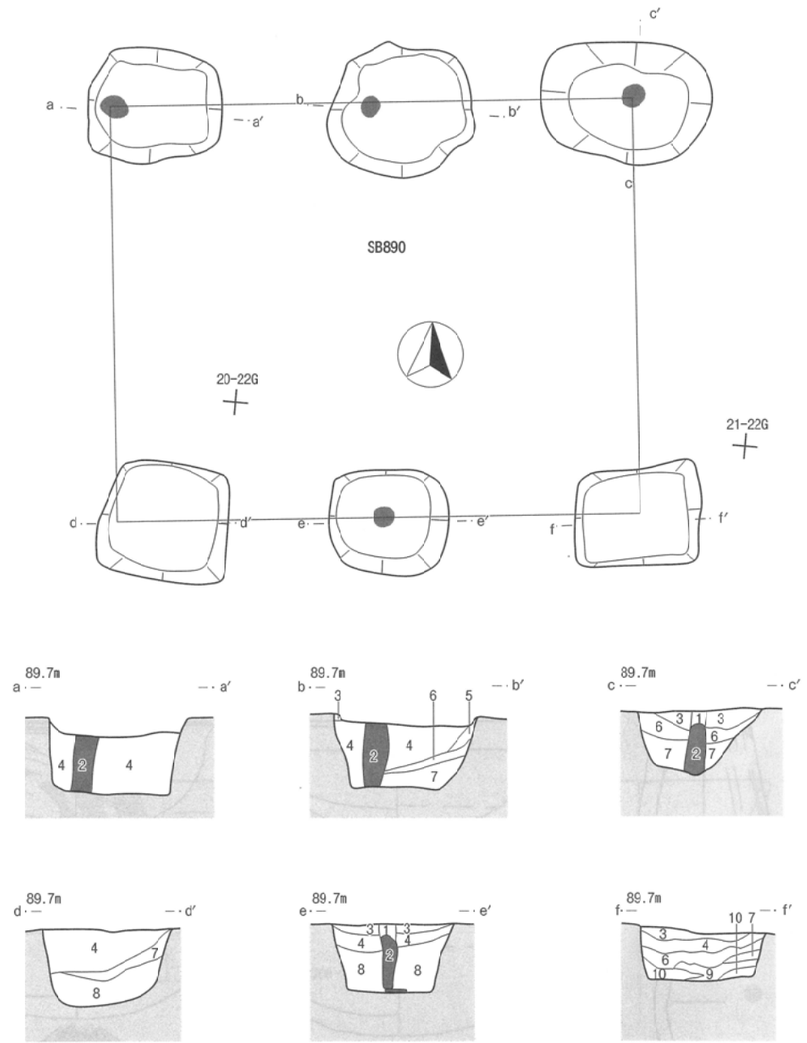
SB870土層断面
1　10YR2/1　黒色シルト　しまり有り。7.5YR4/1褐灰色シルトを粒状に少量含む。
2　10YR3/1　黒褐色粘質シルト　しまり弱い。2.5Y5/2暗灰黄色粘質シルトブロックを15%含む。
3　10YR3/2　黒褐色粘質シルト　しまりやや弱く、ほぼ均質。

0　2m
(1：40)

第55図　ＳＢ870、960　掘立柱建物跡



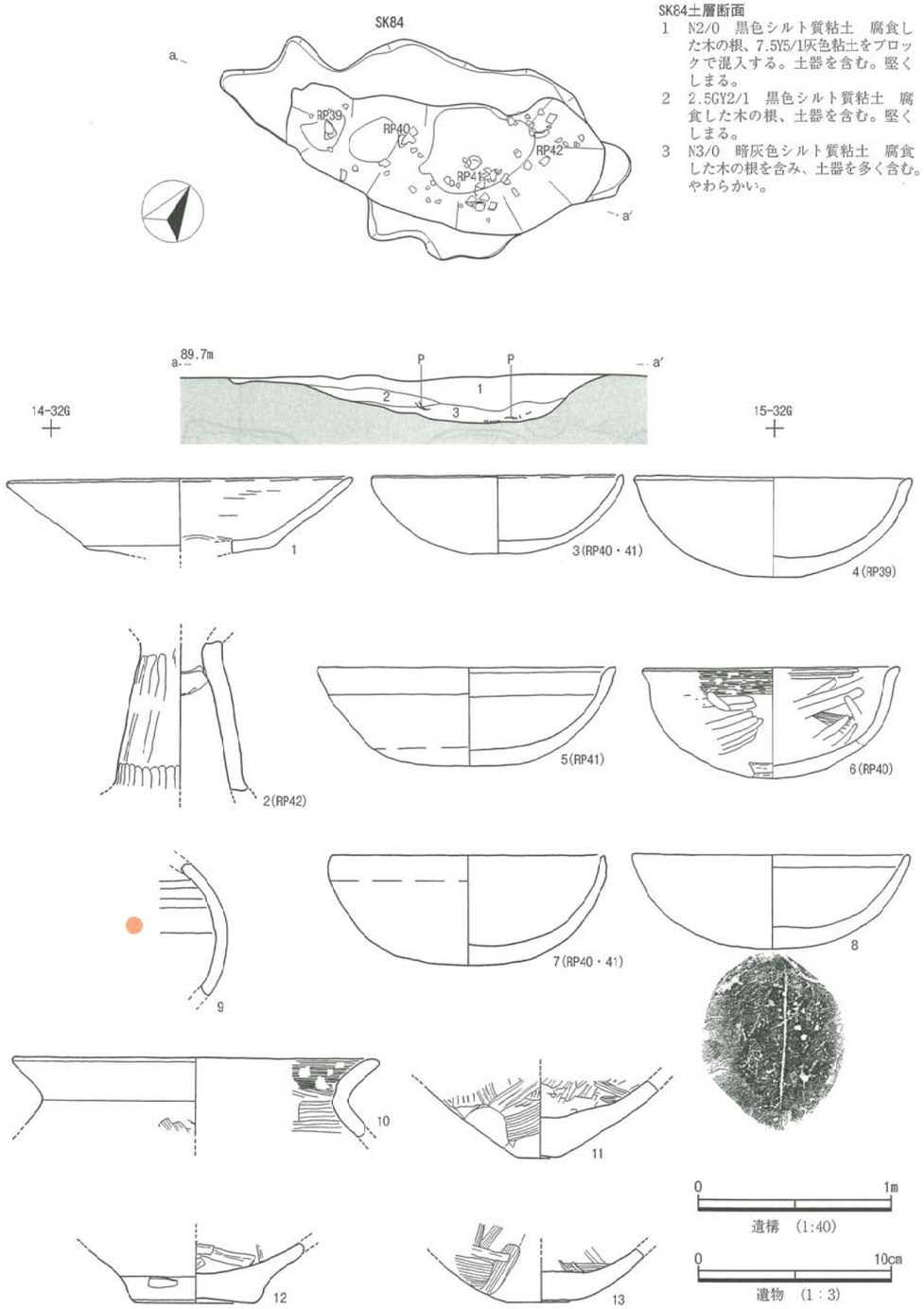





SB890土層断面
1　2.5Y3/1　黒褐色粘質シルト　柱が腐食した箇所への崩落土。しまり有り。
2　7.5YR3/1　黒褐色粘質シルト　しまり無し。縦に植物繊維が入る。腐植土。柱痕。
3　2.5Y5/1　黄灰色シルト　しまり有り。10YR5/1褐灰色シルトブロックを10%含む。
4　10YR4/1　褐灰色粘質シルト　10Y6/1褐灰色粘質シルトブロックを7%含む。しまり、粘性有り。炭化物を少量含む。
5　2.5Y4/2　暗灰黄色砂質シルト　しまり有り。
6　7.5Y4/1　褐灰色粘質シルト　しまり無し。グライ化。地山ブロックを少量と土器細片と微量の炭化物を含む。
7　5Y3/1　オリーブ黒粘質シルト　しまり無し。地山ブロックを７%含む。
8　5Y3/1　オリーブ黒粘質シルト　しまり無し。2.5Y5/2暗灰黄色シルトブロックを３%含む。
9　10YR3/1　黒褐色シルト　粘性やや有り。
10　5Y3/1　オリーブ黒シルト　炭化物を含む。2.5YR/5/1黄灰色粘質シルトを15%含む。

0　2m
(1：60)

第56図　ＳＢ890　掘立柱建物跡

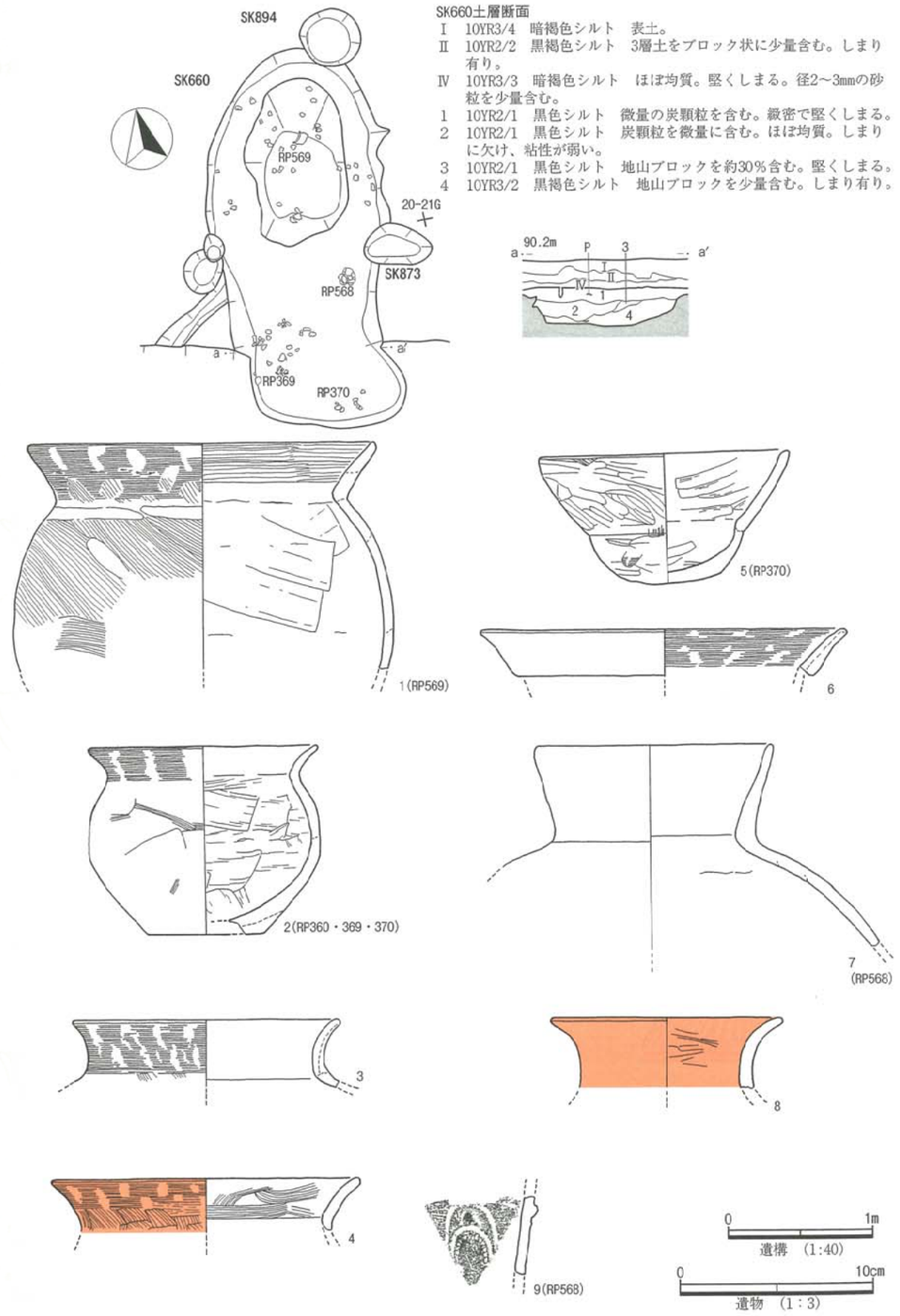



SK84土層断面
1　N2/0　黒色シルト質粘土　腐食した木の根、7.5Y5/1灰色粘土をブロックで混入する。土器を含む。堅くしまる。
2　2.5GY2/1　黒色シルト質粘土　腐食した木の根、土器を含む。堅くしまる。
3　N3/0　暗灰色シルト質粘土　腐食した木の根を含み、土器を多く含む。やわらかい。

第57図　ＳＫ84　土坑

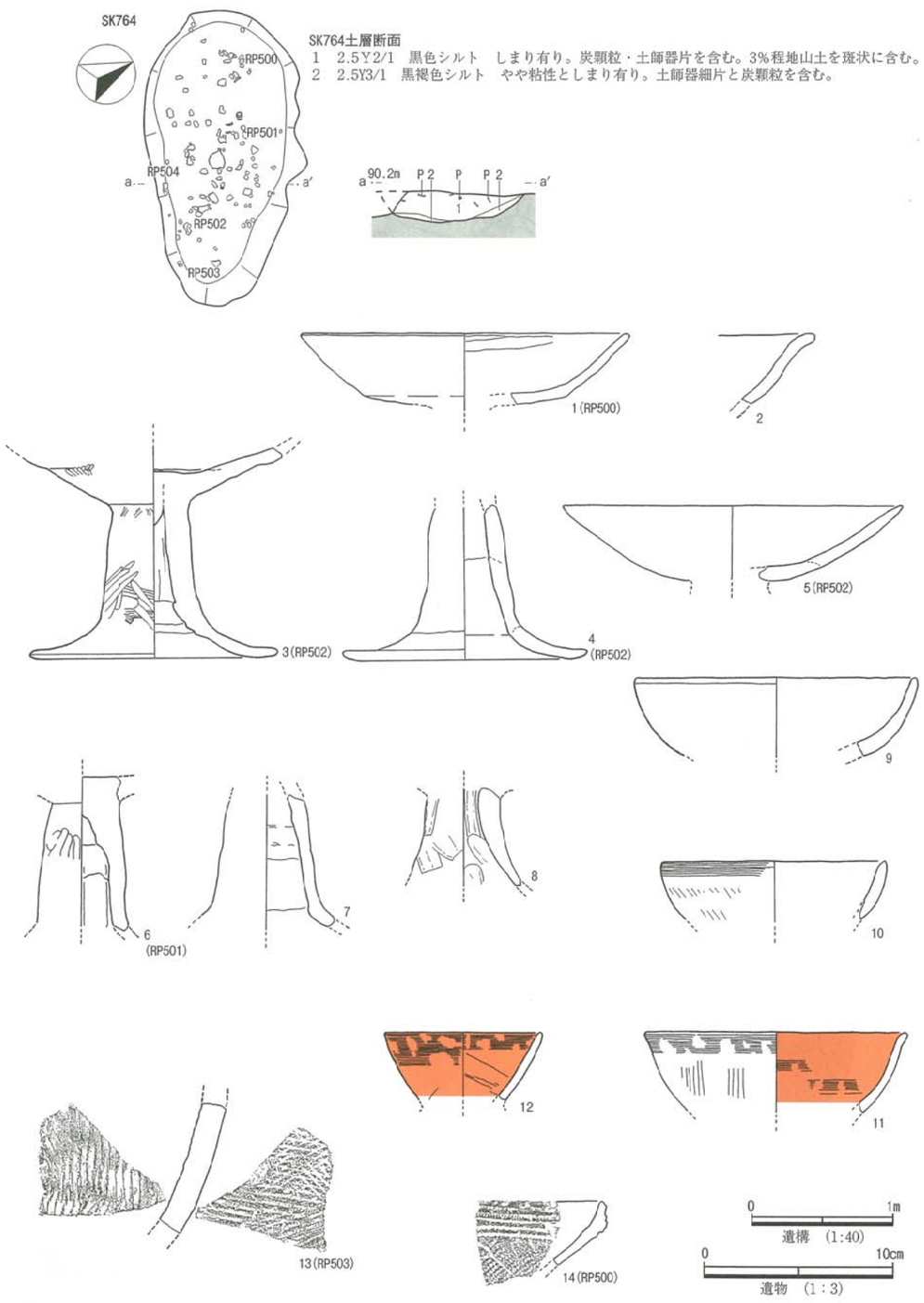







SK660土層断面
Ⅰ　10YR3/4　暗褐色シルト　表土。
Ⅱ　10YR2/2　黒褐色シルト　3層土をブロック状に少量含む。しまり有り。
Ⅳ　10YR3/3　暗褐色シルト　ほぼ均質。堅くしまる。径2～3mmの砂粒を少量含む。
1　10YR2/1　黒色シルト　微量の炭顆粒を含む。緻密で堅くしまる。
2　10YR2/1　黒色シルト　炭顆粒を微量に含む。ほぼ均質。しまりに欠け、粘性が弱い。
3　10YR2/1　黒色シルト　地山ブロックを約30％含む。堅くしまる。
4　10YR3/2　黒褐色シルト　地山ブロックを少量含む。しまり有り。

第58図　ＳＫ660　土坑

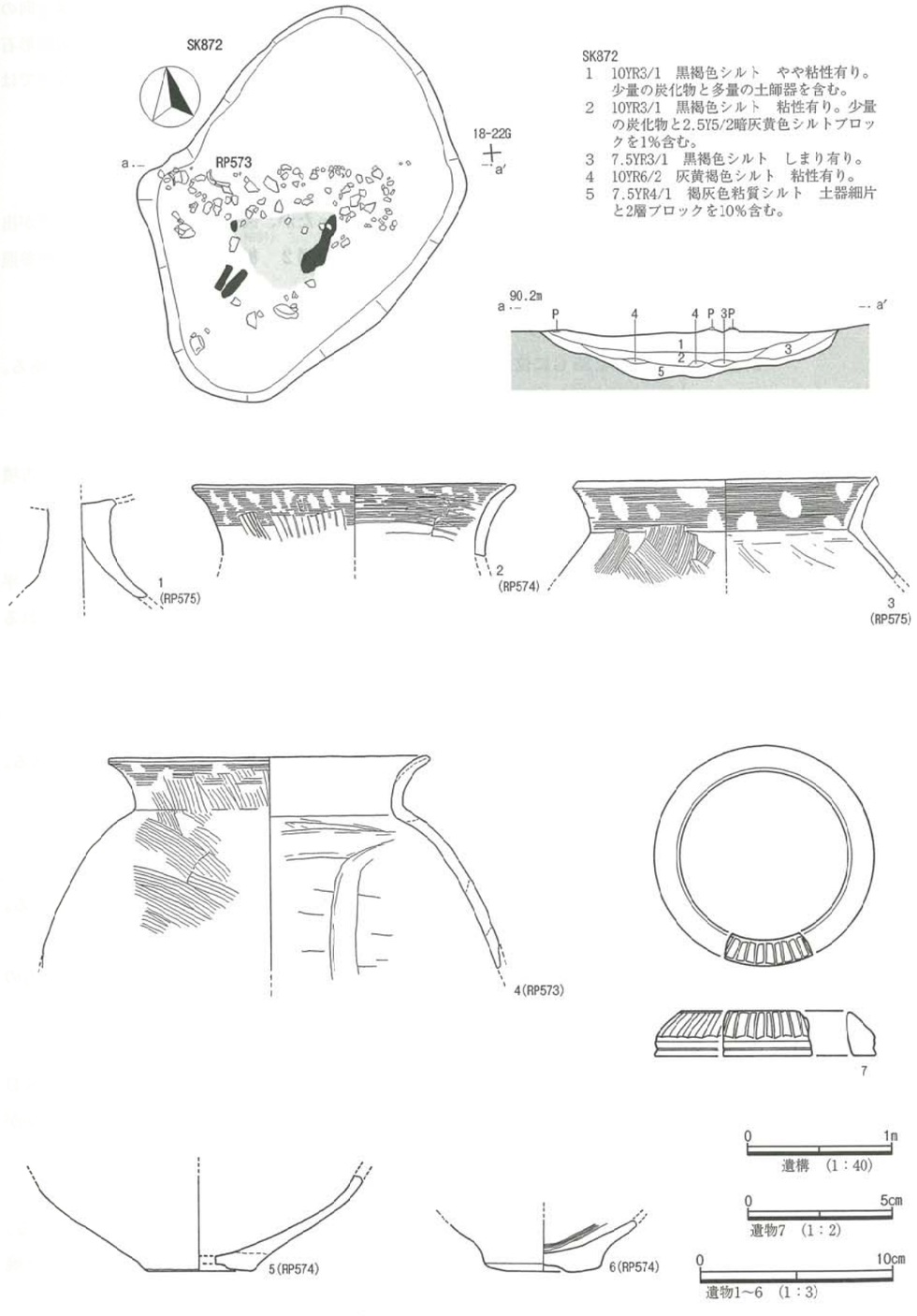



SK764土層断面
1　2.5Y2/1　黒色シルト　しまり有り。炭顆粒・土師器片を含む。3%程地山土を斑状に含む。
2　2.5Y3/1　黒褐色シルト　やや粘性としまり有り。土師器細片と炭顆粒を含む。

第59図　ＳＫ764　土坑








SK872
1　10YR3/1　黒褐色シルト　やや粘性有り。少量の炭化物と多量の土師器を含む。
2　10YR3/1　黒褐色シルト　粘性有り。少量の炭化物と2.5Y5/2暗灰黄色シルトブロックを1%含む。
3　7.5YR3/1　黒褐色シルト　しまり有り。
4　10YR6/2　灰黄褐色シルト　粘性有り。
5　7.5YR4/1　褐灰色粘質シルト　土器細片と2層ブロックを10%含む。

第60図　ＳＫ872　土坑

石　　釧　灰岩製である。破片ではあるが、推定で直径 11cm を計る。斜面に刻目が、側面には横方向の溝が刻まれている。斜面の刻目は、交互に尾根と谷を形成するように刻まれている。腕輪形石製品としては、宮城県名取市の十三塚遺跡と福島県郡山市の大安場古墳に次ぐ、東北地方では３例目の出土である。また、焼土、炭化物も検出された。

## 5　その他の遺構

ここでは、特に遺構平面図や断面図を掲載はしなかったが、図化するに堪えられる遺物が出土した遺構の遺物を掲載した。遺構の平面形などは「付図２　板橋２遺跡遺構配置図」を参照してもらいたい。

**ＳＫ 96 土坑（第 61 図１～３）**

調査区Ｂ区 14 － 34､35 Ｇに位置する。南北軸が長い 3.8 m × 1.4 mの長楕円形の土坑である。出土遺物は古墳時代中期の高杯と坏である。

**ＳＫ 218 土坑（第 61 図４、５）**

調査区Ｂ区 25 － 22G に位置する。東西軸が長い 1.4 m × 0.9 mの卵形も土坑である。古墳時代中期の坏と甕が出土した。

**ＳＫ 211 土坑（第 61 図６～９）**

調査区Ｃ区 14 － 48 Ｇに位置する。東西軸が長い 2.9 m × 2.1 mの不定形の土坑である。平安時代の遺構で、須恵器の付が４点出土した。うち二点の底部には「宜」と「笠」と思われる墨書が施されている。

墨　書　土　器

ＳＫ 211 と 212 は重複関係にあり、ＳＫ 212 のほうが新しいと見られる。

**ＳＫ 212 土坑（第 61 図 10 ～ 14）**

調査区Ｃ区 13、14 － 48 Ｇに位置する。南北軸が長い 2.7 m × 2.2 mの不定形の土坑である。平安時代の須恵器の蓋と坏、土師器の坏が出土している。

ＳＫ 211 と 212 は重複関係にあり、ＳＫ 212 のほうが新しいと見られる。

**ＳＫ 737 土坑（第 62 図１～５）**

調査区Ｂ区 21 － 28、29 Ｇに位置する。南北軸が長い 3.7 m × 0.9 mの溝状の土坑である。小規模な落ち込みとみられ、高杯と坏、甕が出土している。

ＳＴ 750 竪穴住居跡と位置が近く、出土遺物も特徴が近似していることから、同時期のものと判断したい。

**ＳＤ 888 溝跡（第 62 図６～ 18）**

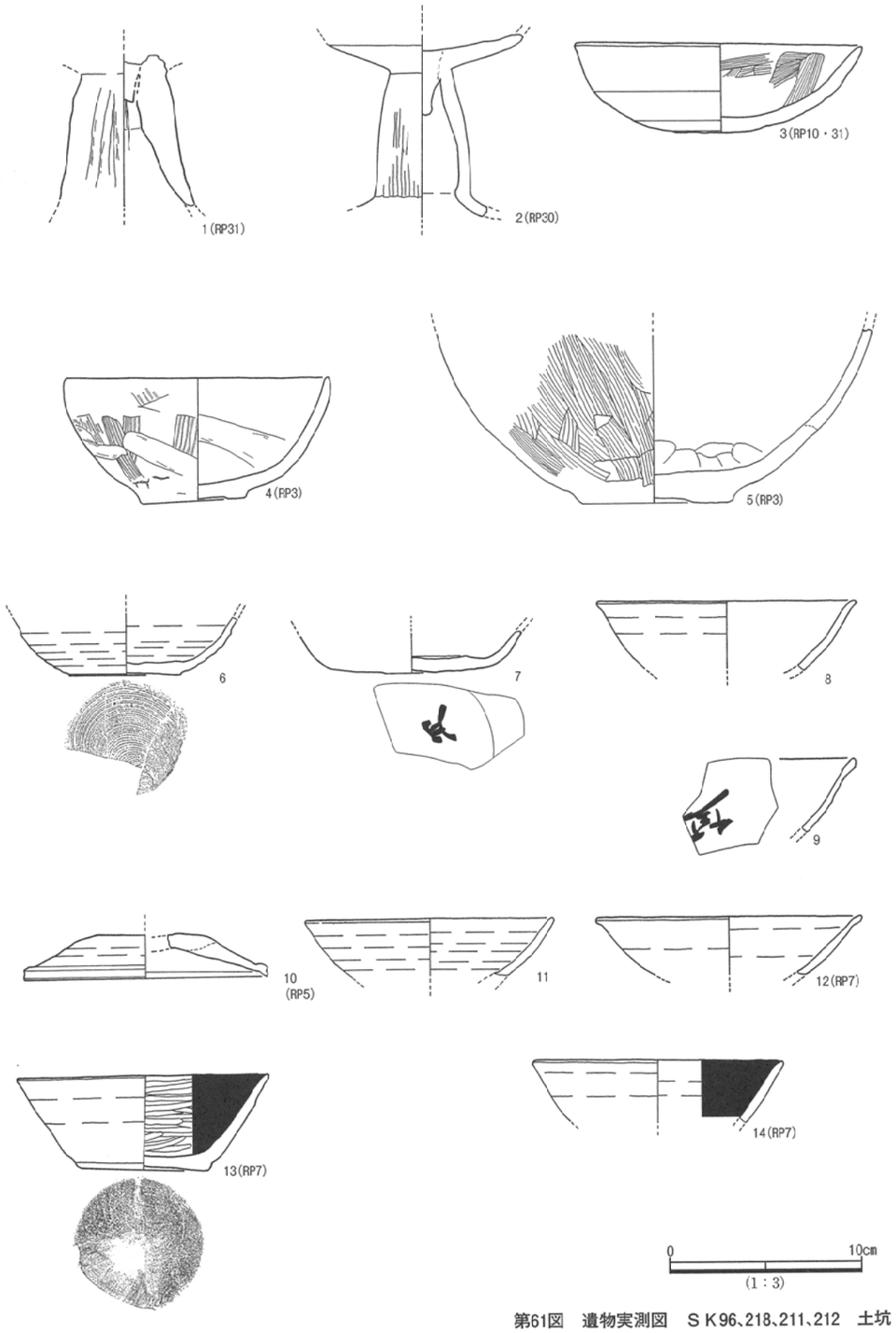
調査区Ｂ区 12 ～ 18 － 23 ～ 26 Ｇに位置する。南北方向に走る 28 m × 0.9 mの溝で、ＳＤ 765 と重複した地点で消滅している。ＳＤ 765 に合流していた可能性が高い。高杯、甕、壷が出土している。古墳時代中期のものと推測される。

**ＳＤ 28 溝跡（第 63 図）**

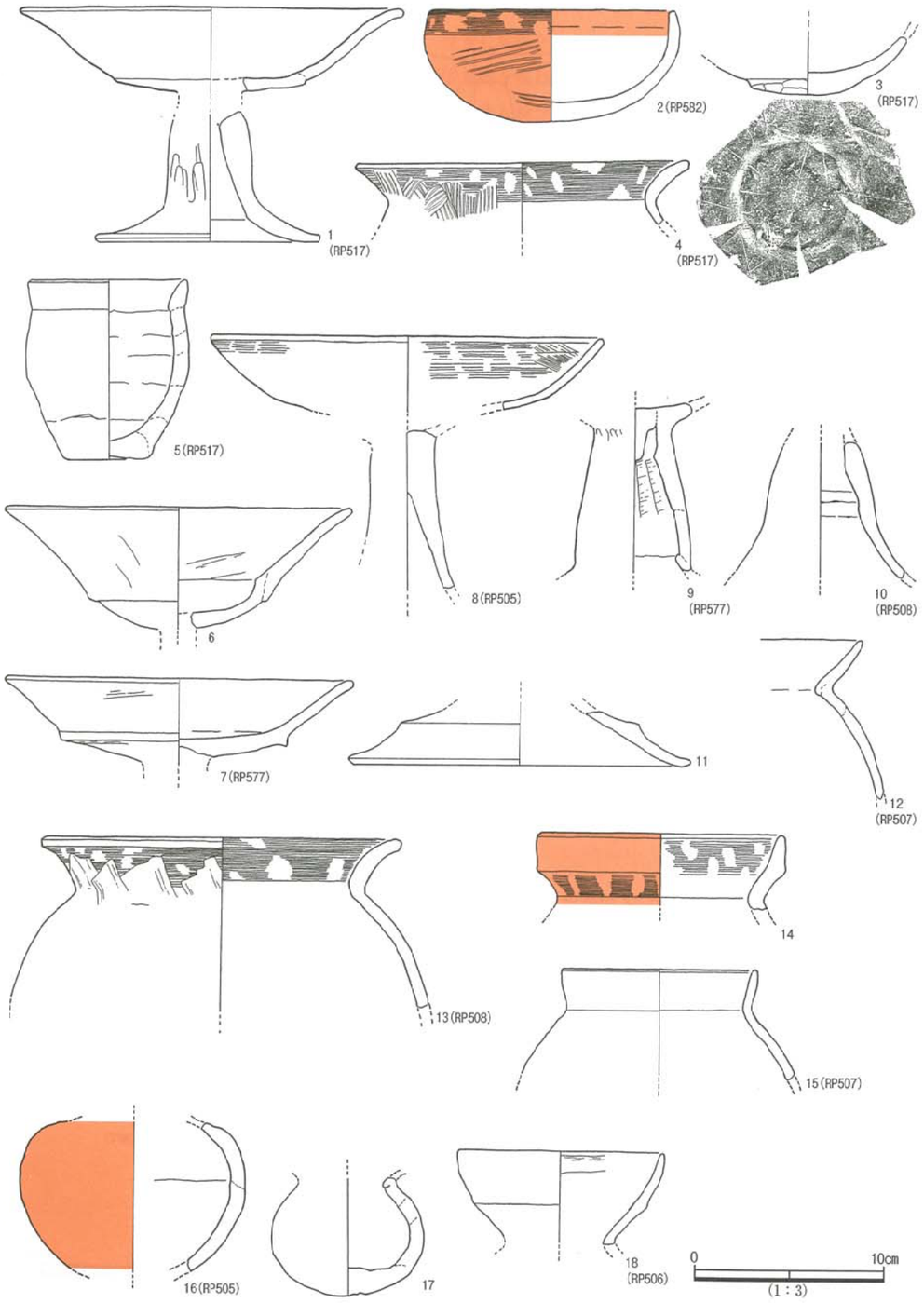
調査区Ｂ区 12 ～ 26 － 30 ～ 32 Ｇに位置する。東西方向に走る 61.5 m × 1.5 mの溝である。調査区を横断しているため、正確な長さは不明である。高杯、坏、甕のほか縄文時代中期と晩期と思われる深鉢が出土しているが、遺構の年代は古墳時代中期と思われる。







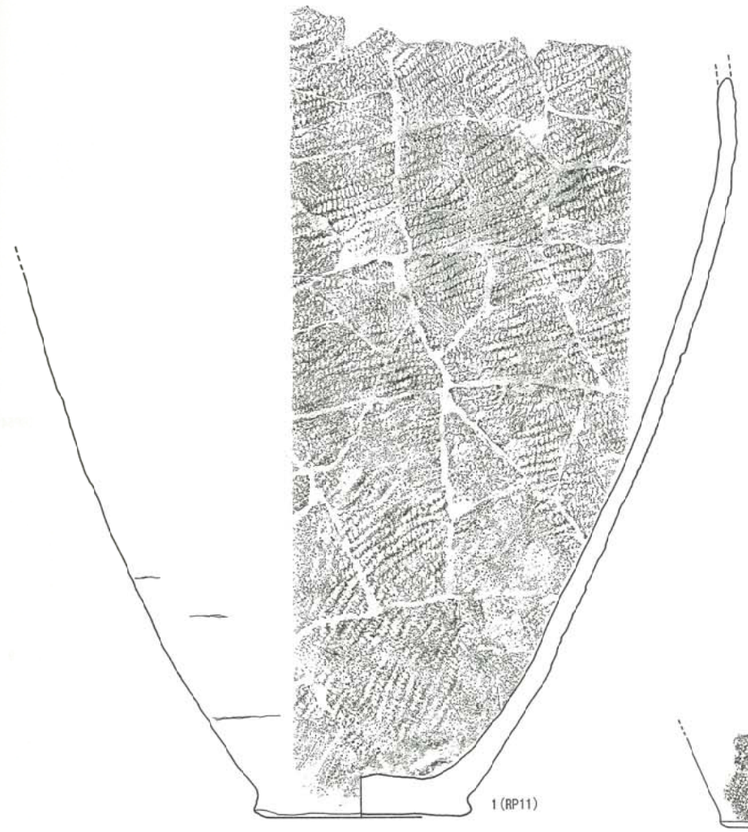

第61図　遺物実測図　ＳＫ96､218､211､212　土坑

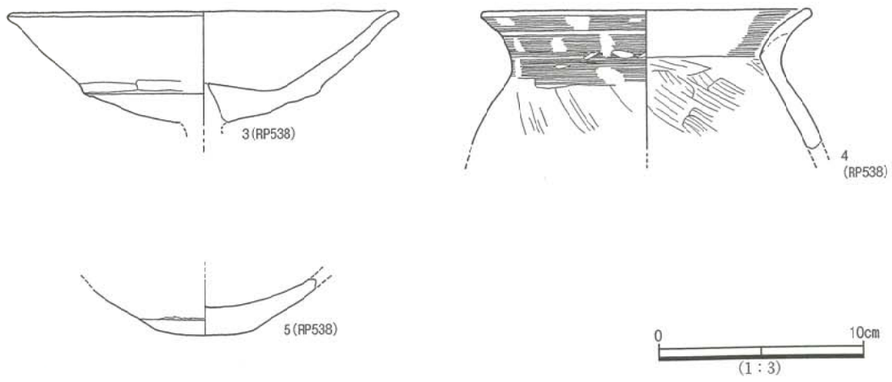



第62図　遺物実測図　ＳＫ737　土坑、ＳＤ888　溝跡

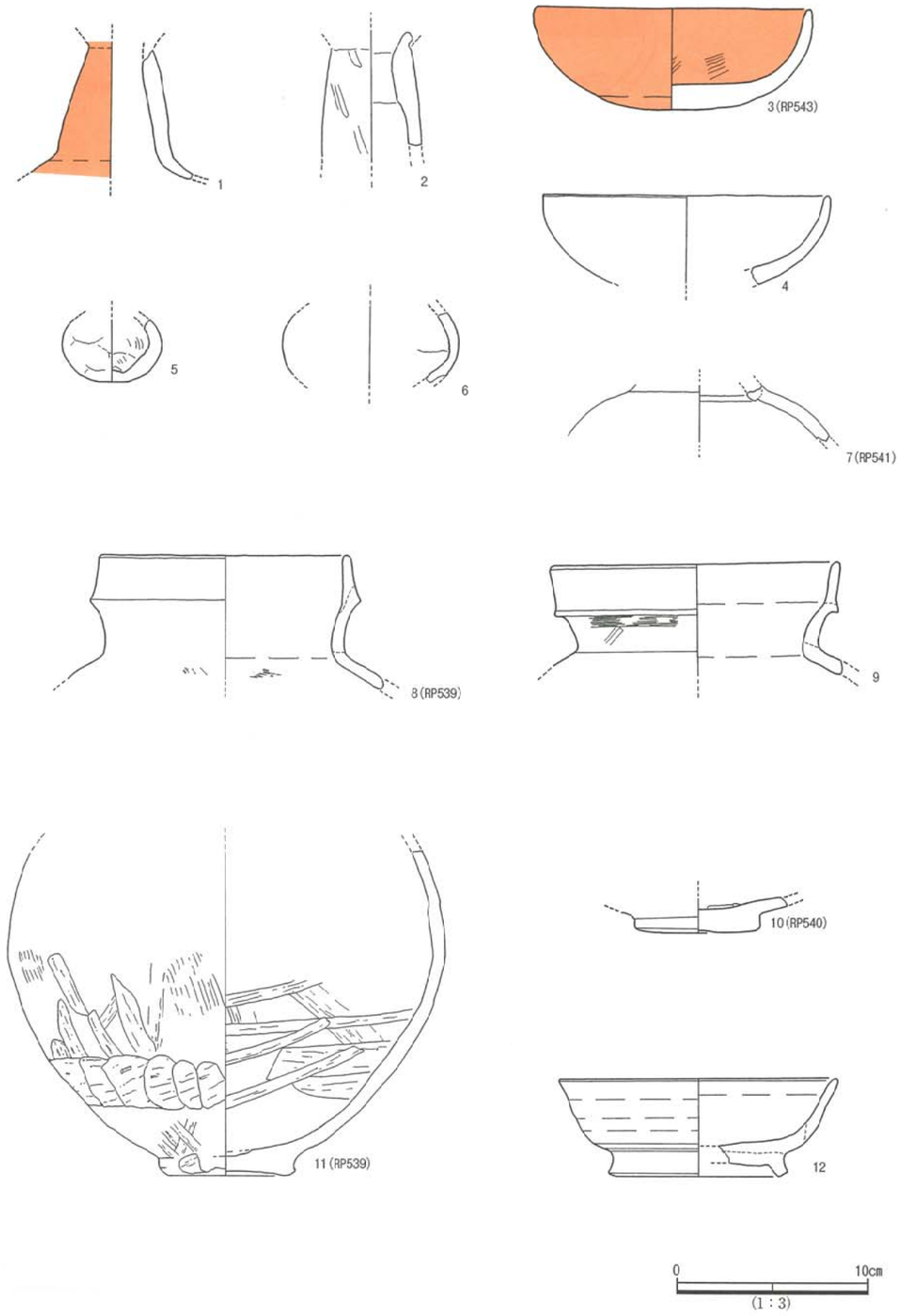






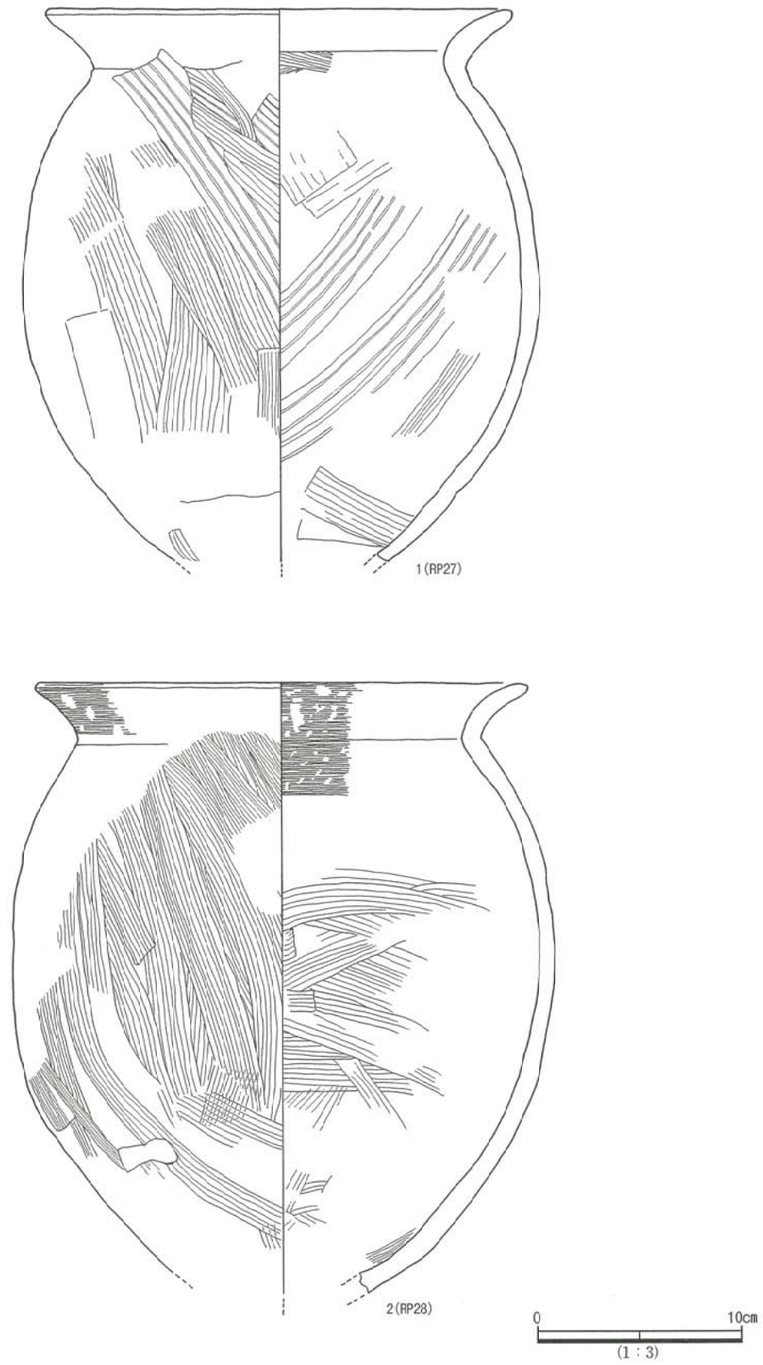

第63図　遺物実測図　ＳＤ28　溝跡



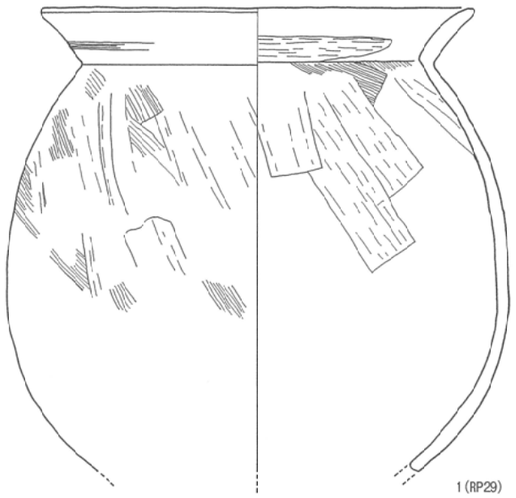

第64図　遺物実測図　ＳＤ40　溝跡

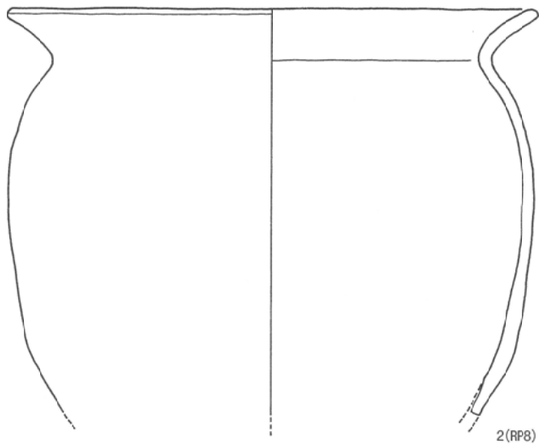


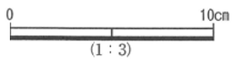





第65図　遺物実測図　ＳＤ106　溝跡（１）



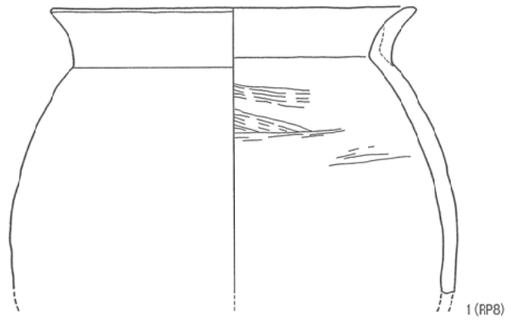



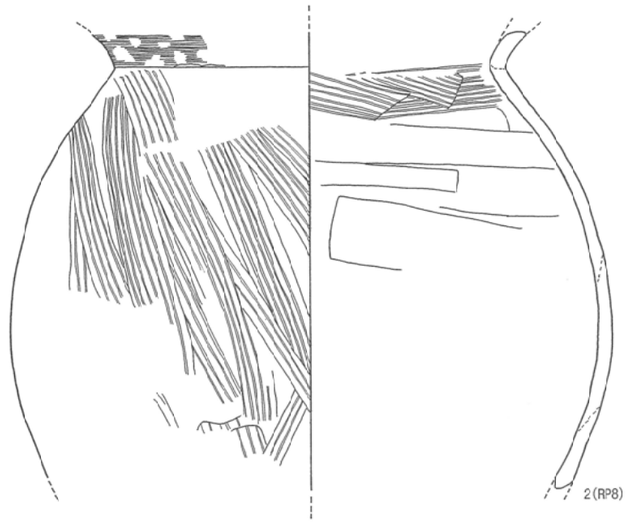



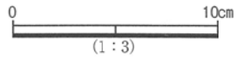

第66図　遺物実測図　ＳＤ106　溝跡（２）



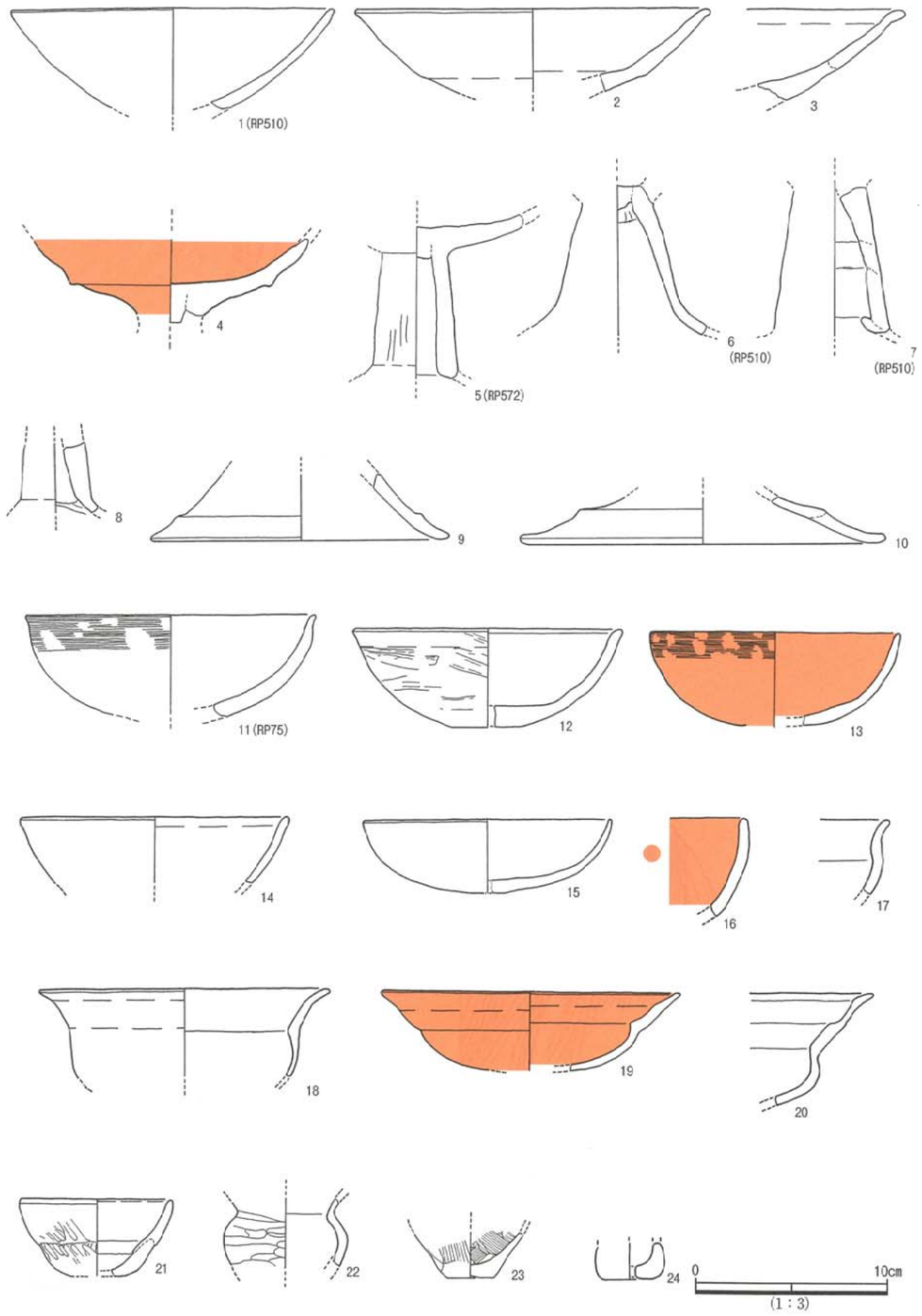




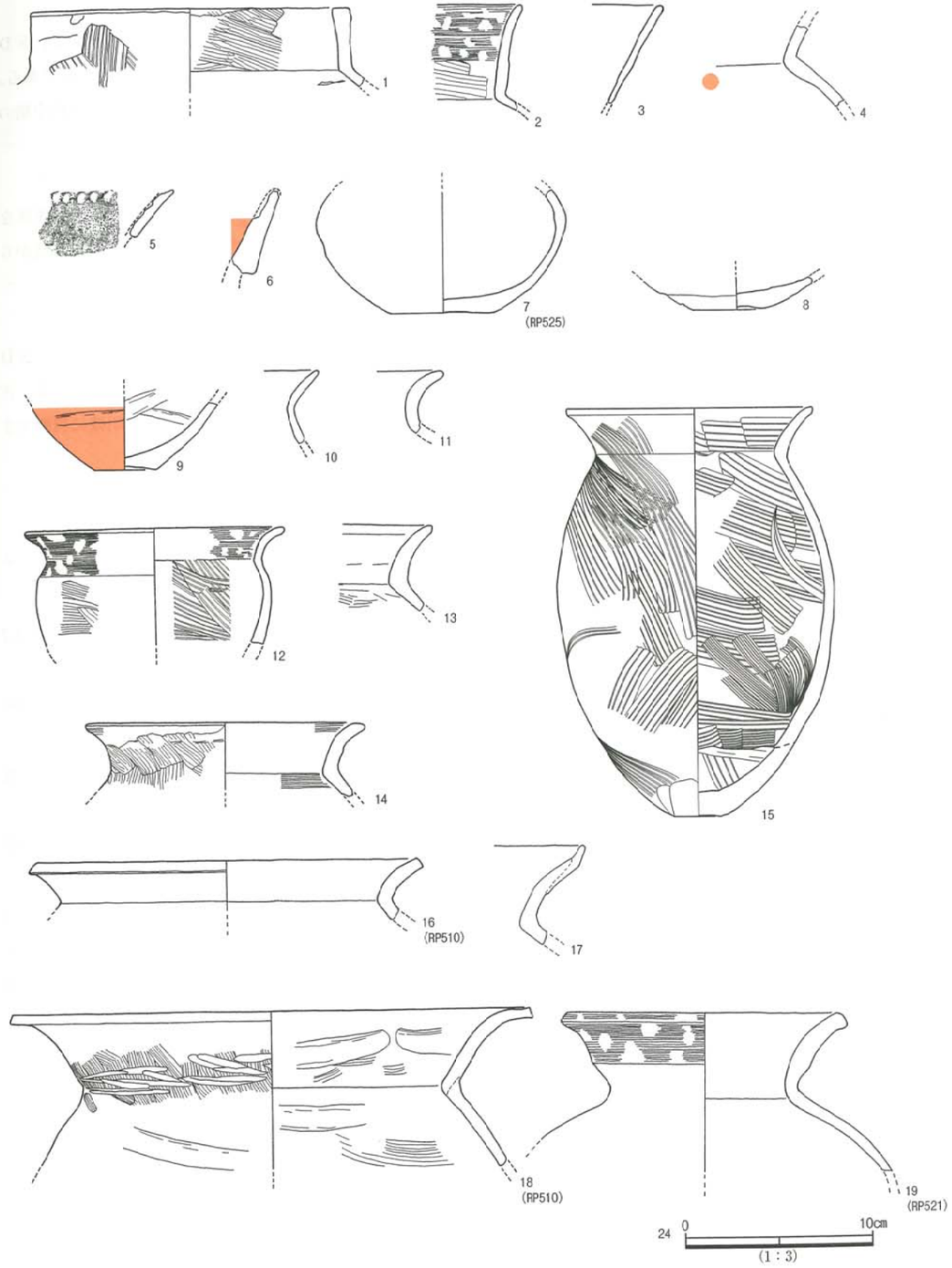

第67図　遺物実測図　ＳＤ106　溝跡（３）




第68図　遺物実測図　ＳＤ765　溝跡（１）








第69図　遺物実測図　ＳＤ765　溝跡（２）

**ＳＤ 40 溝跡（第 64 図）**

調査区Ｂ区 13 ～ 26 － 34 ～ 41 Ｇに位置する。東西方向に走る 68 ｍ× 1.5 ｍの溝で、ＳＤ 700 と西側で重複する。また、調査区を斜めに横断しているため、正確な長さは不明である。高杯の脚部、坏、小型壺、壷のほか平安時代の高台坏も出土している。遺構は古墳時代中期のものと推測される。

**ＳＤ 106 溝跡（第 65 ～ 67 図）**

調査区Ｂ区 15、16 － 34 Ｇに位置する。東西に走る 2.4 ｍ× 0.8 ｍの溝である。未調査区を挟んだ東側では続きが検出されず、極めて短い溝と思われる。古墳時代中期と思われる甕が６点出土している。

**ＳＤ 765 溝跡（第 68、69 図）**

調査区Ｂ区１～ 25 － 22 ～ 25 Ｇに位置する。東西方向に走る 47 ｍ× 1.2 ｍの溝で、ＳＤ 888 が合流すると見られる。また、調査区を横断しているため、正確な長さは不明である。古墳時代中期の高杯、坏、鉢、壷、甕が出土している。ＳＤ 888 とは重複関係が明確に判断できず、堆積土もほぼ同じであったため、同時期に存在した可能性が高い。

## 6　河川跡

今回の調査で調査区の南側に河川跡が検出された。

**ＳＧ 325 河川跡（第 70、71 図）**

調査区Ａ区南端に位置する。東から西へ流れていたと推定される。幅は約 12 ｍ、深さは約 1.7 ｍを測る。

河川跡は一部、昭和 40 年代に行なわれた農業用の導水路工事で一部撹乱を受けていたが、遺存状況は良好であった。

土層の堆積状況を観察すると、上層は腐植土で、下層に移るにつれ分解が進んだ腐植土に地山の砂が混入した砂質シルトになる。

花粉分析　また、土層からはサンプルを採取して、含まれる花粉から植生を分析するために理化学分析の業務委託を実施した。その結果については巻末の付編に掲載した。

最上層からは平安時代の須恵器坏や中世の陶磁器片が出土していることから、平安時代には湿地化していたことがうかがわれる。最下層からは古墳時代の土師器や木製品が良好な遺存状況で出土した。古墳時代の遺物は集落側の北岸に集中して分布している。土師器の割れ口が磨耗が少なく、復元率も高かったことなどからも、遺物は北岸の集落から投棄または廃棄されたものと考えられる。縄文、弥生時代の土器は少数で、復元率は極めて低かった。

以上のことから、この河川跡は古墳時代に出現したものと推測される。北岸にあった集落と極めて深いつながりを持った河川跡であったのであろう。集落廃絶後、古墳時代の遺物が水流で移動する以前、急速に河川の水量が衰え、湿地化し、平安時代にはほぼ低湿地となっていたと思われる。

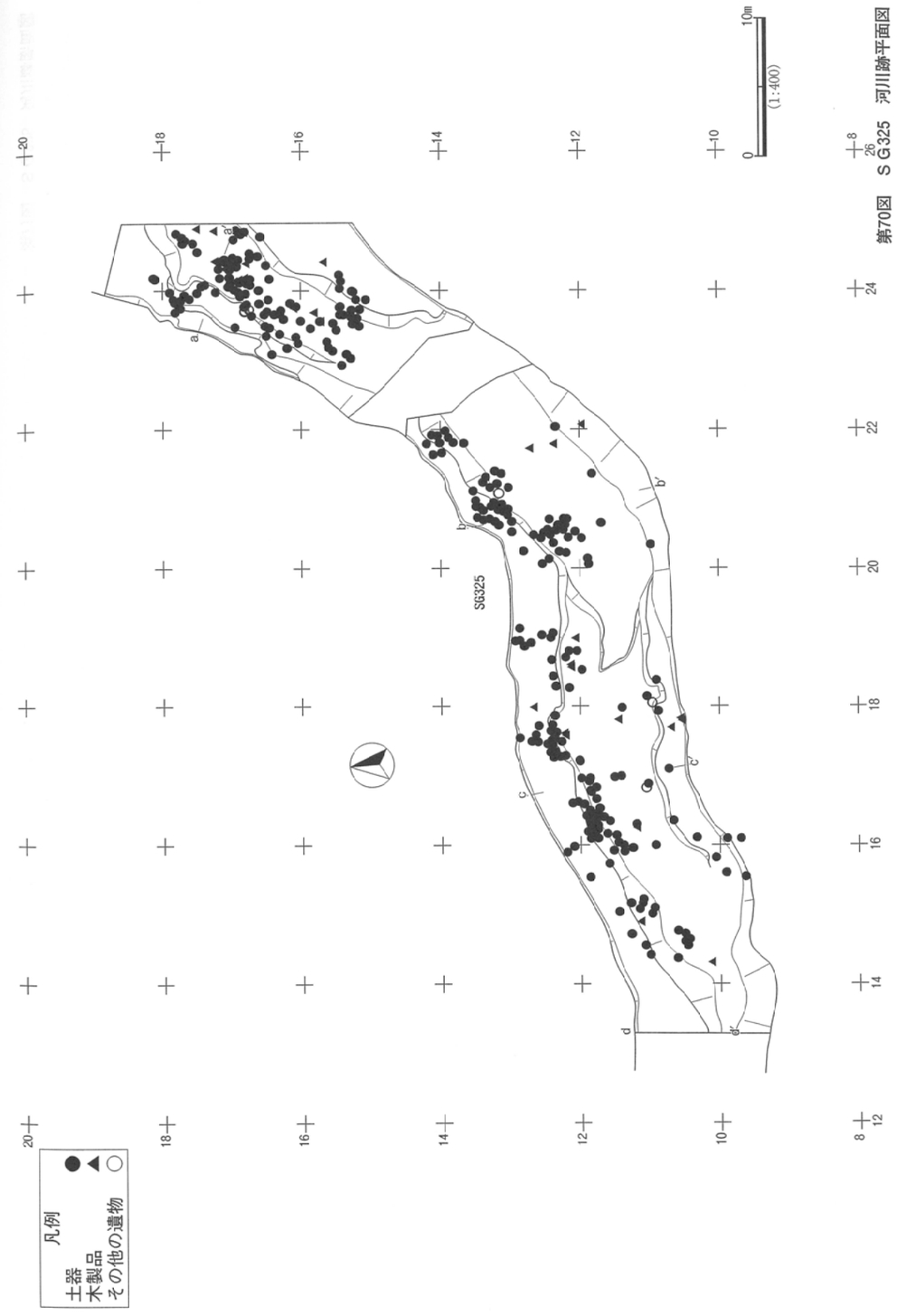
平安時代に湿地化

**出土遺物（第 72 ～ 110 図）**

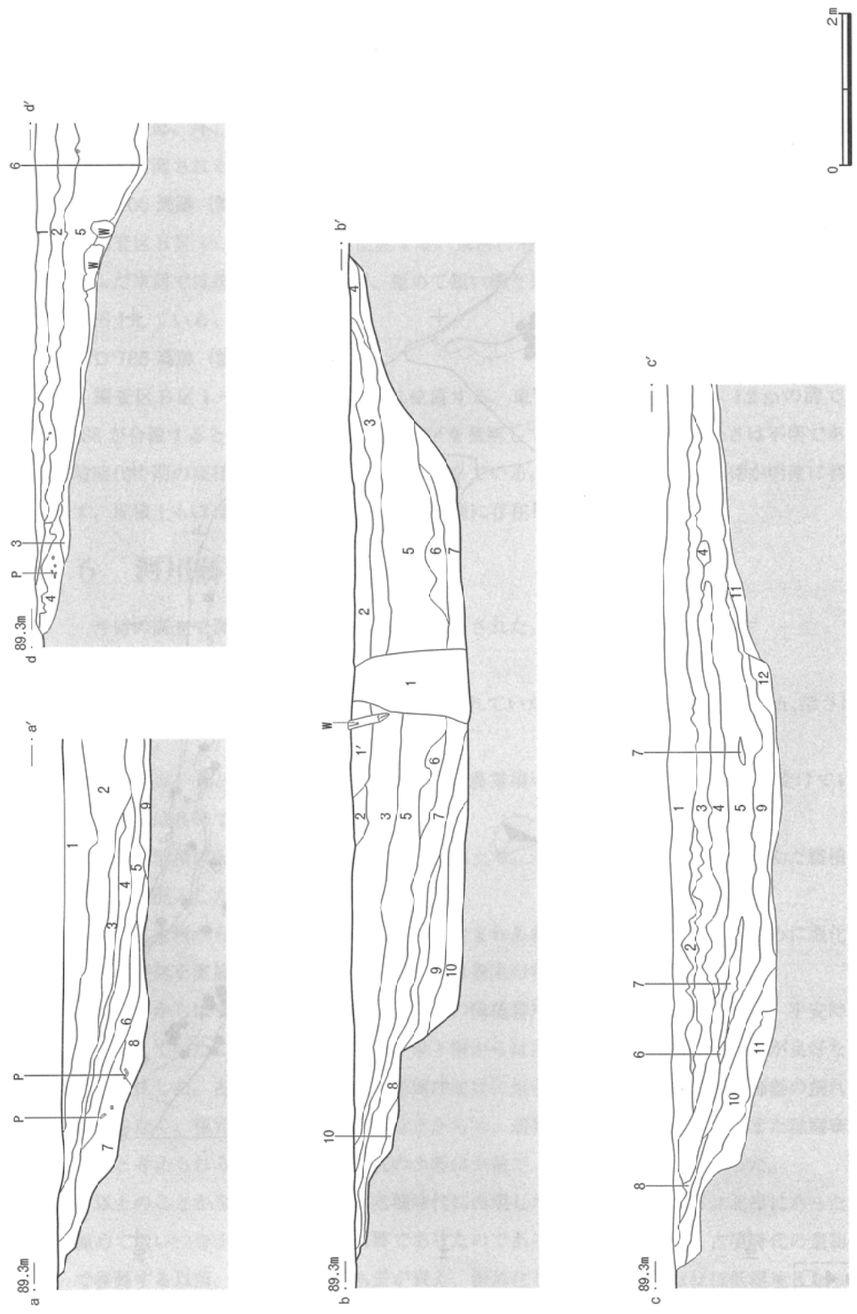
ＳＧ 325 河川跡から出土した土器の種類は縄文土器、弥生時代、古墳時代の土師器、平安時代の須恵器、中世の陶磁器である。出土量は古墳時代の土師器が圧倒的に多い。








第70図　ＳＧ325　河川跡平面図




第71図　ＳＧ325　河川跡断面図

0　2m
(1:80)





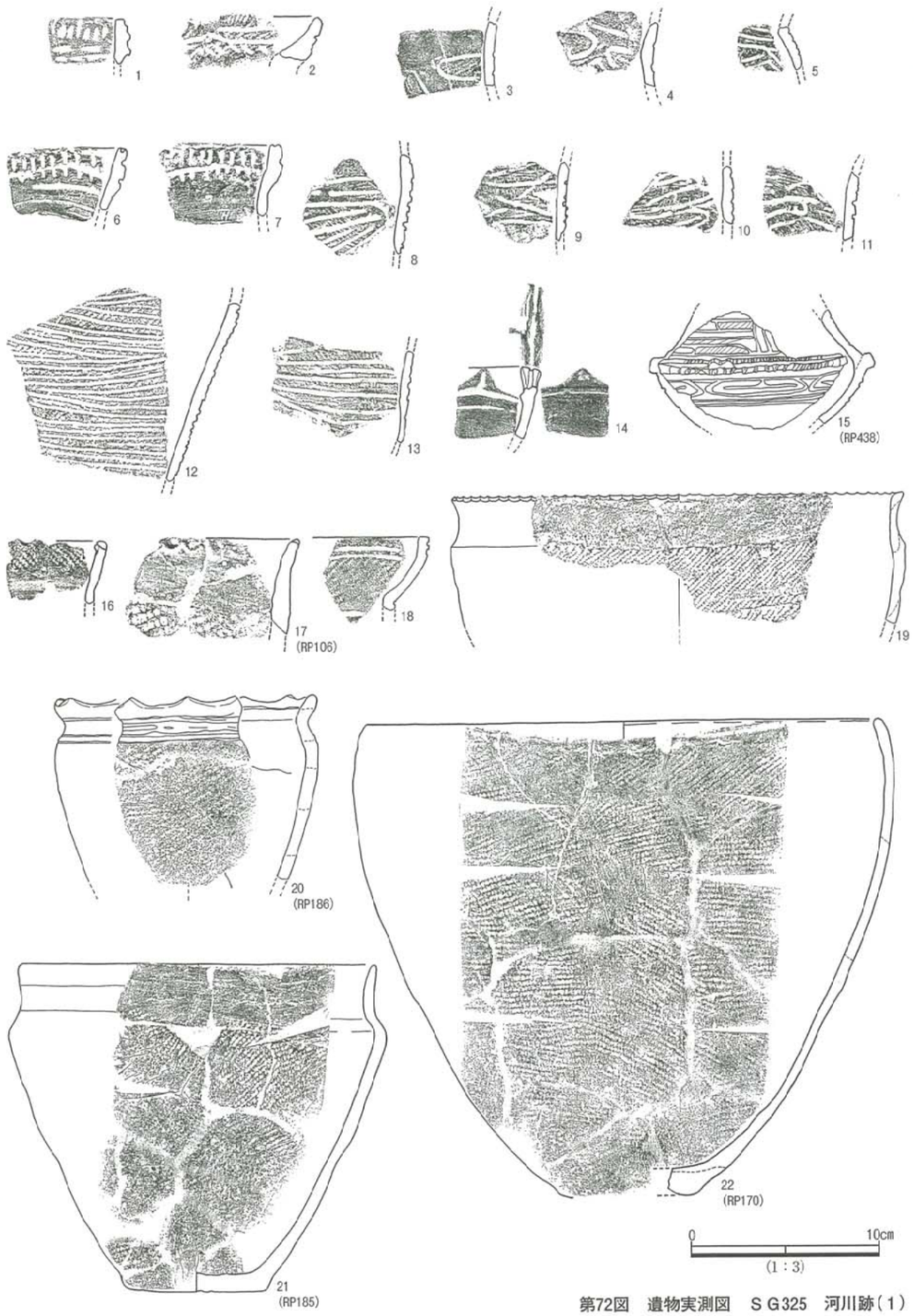
SG325土層断面

a-a′
1　10YR2/3　黒褐色シルト　腐植。粘性弱い。
2　10YR２/１　黒色シルト　腐植。粘性有り。少量の炭化物を含む。
3　10YR3/1　黒褐色粘質シルト　腐植を少量含む。粘性有り。10YR4/2灰黄褐色シルトを約20％斑状に含む。
4　10YR1.7/1　黒色シルト　腐植を大量に含む。粘性無し。湧水多。
5　10YR２/１　黒色腐植土　粘性無し。
6　7.5Y2/1　黒色シルト　腐植を大量に含む。粘性無し。
7　77.5Y2/1　黒色粘質シルト　少量の砂粒と炭化物を含む。腐植を多く含む。粘性有り。土師器を大量に含む。
8　10YR3/3　暗褐色腐植土　砂を含む非常にもろい。遺物は殆ど含まない。
9　7.5Y2/1　黒色腐植土　砂を含み非常にもろい。遺物が少ない。

b-b′
1　撹乱
1′　撹乱
2　10YR2/1　黒色粘質シルト　しまり無し。腐植土。
3　2.5Y2/1　黒色粘質シルト　しまり無し。腐植土。植物繊維を大量に含む。
4　2.5Y3/1　黒褐色粘質シルト　しまり無し。腐植土。植物繊維を含む。植物を大量に含む。
5　10YR1.7/1　黒色粘質シルト　しまり無し。腐植土。植物繊維を大量に含む。植物を少量含む。粘性強。
6　5Y2/1　黒色粘土　しまり無し。腐植土。植物繊維を大量に含む。植物を微量含む。粘性強。
7　7.5Y2/1　黒色粘質シルト　しまり無し腐植土。植物繊維。
8　5Y4/1　灰色粘質シルト　炭顆粒、植物、土器片、砂を含む。
9　7.5Y3/1　オリーブ黒色粘質シルト　炭顆粒、植物、土器片を含む。
10　5Y3/2　オリーブ黒色砂質シルト　炭顆粒、植物、土器片を含む。

c-c′
1　10YR2/2　黒褐色シルト　植物繊維を含む。腐植土。しまり無し。
2　10YR3/1　黒褐色粘質シルト　腐植土。しまり無し。
3　10YR3/1　黒褐色粘質シルト　腐植土。２層土より腐植の割合が多い。しまり無し。
4　5YR2/1　黒褐色粘質シルト　腐植土。３層土より腐植の割合が少ない。しまり無し。
5　5YR2/1　黒褐色粘質シルト　腐植土。４層土より腐植の割合が少ない。しまり有り。
6　7.5YR2/1　黒色粘質シルト　腐植土。５層より腐植の割合多い。ややしまっている。
7　10YR2/1　黒色粘質シルト　腐植土。腐植は５層より少ない。しまり有り。10YR4/1褐灰色シルト質粘土を斑状に含む。
8　10YR3/1　黒褐色粘質シルト　腐植多い。粘性強い。
9　7.5YR1.7/1　黒色粘質シルト　泥炭。少量の腐植を含む。
10　2.5Y3/1　黒褐色粘質シルト　腐植と少量の砂を含む。7.5YR1.7/1黒色粘質シルトを斑状に含む。
11　10Y3/2　オリーブ黒色砂質粘土　腐植と炭化物を少量混入。
12　7.5YR1.7/1　黒色泥炭　荒砂含む。腐植を少量混入。

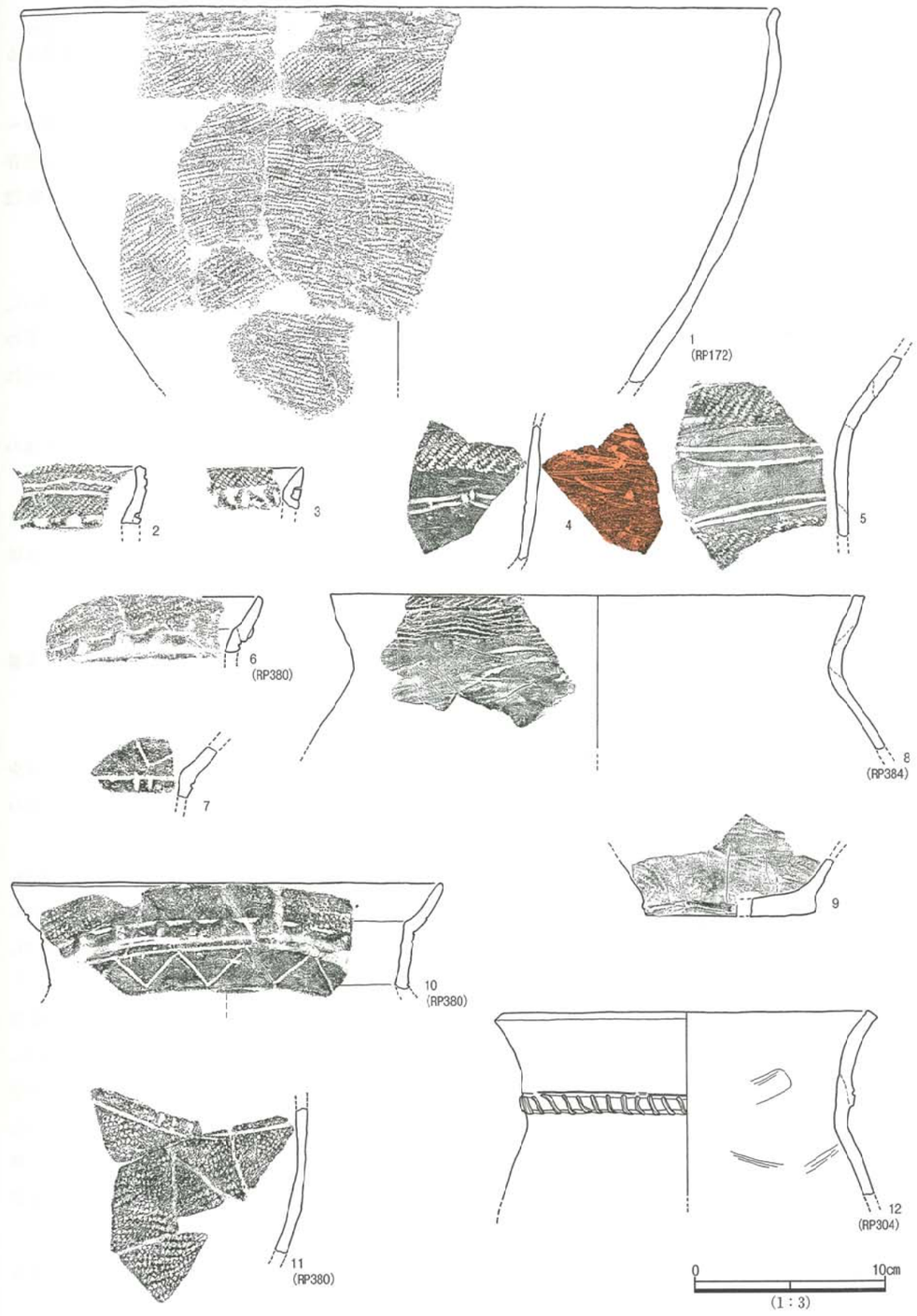
d-d′
1　10YR２/１　黒色シルト　腐植と植物を少量含む。植物が少量残存。径1cm未満ほどの小礫を微量に含む。
2　7.5YR2/2　黒褐色粘質シルト　腐植を少量含む。径1～2cmほどの礫を少量含む。粒が細かく粘性に欠ける。
3　7.5YR2/1　黒色粘質シルト　腐植を少量含む。径1～2cmほどの礫を少量含む。粒が細かく粘性に欠ける。
4　10YR4/1　褐灰色シルト質粘土　腐植を大量に含む。炭化物が少量混じり、粒が細かい。粘性弱い。
5　10YR3/2　黒褐色粘質シルト　腐植を大量に含む。粒が細かく粘性弱い。
6　2.5Y4/1　黄灰砂質粘土　腐植と炭化物を少量含む。粒粗い。粘性強い。




第72図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡（１）








第73図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡（２）

**縄文時代の遺物（第72図、第73図１）**

縄文時代の遺物は土器のみが出土した。殆どの遺物が断片であり、個体の全体像を推測するには無理があるが、ほぼ全ての出土遺物を掲載した。

第72図１、２は中期の深鉢である。第72図３～５は後期の壷の体部である。第72図６～22、第73図１は晩期の土器であり、中葉のものと後葉のものが見られる。晩期の土器は依存状態が良好であったものが多かった。第72図８～11は同一個体である可能性が高い。第72図12、13も同一個体であると思われる。

**弥生時代の遺物（第73図２～12）**

弥生時代後期

弥生時代の土器も出土している。点数も少なく、依存度も悪く、全体像がわかる遺物はない。これも全出土遺物を掲載した。４と５、６と10、７と11、８と９は同一個体とみられる。その多くが後期のものと思われる。４は内部にのみ赤彩が残存していたが、外側にも赤彩が施されていた可能性が高い。

12は時代不詳で、類例も無かったため、判然とはしなかったが、胎土や焼成が極めて他の弥生時代の土器に近いため、弥生時代の範疇に収まる可能性が一番高いと判断した。

**古墳時代の遺物（第74～109図）**

ＳＧ325河川跡からは土器と木製品が多数出土した。その殆どは古墳時代のもので、それ以前のものは周囲からの流れ込みと思われる。

**土師器**

器種は高杯、坏、器台、鉢、甕、壷が見受けられる。河川跡出土遺物は量が多いため、本報告書では残存度が高い遺物と特徴のある遺物を図化した。

**高杯**

高杯は73点図化した。河川跡という性格が災いしてか、坏部から脚部まで完形の遺物は少なく、多くは坏部だけか脚部だけの出土状況だった。そのため、今回は敢えて分類はおこなわず、特徴を簡略に記述するのみに留めた。

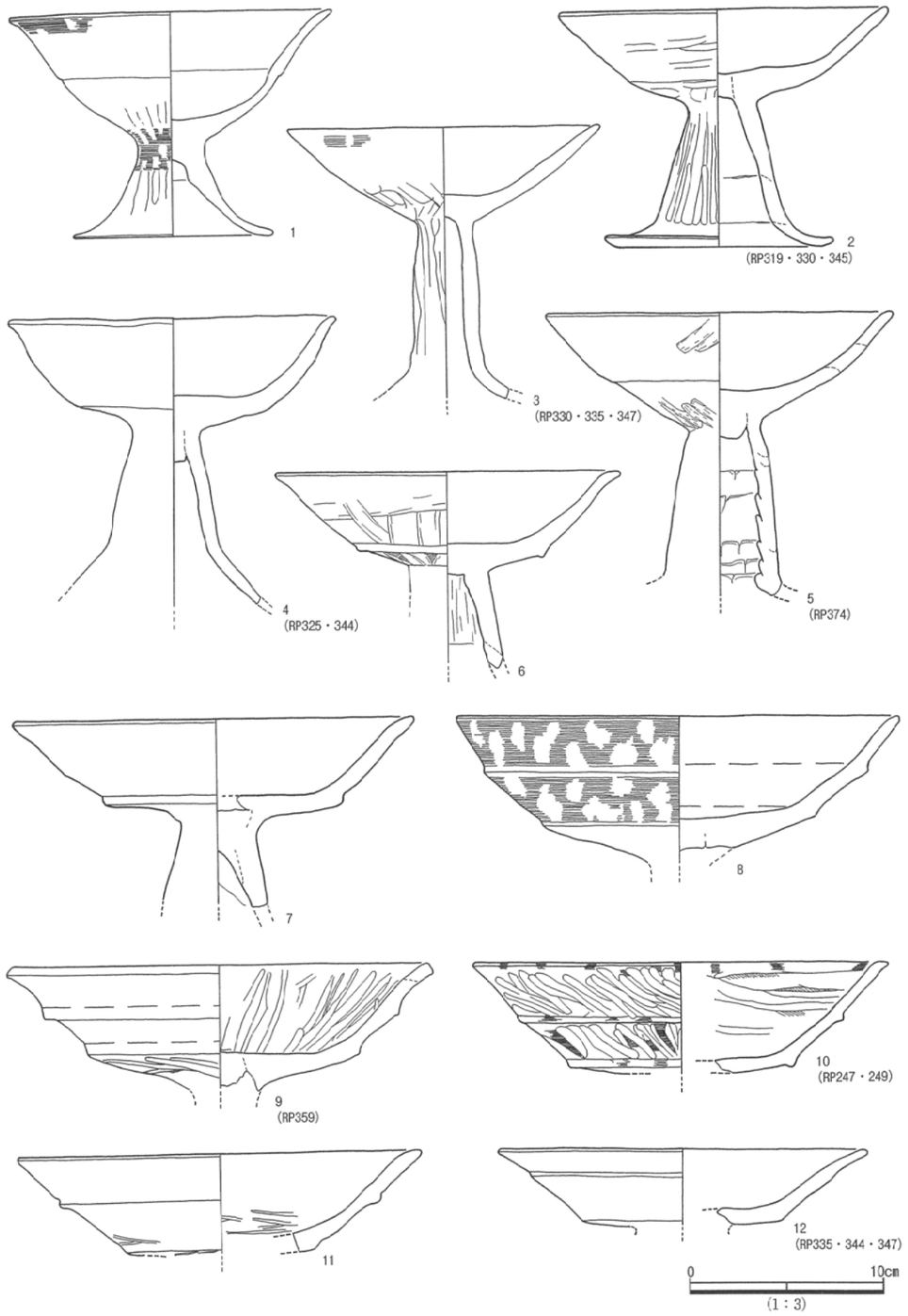
第74図８～12は２段の稜を持つ。第74図４、６、７、第75図２～８は下部に１段の稜を持つ。第75図９は下部に１段の稜を持ちながら、口縁が内彎する。第74図１、５は中部に稜を持つ。第74図３、第75図10、12、15は坏部に稜を持たない。第75図11、13は坏部が鉢状のもの。第75図14は坏部が小型丸底壷状のもの。

脚部も、細かいバリエーションはあるが大別すると以下のような特徴を観察できた。第76図１～６は坏部から直接八の字状に広く広がる。第76図７～９は太くて短い柱状部を持ち、八の字状に広く広がる。第76図12～16は長い中実の柱状部を持つ。第76図17～20は中空の柱状部を持ち、赤彩した割合が非常に高かった。第74図１、２、４、第76図24、25、26、第78図１～６は柱状部と裾部の境界があいまいで大きくラッパ状に広がる。第74図５、第77図１～11は中空の柱状部と裾部を持つ脚部である。第77図12は中空の柱状部を持ちながら柱状部と裾部の境に稜を有する脚部である。

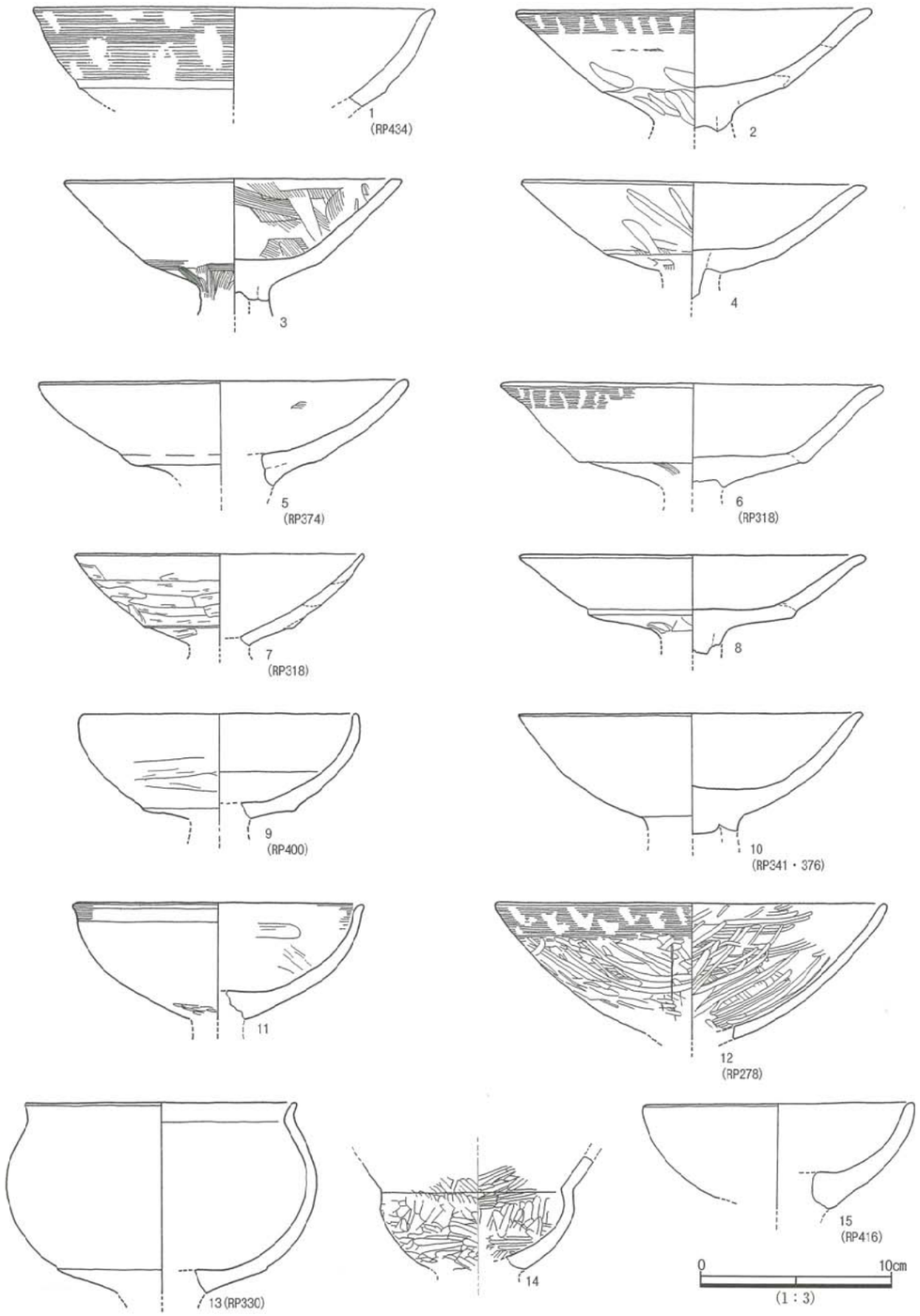
また、中空脚の内面を観察すると、裾部は調整するものの柱状部は無調整のもの、柱状部もある程度調整するもの、柱状部もきちんと調整するものなどのバリエーションが観察できた。







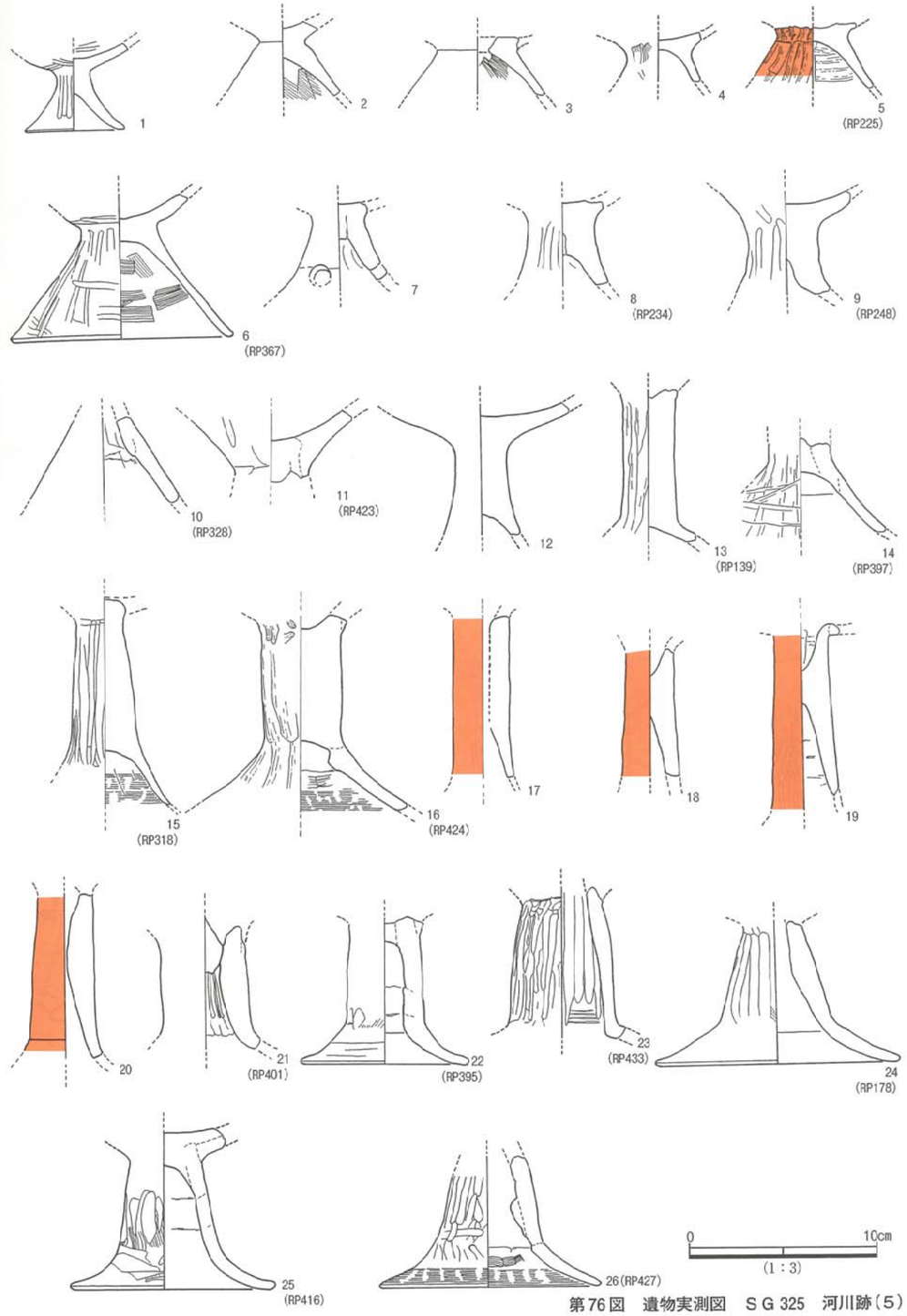

第74図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡（３）



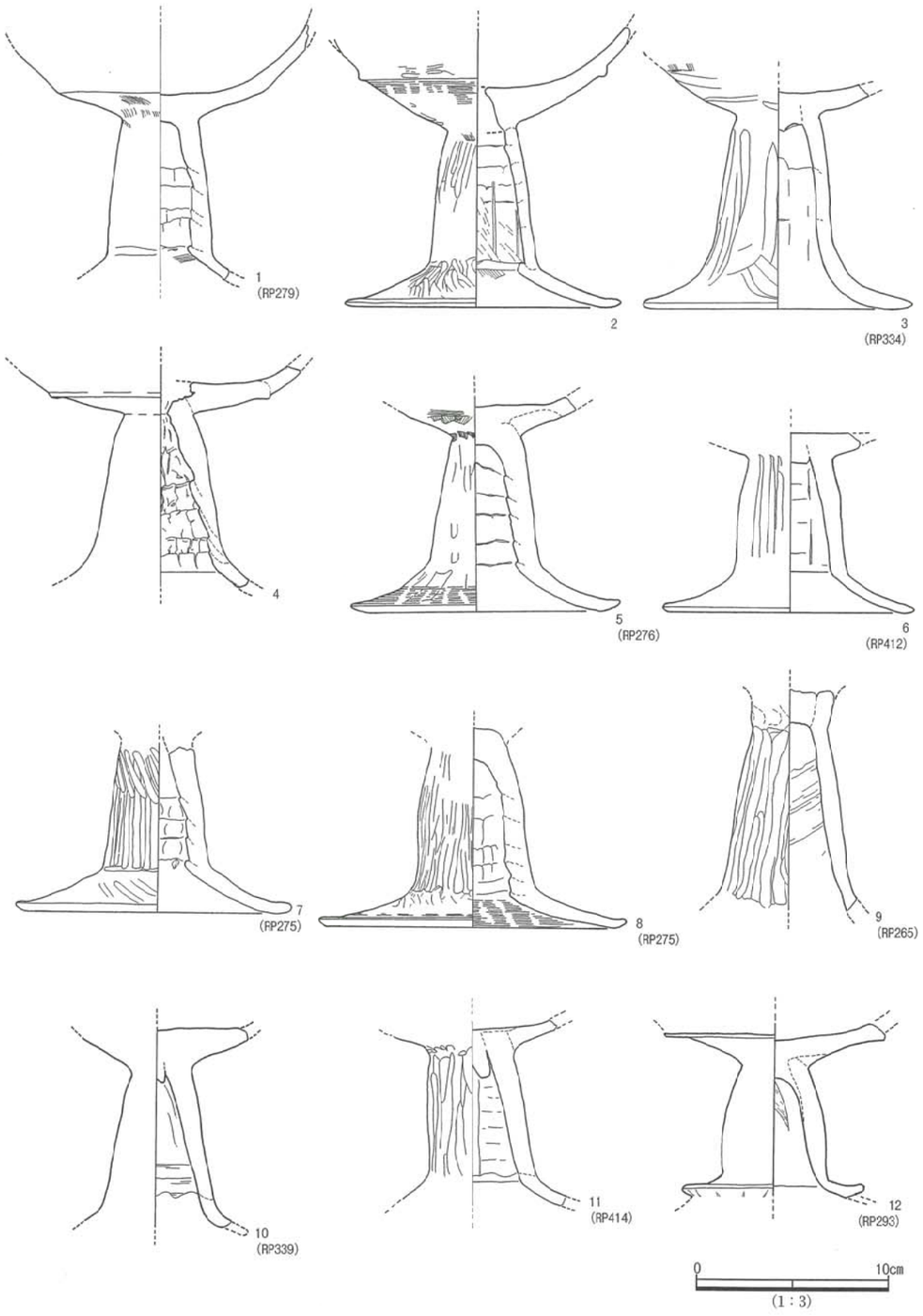

第75図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡（４）







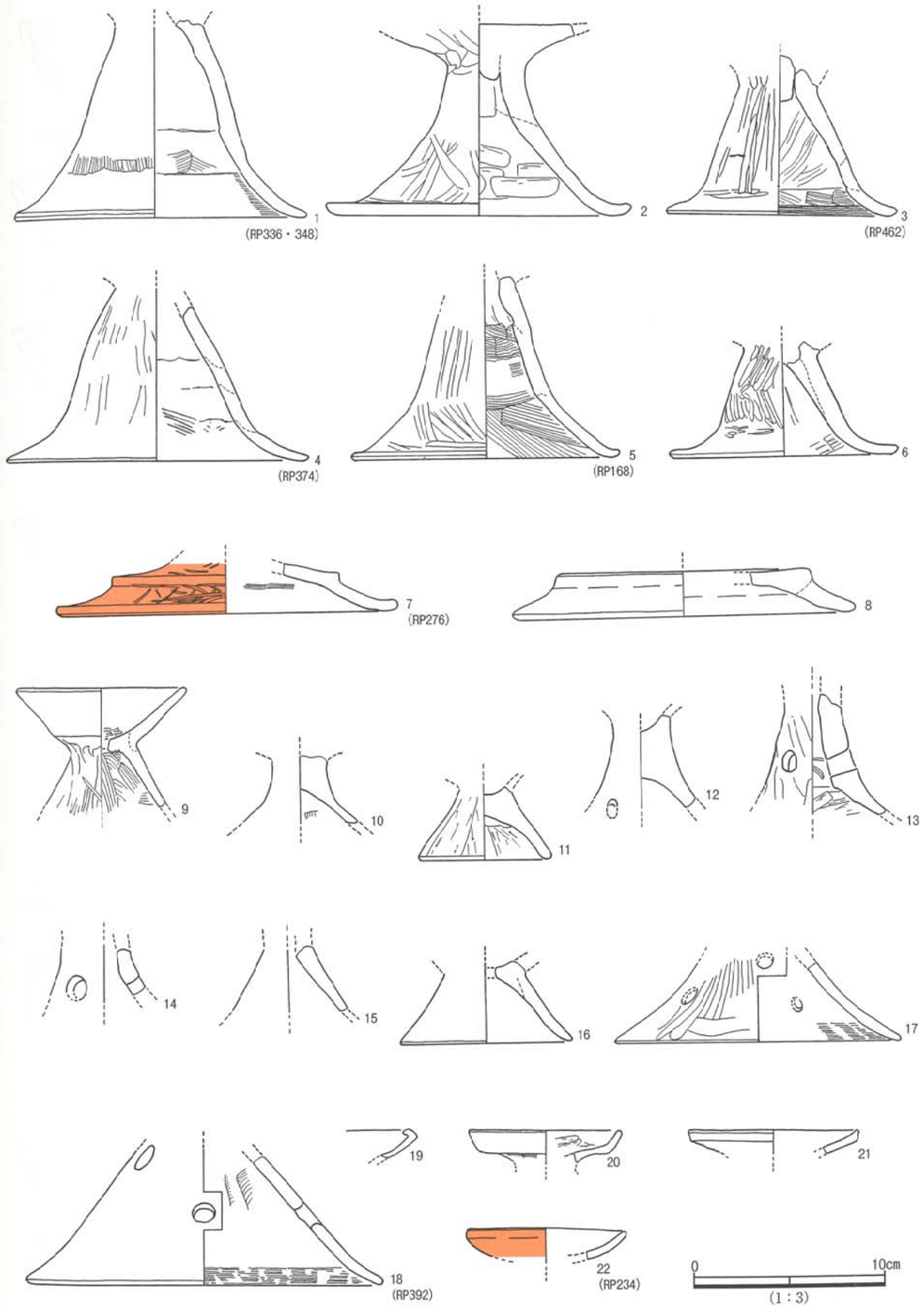

第76図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡（５）



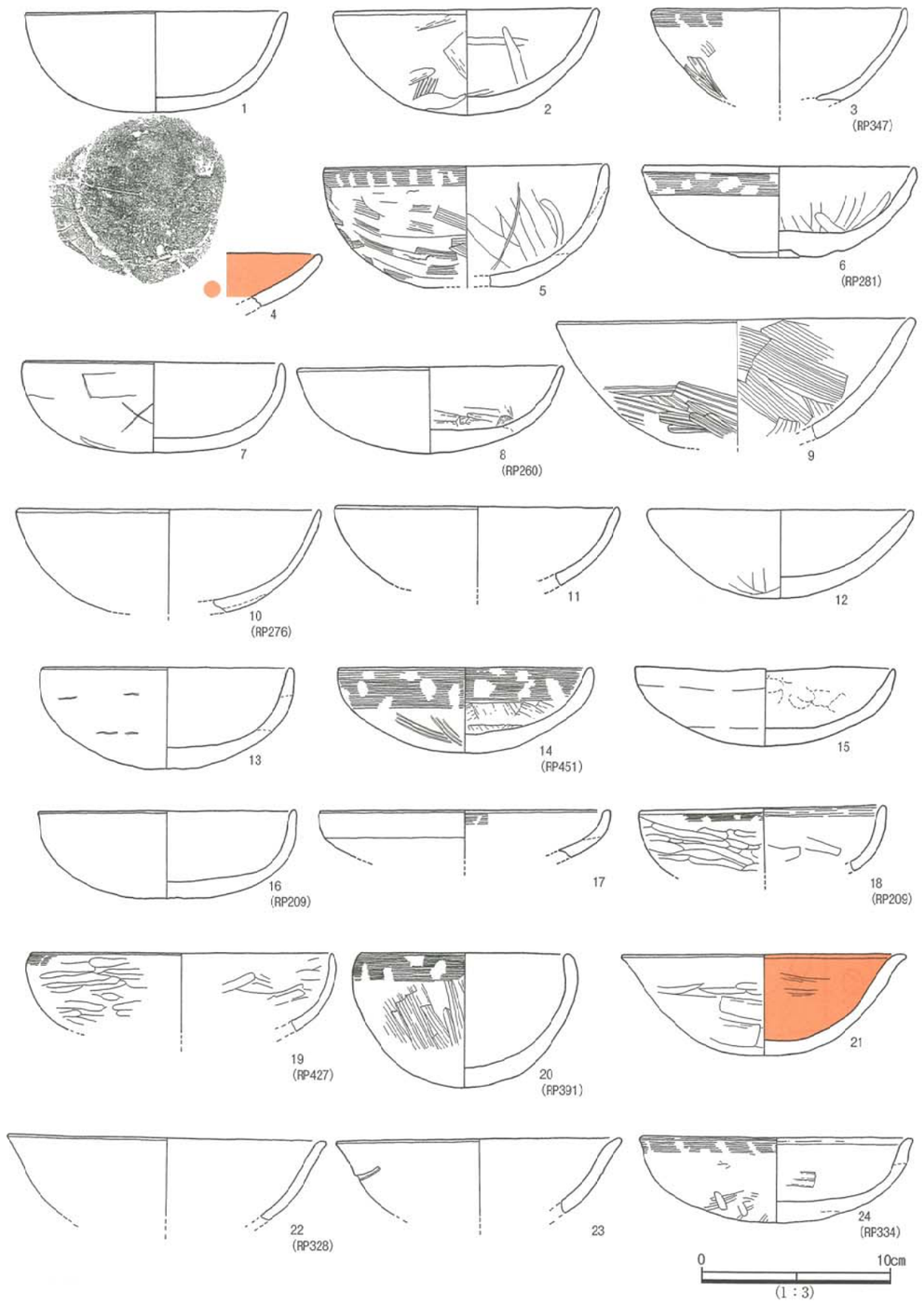

第77図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡（6）







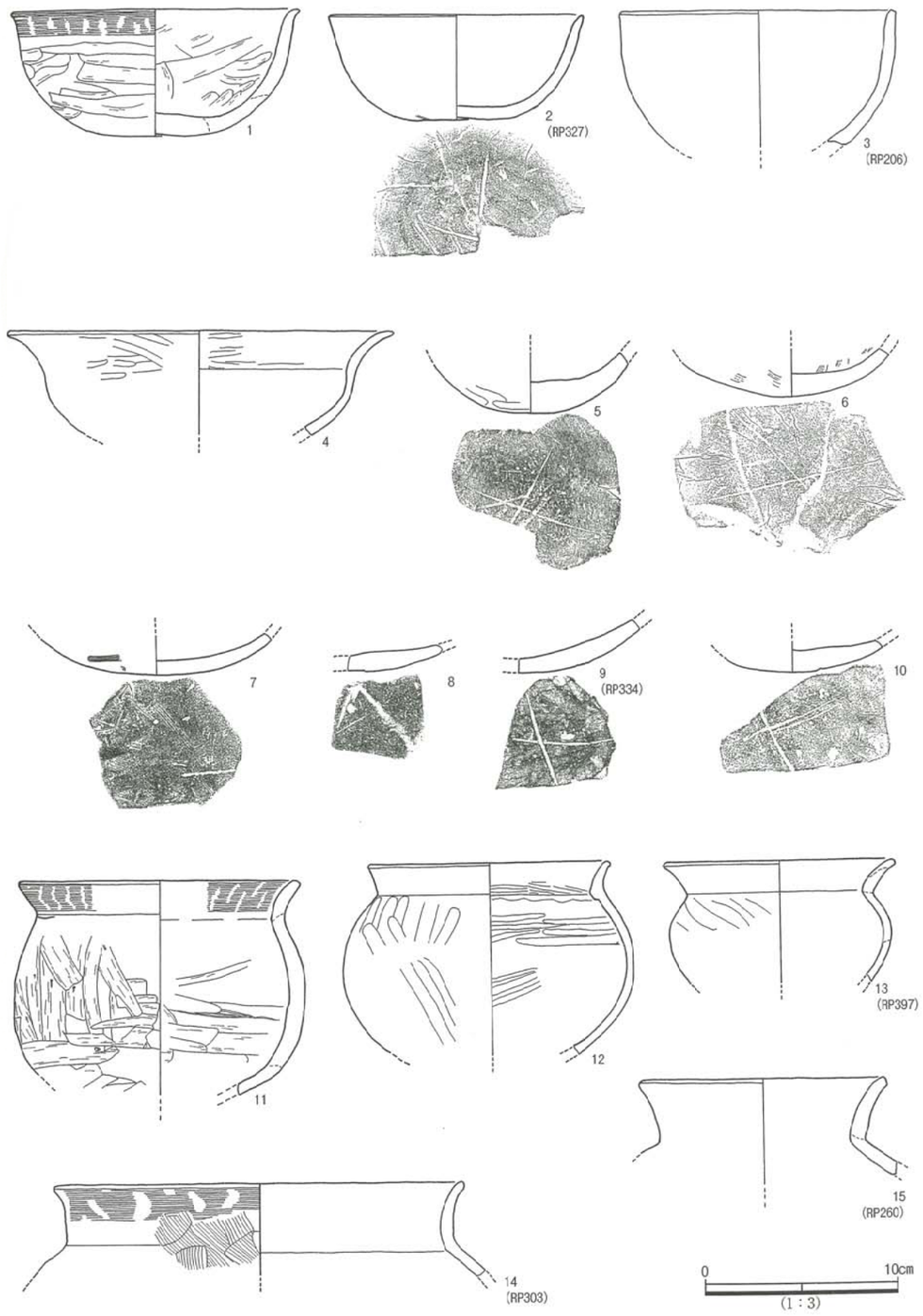

第78図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡（7）



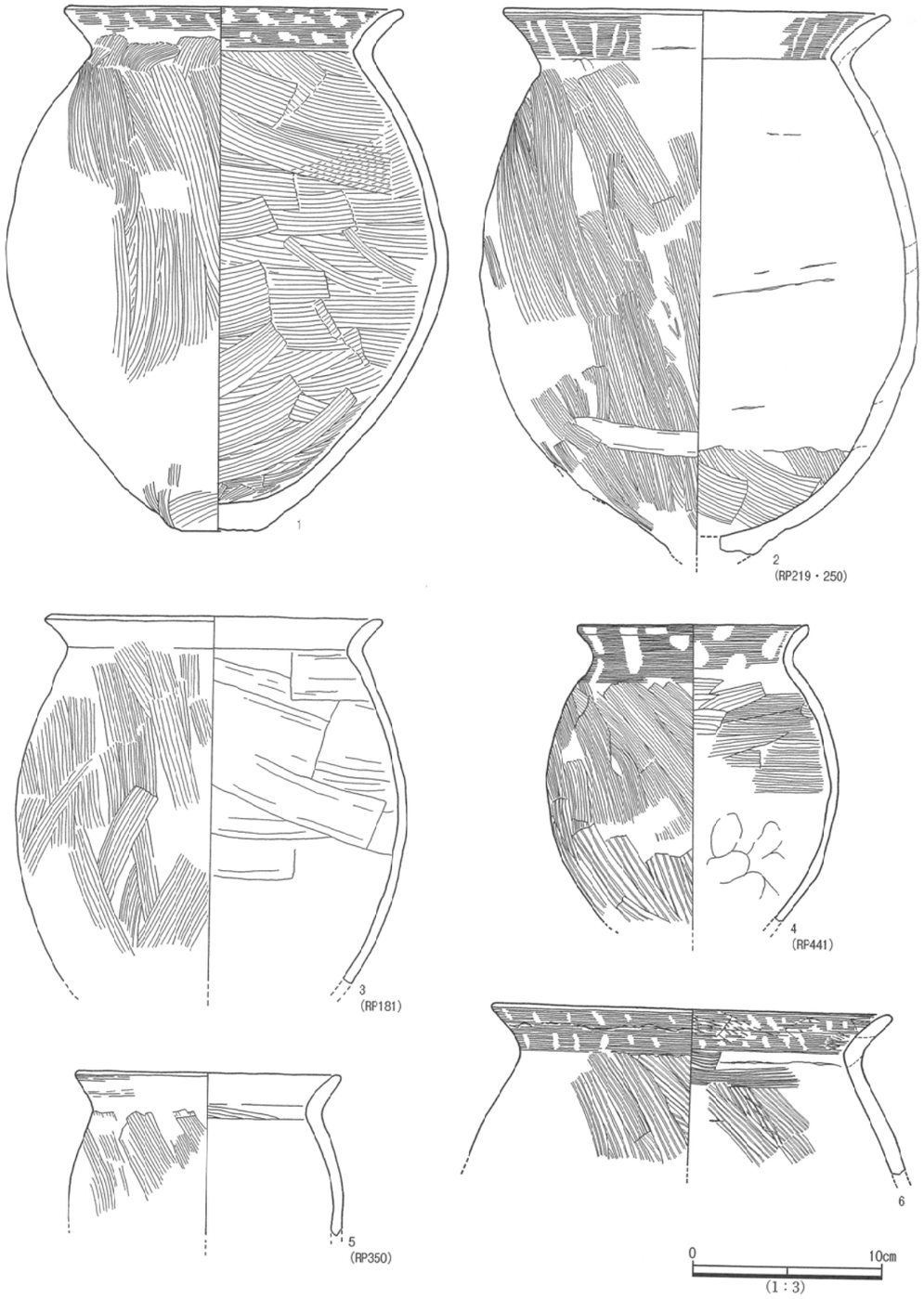

第79図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡（８）







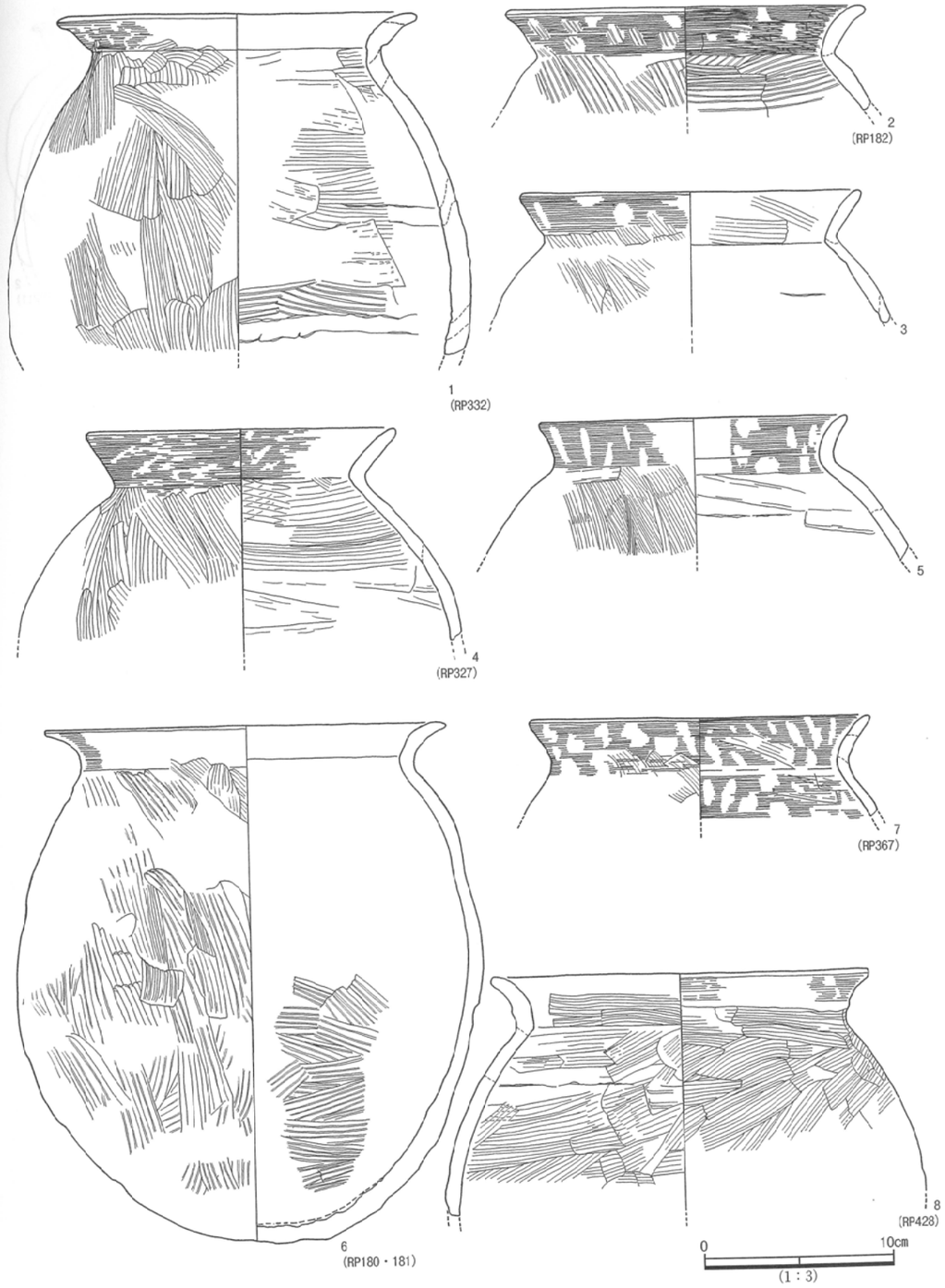

第80図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡（９）



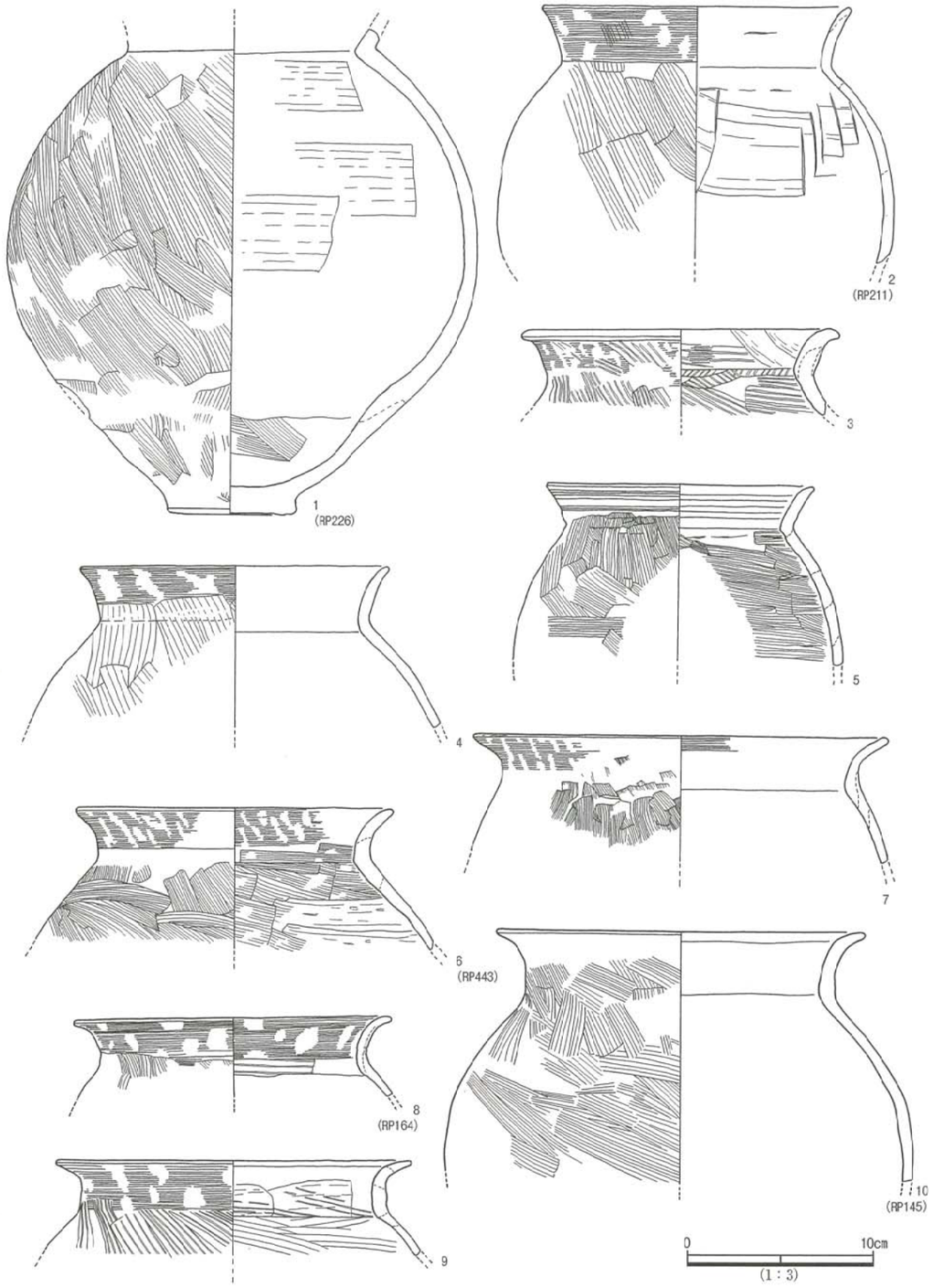

第81図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(10)







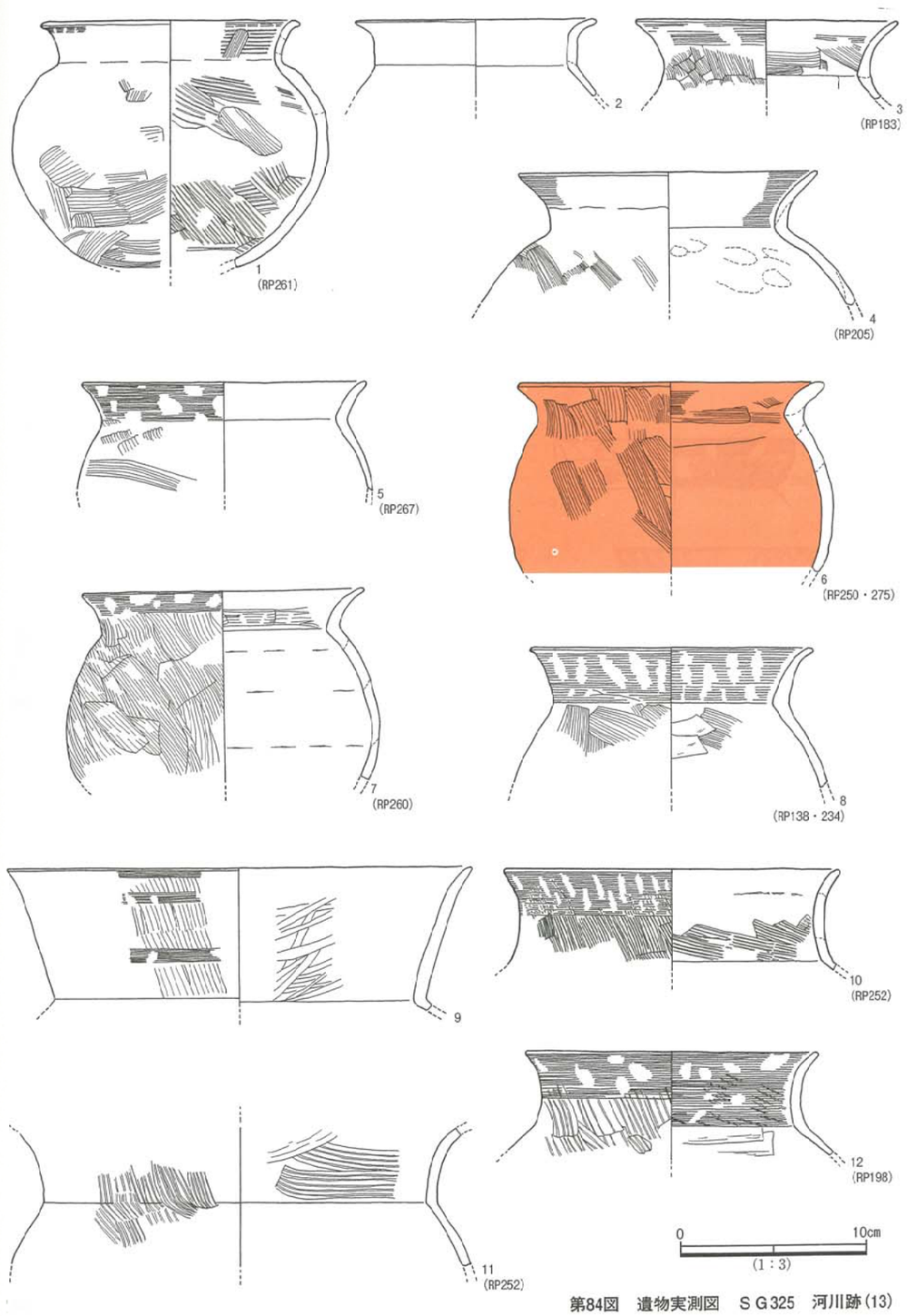

第82図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(11)



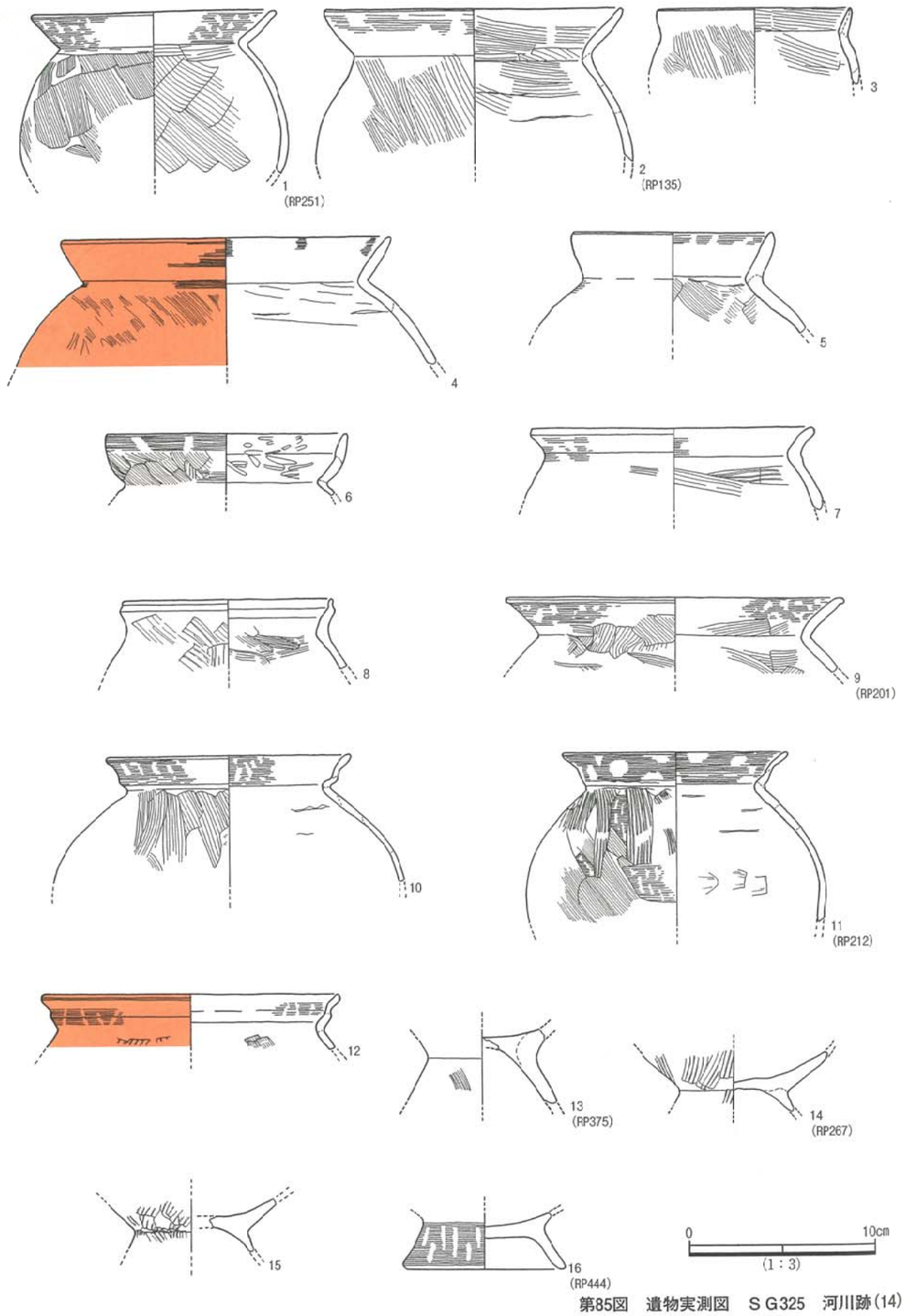

第83図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(12)







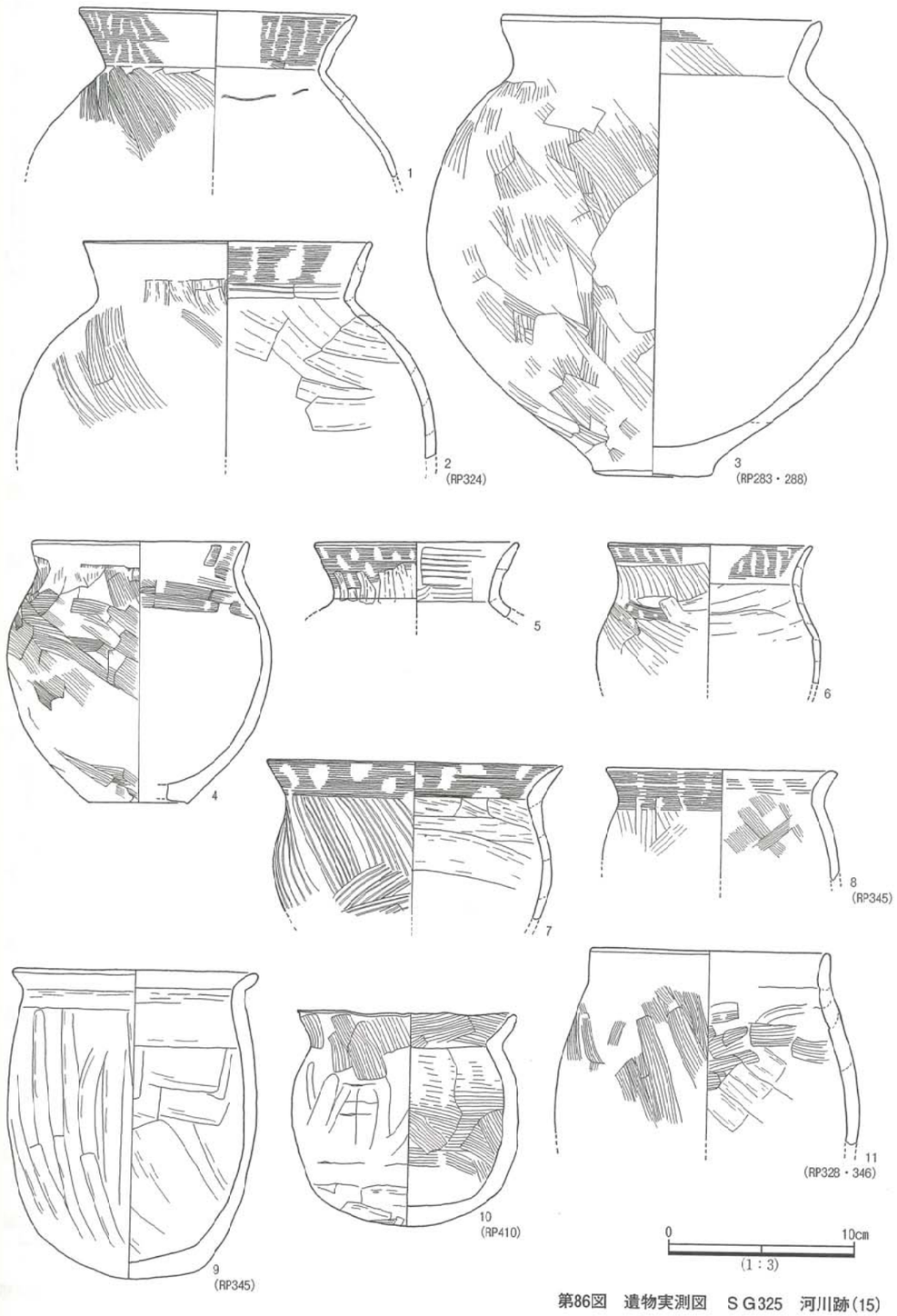

第84図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(13)



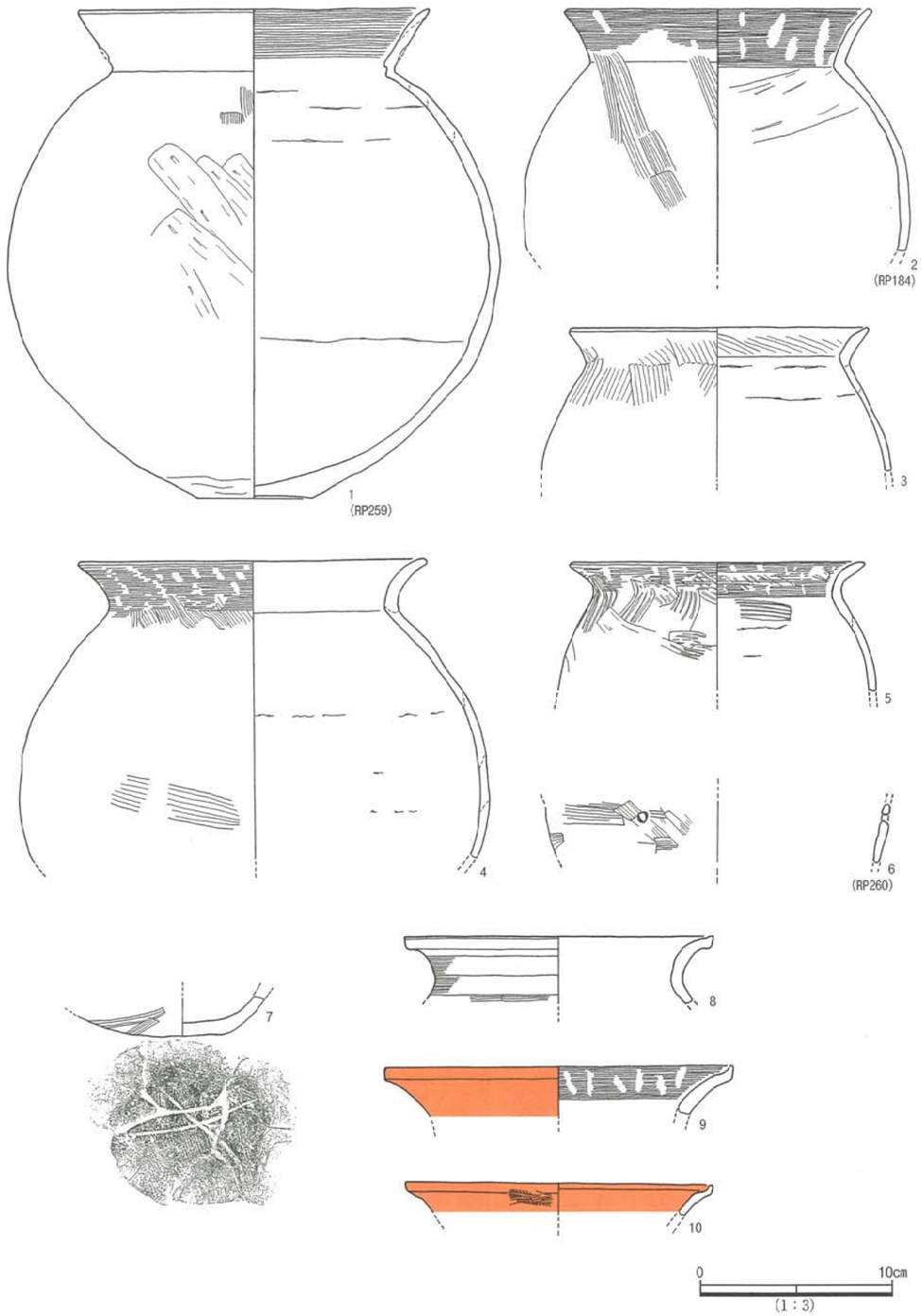

第85図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(14)








第86図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(15)




第87図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(16)





**器台**

器台も完形のものはなく、出土点数14点すべてを図化した。第78図9、15、16のように裾部と受部の間に穴が開いているタイプ。第78図10～12のように裾部と脚部に穴が開いていないもの。第78図17、18のようにやや大型の裾部に2段に透かしがあるものもある。受部にも第78図19、20、21、22のように内側に折れるもの、直立するもの、素直に立ち上がるものが見られる。

**坏**

坏類も多数出土した。本報告書では完形に近いもの、底部に線刻がなされているものを中心に34点を図化した。深さもあり、本来なら椀とするべきであろう遺物も便宜上坏類に含めた。

第79図1、2、5～8のように口縁部が直立し、底部が広いもの。第79図9～12のように口縁部は直立するものの、底部が狭いもの。第79図13～19のように口縁部が直立、または内彎気味に立ち上がるが深さが浅いもの。第79図20のように口縁部が直立、または内彎気味に立ち上がり、深さが深いもの。第79図21～24、第80図1、2のように口縁部が外反しているもの。と分類可能だ。

**甕**

甕類はかなり大量に出土したが、完形品は少なく、本報告書では器種の特徴を捉えやすい口縁部がしっかり復元できたものを優先して掲載した。

第80図11～13のように器高が低く短胴で、口縁が広く「く」の字状に外反している。第80図14、15のように口縁部は直立気味に立ち上がるが、端部は外反しているもの。第81図1～6、第82図1～8のように長胴で、口縁が広く「く」の字状に外反している。

第83図2～10、第84図1～12はさらに細分可能だが、大まかにいうと口縁部が直立して立ち上がったあとに途中から屈折して外反しているものである。

第85図1～5は口縁部が内彎気味のものである。

第85図8は口縁部が内彎し、さらに段を有しているものである。

第85図7、9は「く」の字状に外反しているもののバリエーションで、口縁部が面取りして角ばらせているものである。

第85図10～12は口縁部が途中で膨らみ、「S」字状口縁甕から影響を強く受けたとみられるものである。

第85図13～16は台付甕底部で、10～12類の底部の可能性が高いが、同一個体と認識できるものは無い。

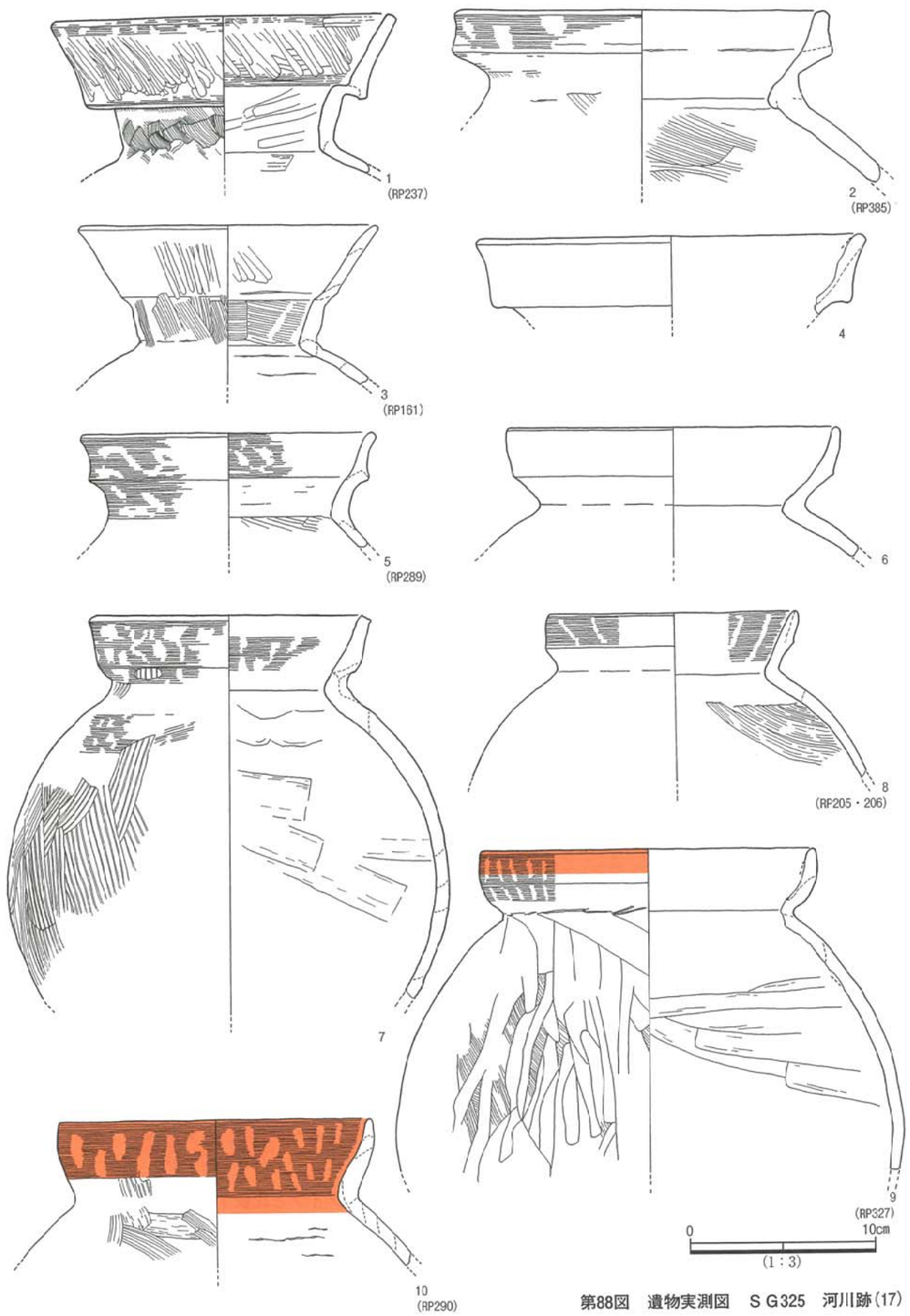
第86図1～4は口縁が体部から直立しているものである。

第86図5は口縁部が体部から直立しているが、途中でふくらみを持つものである。

第86図6～11は口径が大きく、口縁部は体部から直立するタイプである。粗製で、口縁部が短いものが多い。

第87図1～5は口縁部がやや外反気味に開くもので、体部が他のタイプと比較すると薄い傾向にある。

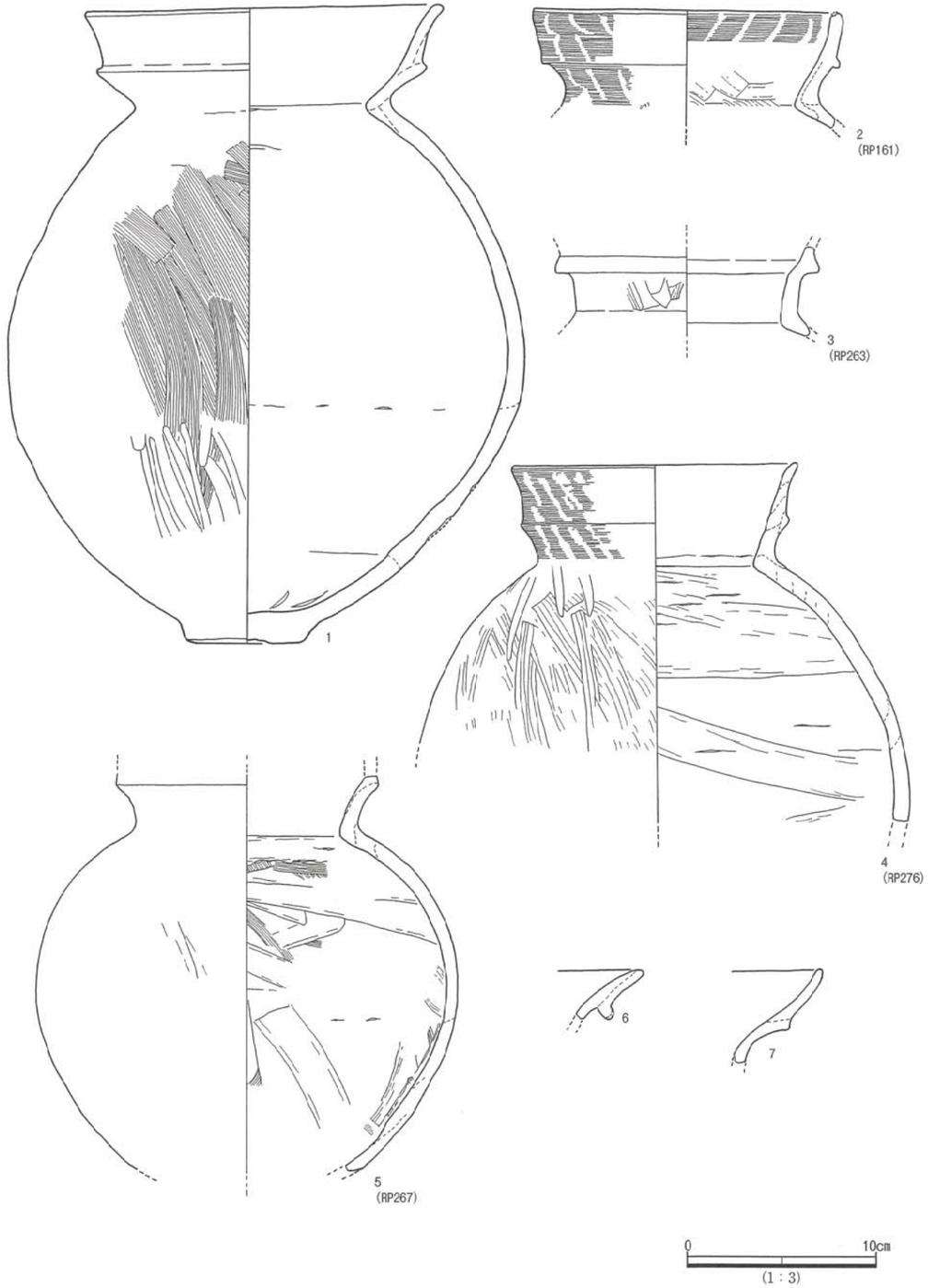
第87図8～10は口縁部が大きくラッパ状に開き、先端部を上へ摘み上げるように成形した受け口状口縁タイプである。



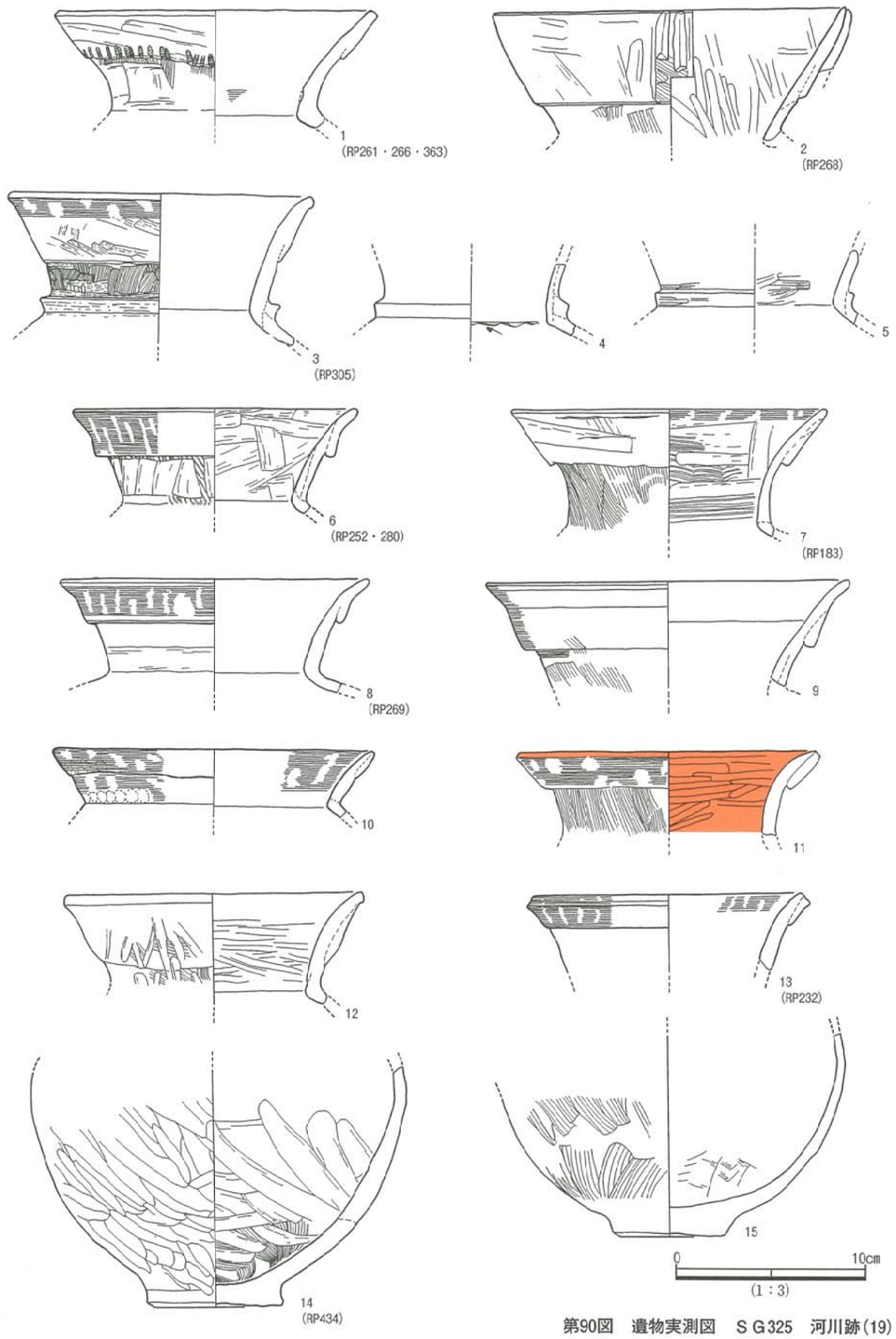

第88図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(17)







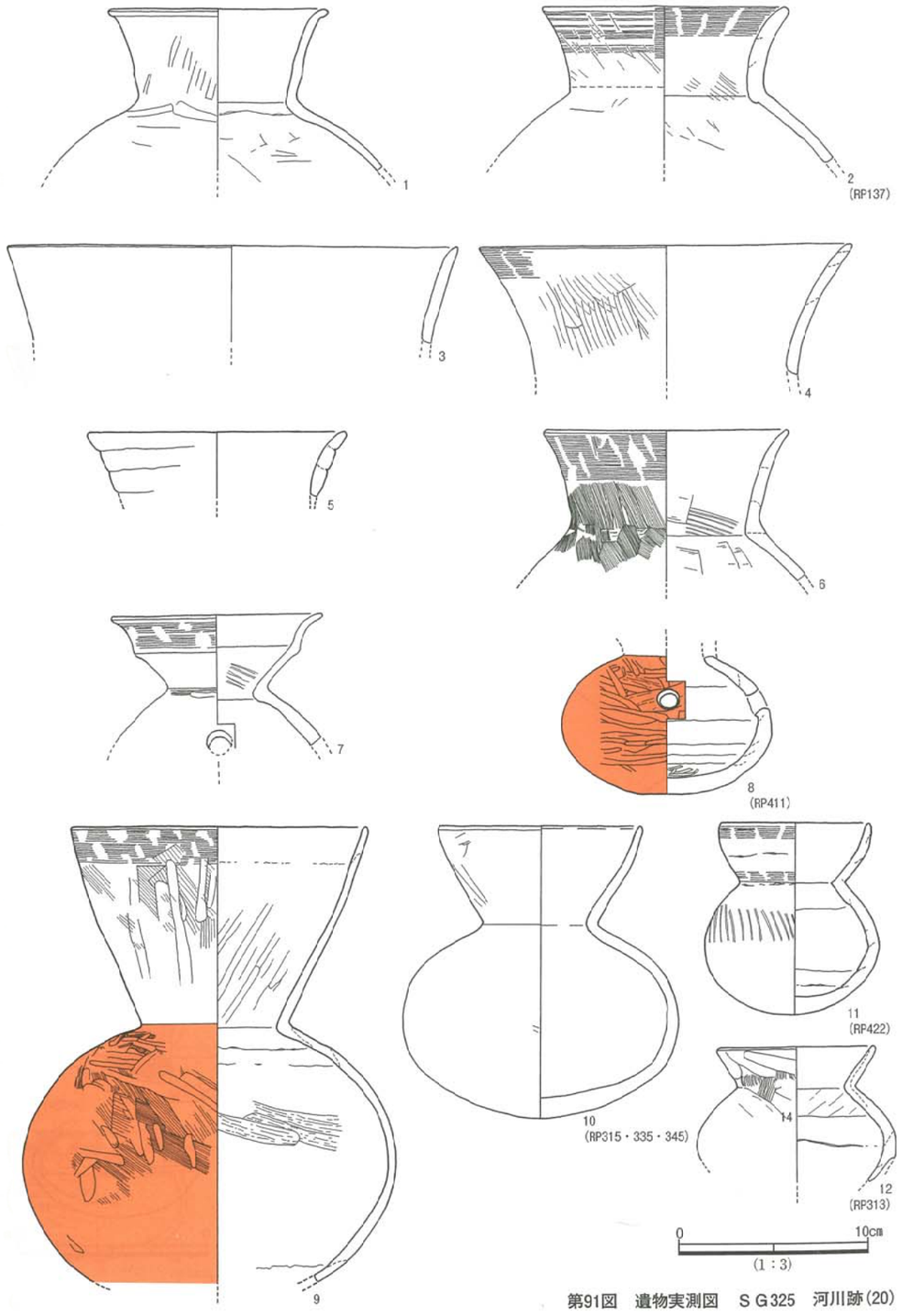

第89図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(18)



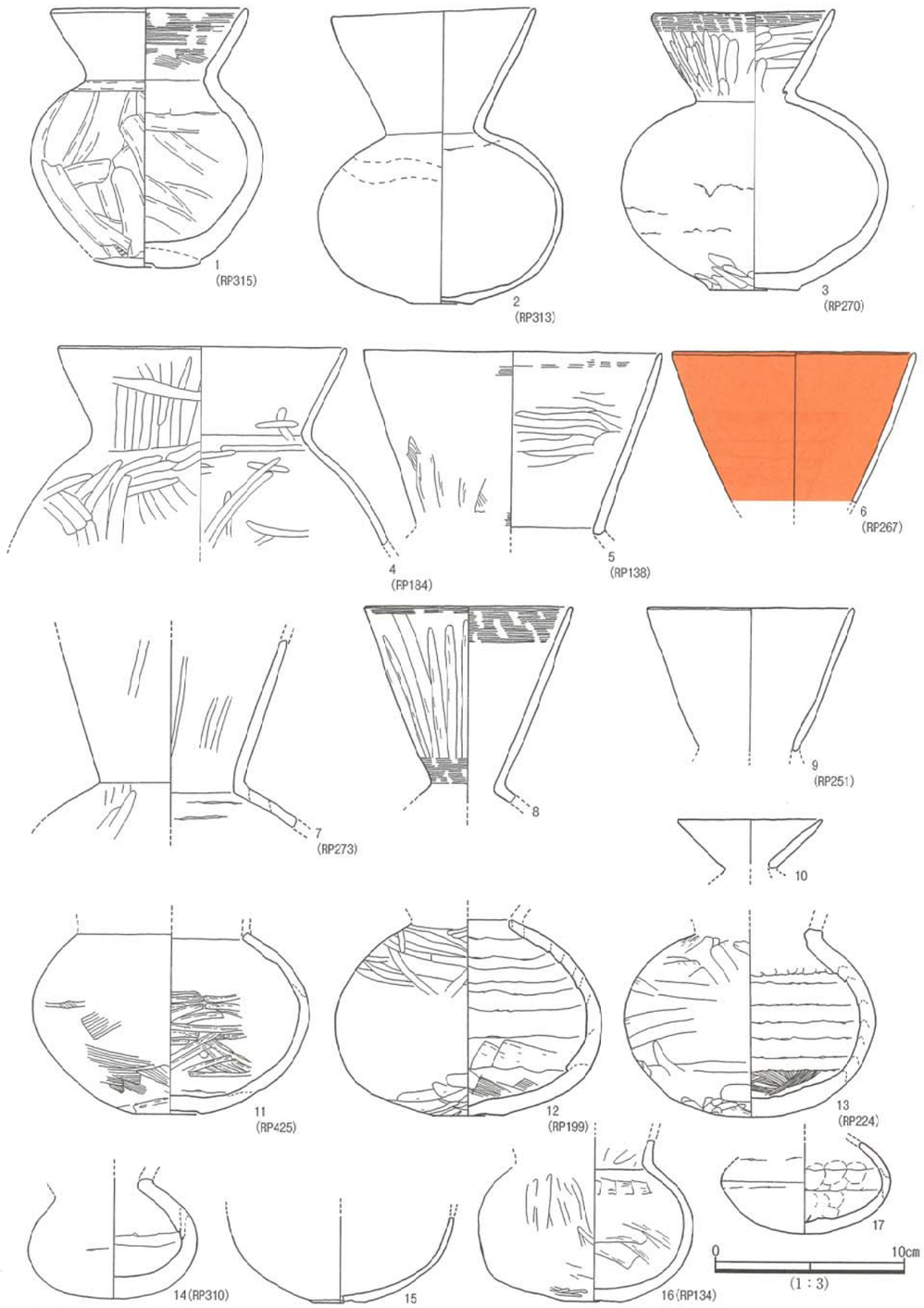

第90図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(19)







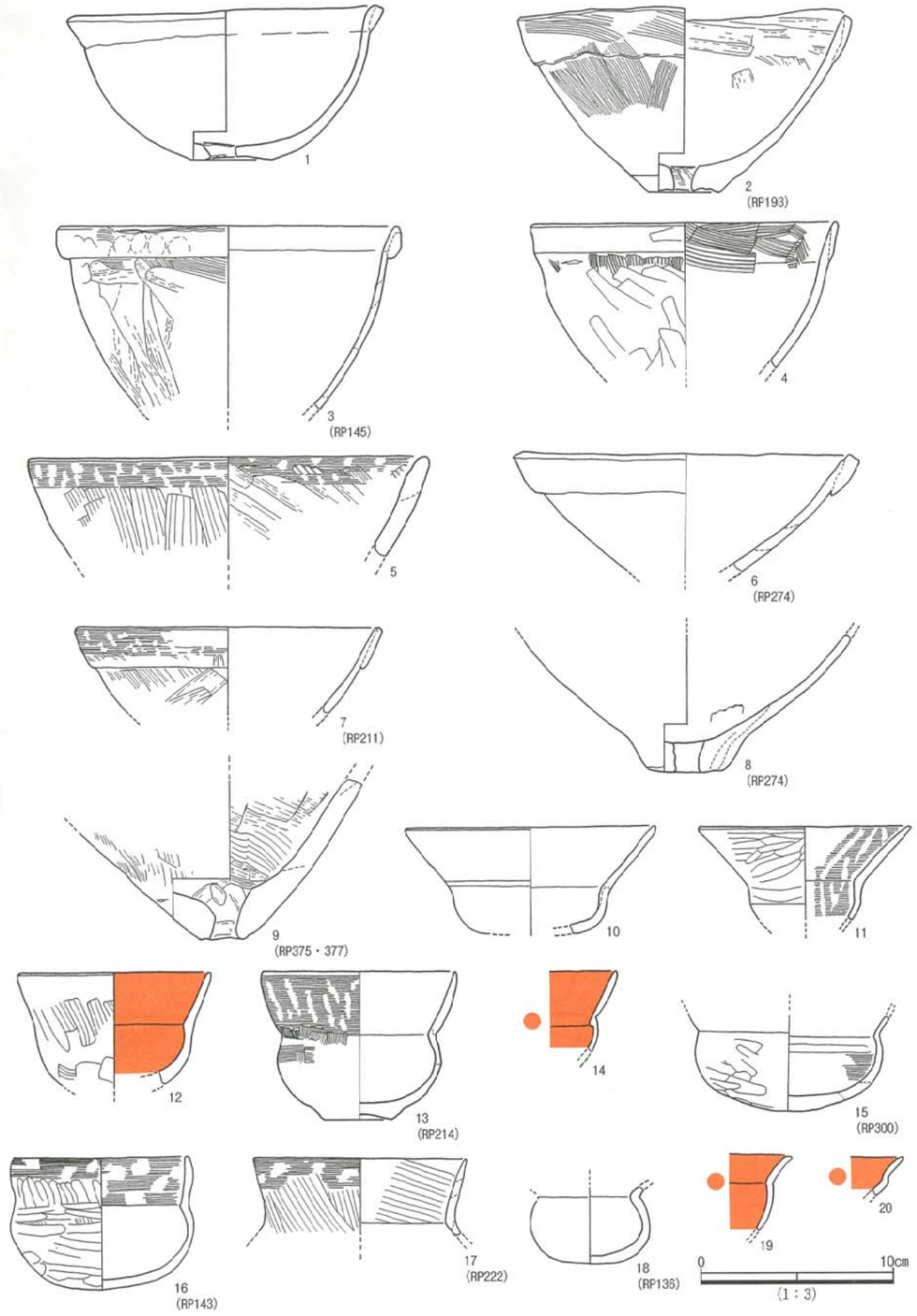

第91図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(20)



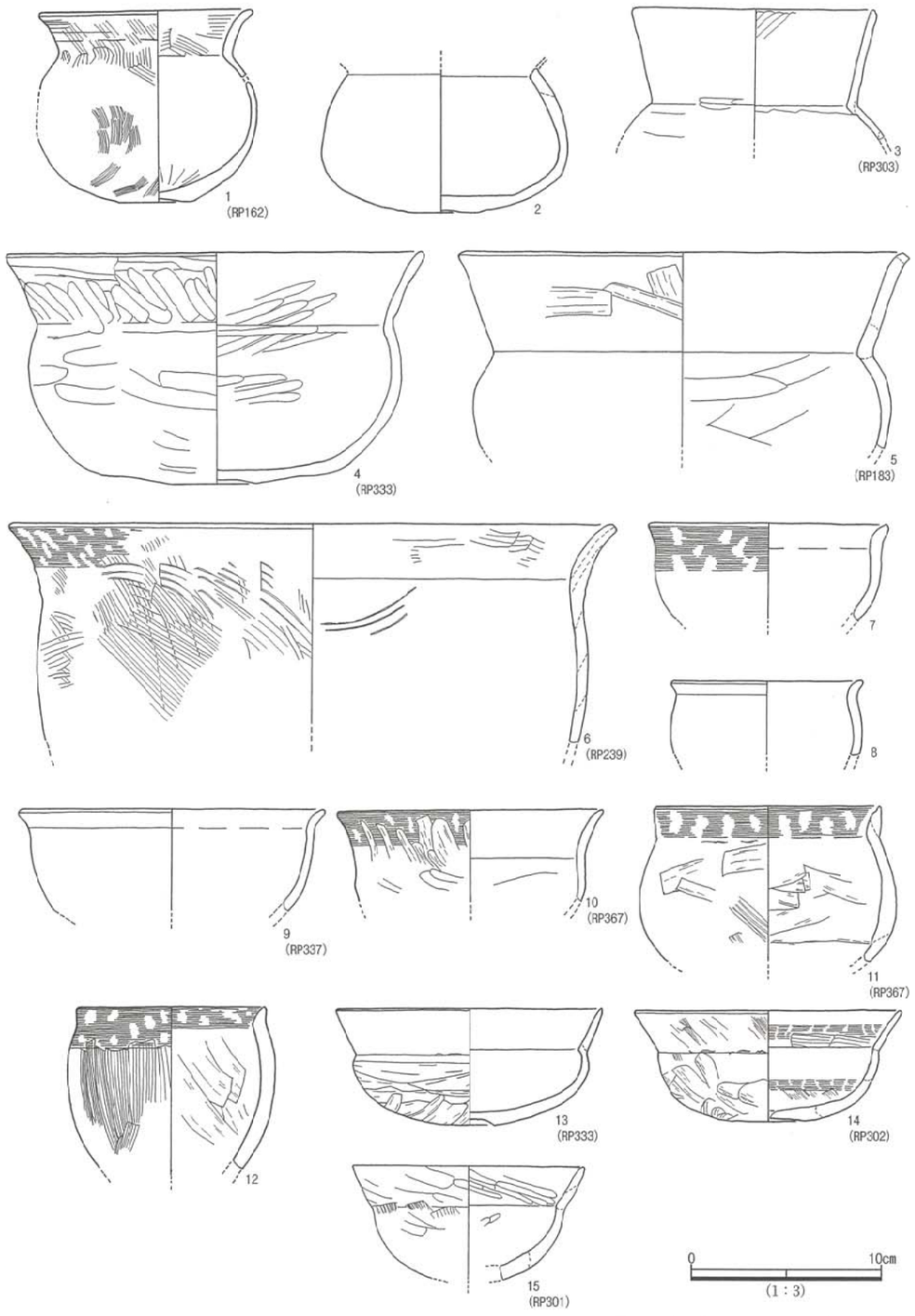

第92図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(21)







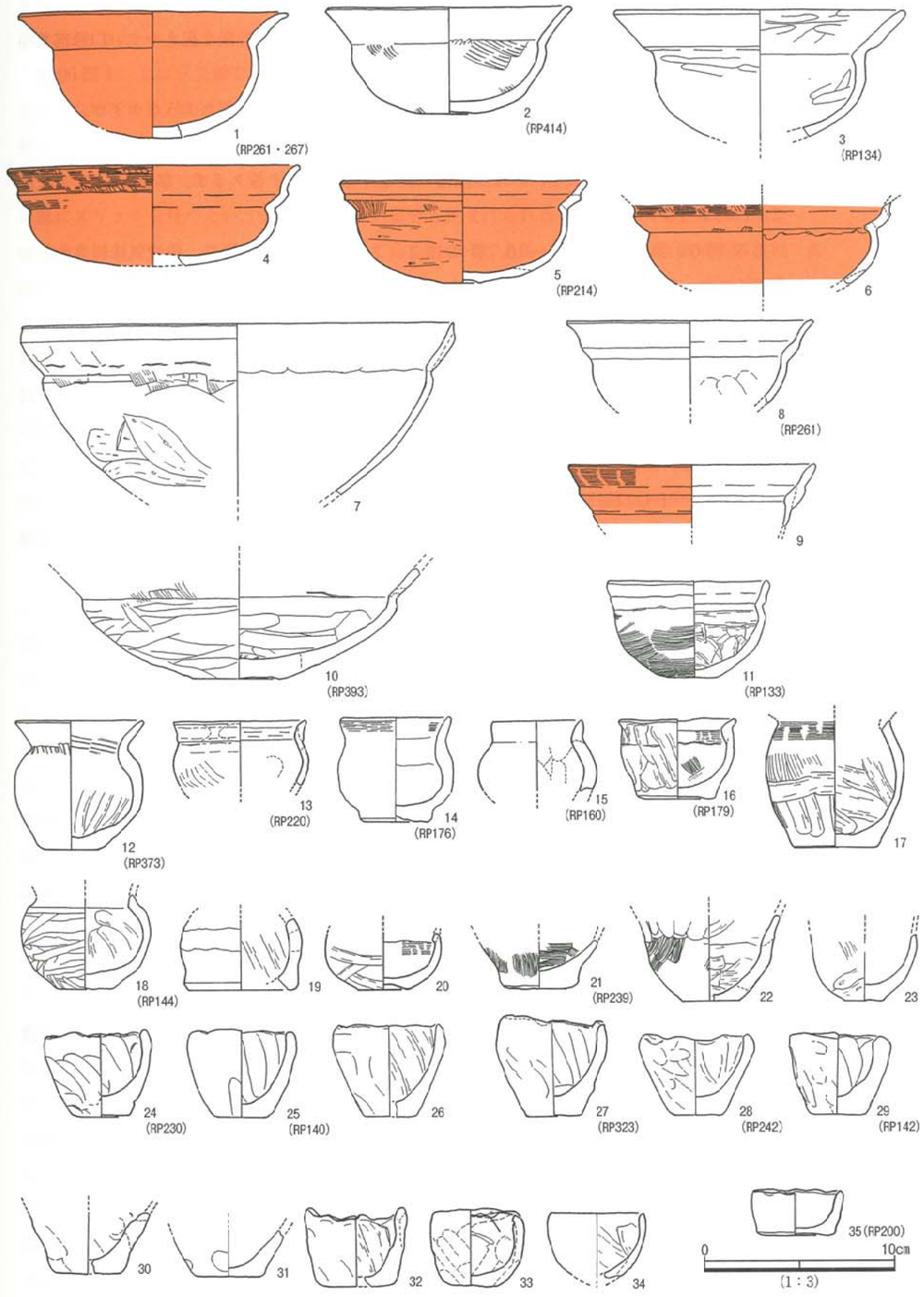

第93図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(22)




第94図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(23)








第95図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(24)

**壷**

壷も出土点数が多かったため、本報告種では完形に近いものと特徴を捉えやすい口縁部を中心に掲載した。

第88図１は有段口縁をもっているもの。第88図３は退化してだれたようなタイプ。

第88図２は断面が３角形をした口縁帯を持つもの。

第88図５、７、第89図１、６は口縁部に稜を持ち、外反するタイプ。第89図４は退化してだれたようなタイプ。

第85図６、第88図６、８～10、第89図２、７は口縁部に稜を持ち、内彎気味に立ち上がるタイプ。

第89図３、５は上記２タイプのどちらか。

第90図１～13は口縁が折り返したように二重になったタイプである。いくつか細かいバリエーションが見られる。１は口縁部下部には木片による押圧が連続して施されている。２は口縁部に２本組み４単位で、棒状浮文が施されている。３～５は体部と頸部の接合部に稜を持ったものである。10と12は口縁の二重になったところがだれて退化したタイプである。

第91図１～６は口縁部が「く」の字状口縁で、外反するもの。

第91図７、８はいわゆる甕形の小型壷である。体部上方には１箇所穿孔がある。７は口縁部が残存し、頸部で屈折して口縁が大きく外反して伸びている。

第91図９～11は口縁部が「く」の字状であるが内彎している。

第91図12、第92図１～４は口縁部が「く」の字状でまっすぐ立ち上がり、比較的短いもの。

第92図７～９は口縁部が「く」の字状でまっすぐ立ち上がるが、比較的長いもの。

**鉢**

第93図１～９はいわゆる有孔鉢である。口縁部が二重になっているものと、なっていないもの２タイプが見受けられる。

第93図10、11は比較的浅い体部に大きく開く長い口縁部を持つ。第94図13～15は派生型で、口縁部が短く、大口径となる。

第95図１～３も上記の派生型のひとつで、口縁部がやや外反している。第94図４～10は口縁部が２段に屈曲している。

第93図12、13、16は比較的深くて丸い体部を持ち、口縁部が内彎気味に開いている。

第94図４、５体部と口縁部に明瞭な境界があり、丸く比較的浅い体部を持つ。

第94図６～10上記が退化したようなタイプ。口縁と体部の境界が不明瞭で体部の丸みが潜在的になる。

**小型土器**

いわゆる手づくね土器で、第95図11～35の遺物である。11～23は甕、鉢類など、祖形が推定できる土器で、24～35はコップ状の小型土器特有の形をしている。それぞれのタイプで使用目的、方法が異なる可能性がある。

**木製品**

ＳＧ325河川跡からは木製品が大量に出土した。本報告書では人の手が加えられたと思われる木製品はできるだけ多く図化して掲載するように務めた。また、殆どの掲載遺物は保存処理を施し、同時に樹種の同定を行なった。各遺物の樹種の詳細については、付篇に別記している。





**農具**

第96図１、２は三叉鋤である。どちらも一木作りで折損した状態で出土した。サイズが大と小となっている。第96図４は鎌柄である。刃の装着部にはスリット状の穿孔がなされている。柄は途中から折損している。第96図３は鋤柄である。第97図１は鋤の未成品と推定される。第97図２は曲柄鍬である。柄への装着部に張り出しを持ついわゆる「なすび形」鍬であるが、刃部にスリットを持つという山陰方面からの影響も見受けられる。かなり使い込んだようで、刃部が磨耗している。鉄刃の装着はなされていないようである。第97図３は広鍬である。泥除けの装着孔が上部２箇所に穿孔されている。また、木取りは横木取りされている。第98図１、２、第99図１は田下駄である。第98図２は片側側面に24.5cm間隔に３箇所刻目が施されている。現在の１寸約３cmの尺貫法で計算すると約８寸間隔になる。何かの建材か部材を転用して使用した可能性がある。第99図２～５は破損、または磨耗が激しく不完全な状態で出土したため、断定はできないが田下駄と推定した。３～５は鍬や鋤といった農耕具の可能性も否定できない。第100図１～４も破損と磨耗が激しいため断定はできないが大足の側板の一部と判断した。第100図５、６、は農具の柄と思われる。６はホゾ状の穿孔部から折損している。

三　叉　鋤
鎌　　柄
鋤　　柄
な す び 形 鍬
広　　鍬
田　下　駄

**容器**

第101図２は大型の曲げ物底板である。周辺部に穿孔があることから側板は紐などで緊縛したものと推定される。全体に楕円形をし、一部大きく切れ込み条に凹部がある特異な形状をしている。また、底部には多数の金属器による切り傷が観察できた。作業台などに再利用した可能性もある。第101図３は鉢である。出土状態はあまりよくなく、全体の一部であったが、図上復元すると口径は50cm近かった。穿孔が２箇所あり、紐を通して取っ手としていたのだろうか。第101図４は槽である。破損が激しく大きさはわからない。第102図１は曲げ物状木製品。曲げ物の底のような板であるが、縁辺近くに２穴１組で４箇所、合計８つの小さな穿孔があったと思われる。また、中央部に大きな穿孔があったことが観察できる。用途は不明で、容器であると断言もできない。

曲 げ 物 底
鉢
槽

**道具**

第101図１は機織機の一部の経巻具または布巻具の可能性が高いと判断したい。

第102図２は鳥形と判断した。第102図３は弓である。折損しているため全体の長さはわからない。太さがあまり見られないことから実用品というより祭祀用具として使用していた可能性がある。第102図４は矢形と判断した。第102図６、７は篦状木製品。第102図８は札状木製品。上部に小さな穿孔がある。第102図５は用途不明木製品。両端の縁は面取りしてある。

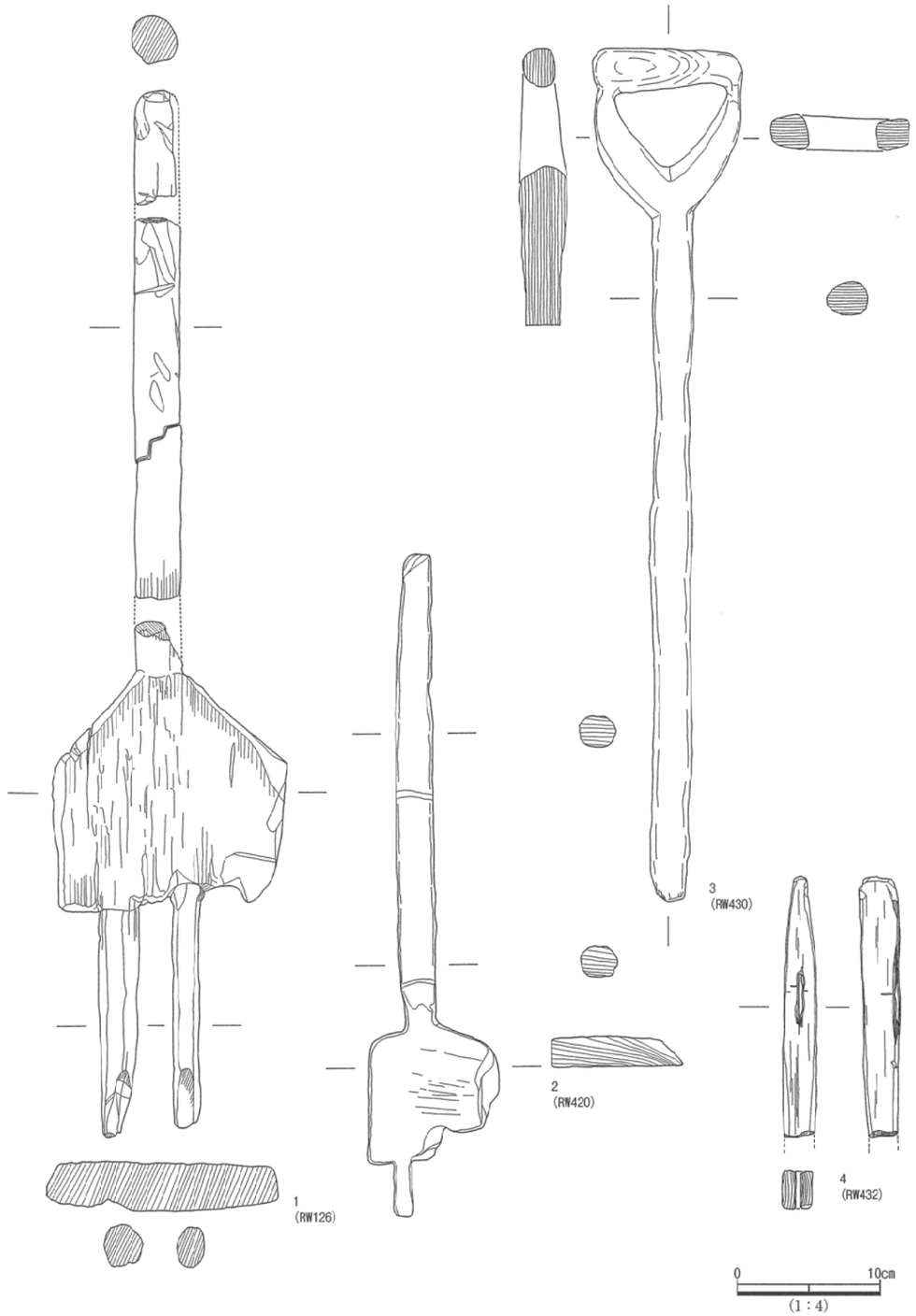
機　織　機
祭 祀 用 具

**板材**

第103図１～５、第104図１～４、第107図１は部材または他の木製品の破片と思われるもので板状のものを一括して板材とした。第103図１は手斧による調整痕が確認できる。第103図２は木製品の破片と思われ、穿孔がなされていたようだ。

**球状木製品**

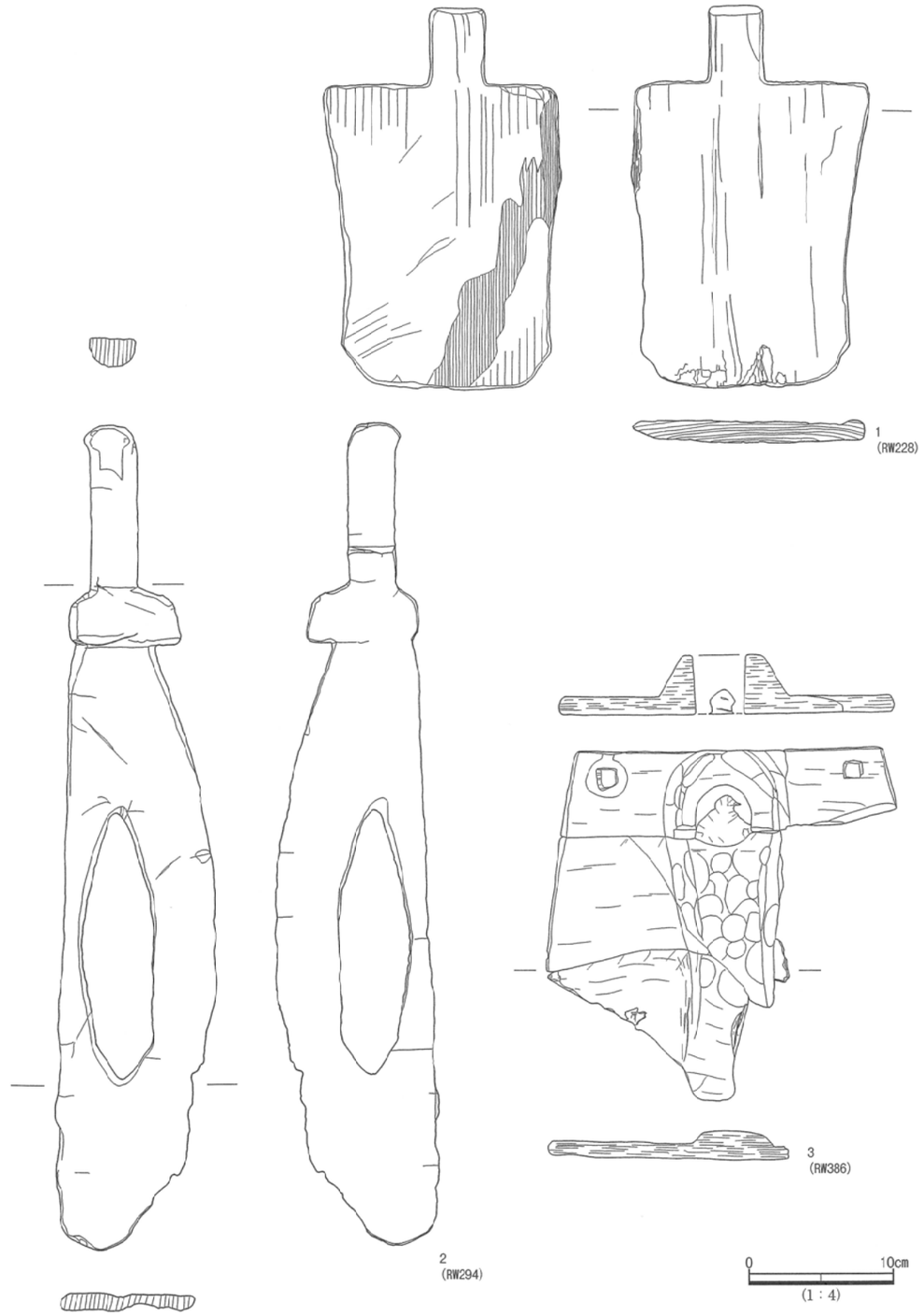
第104図５は用途不明ながら、木材を球状に面取りしている。



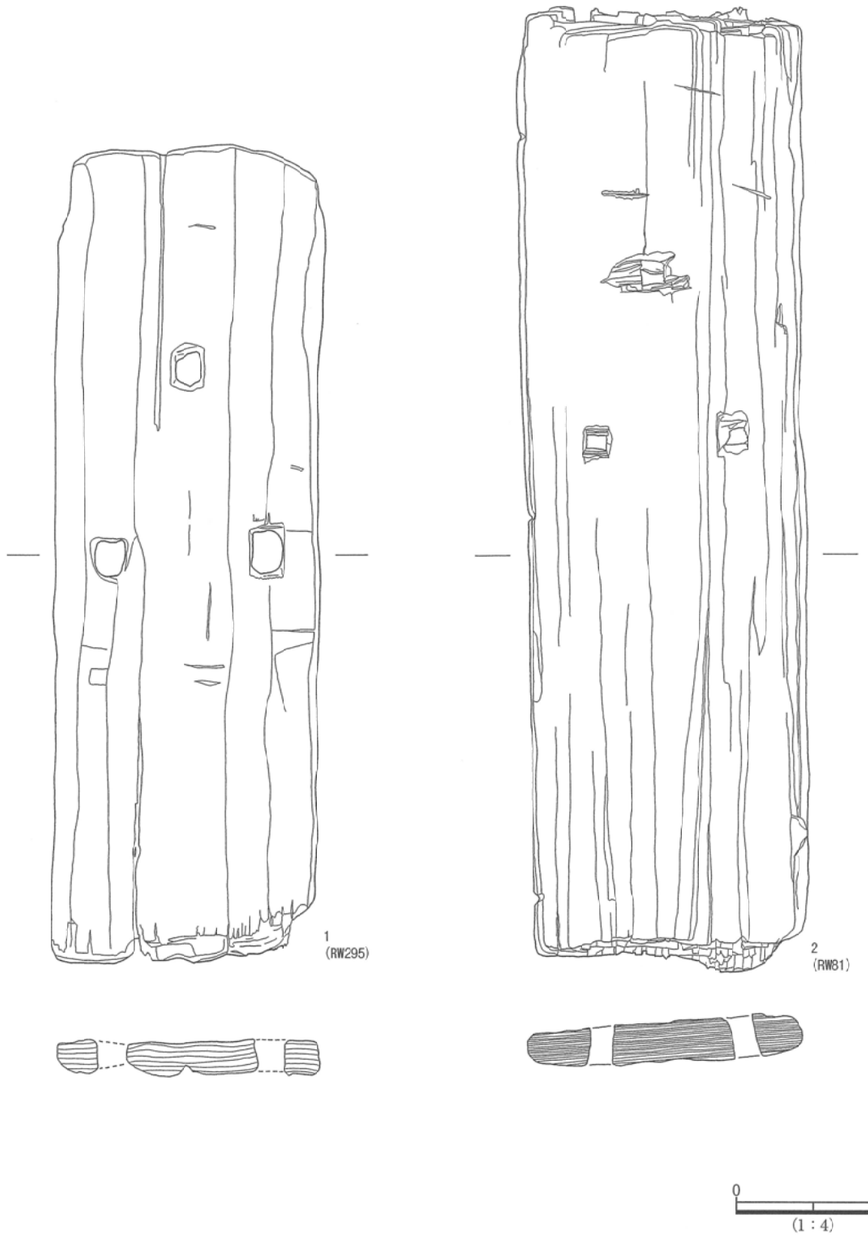

第96図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(25)







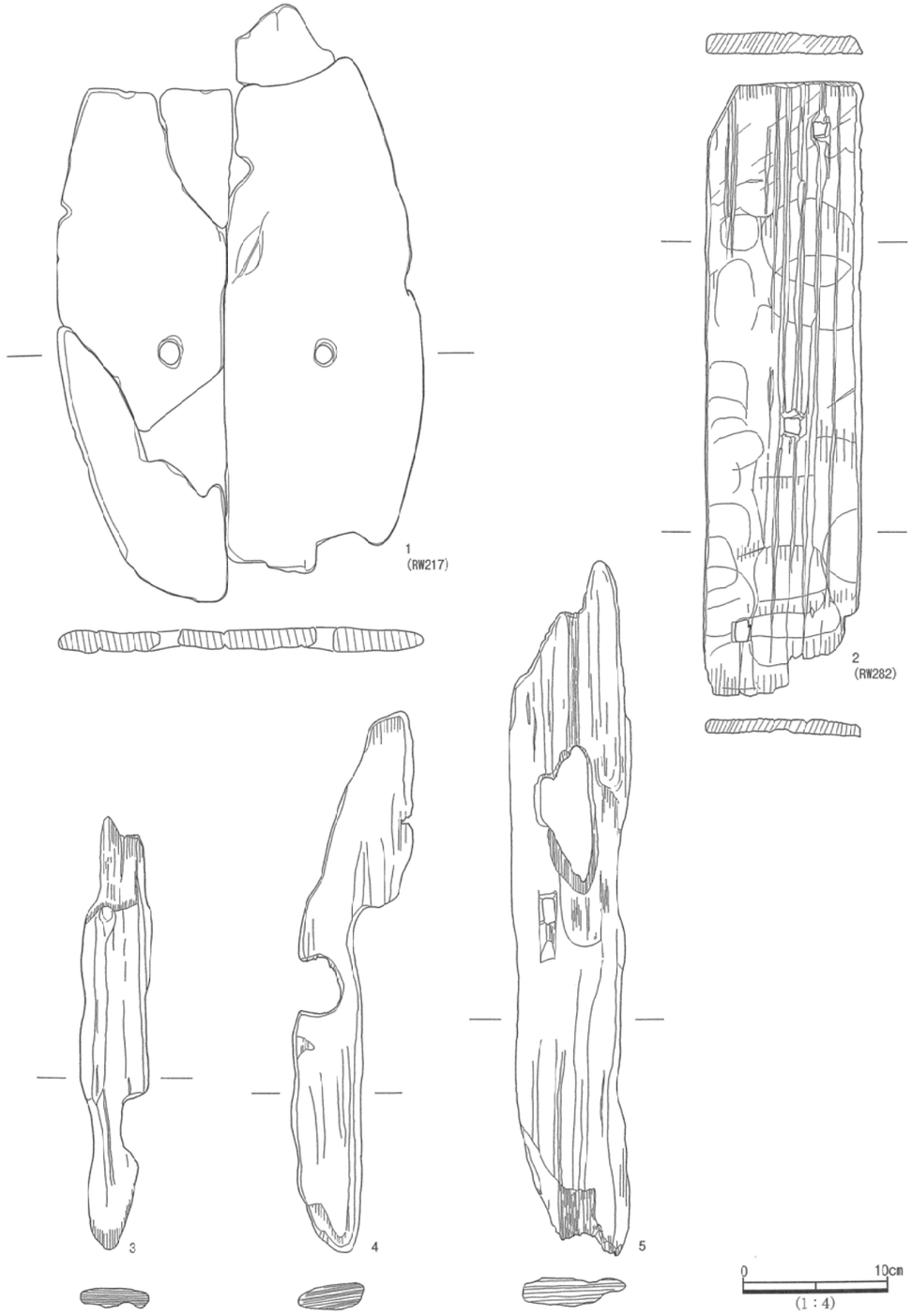

第97図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(26)



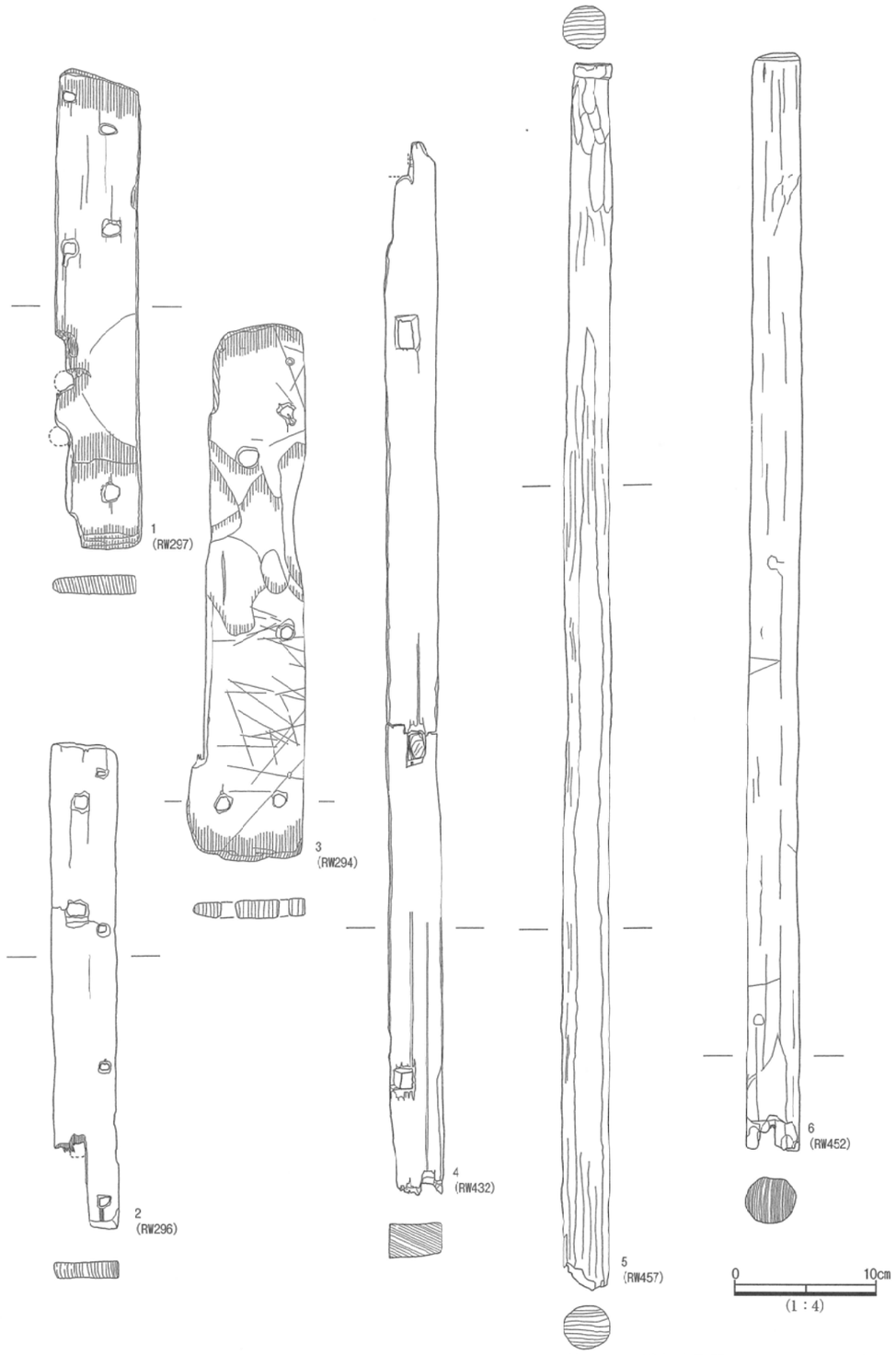

第98図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(27)







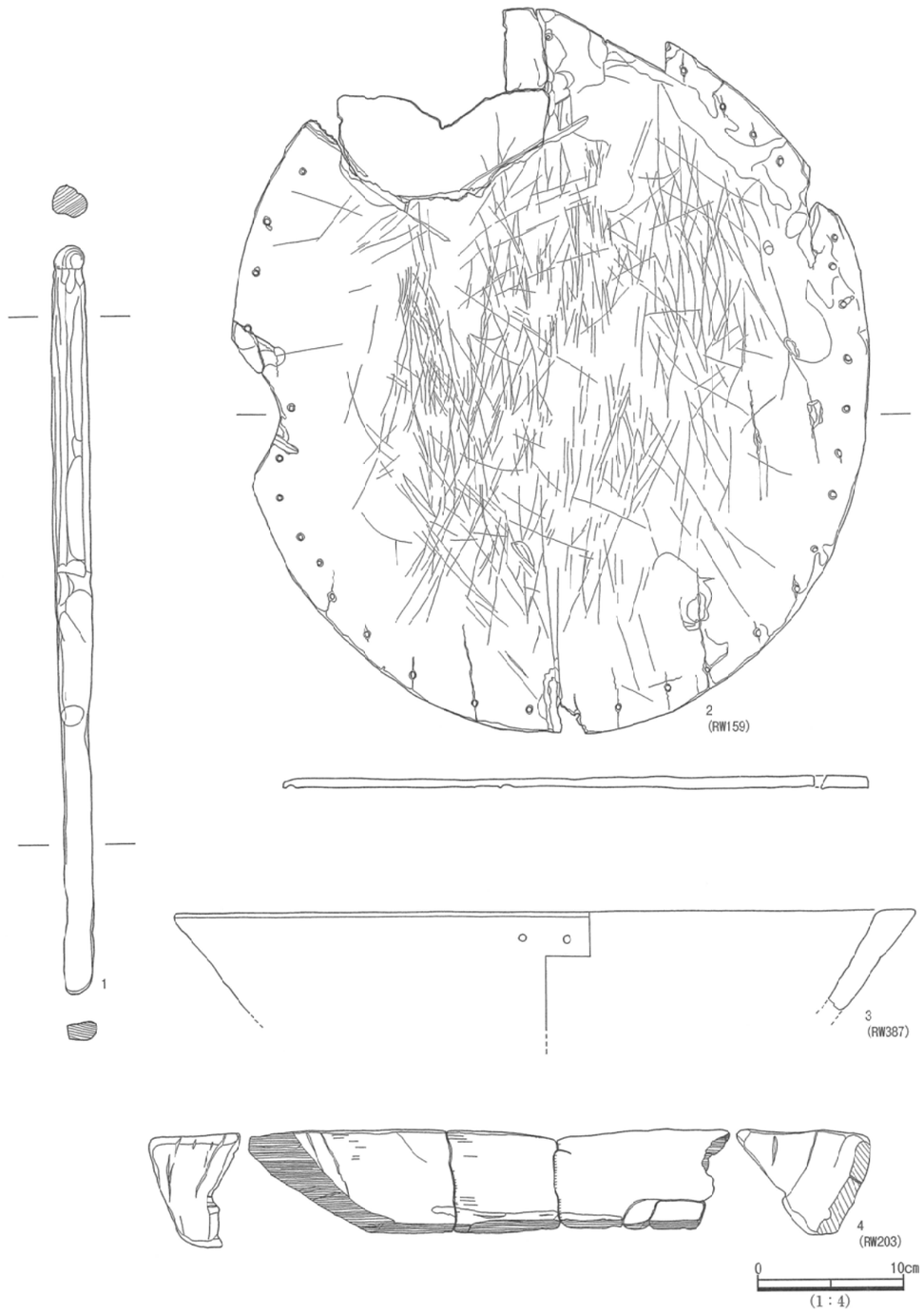

第99図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(28)



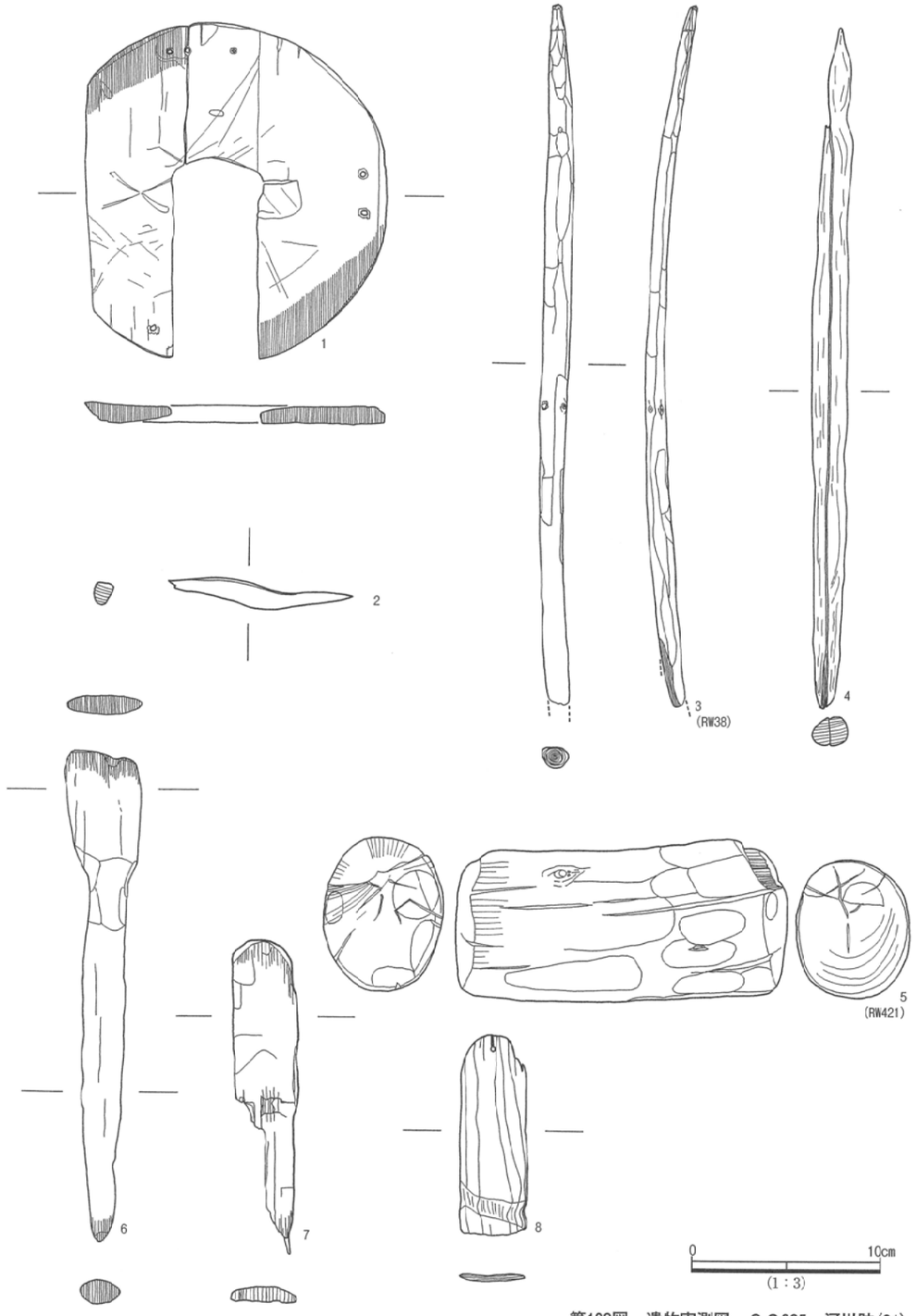

第100図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(29)







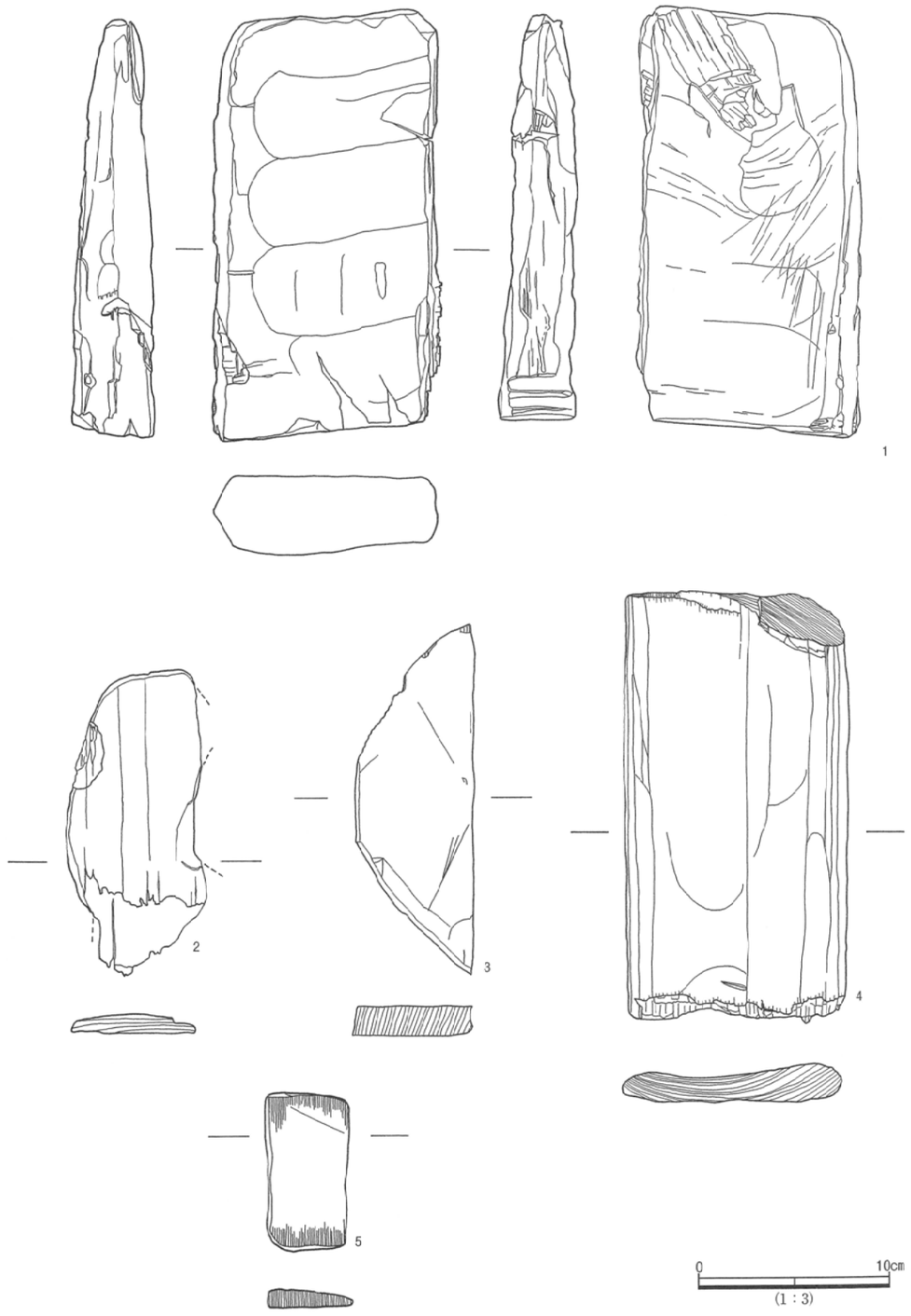

第101図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(30)



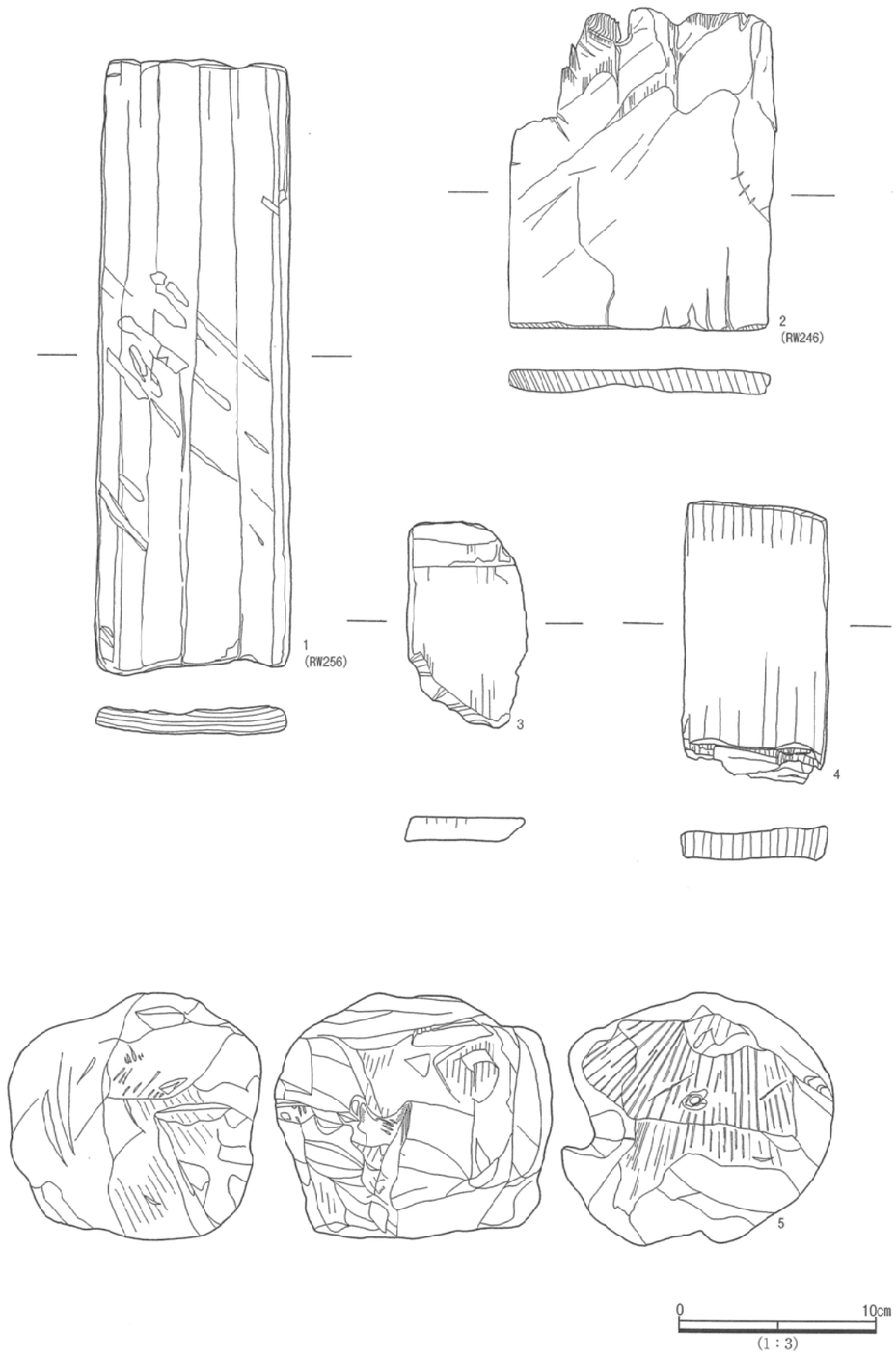

第102図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(31)







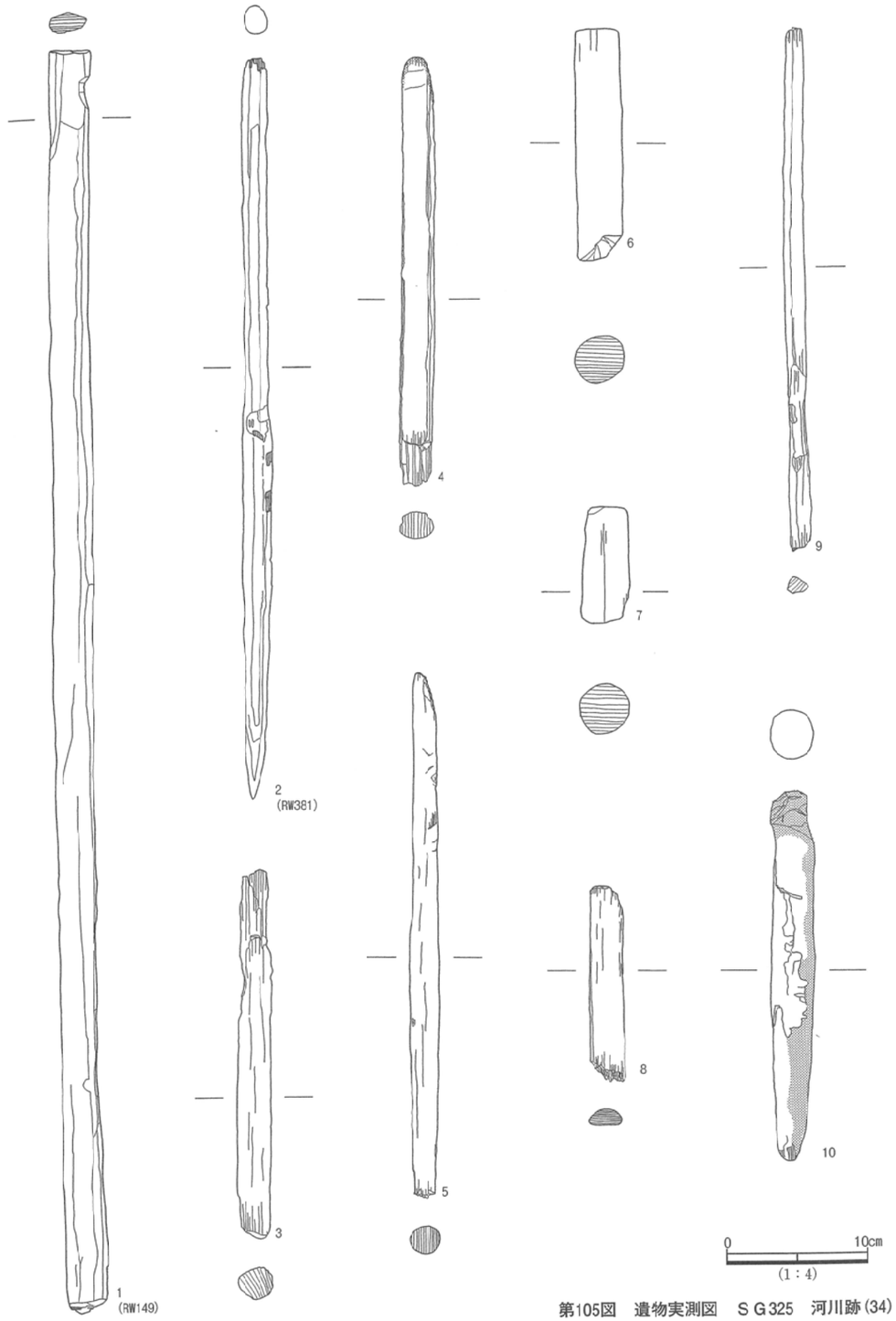

第103図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(32)



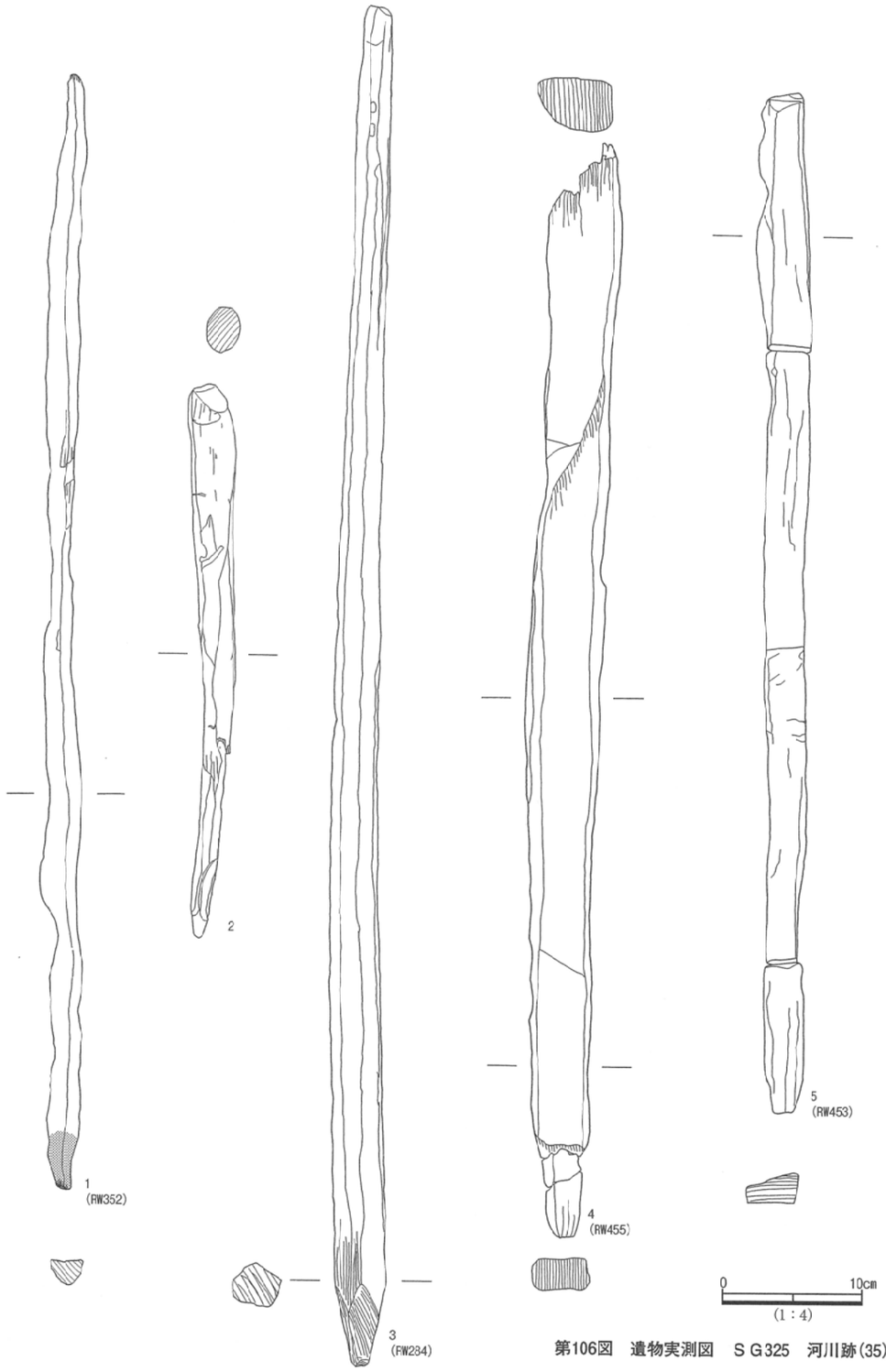

第104図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(33)







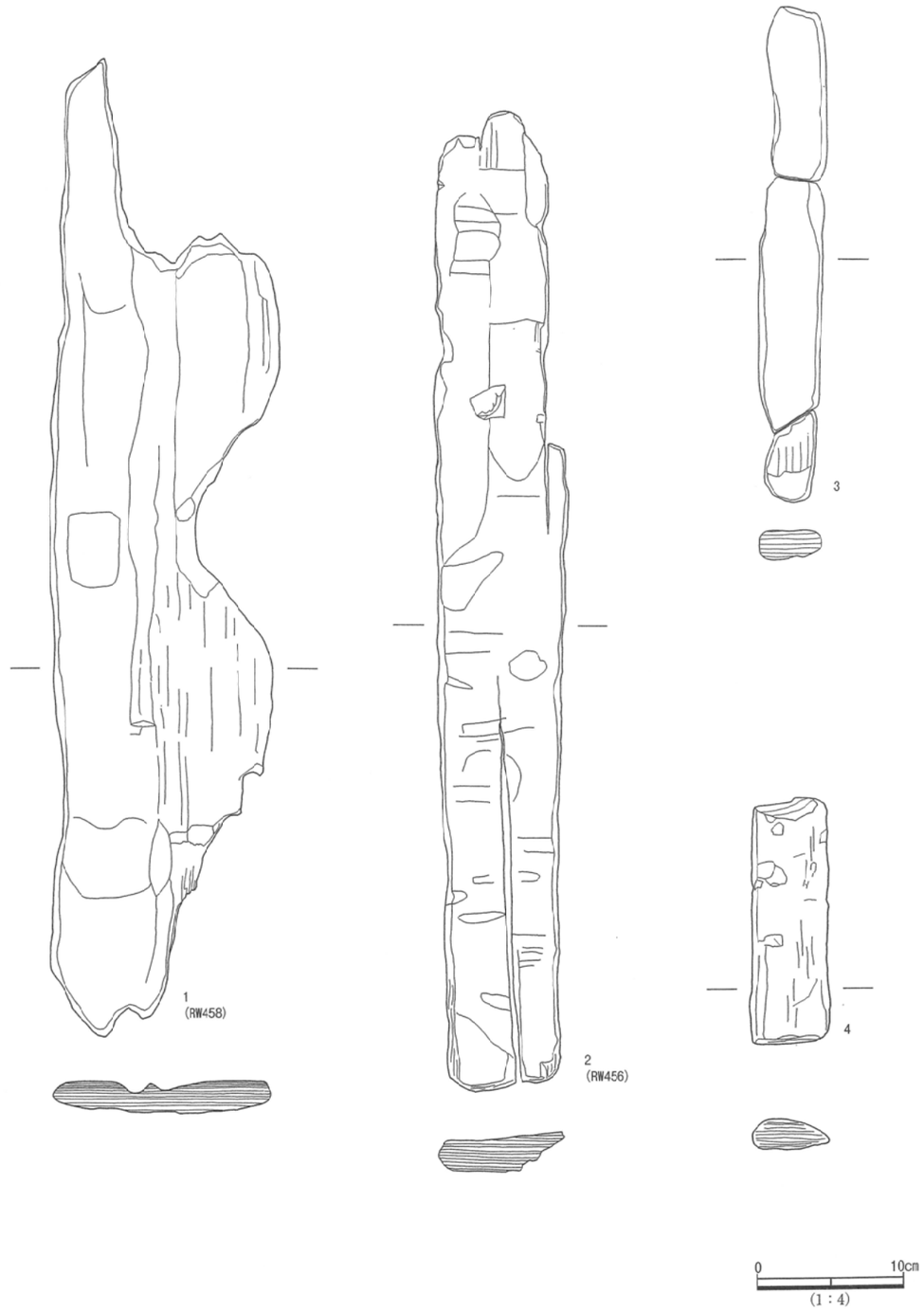

第105図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(34)



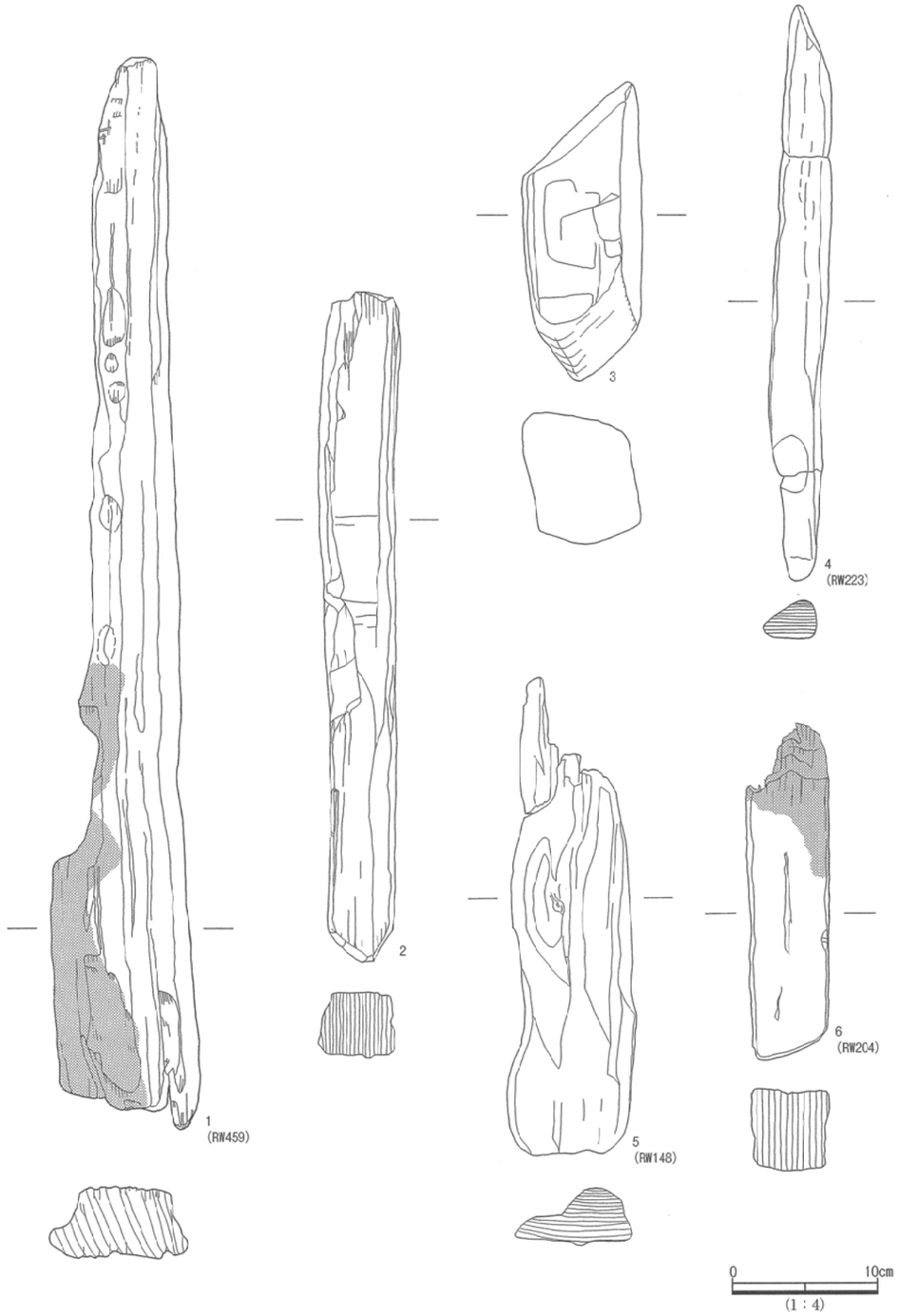

第106図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(35)







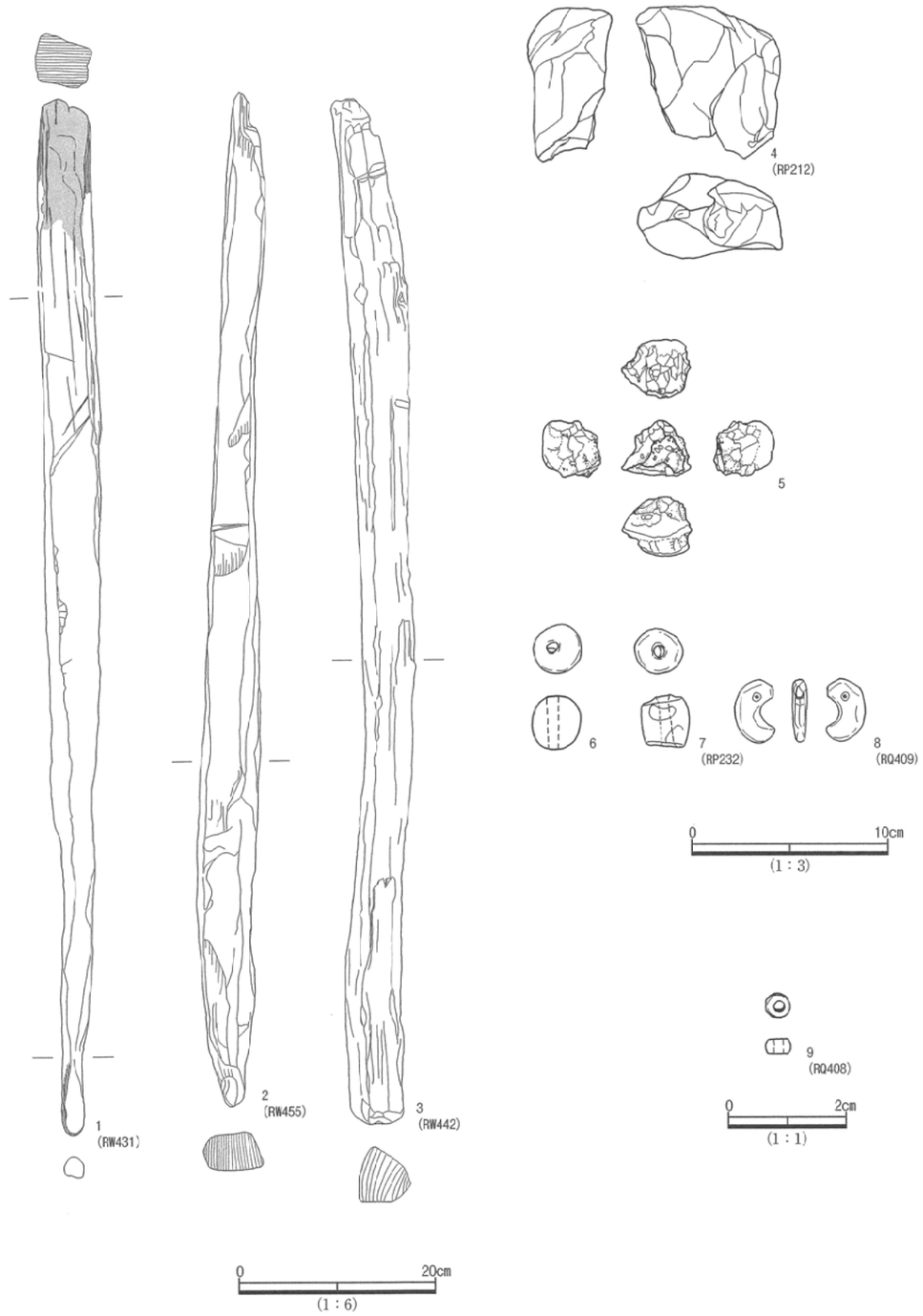

第107図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(36)



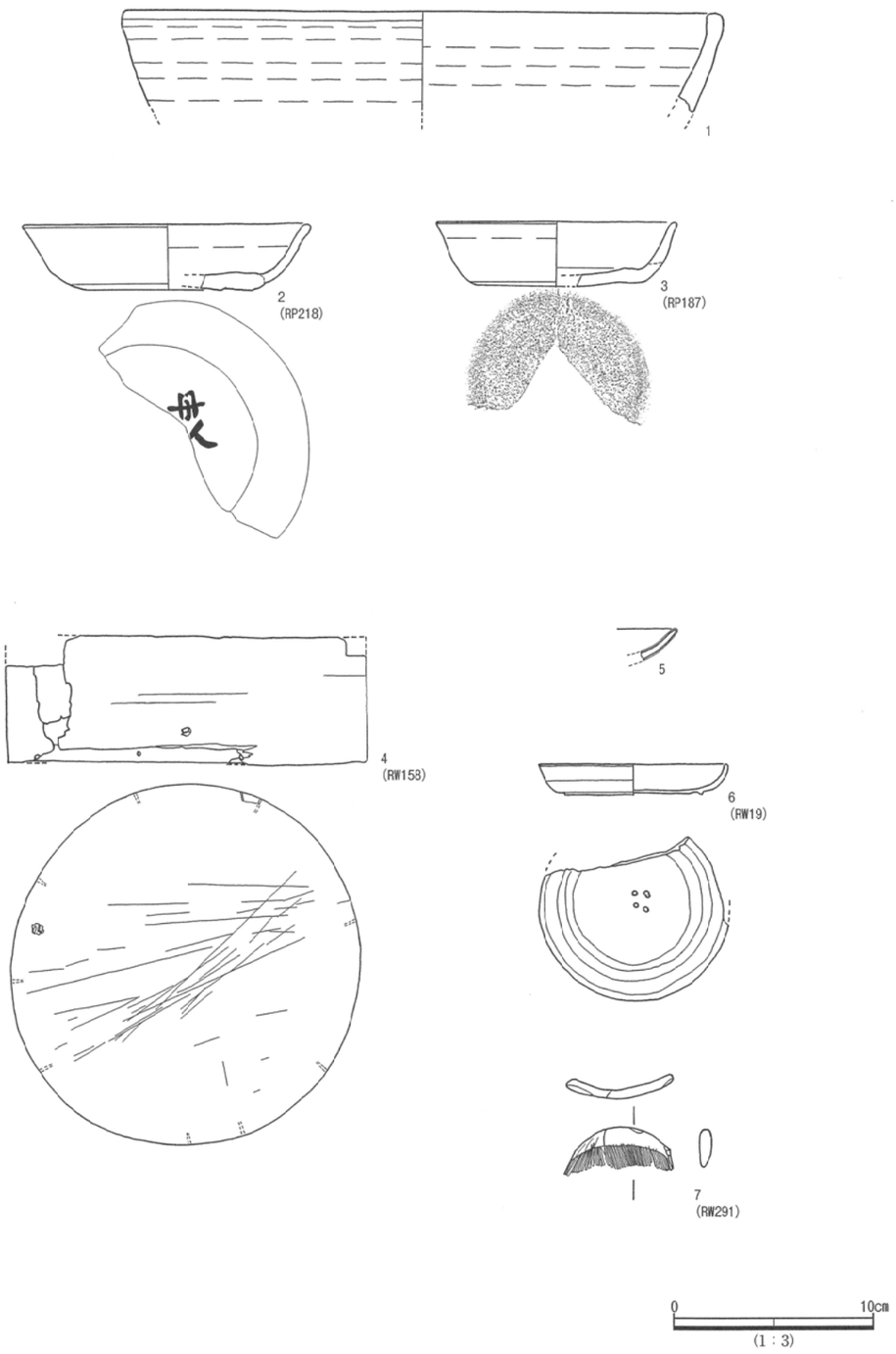

第108図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(37)








第109図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(38)




第110図　遺物実測図　ＳＧ325　河川跡(39)





**柄**

第105図１～８で棒状に加工され、柄のような形のものを一括して柄として分類した。第105図１の断面はやや扁平で片側には切れ込みが観察できる。第105図２は先端が尖らせてあり、杭と思われる。第105図10は樹皮がついた木材だが、半分ほど炭化している。

**土木材建築材**

第106図１～５、第107図２～４、第108図１～６、第109図１～３で建築材や土木材などの一部と思われる。破損や磨耗が激しいものが多く、一部炭化したものも見受けられる。

**土製品**

第109図４～７の４点出土した。４は炉の支脚である。５はふいごの羽口片と思われ、激しく被熱し、一部ガラス化している。６、７は土錘である。　支　脚

**石製品**

第109図８、９はどちらも滑石製である。８は勾玉、９は臼玉である。８が１個と９が24個が第95図14の手づくね土器に入った状態で出土した。　勾玉と臼玉

**平安時代の遺物（第110図１～４）**

須恵器３点と曲げ物１点が出土した。１は鉢である。破片であるが、口径は30cm近くあったと思われる。２、３は底部篦切りの須恵器坏で、２の底部には「舟人」と墨書されている。４は曲げ物である。底板は側板に木釘を９箇所打ち込み、固定してある。底板には金属の刃物がつけた傷が観察できた。　墨書土器

**中世の遺物（第110図５～７）**

平安時代以降の遺物は３点である。５は瀬戸の平碗である。６は漆器の皿で、底部に轆轤の爪痕が４箇所確認できる。７は櫛である。

## ７　その他の遺構、グリッドからの出土遺物

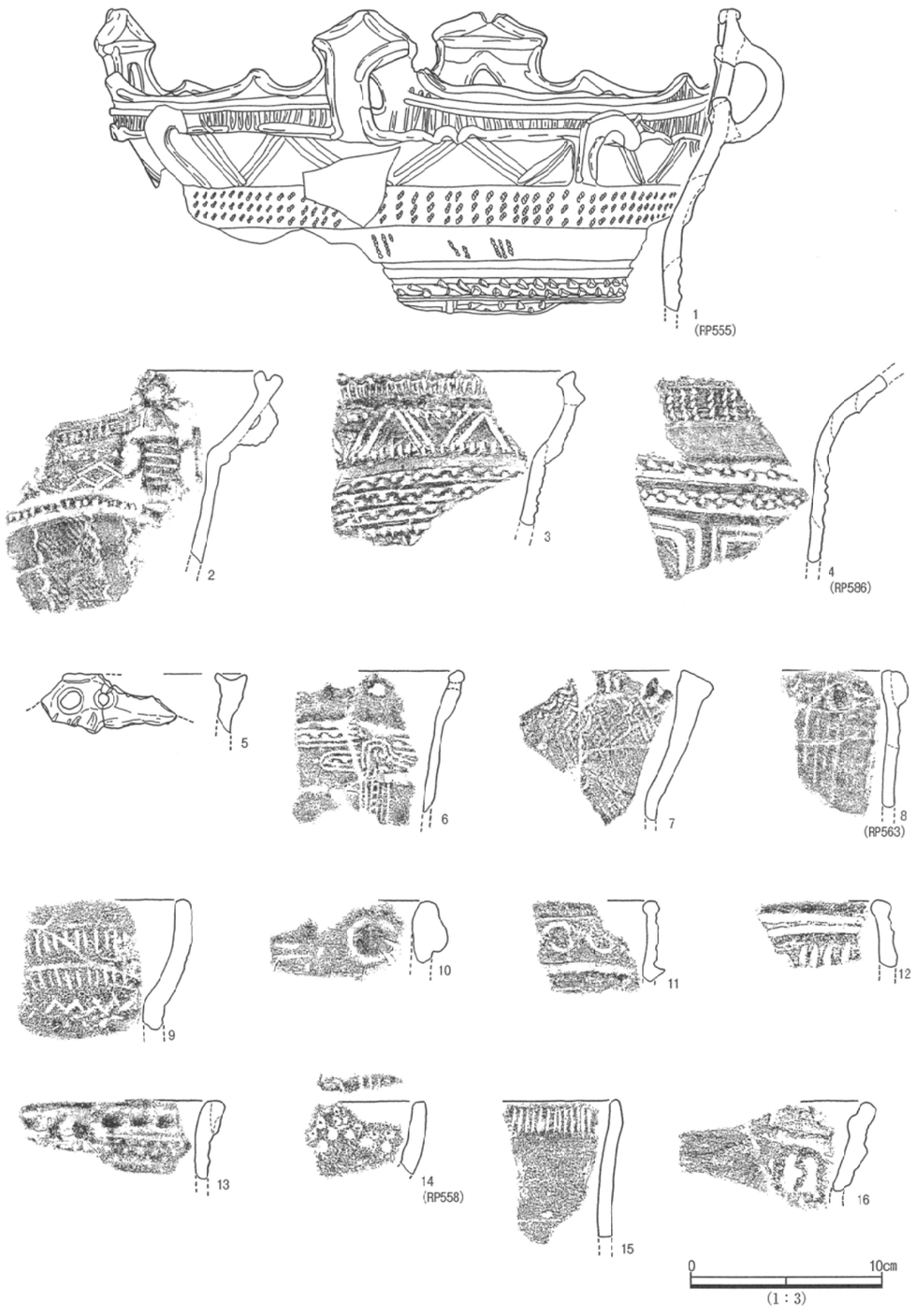
その他の遺構や遺構外のグリッドからも多数の遺物が出土した。今回はできるだけ、依存度の高い遺物や特徴のある遺物は図化して掲載した。

**縄文時代の遺物（第111～118図）**

古墳時代の遺構面より下の層に縄文時代の遺物包含層を確認することができた。しかし、土層は激しくグライ化し、遺構を検出することはできなかった。遺物の出土状況や遺存状況から外部からの流れ込みとは考えにくい。第111～113図は中期の遺物である。第114、115図は後期と晩期の遺物である。第116、117図は石器である。第118図は石製品である。第118図５は磨製石斧である。穿孔があり、形もやや歪になっていることから、後世に砥石として転用した可能性が非常に高い。

**古墳時代の遺物（第119～122図）**

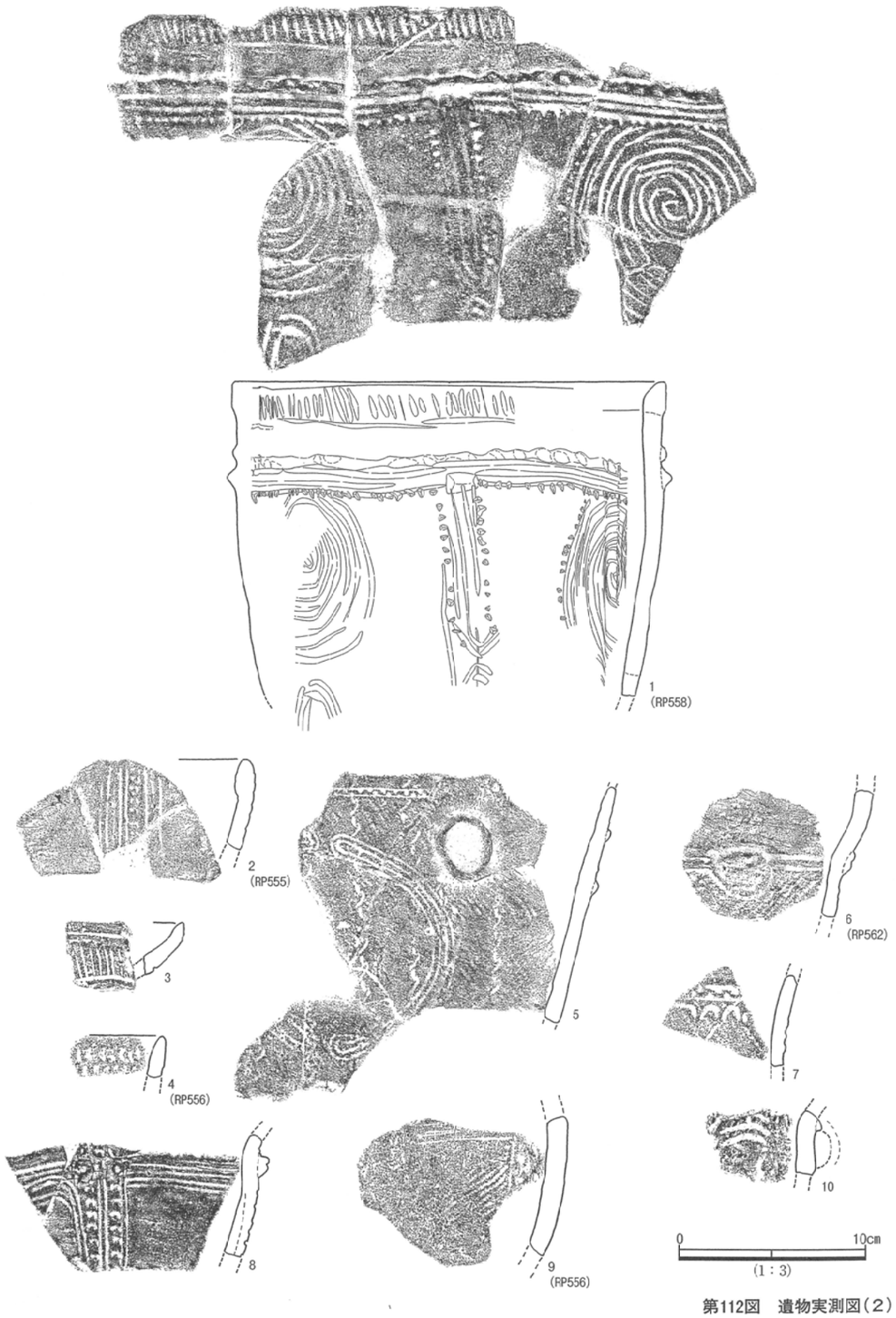
第119図１～15は高杯である。第119図16は坏である。第119図17は器台で、18は蓋である。第120図は甕である。第121図、第122図１～６は壺である。第122図７～10は鉢である。第122図11～14は小型土器である。



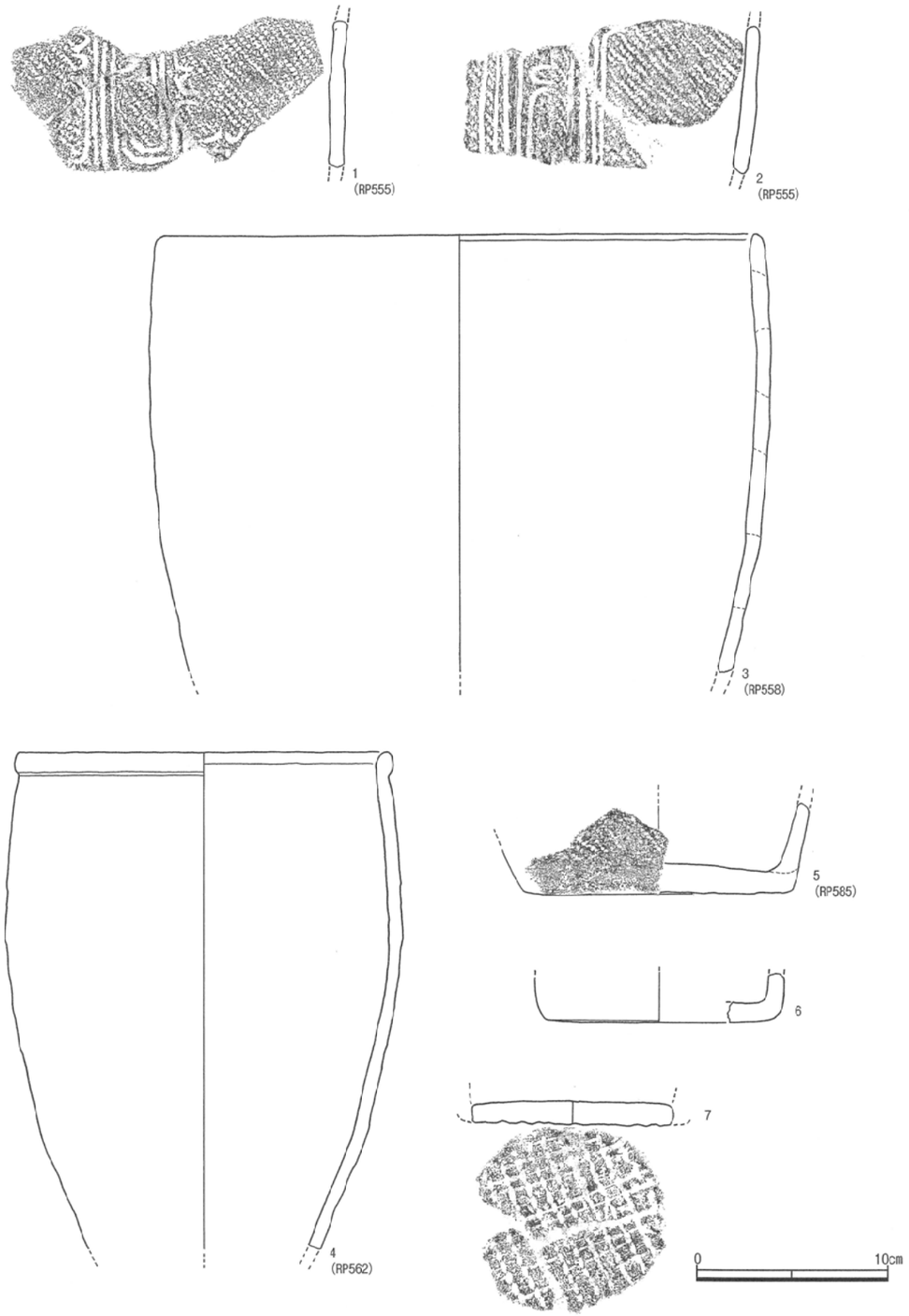

第111図　遺物実測図（１）







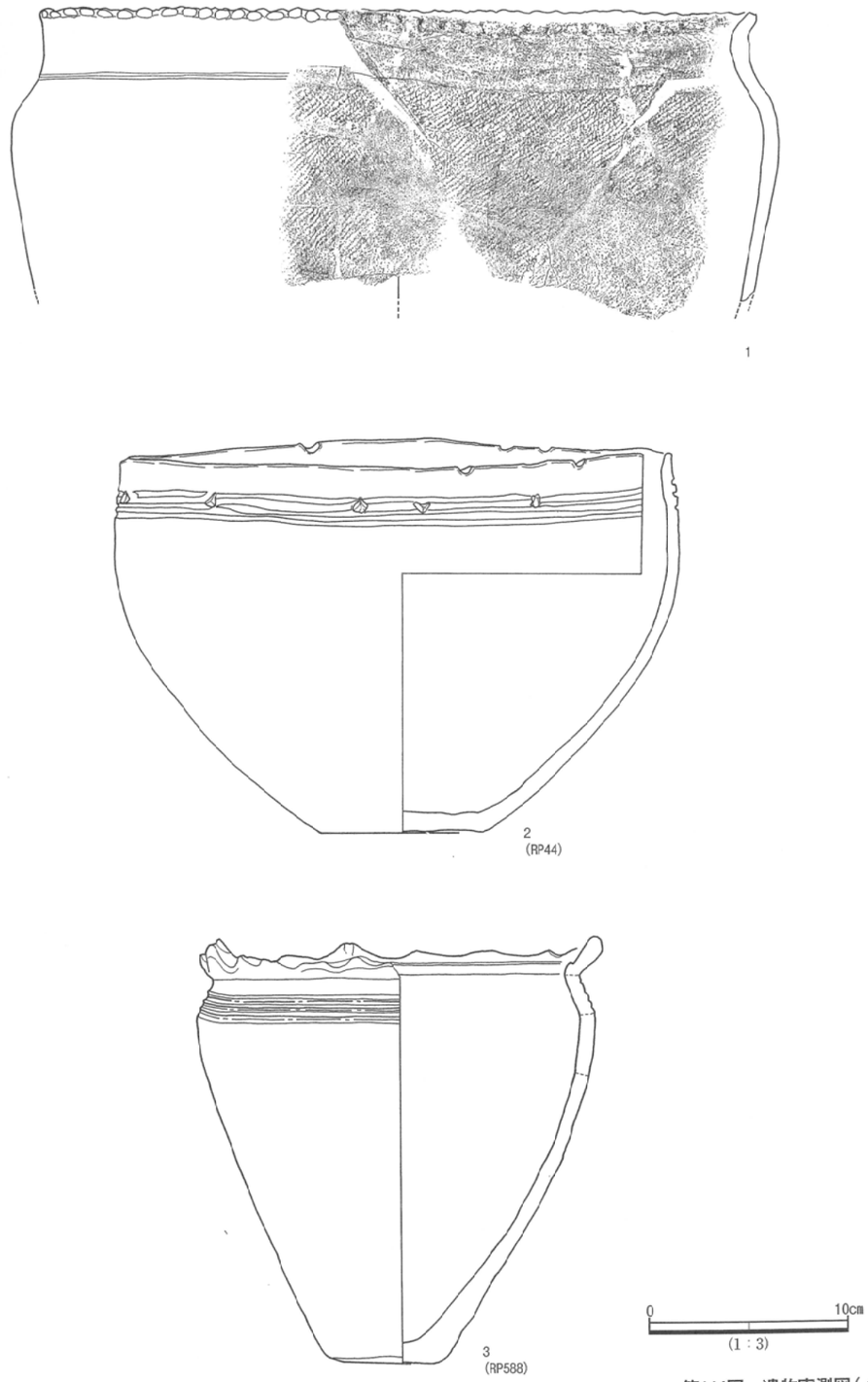

第112図　遺物実測図（２）



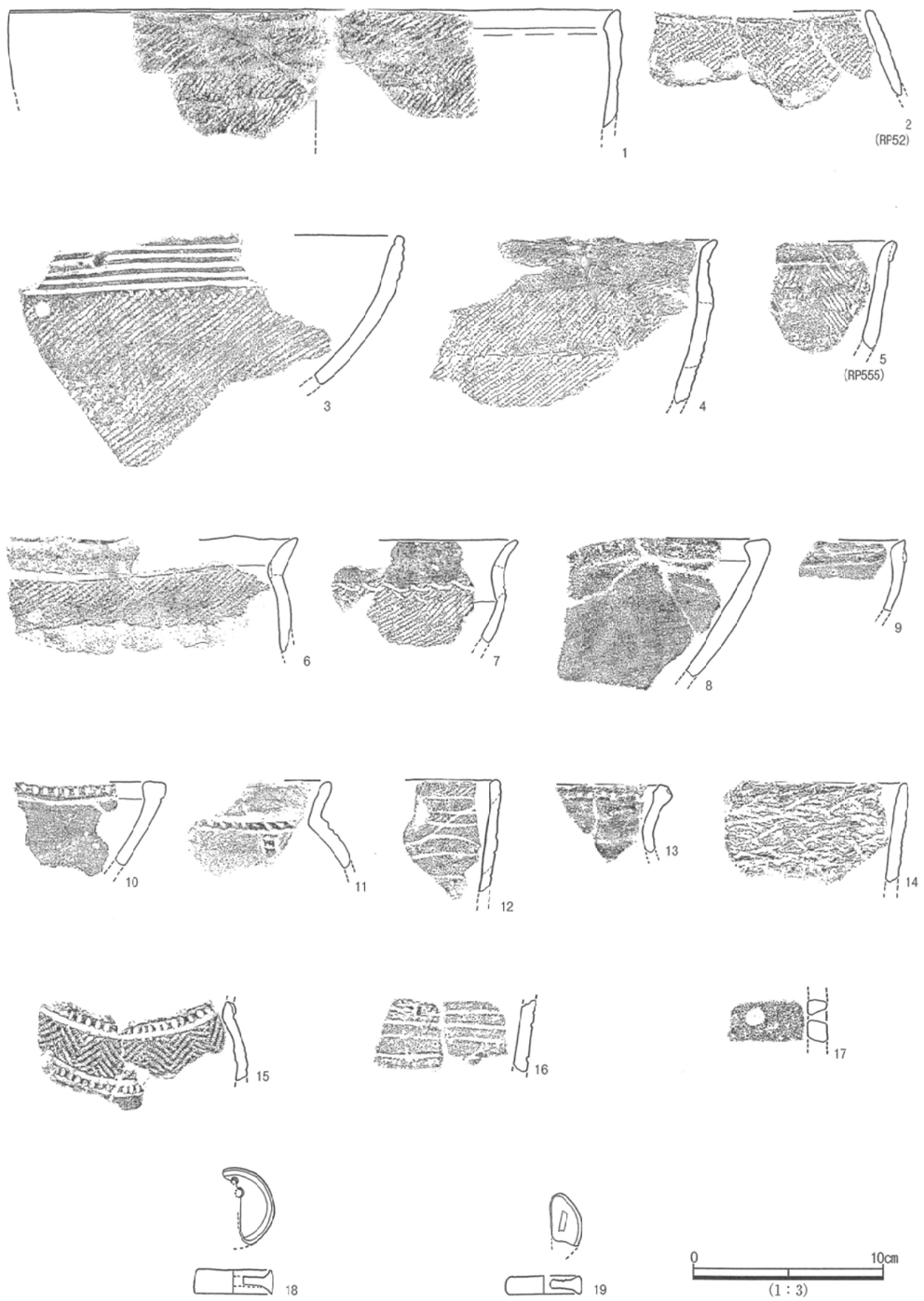

第113図　遺物実測図（３）







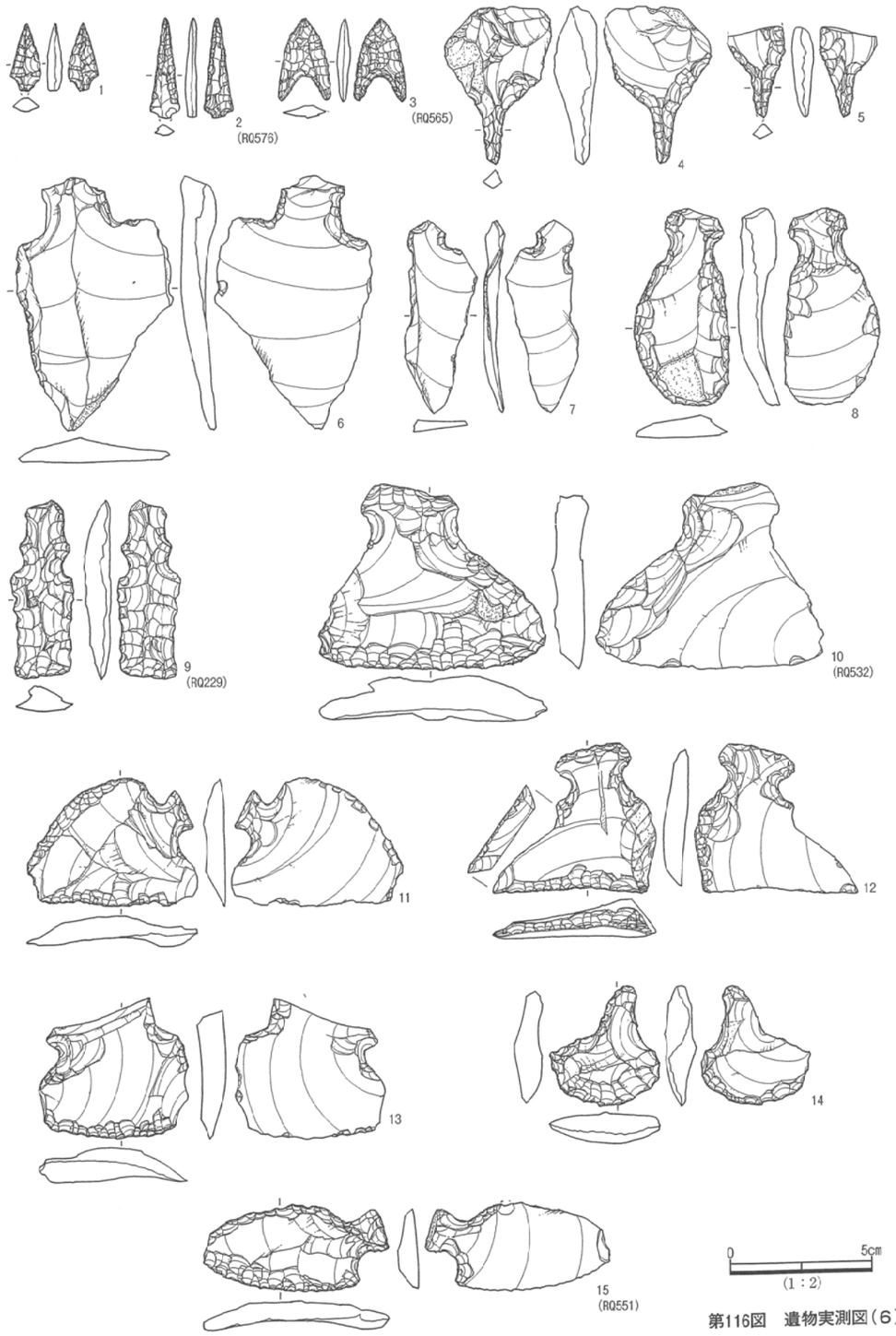

第114図　遺物実測図（４）



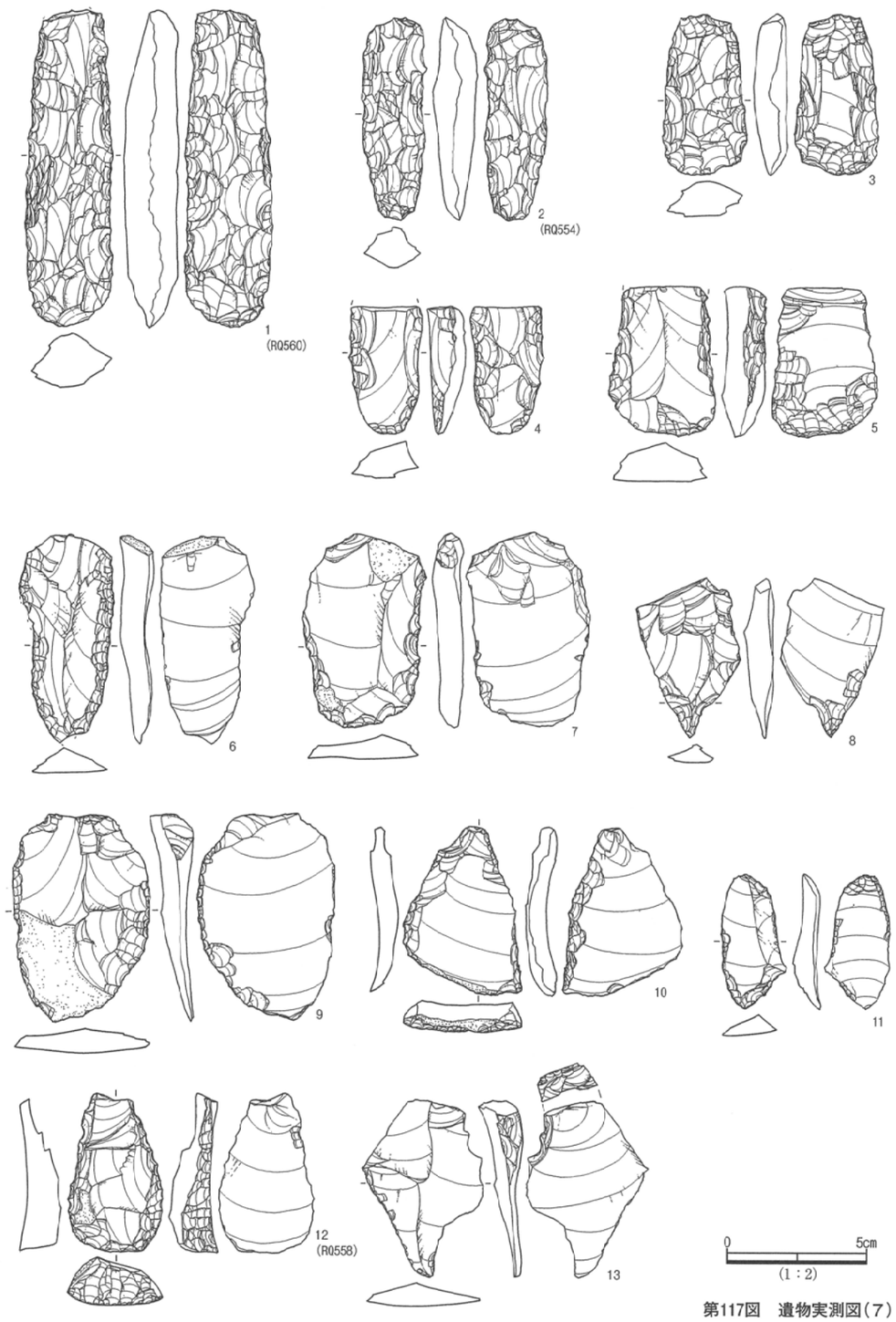

第115図　遺物実測図（５）







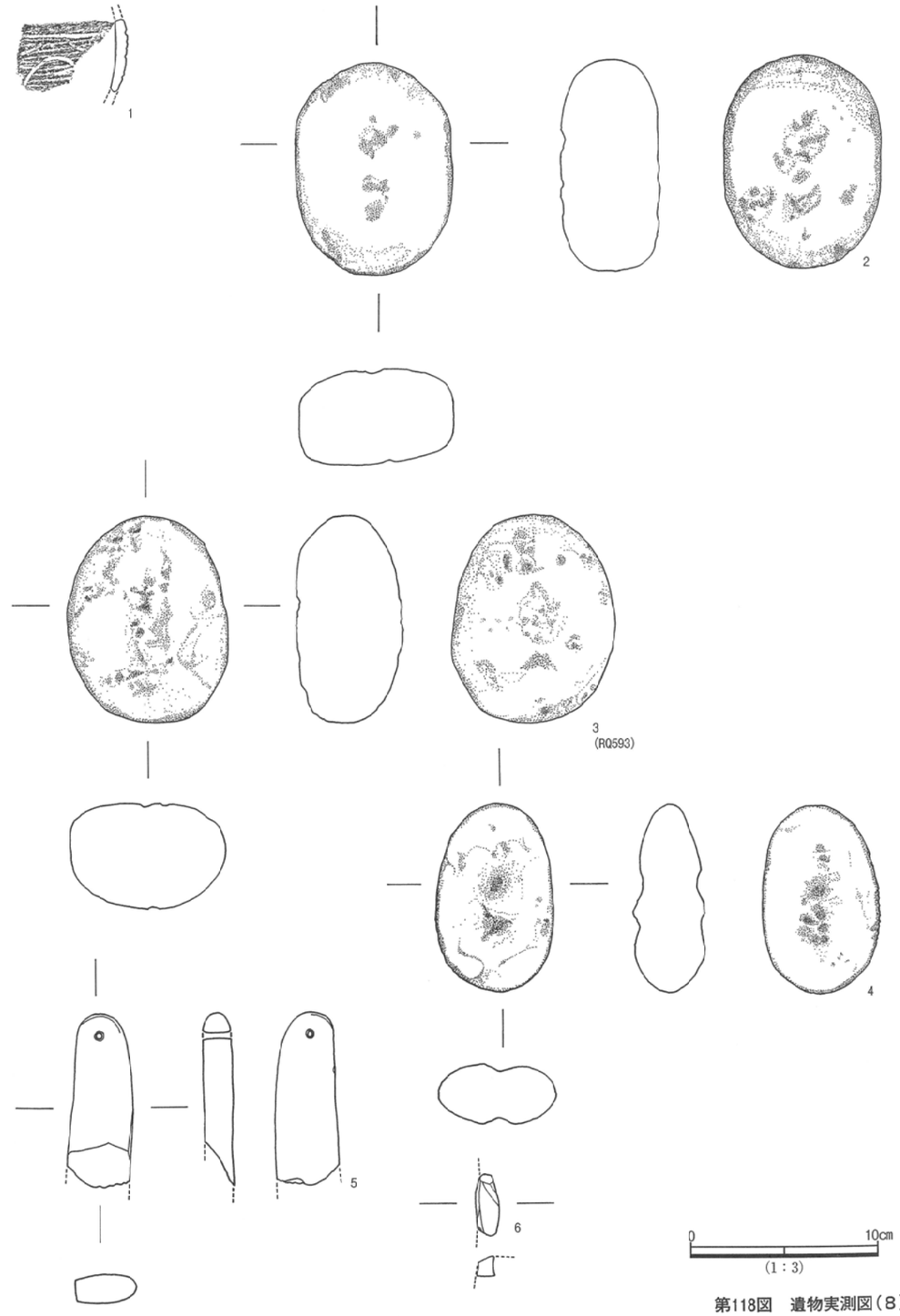

第116図　遺物実測図（６）



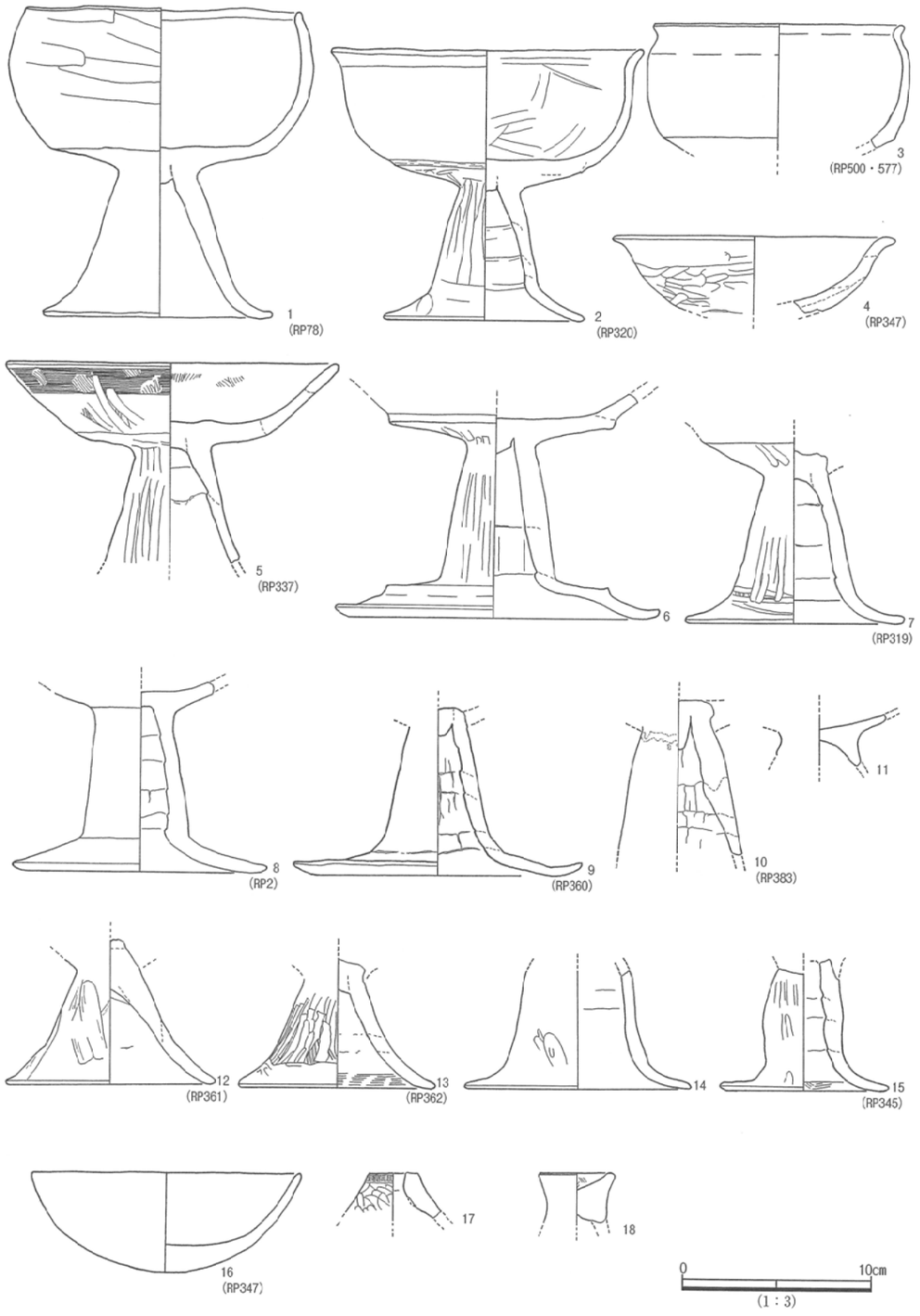

第117図　遺物実測図（７）







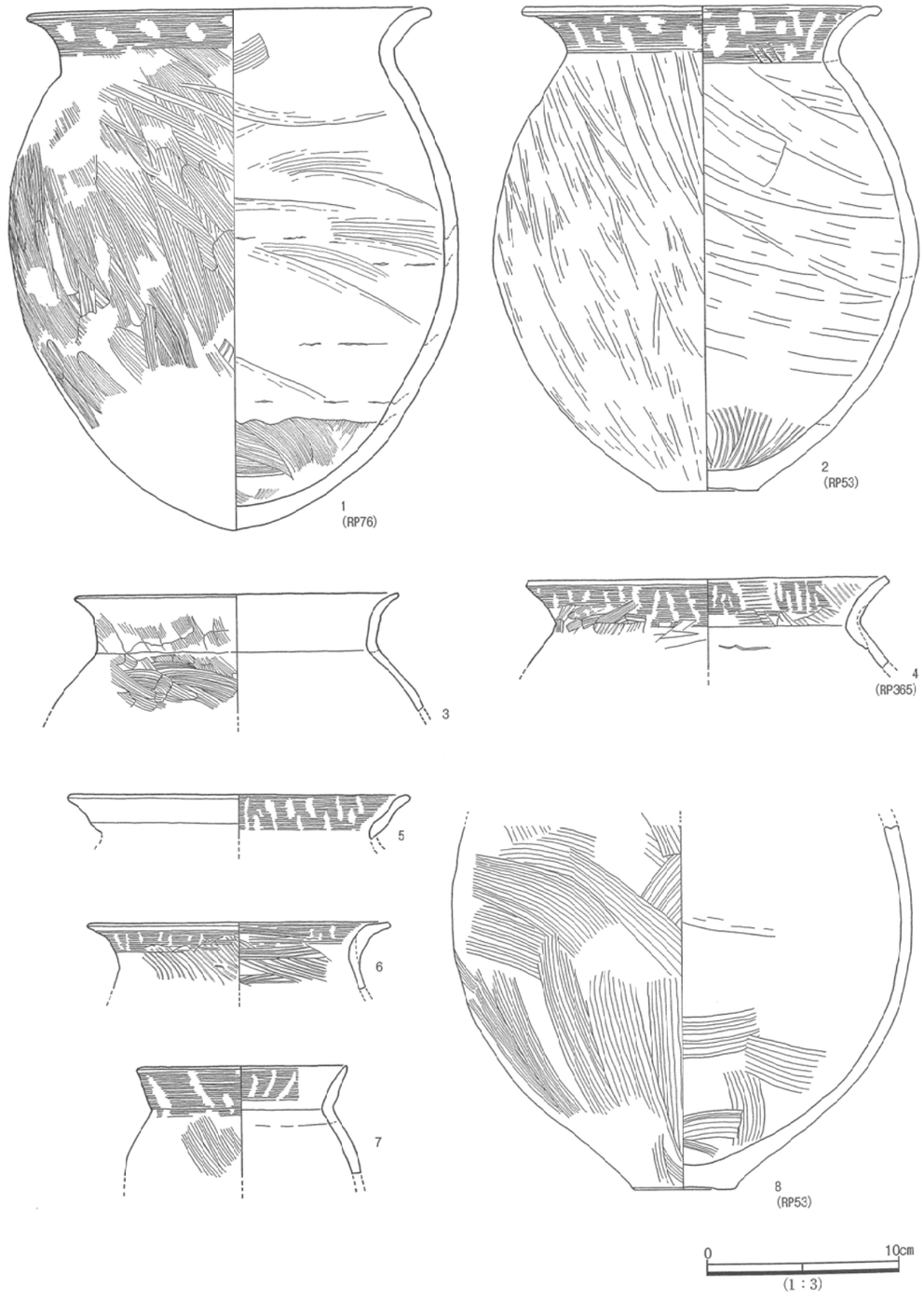

第118図　遺物実測図（８）



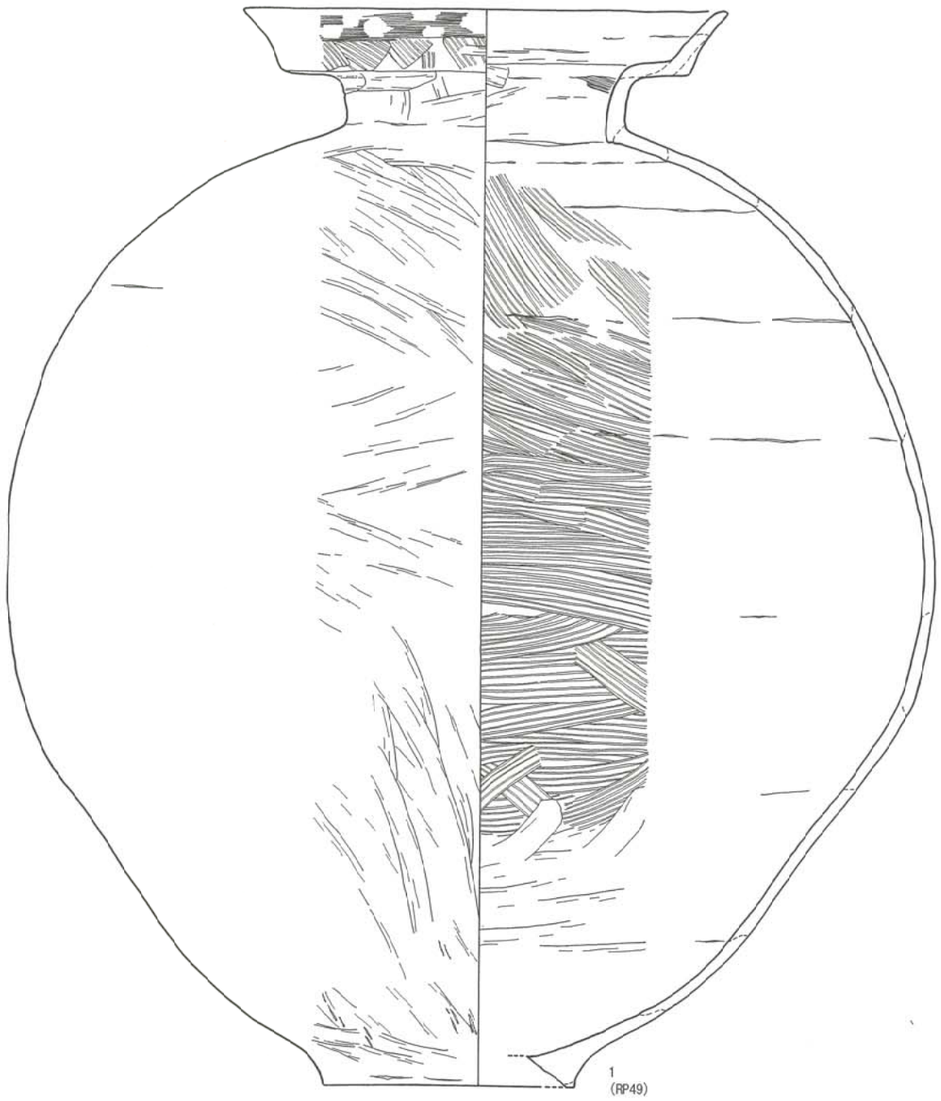

第119図　遺物実測図（９）

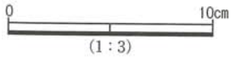







第120図　遺物実測図（10）

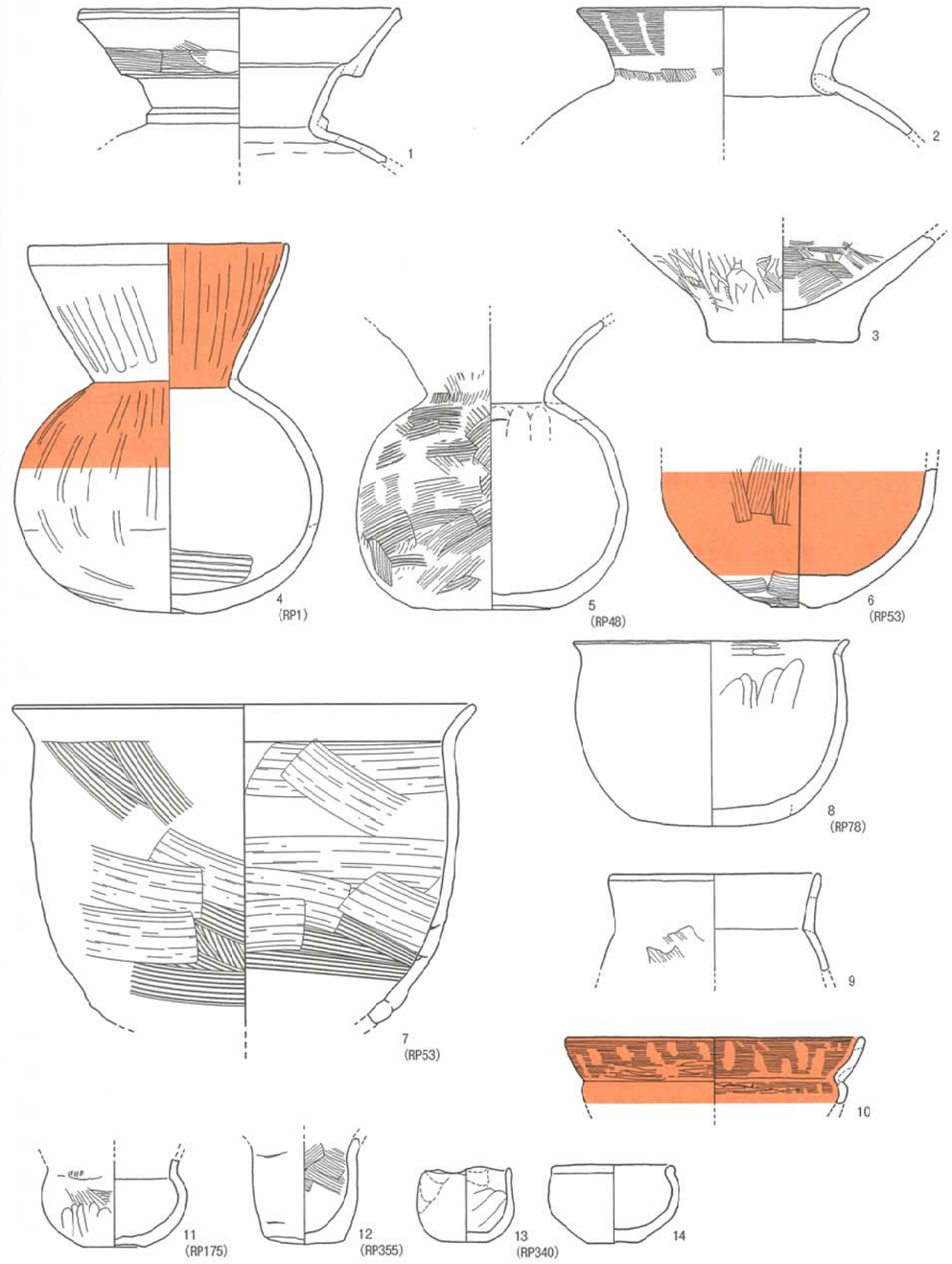


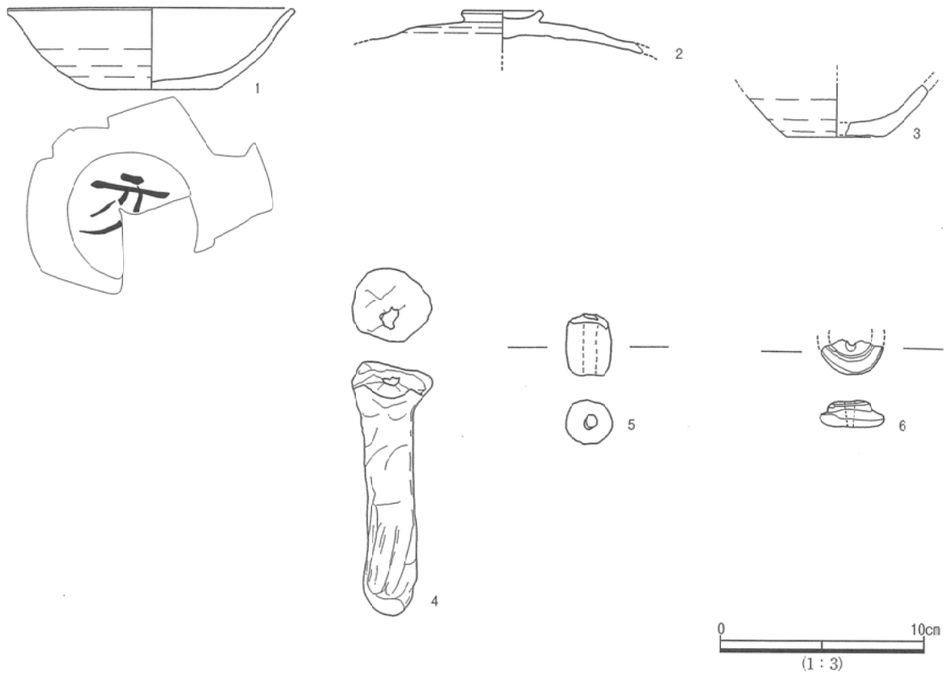

第121図　遺物実測図(11)








第122図　遺物実測図(12)




第123図　遺物実測図(13)

**平安時代の遺物（第123図）**

墨書土器　平安時代の遺物は４点出土した。１は須恵器坏で底部に「方」の墨書がある。４は三足鉢の脚部の一本である。時代不詳が、124図５は土錘で、第124図６は紡錘車である。

## 8　まとめ

今回の調査では主に縄文時代、弥生時代、古墳時代、平安時代の遺物や遺構が出土、検出された。紙幅と時間的余裕が無いため、編年的位置付けなどは敢えて除外し、以下のように時代ごとに特徴を簡潔にまとめる。

**縄文時代**

中期　縄文時代の遺物は中期、後期、晩期が出土している。中期は古墳時代の遺構検出面から数十cm下から遺物が出土している。土層は激しくグライ化し、遺構は確認できなかった。板橋１遺跡でも遺構は検出されなかったが、中期の生活面があったと考えられる。この時期から冲積地に集落が営存在していたことになる。後期は遺物の出土点数も少なく、近隣からの流れ込みと思われる。晩期は、竪穴住居跡が１棟検出された。また、ＳＧ325河川跡の北岸に古墳時代の遺構検出面とほぼ同レベルから比較的まとまって土器が出土しており、縄文晩期の生活面は古墳時代とほぼ同じ標高であったと推測できる。

後期

晩期

**弥生時代**

後期　弥生時代の遺物は後期の物で、ほぼ全部がＳＧ325河川跡から出土し、遺構は確認できなかった。また、遺物の磨耗なども見られず、周囲には地蔵池遺跡や塚野目Ａ遺跡などの弥生時代の遺跡も散見できることから調査区から極めて近い位置に集落跡などがあると見られる。





**古墳時代**

古墳時代の遺構は竪穴住居跡が32棟、掘立柱建物跡が３棟、河川跡が１本、その他土坑、溝跡が多数検出された。それらから出土した遺物の量も極めて多数となった。遺跡の景観は河川跡が調査区の南端を西流し、その北岸に集落が広がっていた。河川跡からは土師器や木製品が多数出土している。

遺物と遺構は、概ね前期後半と中期前半の２群に大きく分けられると思われる。前期後半の竪穴住居跡はＳＴ５、７、20、21、51、226、339、666、755などで、土坑はＳＫ660、872がみられる。中期前半の竪穴住居跡はＳＴ11、220、750で、土坑はＳＫ84、96、764、737で、溝跡ＳＤ40、106、765、888がみられる。また、河川跡ＳＧ325については、前期の遺物が少なく、中期の遺物が多い。これは前期に投棄または廃棄された遺物は流されたとも解釈可能だ。しかし、河川跡に削平されたり、岸際に建てられたりしている前期の竪穴住居跡が存在することや、中期の遺構が河川跡からある程度距離を保っている点からも、前期には河川跡は存在しなかったか極めて小規模であったと考えるほうが妥当と思われる。河川跡はその後の中期になって出現したか川巾が太くなったと考えられる。

また、前期には竪穴住居跡の棟数が比較的多いことから集落が広がる生活空間であったと思われる。中期になると竪穴住居跡の数が激減するが、区画溝のようなものや土坑が増える。ＳＧ325河川跡やＳＴ750竪穴住居跡からは石製模造品や祭祀用と思われる木製品が出土しており、祭祀がおこなわれていたことが伺われる。さらに北隣の的場遺跡とは一部遺構遺物の時期が重複するものと見られ、密接な関係にあったことは想像に難くない。

祭祀

竪穴住居跡は概ね、地焼炉を持っているが、ＳＴ751は壁面に焦土が広がり、カマドが存在した可能性もある。

また特筆されるのは、破片ながら、ＳＫ872から出土した石釧である。この種の腕輪形石製品は東北地方では福島県郡山市の大安場古墳出土の車輪石、宮城県名取市十三塚遺跡出土の石釧についで３点目の出土である。

石釧

ＳＴ339、446竪穴住居跡からは砥石が出土し、ＳＧ325河川跡からは鉄刃が装着されたと思われる鎌柄が出土している。ＳＴ339、446竪穴住居跡の年代は共に古墳時代前期と見られる。平成５年に当センターが調査した山形市今塚遺跡では、板橋２遺跡より少し古い時期の古墳時代前期の竪穴住居跡からも砥石が出土しており、すでに古墳時代前期には山形盆地でも鉄器が使用されていたことがわかる。

また、坏や鉢、壺、甕類の中には底部の輪台を削り、小型化あるいは丸底化を指向したと判断できる調整技法を観察できたものもあった。

**平安時代以降**

平安時代の遺物は主にＳＧ325河川跡の堆積土の上部から出土している。平安時代にはＳＧ325河川跡はほぼ湿地状の泥炭地となっていた可能性が非常に高い。また、古墳時代の遺構を切って水田跡と見られる小区画も検出され、時代は不明ながら、少なくとも古墳時代以降、当地は水田として利用されたものと見られる。

## 表５　板橋２遺跡出土土器観察表（１）

※遺物観察表中の実測値の単位は全てmmであり、括弧内の数値は図上復元による推定値及び欠損による残存値を示す。

| 挿図 | 図版 | グリッド | 遺構番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 胴径 | 底径 | 器高 | 調整特徴 | 底部技法 | 備考 | 遺物番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 15 1 | 27 2 | | ST 5 | 土師器 | 甕 | 218 | 273 | 64 | 274 | 内外ハケメ | | 海綿骨針　外面煤内面付着物 | RP 38 |
| 15 2 | | | ST 216 | 土師器 | 甕 | (162) | (207) | | (139) | 内指圧痕ナデ外ハケメナデ | | 外焼斑　内面摩耗 | RP 192 |
| 15 3 | 27 1 | | ST 5 | 土師器 | 甕 | (160) | (162) | | (117) | 内外ハケメ | | 海綿骨針　体部下欠損後、被熱外煤付着 | |
| 16 1 | 27 3 | | ST 7 | 土師器 | 高坏 | | | (106) | (81) | 脚部に穿孔4ヶ所 | | 外焼斑　外面摩耗激しい | RP 51 |
| 18 1 | 27 5 | | ST 11 | 土師器 | 高坏 | 135 | | 138 | 147 | 内ナデ外ハケメ | | 外焼斑　外面摩耗激しい | RP 68 |
| 18 2 | | | ST 11 | 土師器 | 高坏 | (168) | | | (97) | | | 内外摩耗激しい | RP 66 |
| 18 3 | 27 7 | | ST 11 | 土師器 | 高坏 | (159) | | | | 内ミガキ外ハケメナデミガキ | | 外面煤。摩耗激しい | RP 72 |
| 18 4 | 27 8 | | ST 11 | 土師器 | 坏 | 136 | | | 57 | | ケズリ丸底 | 赤色粒含　内外摩擦激しい | RP 64 |
| 18 5 | | | ST 11 | 土師器 | 甕 | | (170) | | | 内外ハケメナデ | ケズリ丸底 | 雲母　内外面付着物 | RP 71 |
| 18 6 | 27 4 | | ST 11 | 土師器 | 壷 | 103 | | | (69) | 内外ヘラナデ | | | RP 69 |
| 18 7 | | | ST 11 | 土師器 | 壷 | | (235) | (65) | | 内外ハケメナデ | 輪台ケズリ平底 | 雲母　内外面焼斑　外面被熱 | RP 65 |
| 18 8 | 27 6 | | ST 11 | 土師器 | 壷 | | (148) | | (103) | 内外ヘラナデ | ケズリ丸底 | | RP 70 |
| 21 1 | 29 3 | | ST 20 | 土師器 | 器台 | 87 | | 104 | 74 | 内外ヘラナデナデ | | 内焼斑　穿孔4ヶ所 | RP 24 |
| 21 2 | 29 4 | | ST 20 | 土師器 | 器台 | 101 | 49 | 104 | 89 | 内外面ハケメナデ | | | RP 22 |
| 21 3 | 29 2 | | ST 20 | 土師器 | 高坏 | | | 114 | (115) | 内外ハケメヘラナデ | | 外面被熱摩耗　穿孔4カ所 | |
| 21 4 | | | ST 20 | 土師器 | 高坏 | | | | (87) | 外ミガキ | | | |
| 21 5 | 29 1 | | ST 20 | 土師器 | 小型壷 | (135) | (88) | 36 | 78 | 内ハケメナデミガキ外ハケメナデケズリ | | 内外焼斑　内面付着物 | RP 26 |
| 21 6 | | | ST 20 | 土師器 | 小型壷 | (100) | | | | 内外ナデ | | 外面摩耗 | RP 34 |
| 21 7 | | | ST 20 | 土師器 | 壷 | | (67) | 10 | | 内外ヘラナデ | 輪台ケズリ窪み底 | 外焼斑 | RP 33 |
| 21 8 | 28 3 | | ST 20 | 土師器 | 壷 | (200) | | | | 内ナデ外ハケ目ナデ | | 雲母　赤彩 | RP 32 |
| 21 9 | | | ST 20 | 土師器 | 壷 | 172 | | | (12) | 内ナデミガキ外ハケメナデミガキ | | 外面被熱 | RP 20 |
| 21 10 | | | ST 20 | 土師器 | 鉢 | (160) | (156) | | (72) | 内ナデ外ハケメ | | | |
| 21 11 | 28 4 | | ST 20 | 土師器 | 甕 | (130) | | | (97) | 内ナデハケメ外ハケメナデ | | 内外摩耗　外面煤 | |
| 21 12 | | | ST 20 | 土師器 | 壷 | (131) | (133) | | (114) | 内ナデ外ハケメナデ | | | RP 23 |
| 22 1 | 28 2 | | ST 20 | 土師器 | 甕 | 197 | 228 | 52 | 198 | 内外ハケメナデ | 輪台ケズリ小平底 | 外焼斑　外面煤内面付着物 | RP 25 |
| 22 2 | 28 1 | | ST 20 | 土師器 | 甕 | 156 | | 73 | 202 | 内ナデ外ヘラナデナデハケメ | 輪台ケズリ平底 | 内外焼斑`内外摩耗　外面被熱煤 | RP 34 |
| 22 3 | | | ST 20 | 土師器 | 甕 | (202) | | | | 内外ハケメナデ | | | |
| 22 4 | 29 5 | | ST 20 | 土師器 | 支脚 | | | 78 | 105 | | | | RP 32 |
| 22 5 | | | ST 20 | 土師器 | 甕 | (171) | (227) | | (191) | 内ハケメナデ外ハケメナデケズリ | | 外面被熱 | RP 595 |
| 22 6 | | | ST 20 | 土師器 | 甕 | | | (62) | | 内外ハケメナデ | 輪台ケズリ平底 | 外焼斑 | |
| 24 1 | | | ST 21 | 土師器 | 器台 | (100) | | | (35) | | | | RP 15 |
| 24 2 | 30 3 | | ST 21 | 土師器 | 小型壷 | (74) | | | | 内外ナデ　装飾部に隆線 | | 内外焼斑　内外赤彩 | RP 43 |
| 24 3 | 30 1 | | ST 21 | 土師器 | 手づくね | 65 | 74 | 32 | 71 | 内外ハケメナデ | 平底ケズリ丸底 | 外焼斑 | RP 13 |
| 24 4 | | | ST 21 | 土師器 | 手づくね | | | 26 | | | | 外焼斑 | RP |
| 24 5 | 29 6 | | ST 21 | 土師器 | 鉢 | 104 | 75 | 20 | 59 | | 輪台ケズリ窪み底 | 外焼斑 | RP 12 |
| 24 6 | 30 4 | | ST 21 | 土師器 | 鉢 | (149) | | | (36) | 内ミガキ外ミガキナデ | | 内外赤彩 | RP 36 |
| 24 7 | 30 2 | 24 28<br>25 29 | ST 21 | 土師器 | 甕 | 117 | 120 | 44 | 100 | 内ハケメ外ハケメナデ | 輪台ケズリ小平底 | 外面煤 | RP 16 |
| 24 8 | | | ST 21 | 土師器 | 甕 | | | (52) | (43) | | | 外焼斑　内面酸化物 | RP 37 |
| 24 9 | | | ST 21 | 土師器 | 甕 | | | (62) | (27) | 外ハケメ | 輪台ケズリ平底 | 内焼斑 | |
| 24 10 | 29 7 | | ST 21 | 土師器 | 鉢 | (206) | | (61) | 121 | 内ミガキ外ハケメナデミガキ | ケズリ平底 | 外焼斑　外面煤内面付着物 | RP 16 |
| 24 11 | | | ST 21 | 土師器 | 甕 | | (269) | | | 内ヘラナデ外ハケメ | | 外面煤 | RP 35 |
| 24 12 | | 24 22 | | 土師器 | 甕 | | (225) | (53) | (204) | 内ハケメナデ外ハケメ | ケズリ丸底 | 雲母　外面付着物内面煤 | RP 67 |





## 表６　板橋２遺跡出土土器観察表（２）

| 挿図 | 図版 | グリッド | 遺構番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 胴径 | 底径 | 器高 | 調整特徴 | 底部技法 | 備考 | 遺物番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 24 13 | 29 8 | | ST 21 | 土師器 | 甕 | | (206) | 40 | (107) | ヘラナデ輪積痕 | 輪台ケズリ平底 | 外面煤 | RP 14 |
| 25 1 | 33 3 | 16 23 | ST 51 | 土師器 | 壷 | | (157) | | | 外ヘラミガキ | | 外面煤 | |
| 25 2 | | | ST 51 | 土師器 | 甕 | | | | | 内ハケメ | | 外面煤 | |
| 25 3 | | 15 23 | ST 51 | 土師器 | 甕 | | | (42) | | 内ハケメ外ナデハケメ | 輪台 | 内焼斑　外面被熱 | |
| 25 4 | | 14 18 | ST 51 | 土師器 | 有孔鉢 | | | | | | | 内外煤 | |
| 25 5 | | 16 23 | ST 51 | 土師器 | 壷 | | (206) | | (142) | ハケメヘラナヘラケズリ | | 外面煤付着物 | RP 584 |
| 25 6 | 33 4 | 16 23<br>24 | ST 51 | 土師器 | 高坏 | (182) | | (11) | 125 | 外ナデ装飾部穿孔 | | 内外赤彩 | RP 579 |
| 25 7 | 33 5 | 16 23 | ST 51 | 土師器 | 高坏 | 130 | | | (54) | 内ナデ外ハケメカキメ | | 内面付着物 | RP 583 |
| 25 8 | | | ST 51 | 土師器 | 坏 | | | 56 | (16) | | 回転糸切 | 平安 | |
| 26 1 | 33 1 | | ST 52 | 土師器 | 甕 | (190) | | 53 | | 内ハケメナデ外ハケメ | 輪台ケズリ平底 | 内面付着物　外面被熱煤 | RP 17 |
| 26 2 | 33 2 | | ST 52 | 土師器 | 壷 | | 133 | 40 | (108) | 外ナデ | 平底ケズリ押圧窪み底 | 雲母　内外焼斑外面赤彩 | RP 18 |
| 28 1 | 31 5 | 22 19<br>20 | ST 220 | 土師器 | 高坏 | 175 | | 138 | 156 | 内ナデ外ナデミガキ | | 赤色土塗布　外焼斑 | RP 447 |
| 28 2 | 31 4 | 23 19 | ST 220 | 土師器 | 高坏 | 191 | | 136 | 143 | 内ナデ外ミガキ | | 外面赤色土塗布　内焼斑 | RP 155 |
| 28 3 | 31 3 | | ST 220 | 土師器 | 高坏 | 185 | | 112 | 130 | 内外ナデ | | | RP 96 |
| 28 4 | 31 7 | 22 19<br>20 | ST 220 | 土師器 | 高坏 | 164 | | | (114) | 内外ミガキ | | 内焼斑　内外摩耗 | RP 445<br>448 |
| 28 5 | 32 6 | | ST 220 | 土師器 | 高坏 | | | 131 | (93) | 内ハケメナデ外ナデ | | 内外焼斑　内外被熱摩耗 | RP 93 |
| 28 6 | | | ST 220 | 土師器 | 高坏 | | | (132) | (93) | 内ハケメナデケズリ外ナデミガキ | | 内外赤色土塗布　脚部内丁寧にヘラケズリ | RP 120 |
| 28 7 | 32 5 | | ST 220 | 土師器 | 高坏 | | | (160) | (89) | 輪積痕　外ミガキ | 輪台ケズリ平底 | 内外赤色土塗布 | RP 98 |
| 28 8 | 32 4 | | ST 220 | 土師器 | 高坏 | | | (200) | (29) | 内ハケメナデ外ナデ | | 内外摩耗 | RP 92 |
| 29 1 | 32 1 | 21 19 | ST 220 | 土師器 | 高坏 | 221 | | | (74) | 内外ナデ | | 外焼斑 | RP 151 |
| 29 2 | | | ST 220 | 土師器 | 高坏 | (230) | | | (49) | 内外ナデ | | | |
| 29 3 | 32 2 | 22 19<br>20 | ST 220 | 土師器 | 高坏 | (188) | | | | | | 内外摩耗 | RP 447<br>449 |
| 29 4 | 32 3 | 22 19<br>20 | ST 220 | 土師器 | 高坏 | (208) | | | (45) | 内ミガキ外ハケメナデミガキ | | 外焼斑　内外赤彩摩耗 | RP 446 |
| 29 5 | | 22 19<br>20 | ST 220 | 土師器 | 高坏 | (166) | | | (44) | | | 内外摩耗 | RP 447 |
| 29 6 | | | ST 220 | 土師器 | 高坏 | (168) | | | (47) | 内外ナデ | | 内焼斑　内外摩耗 | RP 105 |
| 29 7 | | | ST 220 | 土師器 | 高坏 | | | | (38) | 外ハケメナデ | | 内外摩耗 | RP 114 |
| 29 8 | | 23 19 | ST 220 | 土師器 | 坏 | (126) | | | (39) | | | 外焼斑　内外摩耗 | RP 174 |
| 29 9 | 32 8 | | ST 220 | 土師器 | 坏 | (170) | | (64) | 43 | | ケズリ丸底 | 内外摩耗 | RP 88 |
| 29 10 | 32 7 | 22 19<br>20 | ST 220 | 土師器 | 坏 | 142 | | 4 | 47 | 内外ナデ | ケズリ丸底 | 内外焼斑内外摩耗　底部ヘラ書き | RP 449 |
| 29 11 | | 22 19<br>20 | ST 220 | 土師器 | 坏 | | | (124) | (27) | | ケズリ丸底 | 内外摩耗　底部ヘラ書き | RP 448 |
| 29 12 | 32 9 | | ST 220 | 土師器 | 鉢 | 176 | | 52 | 79 | 内ヘラナデ外ハケメナデ | 輪台 | 内外焼斑　外面摩耗 | RP 95 |
| 29 13 | | | ST 220 | 土師器 | 甕 | | | | (20) | 内外ハケメ　口縁部刻目 | | 内外摩耗　外面赤彩 | |
| 29 14 | | | ST 220 | 土師器 | 甕 | | | | (31) | 内外ハケメ | | 外面被熱 | |
| 29 15 | 31 2 | 21 19 | ST 220 | 土師器 | 壷 | (72) | (154) | | (128) | 内ナデ外ヘラナデ輪積み痕 | | 内焼斑　内外摩耗 | RP 153 |
| 29 16 | 30 7 | | ST 220 | 土師器 | 甕 | 142 | | | (45) | | | 内外焼斑　内面煤 | RP 87 |
| 30 1 | 30 6 | | ST 220 | 土師器 | 甕 | (211) | (226) | | (264) | | | 外面煤 | RP 91 |
| 30 2 | | | ST 220 | 土師器 | 甕 | (197) | (201) | | (216) | 内外ハケメナデ | | 内焼斑　外面被熱 | RP 89 |
| 30 3 | 30 5 | | ST 220 | 土師器 | 甕 | (220) | (225) | | (202) | 内ハケメナデケズリ外ハケメナデ | | 外面煤内面付着物 | RP 97 |
| 30 4 | | 21 19 | ST 220 | 土師器 | 甕 | (210) | (240) | 33 | (255) | 内外ハケメナデ | ケズリ小平底 | 内外焼斑　外面煤付着物内面付着物 | RP 151 |
| 31 1 | 32 10 | | ST 220 | 土製品 | 支脚 | | | | 122 | | | 外面被熱摩耗 | RP 115 |
| 31 2 | 31 1 | 22 19<br>20 | ST 220 | 土師器 | 甕 | | (235) | 11 | (234) | 内ヘラナデ外ハケメ底ケズリ | ケズリ小平底 | 外面煤内面付着物 | RP 448 |
| 31 3 | | | ST 220 | 縄文 | 深鉢 | | | (140) | (23) | | 網代痕 | 内外焼斑　外面被熱　中期 | RP 173 |
| 31 4 | | 21 19 | ST 220 | 縄文 | 鉢 | | | | | | 網代痕 | 外焼斑　外面被熱　中期 | RP 151 |

## 表７　板橋２遺跡出土土器観察表（３）

| 挿図 | 図版 | グリッド | 遺構番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 胴径 | 底径 | 器高 | 調整特徴 | 底部技法 | 備考 | 遺物番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 31 5 | | 22 19<br>20 | ST 220 | 縄文 | 浅鉢 | | | | (25) | 内外ナデ　口縁部沈線紋 | | 内外付着物　晩期 | RP 445 |
| 31 6 | | | ST 220 | 縄文 | 壺 | | | | (35) | LR | | 内外摩耗　晩期 | |
| 31 7 | | | ST 220 | 縄文 | 鉢 | | | 74 | (27) | LR | | 海綿骨針　内焼斑　晩期 | |
| 33 1 | | | ST 223 | 縄文 | 深鉢 | (280) | | | (153) | LR | | 雲母　内外被熱　晩期 | |
| 33 2 | | | ST 223 | 縄文 | 深鉢 | (218) | | | (121) | 平行沈線LR | | 雲母　外面被熱　晩期 | RP 109 |
| 33 3 | | | ST 223 | 縄文 | 深鉢 | | | | (92) | LR | | 外面煤　内面摩耗　晩期 | RP 113 |
| 33 4 | | | ST 222 | 縄文 | 深鉢 | | | (84) | (163) | LR | | 内外被熱　晩期 | RP 109 |
| 33 5 | | | ST 222 | 土師器 | 鉢 | 106 | | | 51 | 内外ハケメ | | 内外焼斑　内外摩耗　刱痕 | RP 104 |
| 35 1 | 41 8 | 19 13 | ST 226 | 土師器 | 甕 | 198 | (262) | | | 内ナデヘラナデ外ハケメナデ | | 外面煤 | RP 292 |
| 35 2 | 53 7 | 20 14 | SK 256 | 土師器 | 脚付鍋 | | | | (51) | 外ヘラナデ | | 内面摩耗　平安時代 | RP 124 |
| 35 3 | | | ST 226 | 土師器 | 手づくね | | (54) | 32 | (30) | 内外ナデ　内外指圧痕 | | 内外焼斑 | |
| 35 4 | 26 14 | 19 13 | ST 226 | 土師器 | 器台 | | | | (21) | | | 内焼斑 | |
| 35 5 | | 20 14 | SK 256 | 土師器 | 器台 | | | (158) | (37) | 内ハケメナデ外ナデ | | 外焼斑 | RP 124 |
| 37 1 | 34 3 | 18 16 | ST 227 | 土師器 | 蓋 | | | | (48) | 内ハケメ外ハケメヘラナデ | | 内焼斑　外面摩耗 | RP 154 |
| 37 2 | 34 2 | | ST 227 | 土師器 | 壺 | (138) | | | (58) | 内ハケメナデ外ハケメ | | 内外焼斑 | RP 101 |
| 37 3 | | | ST 227 | 土師器 | 壺 | 150 | | | (21) | 内ナデ外ナデミガキ | | 内焼斑 | |
| 37 4 | | | ST 227 | 土師器 | 甕 | (152) | | | (43) | 内外ハケメ | | 外面煤 | |
| 37 5 | 34 1 | 18 16 | ST 227 | 土師器 | 甕 | (170) | (236) | | (130) | 内ナデ外ハケメナデ | | 外面被熱摩耗　薄甕 | RP 125 |
| 37 6 | 25 47 | 18 16 | ST 227 | 縄文 | 壺 | | | | | 沈線紋刻目 | | 晩期 | RP 150 |
| 37 7 | 25 44 | 18 16 | ST 227 | 縄文 | 壺 | | | | | 沈線入り組み状紋様区画内LR | | 内焼斑　後期　第37図８と同一個体 | RP 122 |
| 37 8 | | 18 16 | ST 227 | 縄文 | 鉢 | | | 66 | (12) | | 平底 | 内焼斑　後期　第37図7と同一個体 | RP 122 |
| 37 9 | 25 43 | 18 16 | ST 227 | 縄文 | 深鉢 | | | | | 内ナデ　沈線区画内LR瘤隆帯 | | 内外焼斑　後期 | RP 122 |
| 37 10 | | | ST 227 | 縄文 | 壺 | | | | (38) | 内ナデ外ヘラナデ　小波状口縁 | | 内外煤　晩期　第37図11と同一個体 | |
| 37 11 | 25 46 | | ST 227 | 縄文 | 壺 | | | | | 内外ナデ　LR | | 晩期　第37図10と同一個体 | |
| 39 1 | | 17 14 | SK 688 | 土師器 | 手づくね | (66) | | | 31 | 内外ナデ　輪積み痕 | | 内外摩耗 | RP 191 |
| 39 2 | | | ST 229 | 土師器 | 高杯 | 113 | | | (35) | 内外ハケメナデ | | | |
| 39 3 | 34 5 | 17 14 | SK 688 | 土師器 | 有孔鉢 | (152) | | 35 | 111 | 内外ハケメナデ | | 内外焼斑　外面付着物 | RP 191 |
| 39 4 | 34 4 | 17 14 | SK 688 | 土師器 | 鉢 | (150) | (164) | (50) | 124 | 内ナデ外ヘラナデナデ | ケズリ小平底 | 内外焼斑　内面被熱付着物外面被熱 | RP 191 |
| 39 5 | | 17 14 | SK 688 | 土師器 | 壺 | (160) | | | (56) | 内ナデ外ヘラナデ | | 内外摩耗 | RP 190 |
| 39 6 | | | ST 231 | 縄文 | 深鉢 | | | | | RL | | 海綿骨針　内外焼斑　晩期 | |
| 39 7 | 34 6 | 17 14 | SK 688 | 土師器 | 壺 | | 173 | 40 | (45) | 内ナデ外ヘラナデナデ | ケズリ小平底 | 内焼斑　外面被熱 | RP 190 |
| 40 1 | | | ST 232 | 土師器 | 鉢 | (140) | | | (50) | 内外ハケメナデ | | 内外摩耗　指紋有 | |
| 40 2 | | | ST 232 | 土師器 | 壺 | (152) | | | (22) | | | | |
| 40 3 | | | ST 232 | 土師器 | 壺 | | | | (49) | 内ヘラナデナデ外ハケメナデ | | 内外摩耗 | |
| 40 4 | | | ST 232 | 縄文 | 深鉢 | | | | (58) | 隆帯押圧 | | 内外摩耗　大木7a | |
| 40 5 | | 16 13 | ST 232 | 縄文 | 深鉢 | | | 82 | (18) | LR | | 海綿骨針　割れ目に付着物補修痕か　晩期 | RP 189 |
| 42 1 | 36 3 | | SK 654 | 土師器 | 高坏 | 202 | | | (81) | 内ナデミガキ外ハケメナデミガキ | | | RP 108 |
| 42 2 | | | ST 339 | 土師器 | 小型壺 | (120) | | (37) | (50) | 内外ミガキ | | 外焼斑 | |
| 42 3 | 36 2 | 14 15 | ST 339 | 土師器 | 小型壺 | (109) | (168) | (31) | 66 | 内ミガキ外ナデミガキ | 平底ケズリ丸底 | 外焼斑　外面摩耗 | RP 127 |
| 42 4 | 36 1 | 13 14 | ST 339 | 土師器 | 壺 | (86) | | | (83) | 内ミガキ外ヘラナデナデ | | 内外煤 | |
| 42 5 | | | ST 339 | 土師器 | 小型壺 | | | | (13) | | 平底ケズリ丸底 | 内外赤彩 | |
| 42 6 | | 13 14 | ST 339 | 土師器 | 壺 | | | | 60 (28) | 内ナデ外ヘラナデ | 輪台ケズリ平底 | 外焼斑　内外煤　割れた後に被熱 | |
| 42 7 | | 14 15 | ST 339 | 土師器 | 甕 | (180) | | | (38) | 内ナデ外ハケメナデ | | 内外摩耗 | |





## 表８　板橋２遺跡出土土器観察表（４）

| 挿図 | 図版 | グリッド | 遺構番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 胴径 | 底径 | 器高 | 調整特徴 | 底部技法 | 備考 | 遺物番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 42 8 | 36 4 | | ST 339 | 石製品 | 砥石 | | 巾<br>70 | | 長さ<br>162 | | | 石質　細　被熱　割れ | RQ 413 |
| 42 9 | | | ST 339 | 縄文 | 不明 | | | | | | | 補修孔 | |
| 43 1 | 34 8 | 14 13 | ST 446 | 土師器 | 高坏 | | | | (81) | 内ナデ外ミガキ | | | RP 156 |
| 43 2 | | | ST 446 | 土師器 | 鉢 | | (104) | | (44) | | | 内焼斑　内外摩耗 | |
| 43 3 | | 14 12 | ST 446 | 土師器 | 手づくね | (51) | (55) | | (28) | 内外ナデ | | 内焼斑　内外摩耗 | RP 152 |
| 43 4 | | | ST 446 | 土師器 | 有孔鉢 | | | (40) | (19) | 外ハケメ | | 内焼斑　内外摩耗 | |
| 43 5 | 34 7 | | ST 446 | 土師器 | 甕 | (160) | (192) | | (73) | 内ハケメナデ外ハケメ | | 外面煤付着物 | |
| 43 6 | 34 10 | | ST 446 | 石製品 | 砥石 | | 巾<br>65 | | 長さ<br>107 | | | | RQ 378 |
| 44 1 | 33 7 | 23 21 | ST 666 | 土師器 | 高坏 | 106 | | (90) | 70 | 内外ナデ | | 内焼斑　内外摩耗 | RP 580 |
| 44 2 | | | ST 666 | 土師器 | 壺 | (80) | | | (50) | 内ミガキ外ハケメミガキ | | | |
| 44 3 | | 23 21 | ST 666 | 土師器 | 甕 | (60) | | | (27) | 内外ハケメナデ | | 内外摩耗 | |
| 44 4 | | 22 21 | ST 666 | 土師器 | 甕 | (120) | (118) | | (91) | 内ナデ外ハケメナデ　輪積痕 | | 外面煤摩耗 | RP 580 |
| 44 5 | 33 6 | 23 21 | ST 666 | 土師器 | 甕 | 185 | 221 | 57 | 224 | 内外ハケメナデ | 輪台ケズリ平底 | 内外焼斑　外面煤 | RP 581 |
| 46 1 | | | ST 750 | 土師器 | 器台 | | | | | 内ハケメケズリ | | | |
| 46 2 | 35 10 | 22 27 | ST 750 | 土師器 | 高坏 | (178) | | | (62) | | | 内焼斑　内外摩耗 | RP 549 |
| 46 3 | | 22 28 | ST 750 | 土師器 | 高坏 | | | | | 内ミガキ | | | RP 514 |
| 46 4 | | 21 28 | ST 750 | 土師器 | 高坏 | | | | | 内外ナデ | | 内面煤 | RP 515 |
| 46 5 | | 21 27 | ST 750 | 土師器 | 高坏 | | | | | | | 赤色粒子 | RP 547 |
| 46 6 | 35 14 | | ST 750 | 土師器 | 高坏 | | | | (44) | 内ハケメ外ミガキ | | 外面赤彩 | |
| 46 7 | | | ST 750 | 土師器 | 高杯 | | | | | | | 内外摩耗 | |
| 46 8 | | 22 28 | ST 750 | 土師器 | 高坏 | | | | | 外ミガキ | | 内外摩耗 | RP 514 |
| 46 9 | | 21 27 | ST 750 | 土師器 | 高坏 | | | (142) | (88) | 内ナデ | | | RP 547 |
| 46 10 | | | ST 750 | 土師器 | 高坏 | | | (180) | (16) | 内ハケメナデ外ナデ | | | |
| 46 11 | | 22 27 | ST 750 | 土師器 | 高坏 | | | | | 外ナデ | | | RP 549 |
| 46 12 | | | ST 750 | 土師器 | 高坏 | | | | | 内ハケメナデ外ナデ | | | |
| 46 13 | 35 6 | | ST 750 | 土師器 | 坏 | (152) | | | 48 | 内外ナデ | ケズリ丸底 | | |
| 46 14 | 35 7 | 22 27 | ST 750 | 土師器 | 坏 | 117 | | | 48 | 内外ナデ | ケズリ丸底 | 外焼斑 | RP 548 |
| 46 15 | | 22 27 | ST 750 | 土師器 | 坏 | | | | (49) | 内外ナデ | | | RP 549 |
| 46 16 | | | ST 750 | 土師器 | 鉢 | | | | | 内ナデ | | 赤色土塗布内外赤彩 | |
| 46 17 | 35 4 | 22 27 | ST 750 | 土師器 | 手づくね | (56) | 62 | (40) | (43) | 外ハケメ | 平底 | | RP 546 |
| 46 18 | 35 5 | 22 27 | ST 750 | 土師器 | 手づくね | (40) | | 35 | (29) | 外ナデ | 平底 | 外面煤 | RP 545 |
| 46 19 | 35 12 | | ST 750 | 土師器 | 壺 | | | | | 口縁部竹管文 | | | |
| 46 20 | | 22 28 | ST 750 | 土師器 | 甕 | | | | | 内ナデ | | | RP 513 |
| 46 21 | | | ST 750 | 土師器 | 甕 | | | | | 外ナデ | | 内焼斑　外面煤 | |
| 46 22 | | | ST 750 | 土師器 | 甕 | | | | | 内外ナデ | | 外面煤 | |
| 46 23 | 35 3 | 21 27 | ST 750 | 土師器 | 甕 | | (263) | 56 | (201) | 内外ハケメ | 輪台押圧平底 | 内焼斑　外面煤 | RP 550 |
| 46 24 | | | ST 750 | 土師器 | 甕 | (176) | | | (27) | 内ナデ外ハケメナデ | | 外焼斑 | |
| 46 25 | 37 5 | | ST 750 | 土師器 | 甕 | (130) | (124) | | | 内ハケメナデ外ハケメケズリ | | 内面付着物 | |
| 47 1 | 35 2 | 22 28 | ST 750 | 土師器 | 甕 | (187) | (252) | (37) | (250) | 内ナデ外ハケメナデケズリ　輪積み痕 | 輪台ケズリ小平底 | 内焼斑 | RP 512 |
| 47 2 | | | ST 750 | 土師器 | 甕 | | | | | 内外ハケメ | 輪台 | | |
| 47 3 | | | ST 750 | 土師器 | 甕 | | | (78) | | 内ナデ外ハケメ | 輪台 | 内焼斑 | |
| 47 4 | 35 1 | 21 28 | ST 750 | 土師器 | 壺 | (208) | (273) | 69 | 319 | 内外ハケメナデ | 輪台ケズリ平底 | 外面被熱摩耗 | RP 542 |
| 47 5 | 35 8 | | ST 750 | 土製品 | 壁材? | | | | 長さ<br>(240) | | | スサを混ぜている | |
| 47 6 | 35 11 | | ST 750 | 土製品 | 不明 | 長さ<br>39 | 径<br>32 | | | | | | |
| 47 7 | 35 15 | | ST 750 | 石製品 | 有孔石板 | 外径<br>62 | | | 厚さ<br>39 | | | | RQ 544 |
| 49 1 | | | ST 751 | 土師器 | 壺 | (100) | | | (41) | 内ハケメミガキ外ハケメナデ | | | |
| 49 2 | | 21 25 | ST 751 | 土師器 | 甕 | | | | | 内ナデ外ナデハケメ | | 内面被熱 | |
| 49 3 | | 21 25 | ST 751 | 土師器 | 甕 | (160) | | | (70) | 内外ハケメナデ | | | RP 536 |
| 49 4 | | 21 25 | ST 751 | 土師器 | 甕 | (119) | (123) | | (95) | 内ハケメナデ外ハケメ | | 外面煤 | RP 509 |
| 49 5 | 35 13 | | ST 751 | 石製品 | 管玉 | 外径<br>5 | | | 長さ<br>21 | | | | RQ 534 |

## 表９　板橋２遺跡出土土器観察表（５）

| 挿図 | 図版 | グリッド | 遺構番号 | 種別　器種 | 口径 | 胴径 | 底径 | 器高 | 調整特徴 | 底部技法 | 備考 | 遺物番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 49 6 | | 21 25 | ST 751 | 縄文　深鉢 | | | | | 沈線区画内RL | | 内面付着物　大木8 | |
| 53 1 | 36 7 | 19 21 | ST 755 | 土師器　高坏 | | | | | | | 赤彩 | RP 567 |
| 53 2 | 36 5 | 19 22 | ST 755 | 土師器　壷 | | | | | 内継ぎ目痕外ハケメ | | 内面被熱 | RP 570 |
| 53 3 | 36 6 | 19 21 | ST 755 | 土師器　鉢 | 157 | 144 | 39 | 104 | 内外ナデ | ケズリ小平底 | 外面摩耗　内面摩耗付着物 | RP 566 |
| 53 4 | | | ST 755 | 土師器　壷 | | | | (32) | 内外ナデ | | 内面煤 | |
| 53 5 | | | ST 755 | 土師器　壷 | | | | | 外ハケメ | | | |
| 53 6 | | | ST 755 | 土師器　甕 | | | | | 外ハケメ | | | |
| 53 7 | | | ST 755 | 土師器　甕 | | | | | 内外ナデ | | 外面煤 | |
| 53 8 | | | ST 755 | 土師器　甕 | | | | (60) | 内外ナデ | | 内外煤 | |
| 53 9 | 36 8 | | ST 755 | 土師器　支脚 | | | | (110) | 外指痕 | | | |
| 57 1 | | | SK 84 | 土師器　高坏 | 180 | | | (38) | 内外ハケメナデ | | 雲母　外焼斑　内外摩耗 | |
| 57 2 | 37 1 | | SK 84 | 土師器　高坏 | | | | | 外ミガキ | | | RP 42 |
| 57 3 | | | SK 84 | 土師器　坏 | (129) | | | 40 | 内外ナデ | ケズリ丸底 | | RP 40<br>41 |
| 57 4 | 37 3 | | SK 84 | 土師器　坏 | 142 | | | 51 | 内外ナデ | ケズリ丸底 | 内外焼斑 | RP 39 |
| 57 5 | | | SK 84 | 土師器　坏 | 157 | | | 51 | 外ナデ | ケズリ丸底 | 内外焼斑 | RP 41 |
| 57 6 | 37 2 | | SK 84 | 土師器　坏 | (133) | | | 57 | 内ハケメナデミガキ外ナデミガキ | ケズリ丸底 | | RP 40 |
| 57 7 | | | SK 84 | 土師器　坏 | (140) | | | 56 | 内外ナデ | ケズリ丸底 | 外焼斑　内外摩耗 | RP 40<br>41 |
| 57 8 | | | SK 84 | 土師器　坏 | (142) | | | 48 | 内外ナデ | 輪台ケズリ丸底 | 内外焼斑　外面摩耗　底部ヘラ書き | |
| 57 9 | | | SK 84 | 土師器　壷 | | | | | 内ナデ外ミガキ輪積み痕 | | 外面赤彩 | |
| 57 10 | | | SK 84 | 土師器　甕 | (188) | | | | 内外ハケメナデ | | 内焼斑 | |
| 57 11 | | | SK 84 | 土師器　甕 | | | | 20 | 内ハケメナデ外ハケメケズリ | 輪台ケズリ小平底 | 内外焼斑 | |
| 57 12 | | | SK 84 | 土師器　甕 | | | | 64 | 内外ナデ | 輪台 | 内焼斑　外面被熱摩耗煤内面摩耗 | |
| 57 13 | | | SK 84 | 土師器　甕 | | | | | 内ハケメ外ハケメナデ | 輪台ケズリ小平底 | 外面摩耗　内面付着物 | |
| 58 1 | | 20 22 | SK 660 | 土師器　甕 | (180) | (197) | | (117) | 内ヘラナデ外ハケメナデ | | 内焼斑　外面煤内面摩耗 | RP 569 |
| 58 2 | 38 2 | | SK 660 | 土師器　甕 | (119) | (120) | (60) | 97 | 内ヘラナデナデ | 輪台ケズリ平底 | 内外摩耗 | RP 360<br>369<br>370 |
| 58 3 | | | SK 660 | 土師器　甕 | (140) | | | | 内外ナデ | | | |
| 58 4 | | | SK 660 | 土師器　甕 | (159) | | | | 内ハケメ外ハケメナデ | | 外面赤彩 | |
| 58 5 | 38 3 | 20 21 | SK 660 | 土師器　鉢 | (129) | (78) | (54) | 67 | 内ミガキ外ハケメミガキ | ケズリ丸底 | 内外焼斑　外面煤 | RP 370 |
| 58 6 | | | SK 660 | 土師器　壷 | (190) | | | | 内外ナデ | | 二重口縁 | |
| 58 7 | 38 1 | 20 22 | SK 660 | 土師器　壷 | 124 | | | (105) | 内外ナデ　輪積み痕 | | 内外焼斑　内外摩耗 | RP 568 |
| 58 8 | | | SK 660 | 土師器　壷 | (120) | | | | 内ミガキ外ナデ | | 内外摩耗 | |
| 58 9 | 26 15 | 20 21 | SK 660 | 縄文　鉢 | | | | (41) | 瘤沈線刻目 | | 雲母　内外被熱　後期 | RP 568 |
| 59 1 | | 21 16 | SK 764 | 土師器　高坏 | (172) | | | (38) | 外ナデミガキ | | 内面付着物 | RP 500 |
| 59 2 | | 21 16 | SK 764 | 土師器　坏 | | | | | 外ミガキ | | | |
| 59 3 | 38 5 | 21 16 | SK 764 | 土師器　高坏 | (137) | | (131) | | 内ナデ外ハケメナデミガキ | | 内外摩耗 | RP 502 |
| 59 4 | | 21 16 | SK 764 | 土師器　高坏 | | | (128) | (80) | | | 外面赤色土塗布　内焼斑 | RP 502 |
| 59 5 | | 21 16 | SK 764 | 土師器　高坏 | (178) | | | (38) | 内ハケメナデ | | | RP 502 |
| 59 6 | | 21 16 | SK 764 | 土師器　高坏 | | | | | 外ミガキ | | | RP 501 |
| 59 7 | | | SK 764 | 土師器　高坏 | | | | | 内ナデ | | 内焼斑 | |
| 59 8 | | | SK 764 | 土師器　高坏 | | | | (52) | 内外ナデ | | 外焼斑　筒状の物芯にして脚部作製 | |
| 59 9 | | 21 26 | SK 764 | 土師器　坏 | (148) | | | (41) | | | 内外摩耗 | |
| 59 10 | | | SK 764 | 土師器　坏 | (120) | | | 30 | 外ハケメナデ | | 雲母　赤色粘土 | |
| 59 11 | | 21 16 | SK 764 | 土師器　坏 | (140) | | | (42) | 内外ナデ | | 雲母　内面赤色土塗布 | |
| 59 12 | 37 4 | | SK 764 | 土師器　壷 | 82 | | | | 内外ナデ | | 内外赤彩 | |
| 59 13 | | 21 16 | SK 764 | 須恵器　甕 | | | | | 内アテ痕外タタキ | | 平安 | RP 503 |
| 59 14 | | 21 16 | SK 764 | 縄文　鉢 | | | | | 沈線紋刻目LR | | 雲母　内焼斑　晩期 | RP 500 |
| 60 1 | 36 10 | 18 22<br>23 | SK 872 | 土師器　高坏 | | | | (51) | 外ヘラナデ | | 内焼斑　内外摩耗 | RP 575 |
| 60 2 | | 18 22<br>23 | SK 872 | 土師器　甕 | (70) | | | (37) | 内外ハケメナデ | | 外面煤 | RP 574 |





## 表10　板橋２遺跡出土土器観察表（６）

| 挿図 | 図版 | グリッド | 遺構番号 | 種別　器種 | 口径 | 胴径 | 底径 | 器高 | 調整特徴 | 底部技法 | 備考 | 遺物番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 60 3 | | 18 22<br>23 | SK 872 | 土師器　甕 → | (159) | | | (43) | 内ナデ外ハケメナデ | | 外焼斑　外面煤 | RP 575 |
| 60 4 | 36 9 | 18 22<br>23 | SK 872 | 土師器　甕 | (169) | (234) | | (110) | 内ヘラナデ外ハケメナデ | | 外面煤 | RP 573 |
| 60 5 | | 18 22<br>23 | SK 872 | 土師器　壷 | | | (56) | | 内外ナデ | 輪台 | | RP 574 |
| 60 6 | | 18 22<br>23 | SK 872 | 土師器　壷 | | | (62) | (27) | 内ハケメ | 輪台 | 外面摩耗　内面煤 | RP 574 |
| 60 7 | 53 5 | | SK 872 | 石製品　石錘 | 内径<br>(59) | 外径<br>77 | | 高さ<br>15 | | | 凝灰岩製 | |
| 61 1 | 37 6 | | SK 96 | 土師器　高坏 | | | | | 内外ナデ | | 全体に酸化鉄付着 | RP 31 |
| 61 2 | | | SK 96 | 土師器　高坏 | (105) | | (66) | (93) | 内ナデ外ミガキ | | 外焼斑 | RP 30 |
| 61 3 | 37 7 | | SK 96 | 土師器　坏 | 148 | | 22 | 47 | 内外ハケメナデ | | 赤色の砂粒 | RP 10<br>31 |
| 61 4 | 38 6 | | SK 218 | 土師器　鉢 | 136 | | 55 | 66 | | 輪台 | | RP 3 |
| 61 5 | 38 4 | 25 22 | SK 218 | 土師器　甕 | | | (75) | | 内ヘラナデナデ外ハケメ　内部指圧痕 | 輪台 | | RP 3 |
| 61 6 | 54 8 | 14 49 | SK 211 | 須恵器　坏 | (116) | | (58) | (29) | | | 内面煤 | |
| 61 7 | 54 2 | | SK 211 | 須恵器　坏 | | | (70) | (18) | 内外ナデ | 篦切 | 底部に墨書有り「宣」 | |
| 61 8 | | | SK 211 | 須恵器　坏 | (134) | | | (35) | | | | |
| 61 9 | 54 3 | | SK 211 | 須恵器　坏 | | | | | | | 内面煤　墨書外面逆位「笠」 | |
| 61 10 | | 14 49 | SK 212 | 須恵器　蓋 | (128) | | | (23) | | | 内被灰 | RP 5 |
| 61 11 | 54 5 | 15 47 | SK 211<br>212 | 須恵器　坏 | (130) | | | (30) | 内外ナデ | | 海綿骨子 | |
| 61 12 | | 13 49 | SK 212 | 土師器　坏 | (138) | | | (30) | | | | RP 7 |
| 61 13 | 54 1 | 13 49 | SK 212 | 土師器　坏 | (132) | | (68) | 51 | 内ミガキ | 静止糸切 | 外面摩耗　内黒 | RP 7 |
| 61 14 | | 13 49 | SK 212 | 土師器　坏 | (130) | | | (32) | 内ナデミガキ外ナデ | | 内黒 | RP 7 |
| 62 1 | 41 1 | 21 28<br>29 | SK 737 | 土師器　高坏 | (202) | | 117 | (120) | | | 外焼斑 | RP 517 |
| 62 2 | 41 3 | 21 29 | SK 737 | 土師器　坏 | (126) | | | 58 | 内ナデ外ハケメナデ | ケズリ丸底 | 外焼斑　内外赤彩付着物 | RP 582 |
| 62 3 | 41 2 | 21 28<br>29 | SK 737 | 土師器　壷 | | | 50 | (18) | 外ケズリ | ケズリ丸底 | 外焼斑　底部ヘラ書き | RP 517 |
| 62 4 | | 21 28<br>29 | SK 737 | 土師器　甕 | (174) | | | (33) | 内ヘラナデ外ハケメナデ | | 外面煤 | RP 517 |
| 62 5 | 40 11 | 21 28<br>29 | SK 737 | 土師器　甕 | (84) | (85) | (48) | 94 | 外ナデ | | 外面被熱煤　内面被熱 | RP 517 |
| 62 6 | | 17 23 | SD 888 | 土師器　高坏 | (182) | | | (63) | 内外ナデ | | | |
| 62 7 | 39 8 | 17 23<br>18 | SD 888 | 土師器　高坏 | (183) | | | (44) | 外ナデ | | | RP 577 |
| 62 8 | | 16 25 | SD 888 | 土師器　高坏 | (206) | (62) | | (128) | | | | RP 505 |
| 62 9 | 39 10 | 17 23 | SD 888 | 土師器　高坏 | | | | | 内ナデ外ミガキ継ぎ目痕 | | 雲母　外面摩耗 | RP 577 |
| 62 10 | | 16 25 | SD 888 | 土師器　高坏 | | | | | 脚部　継ぎ目痕 | | 内外摩耗 | RP 508 |
| 62 11 | | 17 23 | SD 888 | 土師器　高坏 | | | (179) | (28) | | | | |
| 62 12 | | 16 25 | SD 888 | 土師器　甕 | | | | | | | 内外焼斑　内外摩耗 | RP 507 |
| 62 13 | | 16 24<br>25 | SD 888 | 土師器　甕 | 188 | | | (88) | 内外ナデ | | 外面煤 | RP 508 |
| 62 14 | | 17 23 | SD 888 | 土師器　壷 | (126) | | | (39) | 内外ナデ | | 外面煤赤彩 | |
| 62 15 | 39 6 | 16 25 | SD 888 | 土師器　甕 | (100) | | | (57) | 内ナデ外ハケメナデ | | 内焼斑 | RP 507 |
| 62 16 | | 16 25 | SD 888 | 土師器　壷 | | (118) | | (77) | | | 内焼斑　外面赤彩 | RP 505 |
| 62 17 | 39 9 | 16 24 | SD 888 | 土師器　壷 | (51) | (80) | | 62 | | ケズリ丸底 | 外焼斑 | |
| 62 18 | 39 7 | 16 25 | SD 888 | 土師器　壷 | (109) | | | (49) | 内外ナデ | | 内焼斑　内外摩耗 | RP 506 |
| 63 1 | 23 4 | | SD 28 | 縄文　深鉢 | | | 106 | (357) | LR | 平底 | 内焼斑　中期 | RP 11 |
| 63 2 | | | SD 28 | 縄文　深鉢 | | | (69) | (46) | LR | 平底 | 内外焼斑　晩期 | |
| 63 3 | | 21 30 | SD 28 | 土師器　高坏 | (190) | | | (54) | 外ナデ | | 外焼斑　内外摩耗 | RP 538 |
| 63 4 | | 21 30 | SD 28 | 土師器　甕 | (161) | | | (68) | 内ハケメナデ外ヘラナデナデ | | 雲母　外面煤　口縁部割れの後煤付着 | RP 538 |
| 63 5 | | 21 30 | SD 28 | 土師器　坏 | | | | | | ケズリ丸底 | 壷の可能性有り | RP 538 |
| 64 1 | | | SD 40 | 土師器　高坏 | | | | | 内ナデ | | 内外摩耗　外面赤彩 | |
| 64 2 | | | SD 40 | 土師器　高坏 | | | | (62) | 内ナデ外ミガキ | | | |
| 64 3 | 39 2 | 21 36 | SD 40 | 土師器　坏 | (142) | | | 53 | 内外ハケメナデ | ケズリ丸底 | 内外赤色土塗布　外焼斑 | RP 543 |
| 64 4 | | 21 37 | SD 40 | 土師器　坏 | (150) | | | (45) | 内ナデ | | 内外摩耗 | |
| 64 5 | | | SD 40 | 土師器　壷 | | (52) | | (32) | | | 内外焼斑 | |

## 表 11　板橋２遺跡出土土器観察表（7）

| 挿図 | 図版 | グリッド | 遺構番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 胴径 | 底径 | 器高 | 調整特徴 | 底部技法 | 備考 | 遺物番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 64 6 | | | SD 40 | 土師器 | 壷 | | (91) | | (38) | 内外ナデ | | 外焼斑 | |
| 64 7 | | 23 38 | SD 40 | 土師器 | 壷 | | | | | | | 内焼斑 | RP 541 |
| 64 8 | | 18 38 | SD 40 | 土師器 | 壷 | (131) | | | | 内ナデハケメ外ナデ | | | RP 539 |
| 64 9 | 39 1 | | SD 40 | 土師器 | 壷 | (148) | | | (58) | 内ナデ外ハケメナデ | | | |
| 64 10 | | 17 39 | SD 40 | 土師器 | 壷 | | | 64 | | 内ナデ外ハケメ | 輪台ケズリ平底 | 外焼斑 | RP 540 |
| 64 11 | 39 3 | 18 38 | SD 40 | 土師器 | 壷 | | (227) | (63) | | 内ナデケズリ外ハケメナデ | 輪台ケズリ平底 | 内焼斑 | RP 539 |
| 64 12 | | | SD 40 | 須恵器 | 高台杯 | (144) | | (93) | 51 | 内外ナデ | 張付 | 海面骨針 | |
| 65 1 | 39 4 | | SD 106 | 土師器 | 甕 | (225) | 251 | (105) | (267) | 内外ハケメナデ | | 内外焼斑 | RP 27 |
| 65 2 | 39 5 | | SD 106 | 土師器 | 甕 | (240) | (260) | | | 内外ハケメナデ | | 雲母　内外焼斑　内面付着物外面煤 | RP 28 |
| 66 1 | | | SD 106 | 土師器 | 甕 | (211) | (244) | | (225) | 内ナデ外ハケメナデ | | 雲母　内焼斑　外面煤 | RP 29 |
| 66 2 | | | SD 106 | 土師器 | 甕 | (260) | (257) | | (197) | 内外ナデ | | 内外摩耗 | RP 8 |
| 67 1 | | | SD 106 | 土師器 | 甕 | (178) | (218) | | | 内外ナデ | | | RP 8 |
| 67 2 | | | SD 106 | 土師器 | 甕 | | (291) | | | 内外ハケメナデ | | 外焼斑　内面付着物 | RP 8 |
| 68 1 | | 20 24 | SD 765 | 土師器 | 高坏 | (167) | | | (52) | | | 雲母 | RP 510 |
| 68 2 | | 18 23 | SD 765 | 土師器 | 高坏 | | | | | 内外ナデ | | | |
| 68 3 | | | SD 765 | 土師器 | 高坏 | | | | | 内外ナデ | | | |
| 68 4 | | 18 23 | SD 765 | 土師器 | 高坏 | (142) | | | | 内外ナデ | | 内外赤色土塗布 | |
| 68 5 | | 18 23 | SD 765 | 土師器 | 高坏 | | | | | 内ハケメ | | 内外摩耗 | RP 572 |
| 68 6 | 40 6 | 20 24 | SD 765 | 土師器 | 高坏 | | | | (77) | 内ヘラナデ | | | RP 510 |
| 68 7 | | 20 24 | SD 765 | 土師器 | 高坏 | | (58) | | (75) | | | | RP 510 |
| 68 8 | | | SD 765 | 土師器 | 高坏 | | | | (33) | 内ケズリ外ナデ | | | |
| 68 9 | | | SD 765 | 土師器 | 高坏 | | | (155) | (33) | | | 内外焼斑 | |
| 68 10 | 40 7 | 18 23 | SD 765 | 土師器 | 高坏 | | | (190) | (29) | | | 内外摩耗 | |
| 68 11 | 40 9 | | SD 765 | 土師器 | 坏 | (150) | | | (53) | 内外ナデ | | 内焼斑　外面焼或煤　内面摩耗 | RP 75 |
| 68 12 | | 19 23 | SD 765 | 土師器 | 坏 | (140) | | | | 内ナデ外ヘラナデ | ケズリ丸底 | 雲母 | |
| 68 13 | 40 10 | 19 23 | SD 765 | 土師器 | 坏 | (130) | | | 48 | 内外ナデ | | 内外摩耗　内外赤色土塗布 | |
| 68 14 | | 18 23 19 | SD 765 | 土師器 | 坏 | (140) | | | | 内ミガキ | | 内面摩耗 | |
| 68 15 | | 19 23 | SD 765 | 土師器 | 坏 | | | | (37) | | | 内焼斑　内面摩耗 | |
| 68 16 | | 21 24 | SD 765 | 土師器 | 坏 | | | | (53) | 内外ナデ | | 内外赤色土塗布 | |
| 68 17 | | 20 23 | SD 765 | 土師器 | 鉢 | | | | | 内外ナデ | | | |
| 68 18 | | 21 24 | SD 765 | 土師器 | 鉢 | (150) | | | | 内外ナデ | | 雲母　内焼斑 | |
| 68 19 | 40 8 | 19 23 | SD 765 | 土師器 | 鉢 | (51) | | | (74) | 内外ナデ | | 雲母　内外赤色土塗布 | |
| 68 20 | | | SD 765 | 土師器 | 鉢 | | | | | 内外ナデ | | 雲母 | |
| 68 21 | 40 4 | 21 24 | SD 765 | 土師器 | 手づくね | 80 | | | (40) | 内ナデ外ミガキ | | 口縁部籾痕 | |
| 68 22 | | 21 24 | SD 765 | 土師器 | 手づくね | (55) | (64) | | (36) | 外ミガキ | | 外焼斑 | |
| 68 23 | 40 5 | 18 23 | SD 765 | 土師器 | 手づくね | | | (25) | (24) | 内外ハケメ | | | |
| 68 24 | | 23 25 | SD 765 | 土師器 | 手づくね | (32) | (36) | (26) | (19) | | | 外焼斑 | |
| 69 1 | | 17 22 | SD 765 | 土師器 | 壷 | | | | | 内外ハケメ | | | |
| 69 2 | | 21 24 | SD 765 | 土師器 | 壷 | | | | (57) | 内外ハケメナデ | | | |
| 69 3 | | 21 24 | SD 765 | 土師器 | 壷 | | | | (52) | 内ナデ外ナデミガキ | | | |
| 69 4 | | | SD 765 | 土師器 | 壷 | | | | | 内ハケメ外ナデ | | 外面赤彩 | |
| 69 5 | | 21 24 | SD 765 | 土師器 | 壷 | | | | | 口縁部に押圧 | | | |
| 69 6 | | 23 24 | SD 765 | 土師器 | 壷 | | | | | 内外ナデ | | 内面赤彩 | |
| 69 7 | 40 2 | 20 24 | SD 765 | 土師器 | 壷 | | (133) | (54) | (64) | | 輪台ケズリ平底 | 内外焼斑　内外摩耗 | RP 525 |
| 69 8 | | 18 23 | SD 765 | 土師器 | 壷 | | | 60 | (18) | | 輪台ケズリ丸底 | | |
| 69 9 | | 21 24 | SD 765 | 土師器 | 壷 | | | 32 | (35) | 内外ナデ | 輪台ケズリ平底 | 外面赤彩 | |
| 69 10 | | 23 24 | SD 765 | 土師器 | 甕 | | | | (39) | 内外ナデ | | | |
| 69 11 | | 23 24 | SD 765 | 土師器 | 甕 | | | | (33) | 内外ナデ | | 内外焼斑 | |
| 69 12 | | 18 23 | SD 765 | 土師器 | 甕 | (140) | (125) | | (61) | 内ハケメナデ外ハケメ | | 外面煤 | |
| 69 13 | | 21 24 | SD 765 | 土師器 | 甕 | | | | | 内外ハケメ | | | |
| 69 14 | | 22 24 | SD 765 | 土師器 | 甕 | (75) | | | | 内外ハケメナデ | | | |
| 69 15 | 40 3 | 18 22 20 23 24 | SD 765 | 土師器 | 甕 | (132) | (149) | 26 | (217) | 内外ハケメ | 輪台ケズリ小平底 | 内焼斑　内面煤付着物 | |





## 表 12　板橋２遺跡出土土器観察表（8）

| 挿図 | 図版 | グリッド | 遺構番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 胴径 | 底径 | 器高 | 調整特徴 | 底部技法 | 備考 | 遺物番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 69 16 | | 20 24 | SD 765 | 土師器 | 甕 | (202) | | | | 内外ナデ | | 内面付着物　外面煤 | RP 510 |
| 69 17 | | | SD 765 | 土師器 | 壷 | | | | | 内ナデ外ハケメ | | | |
| 69 18 | | 20 24 | SD 765 | 土師器 | 甕 | (279) | | | (85) | 内ヘラナデハケメ外ヘラナデミガキハケメ | | 外面煤 | RP 510 |
| 69 19 | 40 1 | 21 24 | SD 765 | 土師器 | 壷 | 153 | | | | | | 外焼斑 | RP 521 |
| 72 1 | 25 25 | 20 12 | SG 325 | 縄文 | 深鉢 | | | | (24) | 口縁部刺突紋 | | 大木8a | |
| 72 2 | 25 31 | 15 12 16 | SG 325 | 縄文 | 深鉢 | | | | | 内ナデ　口縁部刺突文沈線 | | 外面被熱付着物　大木７a | |
| 72 3 | 25 22 | 18 13 19 | SG 325 | 縄文 | 壷 | | | | | RL　体部充填縄文 | | 内外焼斑　後期 | |
| 72 4 | 25 42 | 17 12 13 | SG 325 | 縄文 | 壷 | | | | | 沈線区画紋 | | 外面付着物　後期 | |
| 72 5 | | 25 17 | SG 325 | 縄文 | 壷 | | | | | 体部沈線紋 | | 後期 | |
| 72 6 | 25 33 | 15 12 | SG 325 | 縄文 | 深鉢 | | | | | 口縁部横沈線刺突紋 | | 外面被熱付着物　晩期中葉　第72図7と同一個体 | |
| 72 7 | 25 32 | 15 12 | SG 325 | 縄文 | 深鉢 | | | | | 口縁部横沈線刺突紋 | | 外面被熱付着物　晩期中葉　第72図6と同一個体 | |
| 72 8 | 25 38 | 15 12 | SG 325 | 縄文 | 深鉢 | | | | | LR縦体部沈線紋 | | 内外付着物　晩期中葉　第72図9,10と同一個体 | |
| 72 9 | 25 36 | | SG 325 | 縄文 | 深鉢 | | | | | LR縦体部沈線紋 | | 外面被熱付着物　晩期中葉　第72図8,10と同一個体 | |
| 72 10 | 25 35 | 14 11 | SG 325 | 縄文 | 壺 | | | | | LR縦体部沈線紋 | | 外面被熱付着物　晩期中葉　第72図8,9と同一個体 | |
| 72 11 | 25 39 | 15 12 | SG 325 | 縄文 | 壺 | | | | | LR体部沈線紋 | | 外面被熱付着物　晩期中葉 | |
| 72 12 | | | SG 325 | 縄文 | 深鉢 | | | | | 沈線紋　LR | | 外面煤　晩期中葉　第72図13と同一個体 | |
| 72 13 | 25 41 | 15 12 | SG 325 | 縄文 | 深鉢 | | | | | 内ヘラナデ　体部沈線紋　LR | | 外面煤　晩期中葉　第72図12と同一個体 | |
| 72 14 | | 25 18 | SG 325 | 縄文 | 深鉢 | | | | | 内外ミガキ沈線 | | 海綿骨針　内外煤　大洞A | |
| 72 15 | | 25 17 | SG 325 | 縄文 | 注口土器 | (71) | (118) | | (60) | 内ナデ　体部沈線紋刻目RL縦 | | 外面摩耗　大洞A | RP 438 |
| 72 16 | 25 20 | | SG 325 | 縄文 | 深鉢 | | | | | 口縁部押圧小波状紋　LR縦 | | 外焼斑晩期 | |
| 72 17 | 25 19 | 15 13 | SG 325 | 縄文 | 深鉢 | | | | | 口縁部押圧小波状紋　LR横 | | 晩期 | RP 106 |
| 72 18 | 25 21 | 18 13 19 | SG 325 | 縄文 | 深鉢 | | | | | 口縁部沈線紋　LR横 | | 外焼斑　外面付着物　大洞A | |
| 72 19 | | | SG 325 | 縄文 | 深鉢 | (239) | | | | 内外ナデ　口縁部押圧波状紋　LR横 | | 海綿骨針　内外煤 | |
| 72 20 | | 20 13 | SG 325 | 縄文 | 深鉢 | 136 | | | (96) | 沈線LR | | 外面被熱　内面付着物　口縁部小波状　晩期 | RP 186 |
| 72 21 | 23 3 | 19 13 | SG 325 | 縄文 | 深鉢 | (190) | (201) | 74 | 174 | LR | | 外面被熱　内面被熱付着物　晩期中頃 | RP 185 |
| 72 22 | | 19 13 20 | SG 325 | 縄文 | 深鉢 | 272 | | | (250) | LR | | 海綿骨針　内外付着物　晩期 | RP 170 |
| 73 1 | | 19 13 20 | SG 325 | 縄文 | 深鉢 | (400) | | | (195) | LR | | 雲母　晩期 | RP 172 |
| 73 2 | | 16 13 | SG 325 | 弥生 | 深鉢 | | | | (30) | 隆帯に交互刺突紋　LR横 | | 外面被熱 | |
| 73 3 | 25 30 | 15 11 | SG 325 | 弥生 | 深鉢 | | | | | 隆帯 LR横 | | | |
| 73 4 | 25 40 | 16 12 | SG 325 | 弥生 | 深鉢 | | | | (63) | 内ヘラナデ　体部沈線紋　LR横 | | 内面赤彩　第73図5と同一個体 | |
| 73 5 | | 16 13 | SG 325 | 弥生 | 深鉢 | | | | (93) | 内ナデナデ　体部刺突紋沈線紋　LR横 | | 外面煤　第73図4と同一個体 | |
| 73 6 | 25 34 | 17 11 | SG 325 | 弥生 | 深鉢 | | | | | 沈線紋押圧RL縦 | | 第73図10と同一個体 | RP 380 |
| 73 7 | | 16 13 | SG 325 | 弥生 | 深鉢 | | | | (29) | 条線紋 | | 内面摩耗　第73図11と同一個体 | |
| 73 8 | | 16 13 | SG 325 | 弥生 | 壷 | (280) | | | (80) | RL撚糸紋 | | 第73図9と同一個体 | RP 384 |

## 表 13　板橋２遺跡出土土器観察表（9）

| 挿図 | 図版 | グリッド | 遺構番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 胴径 | 底径 | 器高 | 調整特徴 | 底部技法 | 備考 | 遺物番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 73 9 | 26 55 | 16 13 | SG 325 | 弥生 | 壺 | | | (89) | (30) | | | 外焼斑　第73図8と同一個体 | |
| 73 10 | 26 54 | 17 11 | SG 325 | 弥生 | 深鉢 | (226) | | | | 沈線紋押圧RL縦 | | 内焼斑　第73図6と同一個体 | RP 380 |
| 73 11 | 25 23 37 | 17 11 | SG 325 | 弥生 | 深鉢 | | | | | 条線紋　RL縦 | | 第73図7と同一個体 | RP 380 |
| 73 12 | 24 9 | 18 12 19 | SG 325 | 不明 | 甕 | (199) | | | (97) | 隆帯刻み目 | | 内外付着物。 | RP 304 |
| 74 1 | 51 5 | 13 12 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | 168 | | (92) | 116 | 内外ナデ | | 内外付着物 | |
| 74 2 | 52 1 | 17 12 13 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | (169) | | (117) | (124) | 内ナデ外ナデミガキ | | | RP 319 330 345 |
| 74 3 | 50 10 | 17 12 13 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | (162) | | | (139) | 外ハケメミガキ | | 内外摩耗 | RP 330 335 347 |
| 74 4 | 52 2 | 24 18 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | (170) | | (96) | (145) | 内外ナデ | | 内外被熱摩耗 | RP 325 344 |
| 74 5 | | 15 11 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | (180) | | | (146) | 外ヘラナデハケメ　輪積み痕 | | 外焼斑　内外摩耗 | RP 374 |
| 74 6 | | 14 11 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | 177 | | | (100) | 内外ヘラナデナデハケメ | | 内外摩耗 | |
| 74 7 | | 14 11 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | (209) | | | (95) | | | 内外摩耗 | |
| 74 8 | 52 8 | | SG 325 | 土師器 | 高坏 | 229 | | | (76) | 内ナデミガキ外ナデ | | 内外焼斑 | |
| 74 9 | | 16 13 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | 221 | | | (64) | 内ミガキ外ハケメミガキ | | 内外焼斑 | RP 359 |
| 74 10 | 52 9 | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | (214) | | | (57) | 内ミガキハケメ外ミガキ | | | RP 247 249 |
| 74 11 | | 24 18 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | (209) | | | | 内外ナデミガキ | | | |
| 74 12 | | 16 12 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | (190) | | | (39) | 内外ナデ | ケズリ丸底 | 内外摩耗 | RP 335 344 347 |
| 75 1 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | (210) | | | (50) | 内外ナデ | | 海綿骨針　内外被熱摩耗煤 | RP 434 |
| 75 2 | | 14 10 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | (186) | | | (62) | 内ナデ外ヘラナデナデ | | 内面摩耗 | |
| 75 3 | | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | 176 | | | (62) | 内ハケメナデ外ナデハケメ | | | |
| 75 4 | | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | (180) | | | (62) | 内ハケメナデ外ハケメミガキ | | | |
| 75 5 | | 15 11 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | (193) | | | (54) | 内ハケメ | | 内外焼斑　内外摩耗 | RP 374 |
| 75 6 | | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | (100) | | | (53) | 内ナデ外ハケメナデ | | 内焼斑　内外摩耗 | RP 318 |
| 75 7 | | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | 150 | | | (48) | 内外ヘラナデ | | 外焼斑 | RP 318 |
| 75 8 | | | SG 325 | 土師器 | 高坏 | (182) | | | (50) | 内ナデ外ヘラナデナデ | | 内外焼斑　内外摩耗　籾痕2カ所 | |
| 75 9 | | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | (142) | | | (53) | 内ヘラナデナデ外ヘラナデ | | 内外焼斑 | RP 400 |
| 75 10 | | | SG 325 | 土師器 | 高坏 | (180) | | | (58) | | | 内外焼斑　内外摩耗 | RP 341 376 |
| 75 11 | | 25 17 18 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | (151) | | | (60) | 内ハケメナデ外ナデミガキ | | 高杯を杯に転用後煤付着 | |
| 75 12 | 52 7 | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | 204 | | | (70) | 内ナデミガキ外ヘラナデミガキナデ | | | RP 278 |
| 75 13 | 52 6 | 16 12 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | (142) | | | (99) | 内ミガキ | | 内外摩耗 | RP 330 |
| 75 14 | | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | (120) | | | | 内外ミガキ | | | |
| 75 15 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | 142 | | | (53) | | | 内外摩耗 | RP 416 |
| 76 1 | 51 3 | 18 25 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | 53 | 46 | 内ミガキナデ外ミガキ | | 内外焼斑 | |
| 76 2 | | 22 15 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | | (36) | 内ハケメ外ミガキ | | | |
| 76 3 | | 21 12 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | | (30) | 内ハケメ | | | |
| 76 4 | | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | | | 外ハケメ | | 内焼斑 | |
| 76 5 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | | (35) | 内ヘラナデ外ヘラナデハケメ | | 海綿骨針　外面赤彩 | RP 225 |
| 76 6 | 50 6 | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | 118 | (75) | 内ハケメ外ミガキ | | | RP 367 |
| 76 7 | | 18 12 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | | (47) | 内ナデ外ヘラナデナデ | | 外面摩耗　穿孔3カ所 | |
| 76 8 | | | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | (38) | | (42) | | | | RP 234 |
| 76 9 | 51 2 | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | | (54) | 外ヘラナデハケメ | | 雲母 | RP 248 |
| 76 10 | | 15 12 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | | (46) | 内外ナデ | | | RP 328 |
| 76 11 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | | (36) | 内ヘラナデミガキナデ外ナデ | | | RP 423 |





## 表 14　板橋２遺跡出土土器観察表（10）

| 挿図 | 図版 | グリッド | 遺構番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 胴径 | 底径 | 器高 | 調整特徴 | 底部技法 | 備考 | 遺物番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 76 12 | 51 1 | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | (94) | | | (70) | 内外ナデ | | | |
| 76 13 | | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | | (83) | 外ナデ | | 外面摩耗 | RP 139 |
| 76 14 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | | (49) | 内ナデ外ヘラナデ | | | RP 397 |
| 76 15 | | 16 13 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | | (110) | 内ナデ外ヘラナデナデ | | 雲母　内焼斑 | RP 318 |
| 76 16 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | | (97) | 内ハケメナデ外ヘラナデハケメ | | 内外焼斑 | RP 424 |
| 76 17 | | | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | | (　) | 内外ナデ | | 外面赤彩 | |
| 76 18 | | | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | 32 | | (67) | | | 海面骨針　内外焼斑　赤彩 | |
| 76 19 | 50 11 | 15 11 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | 35 | | (98) | 内ハケメナデ　内面ヘラケズリ | | 外面赤彩 | |
| 76 20 | | 15 11 12 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | (36) | (87) | 内外ナデ　外部ベンガラ | | 雲母　外面赤彩 | |
| 76 21 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | | (71) | 内ナデ | | | RP 401 |
| 76 22 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | (89) | (79) | 内ナデ外ハケメナデ | | | RP 395 |
| 76 23 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | | (81) | 内ハケメケズリ外ミガキ | | | RP 433 |
| 76 24 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | (129) | 80 | 内ナデ外ミガキ | | 棒状の物を芯に脚部作製 | RP 178 |
| 76 25 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | | (86) | 内ハケメナデ外ミガキハケメ | | | RP 416 |
| 76 26 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | 118 | (50) | 内ハケメナデ外ナデミガキ | | 外焼斑　内外摩耗 | RP 427 |
| 77 1 | | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | (150) | | | (132) | 内ハケメナデ外ハケメミガキ | | 外面摩耗 | RP 279 |
| 77 2 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | (143) | 144 | 内ヘラナデナデハケメ外ナデミガキ | | | |
| 77 3 | | 16 12 13 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | (141) | (126) | 内ハケメナデ外ハケメミガキ　輪積み痕 | | 内面被熱摩耗　外面摩耗 | RP 334 |
| 77 4 | | 14 12 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | | (113) | 内ヘラナデナデ外ナデ | | | |
| 77 5 | | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | (139) | (110) | 外ハケメミガキ | | 外焼斑 | RP 276 |
| 77 6 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | (131) | (93) | 内ヘラナデナデ外ミガキ　脚内部ヘラナデ | | 内外摩耗 | RP 412 |
| 77 7 | | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | (142) | (90) | 内ハケメナデミガキ外ナデミガキ　脚部内側輪積み痕指圧痕 | | 内外焼斑 | RP 275 |
| 77 8 | | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | (160) | (103) | 内ナデ外ナデミガキ　輪積み痕 | | 内焼斑 | RP 275 |
| 77 9 | 50 12 | 21 13 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | | | 内ヘラナデナデ外ミガキ | | | RP 265 |
| 77 10 | | 16 13 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | | (102) | 内ナデ外ミガキ | | 外面摩耗 | RP 339 |
| 77 11 | | 25 17 18 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | (44) | (93) | 内ハケメナデ外ハケメミガキ　輪積み痕 | | | RP 414 |
| 77 12 | 52 4 | 19 13 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | | (81) | 内ヘラナデナデ外ヘラナデ | | 外面摩耗 | RP 293 |
| 78 1 | | 16 11 12 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | 154 | (102) | 内外ハケメナデ輪積み痕 | | 内外摩耗 | RP 336 348 |
| 78 2 | 51 4 | 25 18 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | (160) | (13) | 内ハケメナデ外圧痕ミガキ | | 外焼斑　脚部内側、ナデに布痕有り | |
| 78 3 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | (120) | (82) | 内ヘラナデハケメナデ外ナデ　脚内部ヘラナデ | | 内外焼斑　外面摩耗 | RP 462 |
| 78 4 | | 15 11 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | (160) | (90) | 内ナデハケメ外ミガキ | | | RP 374 |
| 78 5 | | 22 14 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | 140 | | 内ハケメナデ外ハケメナデケズリ | | | RP 168 |
| 78 6 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | 120 | (60) | 内オサエ指圧痕ナデハケメ外ミガキ | | 内焼斑 | |
| 78 7 | 52 3 | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | (179) | | 内ナデハケメ外ハケメミガキ | | 外焼斑赤彩 | RP 276 |
| 78 8 | | 14 11 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | (178) | (23) | 内外ナデ | | | |
| 78 9 | 50 5 | 24 17 | SG 325 | 土師器 | 器台 | | 89 | | (63) | 内ヘラナデナデ外ナデミガキ | | 内外焼斑 | |
| 78 10 | | 23 13 | SG 325 | 土師器 | 器台 | | | | | | | | |
| 78 11 | 50 9 | 21 13 | SG 325 | 土師器 | 器台 | | | 70 | (40) | 内ケズリ外ハケメケズリ | | | |
| 78 12 | | 23 13 | SG 325 | 土師器 | 器台 | | | | | | | 穿孔1カ所残 | |

## 表 15　板橋２遺跡出土土器観察表（11）

| 挿図 | 図版 | グリッド | 遺構番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 胴径 | 底径 | 器高 | 調整特徴 | 底部技法 | 備考 | 遺物番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 78 13 | 51 7 | 22 14 | SG 325 | 土師器 | 器台 | | | | (63) | 内ナデ外ミガキ | | 外面摩耗　半月形竹管状工具で穿孔　穿孔3ヶ所 | |
| 78 14 | 50 8 | 14 11 | SG 325 | 土師器 | 器台 | | | | (36) | 内外ナデ | | 内外摩耗 | |
| 78 15 | | 25 18 | SG 325 | 土師器 | 器台 | | | | (35) | 内外ナデ　指紋 | | 外焼斑　内外摩耗 | |
| 78 16 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 器台 | | | (90) | (48) | 内外ナデ | | | |
| 78 17 | 52 5 | 24 18 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | | | (149) | (41) | 内ナデ外ナデミガキ | | 穿孔３つ残、上４つ下４つ有りか? | |
| 78 18 | 51 9 | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 器台 | | | (188) | (70) | 内ハケメナデ外ミガキ | | 外面摩耗　内面煤　穿孔８ヶ所有り、上段、下段に分かれる | RP 392 |
| 78 19 | | 20 13 14 | SG 325 | 土師器 | 器台 | | | | | 内面 | | 内焼斑 | |
| 78 20 | | 24 18 25 19 | SG 325 | 土師器 | 器台 | (80) | | | (17) | 内ナデ外ハケメナデ | | 内外焼斑 | |
| 78 21 | | 24 18 | SG 325 | 土師器 | 器台 | (90) | | | (12) | 内外ナデ | | 内外焼斑　内外摩耗 | |
| 78 22 | 50 7 | 21 14 | SG 325 | 土師器 | 器台 | 83 | | | (17) | 内外ナデ | | 内焼斑　外面赤彩 | RP 234 |
| 79 1 | 50 3 | 19 13 | SG 325 | 土師器 | 坏 | 138 | | | 53 | 外ヘラナデナデ | 輪台ケズリ丸底 | 赤色鉱物　外焼斑　内外摩耗 | |
| 79 2 | | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 坏 | (140) | | | (55) | 内ミガキ外ハケメナデケズリ | ケズリ丸底 | 内外焼斑 | |
| 79 3 | | 16 13 | SG 325 | 土師器 | 坏 | 135 | | | (48) | 内ナデ外ハケメナデ | | 外焼斑　内面摩耗　高杯か？ | RP 347 |
| 79 4 | | 25 18 | SG 325 | 土師器 | 坏 | | | | | 内カキメ外ナデ | | 内外赤彩 | |
| 79 5 | | 23 13 | SG 325 | 土師器 | 坏 | (150) | | | (63) | 内ナデミガキ外ハケメナデ | ケズリ丸底 | 内焼斑内面ヘラ書き | |
| 79 6 | | 20 13 | SG 325 | 土師器 | 坏 | 142 | | 46 | 48 | 内ミガキ外ナデ | 輪台ケズリ平底 | | RP 281 |
| 79 7 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 坏 | 138 | | | 45 | 内ミガキナデ外ヘラナデ | 輪台ケズリ丸底 | 内外焼斑　外面底部ヘラ書き | |
| 79 8 | | 21 13 | SG 325 | 土師器 | 坏 | (140) | | | 45 | 内外ナデ | ケズリ丸底 | 内外焼斑　内外摩耗 | RP 260 |
| 79 9 | | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 坏 | (189) | | | (62) | 内ハケメ外ナデハケメ | | 内外焼斑　外面煤　高坏か？ | |
| 79 10 | | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 坏 | (160) | | | (53) | | | 外焼斑　内外摩耗 | RP 276 |
| 79 11 | | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 坏 | (145) | | | (40) | | | 内外摩耗 | |
| 79 12 | 50 4 | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 坏 | 140 | | | 46 | 内ナデ外ヘラナデ | ケズリ丸底 | 内外焼斑　内外摩耗 | |
| 79 13 | | 25 17 18 | SG 325 | 土師器 | 坏 | (134) | | | 53 | 内ナデ外ナデケズリ　輪積み痕 | 輪台ケズリ丸底 | 外面煤摩耗 | |
| 79 14 | | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 坏 | (136) | | | (45) | 内ハケメ外ナデ | ケズリ丸底 | 外面煤　内面煤付着物 | RP 451 |
| 79 15 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 坏 | (136) | | | 42 | 内ナデ外ハケメナデ外ナデ | ケズリ丸底 | 外焼斑　外面煤摩耗　内面摩耗 | |
| 79 16 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 坏 | (136) | | 52 | 46 | 内ヘラナデナデ外ハケメナデミガキ | 輪台ケズリ丸底 | | RP 209 |
| 79 17 | | 14 10 | SG 325 | 土師器 | 坏 | (153) | | | (24) | | | 内外焼斑　内外摩耗 | |
| 79 18 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 坏 | (129) | | | (34) | 内ナデ外ミガキナデ | | | RP 209 |
| 79 19 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 坏 | (160) | | | (41) | 内ミガキ外ナデミガキ | | 外焼斑 | RP 427 |
| 79 20 | 50 2 | 25 18 | SG 325 | 土師器 | 坏 | (110) | (118) | (14)？ | 70 | 外ハケメナデ | ケズリ丸底 | 内外煤摩耗 | RP 391 |
| 79 21 | | 25 18 | SG 325 | 土師器 | 坏 | (150) | | | (53) | 内ハケメミガキ外ヘラナデミガキ | ケズリ丸底 | 外面摩耗　内面赤彩摩耗 | |
| 79 22 | | 15 12 | SG 325 | 土師器 | 坏 | (168) | | | (42) | | | 外焼斑　内外摩耗 | RP 328 |
| 79 23 | | 24 17 | SG 325 | 土師器 | 坏 | (148) | | | (39) | 内外ナデ | | 内焼斑 | |
| 79 24 | | 16 12 13 | SG 325 | 土師器 | 坏 | (144) | | | 45 | 内ナデ外ハケメナデ | ケズリ丸底 | | RP 334 |
| 80 1 | 50 1 | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 坏 | (149) | | | 66 | 内ヘラナデ外ヘラナデナデ | ケズリ丸底 | 内外焼斑 | |
| 80 2 | | 14 11 | SG 325 | 土師器 | 坏 | (132) | | 64 | 54 | 内外ナデ | 輪台ケズリ丸底 | 内外焼斑　底部ヘラ書き | RP 327 |
| 80 3 | | 22 15 | SG 325 | 土師器 | 坏 | (144) | | | (71) | 内外ハケメナデ | | 内外摩耗 | RP 206 |
| 80 4 | | 18 13 19 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (200) | | | (54) | 内外ミガキ | | | |
| 80 5 | | 22 13 | SG 325 | 土師器 | 坏 | | | | (31) | 内ナデ外ミガキ | ケズリ丸底 | 雲母　外焼斑　底部ヘラ書き | |
| 80 6 | | 22 14 | SG 325 | 土師器 | 坏 | | | | | 内外ヘラナデ | ケズリ丸底 | 底部ヘラ書き | |
| 80 7 | | 22 14 | SG 325 | 土師器 | 坏 | | | | | 内ハケメ外ハケメケズリ | 輪台ケズリ丸底 | 底部ヘラ書き | |
| 80 8 | | 20 12 | SG 325 | 土師器 | 坏 | | | | | | | 内外摩耗　底部ヘラ書き | |





## 表 16　板橋２遺跡出土土器観察表（12）

| 挿図 | 図版 | グリッド | 遺構番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 胴径 | 底径 | 器高 | 調整特徴 | 底部技法 | 備考 | 遺物番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 80 9 | | 16 12 13 | SG 325 | 土師器 | 坏 | | | | | 外ヘラナデ | ケズリ丸底 | 底部ヘラ書き | RP 334 |
| 80 10 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 坏 | | | | | 外ヘラナデ | ケズリ丸底 | 内外煤　底部ヘラ書き | |
| 80 11 | 42 1 | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 甕 | 146 | 150 | | (110) | 内外ヘラナデナデ | | 内焼斑　外面煤 | |
| 80 12 | 43 1 | 25 18 | SG 325 | 土師器 | 甕 | 124 | 149 | | (100) | 内ミガキ外ハケメミガキ | | 内外被熱煤 | |
| 80 13 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (120) | (114) | | (63) | 内ナデ外ヘラナデナデ | | 外面煤 | RP 397 |
| 80 14 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (150) | | | (46) | 外ハケメナデ | | 内焼斑　外面煤　内面摩耗 | RP 303 |
| 80 15 | | 21 13 | SG 325 | 土師器 | 甕 | 128 | | | (51) | 内外ナデ | | | RP 260 |
| 81 1 | 42 3 | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (177) | (232) | 45 | 275 | 内外ハケメナデ | 輪台ケズリ小平底 | 外面煤付着物 | |
| 81 2 | 42 4 | 24 16 17 | SG 325 | 土師器 | 甕 | 204 | 232 | (46) | (285) | 内外ハケメナデ | ケズリ小平底 | 内外焼斑　外面被熱 | RP 219 250 |
| 81 3 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 甕 | 177 | 206 | | (192) | 内ヘラナデハケメ外ハケメ | | 内外煤 | RP 181 |
| 81 4 | 43 4 | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (120) | (154) | | (156) | 内外ハケメナデ | | 外面煤　外面ハケメ粗と細2種 | RP 441 |
| 81 5 | | 19 12 20 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (138) | (144) | | 84 | 内ハケメナデ外ナデハケメ | | 外焼斑 | RP 350 |
| 81 6 | | 15 12 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (212) | (230) | | (84) | 内外ハケメナデ | | 外面煤 | |
| 82 1 | | 16 13 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (189) | (245) | | (177) | 内外ハケメナデ | | 外面煤 | RP 332 |
| 82 2 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (190) | | | (56) | 内外ハケメナデ | | 内面煤 | RP 182 |
| 82 3 | | 21 13 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (178) | | | (70) | 内ハケメ外ハケメナデ | | 外面煤 | |
| 82 4 | | 14 11 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (164) | (234) | | (112) | 内ヘラナデナデハケメ外ハケメナデ | | 外焼斑 | RP 327 |
| 82 5 | | 14 11 15 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (192) | | | (81) | 内ヘラナデナデ外ハケメナデ　輪積み痕　指紋痕 | | 内外付着物 | |
| 82 6 | 42 5 | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 甕 | 211 | 244 | | 274 | 内外ハケメナデ | ケズリ丸底 | 内焼斑 | RP 180 181 |
| 82 7 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (179) | | | (54) | 内ヘラナデナデ外ハケメナデ | | 内焼斑　外面煤 | RP 367 |
| 82 8 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (400) | | | (125) | 内外ハケメナデ | | 外面煤 | RP 428 |
| 83 1 | 44 3 | 24 17 | SG 325 | 土師器 | 甕 | | 251 | 69 | (258) | 内ハケメナデ外ナデハケメ　継ぎ目痕 | 輪台ケズリ平底 | 外焼斑　外面被熱摩耗 | RP 226 |
| 83 2 | 43 3 | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (164) | | | | 内ヘラナデ外ハケメナデ | | 外面煤 | RP 211 |
| 83 3 | | 25 18 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (170) | | | (46) | 内外ハケメナデ | | 内面煤 | |
| 83 4 | | 21 13 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (165) | | | (85) | 内外ハケメナデ | | 外面摩耗 | |
| 83 5 | | 25 18 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (142) | (176) | | | 内外ハケメナデ | | | |
| 83 6 | | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 甕 | 170 | | | 75 | 内ヘラナデナデ外ハケメナデ | | 内外焼斑 | RP 443 |
| 83 7 | | 24 18 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (222) | | | (67) | 内ナデ外ハケメナデ | | 内外焼斑　外面煤　内面摩耗 | |
| 83 8 | | 22 14 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (169) | | | (40) | 内外ハケメナデ | | 内外煤 | RP 164 |
| 83 9 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (189) | | | (50) | 内ナデ外ナデハケメ | | 外面煤　内面摩耗 | |
| 83 10 | | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 甕 | 199 | 150 | | (129) | 内ナデハケメ外ハケメナデ | | 外面煤 | RP 145 |
| 84 1 | | 21 13 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (140) | (172) | | (131) | 内ハケメ外ハケメナデ | | 外面煤 | RP 261 |
| 84 2 | | 15 11 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (150) | | | (42) | 内ナデ　指圧痕 | | 外面摩耗煤　内面摩耗 | |
| 84 3 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (140) | | | (42) | | | | RP 183 |
| 84 4 | | 22 15 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (160) | | | | 内指圧痕外ハケメナデ | | 内焼斑　外面煤 | RP 205 |
| 84 5 | | 21 12 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (153) | | | | 内ナデ外ハケメナデ | | 外面煤　内面摩耗 | RP 267 |
| 84 6 | | 24 16 25 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (164) | (173) | | 10 | 内ハケメナデ外ハケメ | | 内外赤彩 | RP 250 275 |
| 84 7 | | 21 13 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (152) | (168) | | (102) | 内外ハケメナデ | | 外面煤 | RP 260 |
| 84 8 | | 21 13 | SG 325 | 土師器 | 甕 | 152 | | | (75) | 内ヘラナデナデハケメ外ハケメナデ | | 外焼斑　外面煤 | RP 138 234 |
| 84 9 | | 14 11 15 12 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (249) | | | | 内ミガキ外ハケメナデ | | 外面煤 | |
| 84 10 | | 24 15 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (180) | | | (55) | 内外ハケメナデ | | 外面煤 | RP 252 |
| 84 11 | | 24 15 | SG 325 | 土師器 | 甕 | | | | (73) | 内ハケメナデ外ハケメ | | 外焼斑 | RP 252 |

## 表 17　板橋２遺跡出土土器観察表（13）

| 挿図 | 図版 | グリッド | 遺構番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 胴径 | 底径 | 器高 | 調整特徴 | 底部技法 | 備考 | 遺物番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 84 12 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (158) | | | (55) | 内ナデ外ハケメナデ | | | RP 198 |
| 85 1 | 41 7 | 24 15 | SG 325 | 土師器 | 甕 | 131 | 143 | | (86) | 内外ハケメナデ | | 外面煤 | RP 251 |
| 85 2 | | 21 14 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (160) | (170) | | (84) | 内ハケメ外ハケメナデ | | 外面煤 | RP 135 |
| 85 3 | | 25 18 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (103) | (113) | | (41) | 内ハケメ外ハケメナデ | | 外面被熱摩耗煤内面摩耗 | |
| 85 4 | | 24 15 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (176) | | | (68) | 内ヘラナデナデ外ハケメナデ | | 内外摩耗外面赤彩 | |
| 85 5 | | 24 18 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (106) | | | (53) | 内ハケメ外ナデ | | 内外摩耗 | |
| 85 6 | | 24 18 | SG 325 | 土師器 | 壺 | (128) | | | (33) | 内ミガキ外ハケメナデ | | 外面煤 | |
| 85 7 | | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (150) | | | (44) | 内外ナデハケメ | | | |
| 85 8 | 43 7 | | SG 325 | 土師器 | 甕 | (112) | | | (37) | 内指ナデナデ外ハケメナデ | | 内焼斑 | |
| 85 9 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (180) | | | (40) | 内外ハケメナデ | | 内焼斑 | RP 201 |
| 85 10 | | 24 18 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (129) | (187) | | (68) | 内ヘラナデ外ハケメナデ　輪積み痕 | | 内面付着物 | |
| 85 11 | 41 4 | 24 17<br>25 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (120) | (159) | | (91) | 内ナデ外ハケメナデ　輪積み痕 | | 外面煤摩耗 | RP 212 |
| 85 12 | | 21 13 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (160) | | | (30) | 内ナデ外ナデハケメ | | 外面赤彩摩耗 | |
| 85 13 | | 15 11 | SG 325 | 土師器 | 甕 | | | | (40) | 内ナデ外ハケメ | | | RP 375 |
| 85 14 | | 21 12 | SG 325 | 土師器 | 甕 | | | 58 | | 内ナデ外ハケメナデ | | 外面煤 | RP 267 |
| 85 15 | | | SG 325 | 土師器 | 甕 | | | (60) | (28) | 内ナデ外ハケメ | | 内外摩耗 | |
| 85 16 | 41 6 | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 甕 | | | 87 | (31) | 外ナデ | | 外面被熱 | RP 444 |
| 86 1 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (149) | (198) | | (86) | 内外ハケメナデ | | 外焼斑　外面煤 | |
| 86 2 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (156) | (224) | | (115) | 内ヘラナデナデ外ハケメナデ　輪積み痕 | | 内焼斑　外面摩耗 | RP 324 |
| 86 3 | 44 1 | 18 13<br>19 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (172) | (247) | (74) | 248 | 内外ハケメナデ | 輪台ケズリ平底 | 外焼斑　外面煤 | RP 283<br>288 |
| 86 4 | 43 5 | 19 13 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (116) | (142) | (54) | 150 | 内ハケメナデ外ハケメ | 輪台ケズリ平底 | 外面被熱摩耗煤 | |
| 86 5 | | 24 18 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (110) | | | (40) | 内ハケメナデ外ヘラナデナデハケメ | | 内外摩耗 | |
| 86 6 | | 21 13 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (110) | (120) | | (74) | 内ヘラナデナデ外ハケメナデ | | | |
| 86 7 | | 24 15 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (159) | (150) | | (64) | 内ヘラナデ外ナデハケメ | | 内外焼斑 | |
| 86 8 | | 17 12 | | 土師器 | 甕 | (124) | | | (58) | 内ナデ外ハケメナデ | | 内焼斑　内外摩耗 | RP 345 |
| 86 9 | 43 6 | 17 12 | SG 325 | 土師器 | 甕 | 132 | 134 | | 165 | 内外ヘラナデ | ケズリ丸底 | 外面被熱煤　内面付着物 | RP 345 |
| 86 10 | 42 2 | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 甕 | 116 | 120 | 35 | 113 | 内ハケメ外ハケメケズリ | ケズリ丸底 | 内外焼斑　外面煤　内面付着物 | RP 410 |
| 86 11 | | 16 13 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (130) | (164) | | (102) | 内ヘラナデハケメ外ハケメ　輪積み痕 | | 内外焼斑　内外摩耗 | RP 328<br>346 |
| 87 1 | 45 9 | 24 15 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (181) | (254) | 58 | 252 | 内ナデ外ヘラナデケズリハケメ | 輪台ケズリ平底 | 内外摩耗 | RP 259 |
| 87 2 | 43 8 | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 甕 | 156 | 200 | | (125) | 内ヘラナデナデ外ハケメナデ | | 内外焼斑　外面被熱 | RP 184 |
| 87 3 | | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (153) | (110) | | | 内ヘラナデナデ | | 外焼斑 | |
| 87 4 | | 21 13 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (180) | (243) | | (154) | 内ナデ外ハケメナデ　輪積み痕 | | 外面煤 | |
| 87 5 | | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (152) | (164) | | (66) | 内ハケメナデ外ヘラナデハケメ | | 内外焼斑 | |
| 87 6 | | 21 13 | SG 325 | 土師器 | 甕 | | | | (30) | 内ナデ外ハケメナデ | | 内外摩耗　穿孔有り | RP 260 |
| 87 7 | | 15 12 | SG 325 | 土師器 | 坏 | | | 43 | (21) | 外ハケメ | 輪台ケズリ丸底 | 内外摩耗　底部ヘラ書き | |
| 87 8 | | 23 12 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (160) | | | (35) | 内ナデ外ハケメナデ | | 内外煤 | |
| 87 9 | | 22 14 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (180) | | | (25) | 内ナデ | | 外面摩耗赤彩 | |
| 87 10 | | 22 14 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (160) | | | (21) | 外ハケメミガキ | | 内外赤彩 | |
| 88 1 | 45 8 | 21 14 | SG 325 | 土師器 | 壷 | 185 | | | (85) | 内外ハケメナデミガキ | | 内外焼斑 | RP 237 |
| 88 2 | 45 4 | 22 12 | SG 325 | 土師器 | 壷 | 202 | | | (92) | 内ナデハケメ外ナデ　輪積み痕 | | 内焼斑　内面被熱剥離摩耗付着物　器台に転用か | RP 385 |
| 88 3 | | 22 14 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (160) | | | (85) | 内外ハケメナデ　輪積み痕 | | 内外焼斑 | RP 161 |





## 表 18　板橋２遺跡出土土器観察表（14）

| 挿図 | 図版 | グリッド | 遺構番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 胴径 | 底径 | 器高 | 調整特徴 | 底部技法 | 備考 | 遺物番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 88 4 | | 21 13 | SG 325 | 土師器 | 壷 | | | | | 外ハケメ | | 内外焼斑　内面摩耗剥離 | |
| 88 5 | | 19 13 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (158) | | | | 内ヘラナデハケメ外ナデ | | | RP 289 |
| 88 6 | | 22 13 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (176) | | | (69) | 内外ナデ | | 内焼斑　内外摩耗 | |
| 88 7 | | 22 14 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (143) | (236) | | (204) | 内ヘラナデハケメ外ヘラナデナデハケメ　輪積み痕 | | 内焼斑 | |
| 88 8 | | 22 14<br>15 | SG 325 | 土師器 | 壷 | 134 | | | (89) | 内外ハケメナデ　輪積み痕 | | | RP 205<br>206 |
| 88 9 | 45 3 | 19 13 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (182) | (274) | | (173) | 内ヘラナデ外ヘラナデミガキナデハケメ | | 外焼斑　内面摩耗付着物　外面赤彩 | RP 290 |
| 88 10 | | 15 12 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (170) | | | (79) | 内ヘラナデハケメナデ | | 内外赤彩 | RP 327 |
| 89 1 | 44 2 | 15 12<br>13 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (190) | | 70 | 340 | 内ヘラナデ外ハケメナデミガキ　輪積み痕 | 輪台 | 外焼斑 | |
| 89 2 | | 21 13 | SG 325 | 土師器 | 壷 | 163 | | | | 内外ナデ | | | RP 161 |
| 89 3 | | 21 13 | SG 325 | 土師器 | 壷 | | | | (47) | 外ハケメナデ | | 内外摩耗 | RP 263 |
| 89 4 | | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (151) | (254) | | (190) | 内ヘラナデナデハケメ外ハケメナデミガキ　輪積み痕 | | 外焼斑　内外被熱　内面被熱が激しい　頸部に樹脂の補修痕　器台に転用か | RP 276 |
| 89 5 | 44 5 | 21 13 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (138) | (123) | | (209) | 内ヘラナデハケメ外ヘラナデ | | 外面被熱 | RP 267 |
| 89 6 | | 19 13 | SG 325 | 土師器 | 壷 | | | | | | | 内焼斑 | |
| 89 7 | | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 壷 | | | | | | | 内外摩耗 | |
| 90 1 | 45 7 | 18 13<br>21 | SG 325 | 土師器 | 壷 | 169 | | | (61) | 内ハケメナデ外ヘラナデナデハケメ　口縁部に木目押圧 | | 外焼斑 | RP 261<br>266<br>363 |
| 90 2 | | 24 15 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (184) | | | | 内ミガキ外ミガキナデハケメ　口縁部粘土紐張り付け | | | RP 268 |
| 90 3 | 45 6 | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 壷 | 160 | | | (78) | 外ヘラナデナデハケメ | | 内焼斑　内面摩耗 | RP 305 |
| 90 4 | | 24 18 | SG 325 | 土師器 | 壷 | | | | (37) | 内外ナデ | | 外焼斑　継ぎ目痕 | |
| 90 5 | | 24 18 | SG 325 | 土師器 | 壷 | | | | (39) | 内ヘラナデ外ナデミガキ | | 外焼斑 | |
| 90 6 | | 24 15 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (149) | | | (54) | 内外ヘラナデハケメ | | 内焼斑　内面摩耗 | RP 252<br>280 |
| 90 7 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (166) | | | (66) | 内外ハケメナデ | | 内焼斑 | RP 183 |
| 90 8 | | 24 15 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (163) | | | (59) | 内ナデ外ハケメナデケズリ | | 内外摩耗 | RP 269 |
| 90 9 | | 24 18 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (191) | | | | 外ハケメナデ | | | |
| 90 10 | | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (170) | | | (35) | 内ナデ外指圧ナデ | | | |
| 90 11 | | 25 18<br>19 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (158) | | | (44) | 内ミガキ外ハケメナデ | | 外面口縁部内面赤彩 | |
| 90 12 | 45 10 | 21 15 | SG 325 | 土師器 | 壷 | 157 | | | (55) | 内ハケメナデミガキ外ヘラナデハケメナデ | | 外焼斑　内面摩耗 | |
| 90 13 | | 21 14 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (148) | | | (38) | 内外ハケメナデ | | | RP 232 |
| 90 14 | 44 6 | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 壷 | | (193) | 70 | (124) | 内ヘラナデハケメ外ハケメミガキ | 輪台ケズリ平底 | 内外焼斑 | RP 434 |
| 90 15 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 壷 | | (175) | 60 | (106) | 内ナデ外ハケメナデ | 輪台ケズリ平底 | 外面被熱煤　内面付着物 | |
| 91 1 | 46 2 | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (177) | | | (86) | 内ヘラナデナデ外ヘラナデ | | | |
| 91 2 | 46 1 | 21 14 | SG 325 | 土師器 | 壷 | 132 | | | (88) | 内外ハケメナデ | | 内外焼斑 | RP 137 |
| 91 3 | | 20 13 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (240) | | | (51) | 内外ナデ | | 内外摩耗 | |
| 91 4 | | 15 12 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (199) | | | (69) | 内ナデ外ハケメナデ | | 内外焼斑　内外摩耗 | |
| 91 5 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (139) | | | (34) | 内ナデ　輪積み痕 | | | |
| 91 6 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (189) | | | (81) | 内ヘラナデハケメ外ハケメナデ | | 内外焼斑 | |
| 91 7 | 46 4 | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (112) | | | | 内ハケメ外ハケメナデ | | 内焼斑　内外摩耗　体部穿孔 | |
| 91 8 | 46 6 | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 壷 | | 112 | 30 | (77) | 内ヘラナデ外ミガキ | | 外面赤彩　外焼斑　体部穿孔 | RP 411 |
| 91 9 | | 16 12<br>13 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (159) | (198) | | (242) | 内ヘラナデミガキナデ外ハケメミガキ　輪積み痕 | | 内焼斑　外面赤彩煤 | |

## 表 19　板橋２遺跡出土土器観察表（15）

| 挿図 | 図版 | グリッド | 遺構番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 胴径 | 底径 | 器高 | 調整特徴 | 底部技法 | 備考 | 遺物番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 91 10 | 46 3 | 17 12 13 | SG 325 | 土師器 | 壷 | 106 | | | 155 | | ケズリ丸底 | 内外焼斑　外面摩耗 | RP 315 335 345 |
| 91 11 | 46 5 | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 壷 | 78 | 92 | 20 | 101 | 内ナデ外ハケメナデ　輪積み痕 | ケズリ丸底 | 外面被熱摩耗　内面摩耗 | RP 422 |
| 91 12 | 48 2 | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (82) | (101) | | (73) | 内外ヘラナデナデハケメ | | | RP 313 |
| 92 1 | 47 2 | 17 13 | SG 325 | 土師器 | 壷 | 104 | 122 | 56 | 136 | 内ヘラナデナデ外ヘラナデミガキハケメ | 輪台ケズリ窪み底 | 内外焼斑　外面摩耗　籾痕有り | RP 315 |
| 92 2 | | 18 11 12 13 | SG 325 | 土師器 | 壷 | 106 | | 32 | 55 | 内外ナデ | 輪台ケズリ窪み底 | 外焼斑　外面煤　体部の割れを漆状樹脂で補修 | RP 313 |
| 92 3 | 46 8 | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 壷 | 97 | 140 | 47 | 147 | 内外ナデミガキ | 輪台ケズリ平底 | | RP 270 |
| 92 4 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (153) | | | (103) | 内外ミガキ | | 外面煤 | RP 184 |
| 92 5 | | 21 14 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (158) | | | (94) | 内外ハケメナデミガキ | | 外焼斑 | RP 138 |
| 92 6 | | 20 13 | SG 325 | 土師器 | 壷 | | | | (8) | 内外ハケメナデ | | 外面赤彩煤　内面赤彩 | RP 267 |
| 92 7 | | 24 15 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (119) | | | (98) | 内ナデミガキ外ハケメミガキ | | 外面摩耗 | RP 273 |
| 92 8 | | 24 18 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (110) | | | (103) | 内ヘラナデ外ヘラナデミガキ | | 内外焼斑 | |
| 92 9 | | 24 15 | SG 325 | 土師器 | 壷 | 110 | | | (75) | 内外ナデ | | 外焼斑　内外摩耗 | RP 251 |
| 92 10 | | 14 11 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (76) | | | (23) | | | 内外摩耗 | |
| 92 11 | 47 5 | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 壷 | | | 35 | (95) | 内ヘラナデ外ハケメナデケズリ　輪積み痕 | 輪台ケズリ窪み底 | 内外焼斑　外面被熱摩耗　内面煤　籾痕有り | RP 425 |
| 92 12 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 壷 | | (139) | | | 内ヘラナデナデハケメ外ハケメミガキ　輪積み痕 | 外焼斑 | | RP 199 |
| 92 13 | | 24 17 | SG 325 | 土師器 | 壷 | | 132 | | (98) | 外ヘラナデハケメ　輪積み痕 | ケズリ丸底 | 内外焼斑　外面摩耗　籾痕 | RP 224 |
| 92 14 | 46 7 | 16 13 | SG 325 | 土師器 | 壷 | | 90 | | (64) | 内外ナデ | | 外焼斑 | RP 310 |
| 92 15 | | 20 14 21 22 | SG 325 | 土師器 | 壷 | | | 26 | (45) | 外ミガキ | 輪台ケズリ小平底 | 外焼斑　内外摩耗 | |
| 92 16 | | 21 14 | SG 325 | 土師器 | 壷 | | | 29 | (86) | 内外ミガキ | 輪台ケズリ窪み底 | 外焼斑 | RP 134 |
| 92 17 | | 15 10 11 | SG 325 | 土師器 | 壷 | | (89) | | (48) | 内ヘラナデオサエケズリ外ヘラナデ | ケズリ丸底 | 内外焼斑　外面摩耗 | |
| 93 1 | 49 13 | 25 18 | SG 325 | 土師器 | 有孔鉢 | 165 | | 45 | 80 | 内ナデ外ハケメナデ | | 内外焼斑　内面付着物 | |
| 93 2 | 49 14 | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 有孔鉢 | (174) | | 38 | 95 | 内外ヘラナデハケメ | | 内焼斑 | RP 193 |
| 93 3 | | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (180) | | (74) | (95) | 内ヘラナデ指痕ハケメ外ヘラナデハケメ | | 外焼斑 | RP 145 |
| 93 4 | | 24 18 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (159) | | | (76) | 内ヘラナデハケメ外ヘラナデ | | 内外付着物 | |
| 93 5 | | 15 12 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | | | | | | ケズリ丸底 | | |
| 93 6 | | 24 15 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (180) | | | (61) | 内外ナデ | | 内外摩耗 | RP 274 |
| 93 7 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (160) | | | (45) | 内ナデ外ハケメナデ | | | RP 211 |
| 93 8 | | 24 15 | SG 325 | 土師器 | 有孔鉢 | | | (42) | (71) | 内外ナデ | | | RP 274 |
| 93 9 | 49 15 | 15 12 | SG 325 | 土師器 | 有孔鉢 | | | 23 | (82) | 内ヘラナデ指ナデハケメ外ナデハケメ | | 籾痕 | RP 375 377 |
| 93 10 | | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (130) | (80) | | (56) | | ケズリ丸底 | 内外焼斑　内外摩耗 | |
| 93 11 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (110) | (60) | | (48) | 内ナデ外ミガキ | | 内焼斑　内面黒色化 | |
| 93 12 | | 14 10 11 12 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (100) | | | (58) | 内ナデ外ハケメナデ | | 内外焼斑　内面赤彩 | |
| 93 13 | 48 10 | 24 17 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (102) | (85) | (35) | 78 | 内ナデ外ハケメナデ | | 内焼斑 | RP 214 |
| 93 14 | 48 11 | 21 13 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | | | | | 内外ナデ | | 雲母　内外赤彩 | |
| 93 15 | 48 1 | 25 18 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | | (98) | | (50) | 内ナデ外ヘラナデナデ | | 外焼斑 | RP 300 |
| 93 16 | 48 14 | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | 92 | 96 | | 70 | 内ナデ外ハケメナデミガキ | ケズリ丸底 | 内焼斑　内面付着物 | RP 143 |
| 93 17 | | 22 15 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (110) | | | (37) | 内ハケメ外ハケメナデ | | 外面煤 | RP 222 |
| 93 18 | 48 3 | 21 14 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | | | | (40) | 内外ナデ | ケズリ丸底 | 外面摩耗 | RP 136 |





## 表 20　板橋２遺跡出土土器観察表（16）

| 挿図 | 図版 | グリッド | 遺構番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 胴径 | 底径 | 器高 | 調整特徴 | 底部技法 | 備考 | 遺物番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 93 19 | | 17 12 13 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | | | | | 内外ナデ | | 外焼斑　内外赤彩 | |
| 93 20 | | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | | | | | 内外ナデ | | 外面煤　内面摩耗　内外赤彩 | |
| 94 1 | | 21 13 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (112) | (115) | 34 | (100) | 内ナデ外ハケメナデ | 輪台ケズリ窪み底 | 内焼斑 | RP 162 |
| 94 2 | | | SG 325 | 土師器 | 壷 | | (129) | (30) | (75) | 内外ナデ | 輪台ケズリ窪み底 | 外焼斑　外面摩耗 | |
| 94 3 | 47 4 | 24 18 | SG 325 | 土師器 | 壷 | (129) | | | (67) | 内ミガキ外ヘラナデミガキ | | 内外煤 | RP 303 |
| 94 4 | 48 8 | 16 12 13 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | 219 | 196 | 42 | 121 | 内ミガキ外ハケメミガキ | 輪台ケズリ窪み底 | 内外焼斑　外面被熱煤 | RP 333 |
| 94 5 | | 24 17 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (230) | | | (102) | 内外ヘラナデ | | | RP 183 |
| 94 6 | | 21 14 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (320) | (289) | | | 内ヘラナデハケメ外ハケメナデ | | 内焼斑 | RP 239 |
| 94 7 | | 19 12 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (126) | | | (50) | 内外ナデ | | 外面摩耗煤　内面摩耗 | |
| 94 8 | | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (100) | (101) | | (39) | 内外ナデ | | 内外摩耗 | |
| 94 9 | | 17 12 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (160) | (148) | | (53) | 外ナデ | | 外焼斑　内外摩耗 | RP 337 |
| 94 10 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (140) | (121) | | (47) | 内ナデ外ヘラナデナデミガキ | | 内焼斑　内面煤 | RP 367 |
| 94 11 | 41 9 | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (118) | (134) | | (81) | 内ヘラナデナデ外ヘラナデナデハケメ | | 外面煤 | RP 367 |
| 94 12 | | 24 18 25 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (97) | (109) | | (84) | 内ヘラナデナデ外ハケメナデ | | 外面煤 | |
| 94 13 | 48 7 | 15 12 16 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | 140 | | | 61 | 内ハケメヘラナデ外ヘラナデタタキハケメ | 輪台ケズリ窪み底 | 外焼斑 | RP 333 |
| 94 14 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (139) | (115) | (38) | 58 | 内ナデハケメ外ヘラナデハケメ　輪積み痕 | | 内外焼斑　内外摩耗 | RP 302 |
| 94 15 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (122) | | (52) | (59) | 内ミガキ外ハケメミガキ | ケズリ丸底 | | RP 301 |
| 95 1 | 48 5 | 21 12 13 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | 144 | 109 | | 67 | | ケズリ丸底 | 内外赤彩 | RP 261 267 |
| 95 2 | 48 12 | 25 18 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (130) | | (33) | 56 | 内ハケメナデ外ハケメナデケズリ | 輪台ケズリ丸底 | 内外焼斑　外面被熱　内面煤 | RP 414 |
| 95 3 | | 21 14 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (154) | | | (67) | 内外ナデミガキ | | 内外摩耗 | RP 134 |
| 95 4 | 48 4 | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (156) | | | (52) | 外ハケメナデ | ケズリ丸底 | 内外赤彩　摩耗煤　内面摩耗煤 | |
| 95 5 | 48 6 | 24 17 25 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (130) | (112) | (18) | 54 | 内ナデハケメ外ヘラナデハケメ | 平底ケズリ押圧窪み底 | 内外赤彩 | RP 214 |
| 95 6 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (136) | (121) | | (47) | 内ナデ外ハケメナデミガキ　指紋　輪積み痕 | | 外面赤彩摩耗煤　内面赤彩摩耗付着物 | |
| 95 7 | | 24 15 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (228) | (206) | | (90) | 外ハケメナデ　輪積み痕 | | 内外焼斑　内外摩耗 | |
| 95 8 | | 21 13 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | 130 | 101 | | (43) | 内指痕ナデ外ナデ | | | RP 261 |
| 95 9 | | 21 14 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (129) | | | (33) | 外ナデ | | 雲母　外面赤彩 | |
| 95 10 | 48 9 | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | (189) | | 48 | (58) | 内ヘラナデナデ外ヘラナデハケメ | ケズリ小平底 | 内外焼斑　外面被熱 | RP 393 |
| 95 11 | 49 12 | 21 14 | SG 325 | 土師器 | 鉢 | 86 | 79 | 27 | 52 | 内ナデ外ハケメ | ケズリ小平底 | 外焼斑 | RP 133 |
| 95 12 | 47 6 | 15 11 12 | SG 325 | 土師器 | 手づくね | (68) | 68 | 32 | 68 | 内外ハケメナデ | | 内焼斑 | RP 373 |
| 95 13 | | 24 17 | SG 325 | 土師器 | 手づくね | (70) | (72) | | (35) | 内指圧痕ナデ | | 外焼斑 | RP 220 |
| 95 14 | 49 2 | 24 17 | SG 325 | 土師器 | 手づくね | (58) | (60) | (38) | 55 | 内外ナデ | | | RP 176 |
| 95 15 | | 21 13 | SG 325 | 土師器 | 手づくね | (46) | (63) | | (37) | 内指頭圧痕 | 内焼斑 | 外面摩耗 | RP 160 |
| 95 16 | 49 7 | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 手づくね | 61 | 60 | 41 | 42 | 内ナデ外ヘラナデナデ | | 内外焼斑 | RP 179 |
| 95 17 | | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 手づくね | | | 45 | (68) | 内指頭圧痕　ナデ外ハケメナデ | 輪台ケズリ平底 | 外焼斑 | |
| 95 18 | | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 手づくね | | (68) | 30 | 50 | 内ナデ外ミガキ | | 外焼斑 | RP 144 |
| 95 19 | | 25 18 | SG 325 | 土師器 | 手づくね | | (64) | (56) | (37) | 内指ナデナデ　輪積み痕 | | 外面煤 | |
| 95 20 | 49 5 | 24 16 | SG 325 | 土師器 | 手づくね | (60) | 62 | 26 | (29) | 内外ナデ | ケズリ押圧窪み | 内焼斑 | |
| 95 21 | | | SG 325 | 土師器 | 手づくね | | | 38 | (25) | 内外ハケメ | | | RP 239 |
| 95 22 | | 14 10 11 12 | SG 325 | 土師器 | 手づくね | | (63) | (40) | (44) | 内ナデ外ハケメナデ | 輪台ケズリ小平底 | 内外焼斑 | |

## 表 21　板橋２遺跡出土土器観察表（17）

| 挿図 | 図版 | グリッド | 遺構番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 胴径 | 底径 | 器高 | 調整特徴 | 底部技法 | 備考 | 遺物番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 95 23 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 手づくね | | 56 | 20 | | 内ナデ外ハケメケズリ | ケズリ小平底 | 外焼斑 | |
| 95 24 | 49 10 | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 手づくね | 52 | | 29 | 44 | 内外ナデ | | 内外焼斑 | RP 230 |
| 95 25 | | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 手づくね | (53) | | (28) | | 内ナデ外ナデケズリ　内面強い指圧痕 | | 外焼斑 | RP 140 |
| 95 26 | | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 手づくね | (53) | | (27) | (49) | 内外ナデ | | 内焼斑　外面煤 | |
| 95 27 | | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 手づくね | 55 | 57 | 27 | (51) | 内外ナデ | | 外焼斑 | RP 323 |
| 95 28 | | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 手づくね | (54) | | 26 | 43 | 内ナデ外指ナデ | | 外焼斑 | RP 242 |
| 95 29 | 49 9 | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 手づくね | 53 | | | 42 | 内外指圧痕 | | 内外焼斑 | RP 142 |
| 95 30 | | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 手づくね | | | (36) | (32) | | | | |
| 95 31 | | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 手づくね | | | (35) | (25) | 外指痕ナデ | | | |
| 95 32 | 49 11 | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 手づくね | (50) | | (35) | (42) | 内外ナデ | | 外面摩耗 | |
| 95 33 | 49 6 | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 手づくね | 44 | | 28 | 41 | | | 外焼斑 | |
| 95 34 | | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 手づくね | (50) | | | (34) | 内外ナデ | | | |
| 95 35 | | 24 17 | SG 325 | 土師器 | 手づくね | 46 | | 40 | 24 | 内外ナデ | | 外焼斑 | RP 200 |
| 109 4 | | 25 17 | SG 325 | 土製品 | 器台 | | | | (78) | | | | RP 212 |
| 109 5 | 53 6 | 14 11 | SG 325 | 土製品 | 不明 | 28 | 35 | | 30 | | | ふいごの羽口か | |
| 109 6 | 53 1 | | SG 325 | 土師器 | 土垂 | | 25 | | 27 | | | 外焼斑 | |
| 109 7 | 53 2 | 21 14 | SG 325 | 土師器 | 土垂 | | 24 | | 27 | | | | RP 232 |
| 109 8 | 49 3<br>53 4 | 24 17 | SG 325 | 石製品 | 勾玉 | | | | 32 | | | 石製模造品。RP176、RQ408と出土 | RQ 409 |
| 109 9 | 49 1<br>53 3 | 24 17 | SG 325 | 石製品 | 臼玉 | 4 | 3 | | | | | 24個　RP176、RQ409と出土 | RQ 408 |
| 110 1 | | 20 12 | SG 325 | 須恵器 | 鉢 | (300) | | | (49) | 内外ナデ | | | |
| 110 2 | 54 6 | 24 17 | SG 325 | 須恵器 | 坏 | (142) | | (97) | 33 | 内外ナデ | 篦切 | 内面付着物　底部墨書「丹人」? | RP 218 |
| 110 3 | 54 4 | 24 17 | SG 325 | 須恵器 | 坏 | 119 | | 84 | 32 | 内外ナデ | 篦切 | 口縁内部に煤状付着物 | RP 187 |
| 110 5 | 54 9 | | X－O | 陶器 | 平わん | | | | | | | 瀬戸 | |
| 111 1 | 24 1 | 20 20 | | 縄文 | 深鉢 | | | | 158 | 隆帯刺突条線LRL押圧　4単位大波状 | | 大木８a | RP 555 |
| 111 2 | 25 8 | 21 19 | | 縄文 | 深鉢 | 204 | | | (100) | 刺突紋隆帯沈線紋刻目LR結節縄 | | 大木7b | |
| 111 3 | 25 29 | 20 20 | | 縄文 | 深鉢 | | | | | 交互刺突紋沈線紋刻目押圧　小波状 | | 大木８a | |
| 111 4 | | 17 26 | | 縄文 | 深鉢 | | | | (97) | 口縁部刺突紋LR押圧紋沈線紋 | | 大木８a | RP 586 |
| 111 5 | 25 24 | 20 20 | | 縄文 | 鉢 | | | | | | | 口縁装飾部分　大木7b | |
| 111 6 | 25 48 | 22 20 | | 縄文 | 深鉢 | | | | | 交互刺突紋半截竹管 | | 大木7b | |
| 111 7 | 26 8 | 22 19 | | 縄文 | 深鉢 | | | | | RL・隆帯にLRL押圧　大波状 | | 大木7b | |
| 111 8 | 25 9 | 21 19 | | 縄文 | 深鉢 | | | | | 隆帯沈線紋 | | 内外被熱摩耗　大木7b | RP 563 |
| 111 9 | 25 4 | 19 21 | | 縄文 | 深鉢 | | | | | 口縁部沈線条線紋 | | 内面付着物　大木7b | |
| 111 10 | 25 12 | 21 19 | | 縄文 | 深鉢 | | | | | 瘤状突起　大波状口縁 | | 内外摩耗　大木7b | |
| 111 11 | 25 2 | 19 20 | | 縄文 | 深鉢 | | | | (42) | 口縁部隆帯 | | 内外被熱摩耗煤　大木7b | |
| 111 12 | 25 14 | 21 19 | | 縄文 | 深鉢 | | | | | 口縁部沈線紋 | | 外被熱　大木7b | |
| 111 13 | 25 52 | 22 19 | | 縄文 | 深鉢 | | | | | 粘土粒貼付沈線刺突 | | 内外被熱摩耗　大木7b | |
| 111 14 | 25 49 | 23 19 | | 縄文 | 深鉢 | | | | | 刻目竹管円形刺突紋 | | 内外磨耗　大木7b | RP 558 |
| 111 15 | 25 51 | 22 19 | | 縄文 | 深鉢 | | | | | 刻目 | | 内外被熱磨耗　大木7b | |
| 111 16 | 25 13 | 21 20 | | 縄文 | 深鉢 | | | | | 小波状口縁 | | 外面被熱　大木7b | |
| 112 1 | 24 4 | 23 19 | | 縄文 | 深鉢 | | | | (169) | 粘土紐交互押圧刺突紋刻目 | | 内外焼斑　内外摩耗　大木7b | RP 558 |
| 112 2 | 25 27 | A区 | | 縄文 | 深鉢 | | | | | 口縁部刺突紋沈線紋 | | 内焼斑　内外磨耗　大木7b | RP 555 |
| 112 3 | 25 11 | 21 20 | | 縄文 | 鉢 | | | | (28) | 口縁部沈線紋 | | 外焼斑　大木7b | |
| 112 4 | 26 10 | 22 19 | | 縄文 | 深鉢 | | | | | 刺突紋 | | 内外被熱磨耗　大木7b | RP 556 |
| 112 5 | 24 5 | 23 20 | | 縄文 | 深鉢 | | | | (125) | 半截竹管弧状紋円形粘土貼付交互刺突LR操縄り縄 | | 内焼斑　外面摩耗　大木7b | |





## 表 22　板橋２遺跡出土土器観察表（18）

| 挿図 | 図版 | グリッド | 遺構番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 胴径 | 底径 | 器高 | 調整特徴 | 底部技法 | 備考 | 遺物番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 112 6 | 25 53 | 22 20 | | 縄文 | 深鉢 | | | | | 粘土貼付竹管平行沈線 | | 外面被熱　大木7b　土製円盤転用 | RP 562 |
| 112 7 | 26 6 | 19 20 | | 縄文 | 深鉢 | | | | (49) | 交互刺突紋押圧 | | 外焼斑　大木7b | |
| 112 8 | 24 3 | A区 | | 縄文 | 深鉢 | | | | | 瘤刺突紋沈線紋 | | 内焼斑　大木7ｂ | |
| 112 9 | 26 13 | 22 19 | | 縄文 | 深鉢 | | | | | 沈線紋刺突紋LR | | 内外被熱摩耗　大木7b | RP 556 |
| 112 10 | 25 55 | 22 19 | | 縄文 | 深鉢 | | | | (36) | 沈線紋 | | 内面付着物　大木7b | |
| 113 1 | 25 18 | 20 20 | | 縄文 | 深鉢 | | | | (77) | 沈線紋LR縦 | | 大木8a第113図2と同一個体 | RP 555 |
| 113 2 | 25 17 | 20 20 | | 縄文 | 深鉢 | | | | | 沈線紋 | | 大木8a　第113図1と同一個体 | RP 555 |
| 113 3 | 24 6 | 23 19 | | 縄文 | 深鉢 | 312 | | | (227) | | | 内外焼斑　外面被熱煤内面付着物　後期 | RP 558 |
| 113 4 | 23 1 | 22 20 | | 縄文 | 深鉢 | (194) | (204) | | (258) | 外ナデ | | 外面被熱　内面摩耗付着物 | RP 562 |
| 113 5 | | 17 25 | | 縄文 | 深鉢 | | | 142 | (44) | 縄LR | 平底 | 内外摩耗　中期 | RP 585 |
| 113 6 | | 19 21 | | 縄文 | 深鉢 | | | (120) | | | | 雲母　中期 | |
| 113 7 | 24 7 | 22 18 | | 縄文 | 深鉢 | | | 56 | (13) | | | 外焼斑　内面摩耗 | |
| 114 1 | 23 6 | 23 20 | | 縄文 | 深鉢 | 360 | | | (145) | 口縁部押圧波状紋LR | | 外面煤　晩期 | |
| 114 2 | 23 5 | 14 13<br>15 | | 縄文 | 鉢 | 279 | | | 188 | 口縁部刺突紋押圧紋沈線紋 | | 内外付着物　晩期 | RP 44 |
| 114 3 | 23 2 | 22 22 | SK 957 | 縄文 | 深鉢 | 205 | 203 | 60 | 220 | LR横 | | 内外焼斑　外面被熱煤摩耗付着物　内面摩耗付着物　晩期 | RP 588 |
| 115 1 | 24 2 | 21 20 | | 縄文 | 鉢 | (322) | | | (16) | LR | | 内外焼斑　晩期 | |
| 115 2 | | 14 17 | | 縄文 | 鉢 | | | | | LR | | 外焼斑　晩期 | RP 52 |
| 115 3 | 24 8 | 13 14 | | 縄文 | 浅鉢 | | | | | 口縁部平行沈線紋LR | | 外面付着物　補修孔2つ　晩期 | |
| 115 4 | 25 60 | 22 19<br>23 20 | | 縄文 | 鉢 | | | | (85) | LR | | 海綿骨針　晩期 | |
| 115 5 | 25 28 | 20 20 | | 縄文 | 鉢 | | | | | L | | 内外摩耗　後期 | RP 555 |
| 115 6 | 25 56 | 14 16 | | 縄文 | 鉢 | | | | (60) | 波状口縁LR | | 海綿骨針　外面被熱付着物　晩期 | |
| 115 7 | | 14 16 | | 縄文 | 鉢 | | | | | LR結節 | | 海綿骨針　外面煤　晩期 | |
| 115 8 | | 17 21 | | 縄文 | 鉢 | | | | (80) | 口縁部刻目沈線紋 | | 雲母　内焼斑　後期　加曽利B?　第115図10と同一個体 | |
| 115 9 | 25 6 | 19 19 | | 縄文 | 鉢 | | | | | 口縁部隆帯小波状 | | 海綿骨針　内面被熱付着物 | |
| 115 10 | | 17 21 | | 縄文 | 鉢 | | | | | 口縁部刻目沈線紋 | | 雲母　内焼斑　内面付着物　後期　加曽利B　第115図８と同一個体 | |
| 115 11 | 25 5 | 19 20 | | 縄文 | 壷 | | | | (46) | 隆帯押圧 | | 内面付着物　外面煤 | |
| 115 12 | 25 26 | 20 20 | | 縄文 | 深鉢 | | | | | 沈線紋 | | 内面付着物　後期 | |
| 115 13 | 25 3 | 19 20 | | 縄文 | 鉢 | | | | (36) | 口縁部刺突紋 | | 内面付着物　後期 | |
| 115 14 | 26 3 | 19 21 | | 縄文 | 深鉢 | | | | | RL結節 | | 海綿骨針　外面被熱　後期 | |
| 115 15 | 25 58<br>57 | 14 15<br>15 | | 縄文 | 壷 | | | | (41) | 連続押圧沈線紋<br>RL・LR羽状縄文 | | 後期 | |
| 115 16 | 25 16 | 20 19 | | 縄文 | 鉢 | | | | (38) | | | 外面煤 | |
| 115 17 | 25 54 | 22 19 | | 縄文 | 深鉢 | | | | (22) | | | 内面摩耗付着物　穿孔有 | |
| 115 18 | 26 17 | 19 19 | | 縄文 | 玦状耳飾 | | | (42) | 12 | | | | |
| 115 19 | 26 16 | 19 19 | | 縄文 | 玦状耳飾 | | (40) | | (9) | | | | |
| 118 1 | | 17 14 | | 縄文 | 鉢 | | | | (39) | 撚り糸紋R横沈線 | | 後期 | |
| 118 2 | 26 52 | 20 20 | | 石製品 | 凹石 | | 巾83 | | 長さ114 | | | 刷り石転用 | |
| 118 3 | 26 53 | 23 20 | | 石製品 | 凹石 | | 巾87 | | 長さ111 | | | | RQ 593 |
| 118 4 | 26 51 | | X－O | 石製品 | 凹石 | | 巾62 | | 長さ101 | | | | |
| 118 5 | 26 49 | | X－O | 石製品 | 磨製石斧 | | 巾35 | | 長さ93 | | | 石斧から砥石への転用か? | |
| 118 6 | 26 48 | 20 20 | | 石製品 | 磨製石斧 | | 巾13 | | 長さ32 | | | 破片 | |
| 119 1 | 51 8 | 14 18 | | 土師器 | 高坏 | (144) | (160) | (121) | 169 | 外ヘラナデナデ | | 外焼斑　内外摩耗 | RP 78 |

## 表 23　板橋２遺跡出土土器観察表（19）

| 挿図 | 図版 | グリッド | 遺構番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 胴径 | 底径 | 器高 | 調整特徴 | 底部技法 | 備考 | 遺物番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 119 2 | | 17 13 | | 土師器 | 高坏 | (155) | | (105) | (142) | 内ナデミガキ外ミガキナデ | | 外面被熱 | RP 320 |
| 119 3 | 38 7 | | SD 888<br>SK 764 | 土師器 | 高坏 | (132) | (138) | | (65) | | | 内外焼斑　内外摩耗 | RP 500<br>577 |
| 119 4 | | 17 12 | | 土師器 | 高坏 | (149) | | | (40) | 内ナデ外ミガキ | | 外焼斑 | RP 347 |
| 119 5 | | 17 12 | | 土師器 | 高坏 | 174 | | | | 内ハケメナデ外ハケメナデミガキ | | 外焼斑　内外焼斑 | RP 337 |
| 119 6 | | | X　O | 土師器 | 高坏 | | | (171) | (117) | 内ヘラナデ外ミガキ　脚内部ヘラナデ | | 内外摩耗 | |
| 119 7 | | 17 13 | | 土師器 | 高坏 | | | 115 | (97) | 外ハケメミガキ　輪積み痕 | | | RP 319 |
| 119 8 | | 14 18 | | 土師器 | 高坏 | | | 126 | | | | 外面摩耗 | RP 2 |
| 119 9 | | 16 13 | | 土師器 | 高坏 | | | (152) | (88) | | | 内外摩耗 | RP 360 |
| 119 10 | | 16 13 | | 土師器 | 高坏 | | | | (81) | 輪積み痕 | | 脚部、杯部に漆状の樹脂で補修痕 | RP 383 |
| 119 11 | | 13 14<br>14 | | 土師器 | 高坏 | | | | (27) | | | 内外摩耗 | |
| 119 12 | | 16 13 | | 土師器 | 高坏 | | | | | 内ナデ | | 外焼斑　外面摩耗 | RP 361 |
| 119 13 | 51 6 | 16 13 | | 土師器 | 高坏 | | | 104 | (68) | 内ナデ外ハケメミガキ | | | RP 362 |
| 119 14 | | 15 18 | | 土師器 | 高坏 | | | (120) | | 外ミガキ | | 内焼斑 | |
| 119 15 | | 17 12 | | 土師器 | 高坏 | | | 90 | (69) | 内外ハケメミガキ | | 内外焼斑 | RP 345 |
| 119 16 | | 17 12 | | 土師器 | 坏 | 142 | | | 53 | | ケズリ丸底 | 外焼斑　内面摩耗 | RP 347 |
| 119 17 | | 14 19 | | 土師器 | 器台 | | | | (10) | 内ケズリ外ミガキ　ケズリ | | | |
| 119 18 | | 17 23 | | 土師器 | 蓋 | | | | (27) | 外ハケメ | | | |
| 120 1 | 42 6 | 14 18 | | 土師器 | 甕 | 216 | 235 | | 271 | 内ヘラナデハケメナデ外ハケメナデ | ケズリ丸底 | 内外焼斑　外面被熱摩耗煤　内面煤 | RP 76 |
| 120 2 | 41 5 | 14 18 | | 土師器 | 甕 | (188) | (222) | 52 | 254 | 内外ヘラナデ | 輪台ケズリ小平底 | 雲母　内外焼斑　外面煤　内面付着物 | RP 53 |
| 120 3 | | 17 16 | | 土師器 | 甕 | (170) | | | (62) | 内ナデ外ハケメ | | 内面摩耗付着物 | |
| 120 4 | | 16 12 | | 土師器 | 甕 | (190) | | | (48) | 内外ハケメナデ | | 外面煤 | RP 365 |
| 120 5 | | 17 14 | | 土師器 | 甕 | (180) | | | (23) | 内外ナデ | | 外面煤　S字状口縁 | |
| 120 6 | | 15 13 | | 土師器 | 甕 | (160) | | | (33) | 内外ハケメナデ | | 内外煤 | |
| 120 7 | | 15 18 | | 土師器 | 甕 | (110) | (124) | | (56) | 内外ハケメナデ　輪積み痕　指頭圧 | | 外面煤 | |
| 120 8 | | 14 18 | | 土師器 | 甕 | | 239 | 54 | (190) | 内ヘラナデハケメ外ハケメ | 輪台ケズリ小平底 | 内焼斑　外面煤 | RP 53 |
| 121 1 | 44 4 | 13 15<br>14 | | 土師器 | 壷 | 235 | 453 | (123) | 521 | 内外ハケメナデヘラナデ | ケズリ平底 | 外焼斑 | RP 49 |
| 122 1 | 45 5 | 14 14<br>15 | | 土師器 | 壷 | 166 | | | (79) | 内ナデ外ハケメナデ　頸部隆帯 | | 内外焼斑　内外赤色顔料塗布 | |
| 122 2 | | 18 16 | | 土師器 | 壷 | (148) | | | (66) | 内ナデ外ナデハケメ　輪積み痕 | | | |
| 122 3 | | 18 16 | | 土師器 | 壷 | | | (98) | (54) | 内ハケメ外ハケメミガキ | 輪台ケズリ平底 | 外焼斑　外面摩耗 | |
| 122 4 | 47 3 | 14 16 | | 土師器 | 壷 | 131 | 156 | 29 | 188 | 内ハケメナデ外ナデ | ケズリ充填窪み底 | 外焼斑　内外赤色顔料塗布 | RP 1 |
| 122 5 | 47 1 | 14 15<br>15 | | 土師器 | 壷 | (114) | 138 | 65 | (146) | 内ナデ外ナデハケメ | 輪台ケズリ平底 | 内外焼斑 | RP 48 |
| 122 6 | | 14 18 | | 土師器 | 壷 | | | (14) | | 内ナデ外ハケメナデ | 輪台ケズリ窪み底 | 内外焼斑　内外赤色顔料塗布 | RP 53 |
| 122 7 | | 14 18 | | 土師器 | 鉢 | (230) | (199) | | | 内ナデ外ハケメナデ | | 内焼斑　外面被熱煤 | RP 53 |
| 122 8 | 48 13 | 14 18 | | 土師器 | 鉢 | (140) | (138) | (46) | 95 | 内外ナデ | 輪台ケズリ丸底 | 雲母　外面被熱煤　内面付着物 | RP 78 |
| 122 9 | | 16 13 | | 土師器 | 壷 | (109) | | | (49) | 内ナデ外ナデハケメ | | | |
| 122 10 | | 12 16 | | 土師器 | 鉢 | (152) | | | (34) | 内ナデ外ナデミガキ | | 内外赤彩 | |
| 122 11 | | 19 14 | | 土師器 | 手づくね | 66 | 74 | 30 | 44 | 外ハケメナデ | 輪台ケズリ窪み底 | 外焼斑 | RP 175 |
| 122 12 | 49 8 | 16 13 | | 土師器 | 手づくね | (55) | (54) | 38 | (53) | 内ナデハケメ外ナデ | | 外焼斑 | RP 355 |
| 122 13 | 49 4 | 16 13 | | 土師器 | 手づくね | 45 | | 28 | 38 | 内外ナデ | | 外焼斑 | RP 340 |
| 122 14 | | 13 13<br>14 | | 土師器 | 手づくね | (60) | | 25 | 40 | 外ナデ | ケズリ小平底 | | |
| 123 1 | 54 7 | 14 47<br>15 48 | | 須恵器 | 坏 | 142 | | 60 | 40 | 内外ナデ | 回転糸切 | 墨書「方」 | |





## 表 24　板橋２遺跡出土土器観察表（20）

| 挿図 | 図版 | グリッド | 遺構番号 | 種別 | 器種 | 口径 | 胴径 | 底径 | 器高 | 調整特徴 | 底部技法 | 備考 | 遺物番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 123 2 | | 17 22 | | 須恵器 | 蓋 | (138) | | | (20) | | | | |
| 123 3 | | 15 47 | | 土師器 | 坏 | | | (50) | (26) | 内外ナデ | 回転糸切 | | |
| 123 4 | 53 8 | 14 26 | | 土師器 | 三足鉢 | | | | 124 | 外ヘラナデ　底部指痕 | | 外焼斑　中空、三脚の一本 | |
| 123 5 | | 16 24 | | 土師器 | 土垂 | | 22 | | 29 | | | | |
| 123 6 | | | X　O | 土製品 | 紡錘車 | | 巾31 | | 高さ 12 | | | | |
| | 14 4 | 17 22 | | 石製品 | スリ石 | 長さ 152 | 巾66 | | 高さ 60 | | | 擦痕 | |
| | 14 3 | 17 22 | | 石製品 | 凹石 | 長さ 120 | 巾50 | | 高さ 50 | | | 敲打痕　下に凹み有,たたき石としても使用 | RQ 19 |
| | 25 57 | 14 15 | | 縄文 | | | | | (42) | | | 第115図15と同一個体 | |
| | 25 1 | 19 20 | | 縄文 | 鉢 | | | | (38) | 区画内RL | | 中期 | |
| | 25 7 | 19 19 | | 縄文 | 深鉢 | | | | | 平行沈線 | | 大木8 | |
| | 25 59 | 22 20 | | 縄文 | 鉢 | | | | (23) | 装飾部に刺突紋、沈線紋 | | 大木7 | |
| | 25 15 | 21 19 | | 縄文 | 鉢 | | | | | 隆帯 | | 内外磨耗　大木7 | RP 563 |
| | 25 10 | 21 19 | | 縄文 | 鉢 | | | | | 隆帯押圧 | | 内外磨耗　大木7 | RP 563 |
| | 25 45 | | ST 227 | 縄文 | 壷 | (156) | | | (41) | | | 内外摩耗 | |
| | 25 50 | 22 18 | | 縄文 | 鉢 | (140) | | | (41) | | | 内外摩耗　大木７ | |
| | 26 4 | 19 19 | | 土師器 | 甕 | | | | (39) | 沈線 | | 大木7 | |
| | 26 1 | 19 19 | | 縄文 | 深鉢 | | | | (42) | 刻み目 | | 内外被熱磨耗　内面に付着物　大木7 | |
| | 26 2 | 19 19 | | 土師器 | 甕 | | | | (32) | 刻み目 | | 外面被熱　内面に付着物　大木7 | |
| | 26 5 | 19 19 | | 縄文 | 鉢 | | | | (22) | | | 外面磨耗煤　内面磨耗付着物 | |
| | 26 7 | 22 20 | | 縄文 | 深鉢 | | | | | 隆帯刺突 | | 内外摩耗　大木7 | RP 562 |
| | 26 9 | 22 19 | | 縄文 | 深鉢 | | | | | 隆帯刺突条線 | | 大木7 | |
| | 26 12 | 22 19 | | 縄文 | 深鉢 | | | | | 粘土貼り付け | | 内外被熱磨耗　大木7 | |
| | 26 11 | 22 19 | | 縄文 | 鉢 | | | | (35) | 押圧沈線紋 | | 内外被熱磨耗　大木7 | RP 556 |
| | 31 6 | 22 19<br>20 | ST 220 | 土師器 | 高坏 | 200 | | | (106) | 内外ハケメミガキ　脚内輪積み痕 | | 内外摩耗 | RP 447 |
| | 34 9 | 14 13 | ST 446 | 土師器 | 高坏 | | | | (46) | 外ヘラナデ | | | RP 157 |
| | 35 9 | | ST 750 | 土製品 | 不明 | | | | 51 | | | | |
| | 43 2 | 25 17 | SG 325 | 土師器 | 甕 | (182) | (240) | | (200) | 内ハケメ外ヘラナデハケメ | | 外面煤　内面付着物 | |
| | 45 1 | 18 13 | SG 325 | 土師器 | 壷 | | | | | 内外ナデ　装飾部に隆帯 | | | |
| | 45 2 | | SG 325 | 土師器 | 高坏脚部 | | | | (36) | | | 外部摩耗 | |
| | 52 10 | 24 15 | SG 325 | 土師器 | 高坏 | (148) | | | (40) | | | 外面摩耗　内面漆付着 | |

## 表 25　板橋２遺跡出土木製品観察表（１）

※遺物観察表中の実測値の単位は全てmmであり、括弧内の数値は図上復元による推定値及び欠損による残存値を示す。

| 挿図 | 図版 | 遺構 | グリッド | 遺物番号 | 大項目 | 中項目 | 小項目 | 長さ | 幅 | 高さ | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 96 1 | 18 4 | SG325 | 12 12、13 | RW 126 | 農具 | 一木鋤 | 三又鋤 | (691.0) | 163.0 | 33.0 | 歯部1本折損 |
| 96 2 | 17 1 | SG325 | 25 17 | RW 420 | 農具 | 一木鋤 | 三又鋤 | (470.0) | 100.0 | 30.0 | 歯部欠損 |
| 96 3 | 17 2 | SG325 | 25 17 | RW 430 | 農具 | 直柄 | 鋤柄 | (600.0) | 100.0 | 30.0 | |
| 96 4 | 18 5 | SG325 | 25 18 | RW 432 | 農具 | 直柄 | 鎌柄 | (100.0) | 23.0 | 28.0 | 刃部取付け用穿孔有り |
| 97 1 | 18 6 | SG325 | 24 16 | RW 228 | 農具 | 組合せ鋤 | 平鋤 | 266.0 | 162.0 | 17.0 | 鋤の未製品 |
| 97 2 | 16 1 | SG325 | 18 12 | RW 294 | 農具 | 曲柄鍬 | なすび型曲柄鍬 | 180.0 | (80.0) | 13.0 | 楕円形の穿孔。一部折損。 |
| 97 3 | 18 1 | SG325 | 25 17、18 | RW 386 | 農具 | 柄穴鍬 | 広鍬 | (240.0) | (230.0) | 41.0 | 泥除け装着用穿孔有り。横木取。 |
| 98 1 | 19 3 | SG325 | 18 11 | RW 295 | 農具 | | 田下駄 | 525.0 | 170.0 | 20.0 | 穿孔3 |
| 98 2 | 19 1 | SG325 | | RW 81 | 農具 | | 田下駄 | 623.0 | 184.0 | 30.5 | 穿孔3。板材転用。側面に24.5cm間隔の刻3カ所有り。 |
| 99 1 | 19 5 | SG325 | 25 17 | RW 217 | 農具 | | 田下駄 | (414.0) | 253.5 | 16.5 | 穿孔3つ |
| 99 2 | 19 4 | SG325 | 19 12、13 | RW 282 | 農具 | | 田下駄 | (423.0) | (108.0) | 9.0 | 穿孔3つ |
| 99 3 | | SG325 | 16 11 | | 農具 | | 田下駄？ | (297.5) | ( 47.0) | 13.0 | 穿孔有り |
| 99 4 | 18 3 | SG325 | 16 11 | | 農具 | | 田下駄？ | (373.0) | ( 46.0) | 17.0 | 磨耗。穿孔２つ。 |
| 99 5 | 18 2 | SG325 | 16 11 | | 農具 | | 田下駄？ | (479.5) | ( 83.0) | 19.0 | 穿孔2つ。 |
| 100 1 | | SG325 | 18 11 | RW 297 | 農具 | | 大足？ | (337.0) | ( 59.0) | 13.0 | 7つ穿孔、ケズリ有り |
| 100 2 | | SG325 | 18 11 | RW 296 | 農具 | | 大足？ | (345.0) | 45.0 | 12.0 | 穿孔大3つ小4つ |
| 100 3 | 19 6 | SG325 | 18 12 | RW 294 | 農具 | | 田下駄 | (370.0) | ( 80.0) | 20.0 | 穿孔5つ |

## 表 26　板橋２遺跡出土木製品観察表（２）

| 挿図 | 図版 | 遺構 | グリッド | 遺物番号 | 大項目 | 中項目 | 小項目 | 長さ | 幅 | 高さ | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 100 4 | 19 2 | SG325 | 25 17 | RW 432 | 農具 | | 大足 | (737.0) | 37.0 | 25.0 | 穿孔５つ |
| 100 5 | 22 8 | SG325 | 16 13 | RW 457 | 農具 | 柄 | | (859.0) | 33.0 | 34.0 | 端にくびれ有。ケズリ |
| 100 6 | | SG325 | 23 15 | RW 452 | 農具 | 柄 | | (761.0) | 37.0 | 38.0 | 穿孔有り。先折れ |
| 101 1 | | SG325 | 25 18 | | 織機 | | 経巻具か布巻具 | (506.0) | 25.5 | 22.5 | 先端丸型 |
| 101 2 | 20 3 | SG325 | 22 13 | RW 159 | 容器 | 円形曲物 | 曲物底 | 450.0 | 450.0 | 10.0 | 縁辺部に穿孔33個 |
| 101 3 | 20 2 | SG325 | 25 18 | RW 387 | 容器 | 刳物 | 鉢 | (537.0) | (68.0) | 20.0 | 穿孔２つ。取っ手用か |
| 101 4 | | SG325 | 24 17 | RW 203 | 容器 | 刳物 | 槽 | (328.0) | (62.0) | 70.0 | |
| 102 1 | 21 1 | SG325 | 18 13 | | 用途不明品 | | 曲物底状木製品 | 176.0 | (159.0) | 9.0 | 6つの小穴と中央に大穴穿孔 |
| 102 2 | 22 2 | SG325 | 25 18 | | 祭祀具 | | 鳥形 | 97.0 | 10.0 | 12.0 | |
| 102 3 | 22 1 | SG325 | | RW 38 | 武具 | | 弓 | (360.0) | 14.0 | 14.0 | 弭部分 |
| 102 4 | | SG325 | 25 18 | | 祭祀具 | | 矢形 | 352.0 | 18.0 | 15.0 | |
| 102 5 | | SG325 | 25 17 | RW 421 | 用途不明品 | | 棒状加工品 | 175.0 | 82.5 | 63.0 | 部材？ |
| 102 6 | 21 8 | SG325 | 19 13 | | 工具 | | 箆 | (259.0) | (40.5) | 12.5 | 磨耗 |
| 102 7 | | SG325 | 19 13 | | 工具 | | 箆 | (165.0) | 34.0 | 8.5 | 折損 |
| 102 8 | | SG325 | 24 16 | | 用途不明品 | | 札状木製品 | 106.0 | 34.0 | 35.0 | 穿孔有り |
| 103 1 | 21 5 | SG325 | 16 12 | | 建築材 | | 板材 | 226.0 | 117.0 | 41.5 | 両面に手斧削り痕有 |
| 103 2 | 21 7 | SG325 | 25 17 | | 建築材 | | 板材 | (159.0) | (70.0) | 10.0 | くり抜き穴有り |
| 103 3 | 21 2 | SG325 | 2T | | 建築材 | | 板材 | (182.0) | (62.0) | 15.5 | 折損 |
| 103 4 | 21 3 | SG325 | 24 16 | | 建築材 | | 板材 | 226.0 | 116.0 | 19.0 | 削り有 |
| 103 5 | | SG325 | 19 13 | | 建築材 | | 板材 | 83.0 | 44.5 | 9.5 | |
| 104 1 | | SG325 | 24 16 | RW 256 | 建築材 | | 板材 | 311.0 | 99.0 | 15.0 | 手斧ケズリ |
| 104 2 | 21 4 | SG325 | 24 17 | RW 246 | 建築材 | | 板材 | (160.0) | 130.0 | 10.0 | 折損 |
| 104 3 | | SG325 | 20 12 | | 建築材 | | 板材 | (140.0) | (61.0) | 12.0 | 切り込み有 |
| 104 4 | 21 6 | SG325 | 25 17 | | 建築材 | | 板材 | (141.0) | 73.0 | 17.0 | 刃物で切断 |
| 104 5 | 22 4 | SG325 | 25 18 | | 用途不明品 | | 球状木製品 | 135.0 | 140.0 | 120.0 | 全面削り痕有り |
| 105 1 | | SG325 | 15 12 | RW 149 | 農具 | 柄 | | 894.0 | 23.0 | 14.0 | 切り欠き1ヶ所有り |
| 105 2 | | SG325 | 19 12 | RW 381 | 土木材 | | 杭 | 600.0 | 170.0 | 190.0 | 先尖り片方折損 |
| 105 3 | | SG325 | 4T | | 農具 | 柄 | | (262.0) | 26.0 | 30.0 | |
| 105 4 | | SG325 | 19 13 | | 農具 | 柄 | | (310.0) | 255.0 | 18.5 | 炭化 |
| 105 5 | | SG325 | 19 13 | | 農具 | 柄 | | (371.0) | 21.0 | 19.0 | |
| 105 6 | | SG325 | 12 12 | | 農具 | 柄 | | (163.0) | 33.0 | 34.0 | |
| 105 7 | | SG325 | 12 12 | | 農具 | 柄 | | (82.0) | 33.0 | 35.0 | |
| 105 8 | | SG325 | 19 13 | | 農具 | 柄 | | (139.0) | 25.0 | 13.0 | 折損 |
| 105 9 | | SG325 | 25 17 | | 建築材 | | 材片 | 369.0 | 16.0 | 12.0 | 角材片 |
| 105 10 | | SG325 | 25 17 | | 土木材 | | 杭 | (262.0) | 30.0 | 35.0 | 樹皮付き。表面炭化。 |
| 106 1 | | SG325 | 16 11 | RW 352 | 土木材 | | 杭 | 787.0 | 25.0 | 20.0 | 先端炭化 |
| 106 2 | 22 9 | SG325 | 25 17 | | 用途不明品 | | 棍棒状木製品 | 390.0 | 32.0 | 39.0 | 中折れ。摩耗。片端を尖らす。 |
| 106 3 | 22 7 | SG325 | 19 13 | RW 284 | 土木材 | | 杭 | 959.0 | 34.0 | 32.0 | 先端尖り |
| 106 4 | | SG325 | 24 16 | RW 455 | 土木材 | | 杭 | (771.0) | 51.0 | 41.0 | 反り有 |
| 106 5 | | SG325 | 24 16 | RW 453 | 建築材 | | 角材 | 716.0 | 38.0 | 30.0 | |
| 107 1 | | SG325 | 16 11 | RW 458 | 建築材 | | 板材 | (614.0) | (152.0) | 17.0 | 手斧削り痕有り |
| 107 2 | | SG325 | 19 13 | RW 456 | 建築材 | | 板材 | (667.0) | (89.0) | 29.0 | 脆い。ケズリ痕有り。 |
| 107 3 | | SG325 | 24 16 | | 建築材 | | 板材 | (336.0) | 43.0 | 20.0 | 劣化激しい |
| 107 4 | | SG325 | 24 18 | | 建築材 | | 板材 | (176.0) | 52.0 | 21.0 | |
| 108 1 | | SG325 | 24 16 | RW 459 | 建築材 | | 板材 | (1.205.0) | (160.0) | (79.0) | 一部炭化 |
| 108 2 | | SG325 | 25 17 | | 建築材 | | 角材 | (455.0) | 52.0 | 47.0 | |
| 108 3 | 22 5 | SG325 | 25 17 | | 建築材 | | 角材 | (203.0) | 81.0 | 89.0 | ケズリ有り。鋸引き |
| 108 4 | | SG325 | 24 17 | RW 223 | 建築材 | | 角材 | (389.0) | 37.0 | (25.0) | 磨耗。折損。 |
| 108 5 | | SG325 | 18 13 | RW 148 | 建築材 | | 板材 | (324.0) | 84.0 | (38.0) | |
| 108 6 | 22 6 | SG325 | 24 17 | RW 204 | 建築材 | | 角材 | (230.0) | 56.0 | 57.0 | 炭化 |
| 109 1 | | SG325 | 25 17 | RW 431 | 土木材 | | 杭 | (1.050.0) | 64.0 | 41.0 | 先端炭化 |
| 109 2 | | SG325 | 24 16 | RW 455 | 土木材 | | 杭 | (1.030.0) | 60.0 | 50.0 | |
| 109 3 | | SG325 | | RW 442 | 土木材 | | 杭 | (1.041.0) | 52.0 | 55.0 | 両端にケズリ |
| 110 4 | | SG325 | 22 12 | RW 158 | 容器 | 円形曲物 | 曲物 | 181.0 | 180.0 | 63.0 | 側板有。結合部１ヶ所。留釘痕9ヶ所。 |
| 110 6 | 20 1 | SD28 | | RW 19 | 容器 | 漆器 | 皿 | 93.0 | 67.0 | 15.0 | ロクロ挽。底部にロクロの爪痕4つ有り。黒漆。 |
| 110 7 | 22 3 | SG325 | 19 13 | RW 291 | 装身具 | 櫛 | 横櫛 | (52.0) | 22.0 | 50.0 | |





## 表 27　板橋２遺跡出土石器観察表

| 挿図 | 図版 | RQ | グリッド | 遺構 | 器種 | 石材 | 刃部属性 | 成形加工 | 素材形態 | 素材技術 | 素材打面形態 | 長さ | 幅 | 厚さ | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 31 8 | 26 28 | 85 | | ST220 | 凹基鏃 | 珪質頁岩 | SP | SP | 剥片 | 不明 | 加工欠 | 19.8 | 11.8 | 4.9 | |
| 31 9 | 26 29 | 130 | | ST219 | 凹基鏃 | 珪質頁岩 | SP | SP | 剥片 | 不明 | 加工欠 | 27.0 | 13.4 | 6.0 | |
| 40 6 | 26 35 | | | ST232 EP635 | 石箆未成品 | 珪質頁岩 | 刃部なし | HI・HD | 縦長剥片 | HD | 節理面 | 89.4 | 43.3 | 18.2 | 両面加工石箆の未成品 |
| 116 1 | 26 27 | | | A区 | 有茎属 | 瑪瑙 | SP | SP | 剥片 | 不明 | 加工欠 | 24.5 | 11.1 | 5.8 | |
| 116 2 | 26 26 | 576 | 21 24 | A区 | 有茎属 | 珪質頁岩 | nSP | nSP | 剥片 | 不明 | 加工欠 | 35.6 | 10.8 | 4.6 | |
| 116 3 | 26 25 | 565 | 23 19 | A区 | 凹基鏃 | 珪質頁岩 | SP | SP | 剥片 | 不明 | 加工欠 | 29.6 | 18.8 | 5.3 | |
| 116 4 | 26 23 | | | A区 | 石錐 | 珪質頁岩 | SP | SP | 縦長剥片 | HD | 加工欠 | 56.1 | 38.1 | 16.0 | 自然面打面 |
| 116 5 | 26 24 | | 21 19 | A区 | 石錐 | 珪質頁岩 | SP | SP | 剥片 | 不明 | 加工欠 | 32.5 | 20.5 | 8.1 | |
| 116 6 | 26 40 | | 21 20 | A区 | 縦形石匙 | 珪質頁岩 | 素刃 | HI・HP | 縦長剥片 | HD | 平坦 | 90.0 | 56.2 | 12.6 | 打面厚12.62ミリ、打点径6.93ミリ。 |
| 116 7 | 26 44 | | 20 19 | A区 | 縦形石匙 | 珪質頁岩 | 素刃 | HP | 縦長剥片 | 不明 | 加工欠 | 68.3 | 25.9 | 7.9 | |
| 116 8 | 26 42 | | 20 19 | A区 | 縦形石匙 | 珪質頁岩 | SP | SI・SP | 縦長剥片 | (HD) | 加工欠 | 69.9 | 34.0 | 14.6 | |
| 116 9 | 26 18 | 229 | 18 13 | SK624 | 縦形石匙 | 珪質頁岩 | SI | SI | 剥片 | 不明 | 加工欠 | 63.7 | 23.0 | 9.9 | 両面加工の石匙 |
| 116 10 | 26 36 | 532 | 22 19 | A区 | 横形石匙 | 珪質頁岩 | SP | 折取・SI | 剥片 | (HI) | 平坦 | 66.2 | 80.6 | 15.9 | 打面厚3.33ミリ |
| 116 11 | 26 41 | | 20 19 | A区 | 横形石匙 | 珪質頁岩 | SP | SI・SP | 縦長剥片 | (SI) | 平坦 | 45.7 | 60.9 | 11.3 | 打面厚5.57ミリ |
| 116 12 | 26 43 | | 20 19 | A区 | 横形石匙 | 珪質頁岩 | SP | 叩折・SI・SP | 縦長剥片 | 不明 | 加工欠 | 53.3 | 58.1 | 14.2 | |
| 116 13 | 26 39 | | 19 20 | A区 | 横形石匙 | 珪質頁岩 | SP | SI・SP | 剥片 | 不明 | 加工欠 | 49.8 | 53.3 | 12.5 | |
| 116 14 | 26 50 | | | A区 | 横形石匙 | 瑪瑙 | SP | SI・SP | 剥片 | (HD) | 加工欠 | 42.7 | 39.1 | 11.5 | |
| 116 15 | 26 37 | 551 | 20 19 | A区 | 横形石匙 | 珪質頁岩 | SP | SI・SP | 縦長剥片 | SD | 加工欠 | 65.7 | 31.5 | 10.3 | |
| 117 1 | 26 20 | 560 | 18 21 | A区 | 石箆 | 珪質頁岩 | SI | SI | 剥片 | 不明 | 加工欠 | 113.7 | 31.7 | 19.9 | |
| 117 2 | 26 19 | 554 | 21 19 | A区 | 石箆 | 珪質頁岩 | SP | SI・SP | 剥片 | 不明 | 加工欠 | 72.4 | 23.5 | 16.3 | 尖刃の石箆 |
| 117 3 | 26 30 | | 22 18 | A区 | 石箆 | 珪質頁岩 | SI・SP | SI | 剥片 | 不明 | 加工欠 | 57.8 | 30.6 | 12.6 | |
| 117 4 | 26 22 | | 17 14 | A区 | 石箆 | 珪質頁岩 | SP | HI | 剥片 | 不明 | 加工欠 | 45.9 | 26.7 | 14.3 | 基部欠損 |
| 117 5 | 26 21 | | 21 19 | A区 | 石箆 | 珪質頁岩 | SP | SI | 剥片 | 不明 | 加工欠 | 54.0 | 38.4 | 16.0 | 基部欠損 |
| 117 6 | 26 33 | | 19 21 | A区 | 削器 | 珪質頁岩 | SP | なし | 剥片 | (SD) | 自然面 | 74.4 | 34.3 | 12.2 | 両側辺に刃部形成 |
| 117 7 | 26 34 | | 20 19 | A区 | 削器 | 珪質頁岩 | 素刃 | HP | 縦長剥片 | HD | 切子打面 | 69.5 | 44.8 | 11.3 | 右側辺はマイクロフレイキング |
| 117 8 | 26 32 | | 14 11 | SG325 | 削器 | 珪質頁岩 | SP | SP | 縦長剥片 | 不明 | 折れ | 57.1 | 37.6 | 11.1 | |
| 117 9 | 26 45 | | | A区 | 削器 | 珪質頁岩 | SP | SP | 縦長剥片 | (HD) | 平坦 | 74.6 | 49.8 | 15.7 | 打面厚14.17ミリ |
| 117 10 | 26 46 | | 22 19 | A区 | 削器 | 珪質頁岩 | SP | SI・SP | 剥片 | (SI) | 加工欠 | 60.7 | 42.9 | 11.4 | 打面厚4.75ミリ |
| 117 11 | 26 47 | | 22 19 | A区 | 尖頭削器 | 珪質頁岩 | SP | SP | 縦長剥片 | 不明 | 加工欠 | 48.2 | 23.8 | 10.1 | 素材の両端に刃部が形成されている |
| 117 12 | 26 38 | 558 | 19 20 | A区 | 掻器 | 珪質頁岩 | SI・SP | SP | 縦長剥片 | (SI) | 平坦 | 57.3 | 34.3 | 17.6 | 打面厚は4.66ミリ |
| 117 13 | 26 31 | | 22 19 | A区 | 使用痕剥片 | 珪質頁岩 | 素刃 | なし | 剥片 | HD | 加工欠 | 63.4 | 43.7 | 16.1 | 右側辺にマイクロフレイキング。打面転位の剥片が素材。 |

※剥離技術凡例

剥離技術は「ハンマー（工具）」の種類と「身振り」の組み合わせで示される。以下に観察表の記号の意味を表記した。なお、観察表の（　）は、推定した剥離技術である。

| | 直接打撃 | 間接打撃 | 押圧剥離 |
|---|---|---|---|
| ハードハンマー | HD | HI | HP |
| 極細ハードハンマー | nHD | nHI | nHP |
| ソフトハンマー | SD | SI | SP |
| 極細ソフトハンマー | nSD | nSI | nSP |

その他の加工

叩折：ハンマーをあてて、叩き折る加工。コーンが発達する。

折取：素材を曲げて折り取る加工。コーンが生じない。

加工の組み合わせの表記

２種類以上の加工があるときには、「叩折・SI」のように表記した。

※遺物観察表中の実測値の単位は全てmmであり、括弧内の数値は図上復元による推定値及び欠損による残存値を示す。